

# Spectrum™ Technology Platform

バージョン 2019.1.0

Addressing ガイド



# 著作権に関する通知

© 2019 Pitney Bowes. All rights reserved. MapInfo および Group 1 Software は Pitney Bowes Software Inc. の商標です。その他のマークおよび商標はすべて、それぞれの所有者の資産です。

### USPS® 情報

Pitney Bowes Inc. は、ZIP + 4® データベースを光学および磁気媒体に発行および販売する非独占的ライセンスを所有しています。CASS、CASS 認定、DPV、eLOT、FASTforward、First-Class Mail、Intelligent Mail、LACS<sup>Link</sup>、NCOA<sup>Link</sup>、PAVE、PLANET Code、Postal Service、POSTNET、Post Office、RDI、Suite<sup>Link</sup>、United States Postal Service、Standard Mail、United States Post Office、USPS、ZIP Code、および ZIP + 4 の各商標は United States Postal Service が所有します。United States Postal Service に帰属する商標はこれに限りません。

Pitney Bowes Inc. は、NCOA<sup>Link</sup>® 処理に対する USPS® の非独占的ライセンスを所有しています。

Pitney Bowes Software の製品、オプション、およびサービスの価格は、USPS® または米国政府によって規定、制御、または承認されるものではありません。RDI™ データを利用して郵便送料を判定する場合に、使用する郵便配送業者の選定に関するビジネス上の意思決定が USPS® または米国政府によって行われることはありません。

### データ プロバイダおよび関連情報

このメディアに含まれて、Pitney Bowes Software アプリケーション内で使用されるデータ製品は、各種商標によって、および次の 1 つ以上の著作権によって保護されています。

© Copyright United States Postal Service. All rights reserved.

© 2014 TomTom. All rights reserved. TomTom および TomTom ロゴは TomTom N.V の登録商標です。

© 2016 HERE

Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía)

電子データに基づいています。© National Land Survey Sweden.

© Copyright United States Census Bureau

© Copyright Nova Marketing Group, Inc.

このプログラムの一部は著作権で保護されています。© Copyright 1993-2007 by Nova Marketing Group Inc. All Rights Reserved

© Copyright Second Decimal, LLC

© Copyright Canada Post Corporation

この CD-ROM には、Canada Post Corporation が著作権を所有している編集物からのデータが収録されています。

© 2007 Claritas, Inc.

Geocode Address World データ セットには、  
<http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode> に存在するクリエイティブ コモンズ アトリビューション ライセンス (「アトリビューション ライセンス」) の下に提供されている GeoNames Project ([www.geonames.org](http://www.geonames.org)) からライセンス供与されたデータが含まれています。お客様による GeoNames データ (Spectrum™ Technology Platform ユーザ マニュアルに記載) の使用は、アトリビューションライセンスの条件に従う必要があります。お客様と Pitney Bowes Software, Inc. との契約と、アトリビューション ライセンスの間に矛盾が生じる場合は、アトリビューションライセンスのみに基づいてそれを解決する必要があります。お客様による GeoNames データの使用に関しては、アトリビューション ライセンスが適用されるためです。

# 目次

## 1 - はじめに

---

住所の品質の概要	7
----------	---

## 2 - 住所の概念

---

米国住所の概念	9
カナダ住所の概念	15
オーストラリア住所	18
国際住所	18

## 3 - 住所の検証

---

米国の住所の検証	20
カナダの住所の検証	20

## 4 - ステージリファレンス

---

Global Addressing モジュール	22
Universal Addressing モジュール	128

## 第章 : 付録

---

付録 A :	
ISO 国コードとモジュール サポート	332

# 1 - はじめに

## このセクションの構成

---

住所の品質の概要

7

## 住所の品質の概要

**Addressing** ソリューションは、220 カ国以上の住所を検証し、規格化するツールを提供して住所の品質を保証します。**Spectrum™ Technology Platform** は、郵便ガイドラインに準拠して住所品質イニシアチブをサポートしています。これにより、割引制度が適用されるタイミングで郵便の発送が可能です。

# 2 - 住所の概念

## このセクションの構成

---

米国住所の概念	9
カナダ住所の概念	15
オーストラリア住所	18
国際住所	18



## 米国住所の概念

USPS では、いわゆる品質処理に関してガイドラインを確立しています。品質処理では、USPS が郵便物を適宜配達できるように住所の正規化を徹底します。差出人は、ZIP Code、ZIP + 4 Code、およびその他に基づいて郵便料金値引きの特典を受けようとするため、この目標はよりいっそう重要となります。正規化住所とは、米国郵便データベースとの照合で一致し、USPS 住所規則に基づいて書式設定された住所のことです。

米国住所には、通りの住所、地方配送路の住所、幹線請負契約の住所、(郵便局に設置された)私書箱の住所、および私設私書箱の住所があります。

通りの住所には、以下の要素が含まれます。

<b>4235</b>	<b>N</b>	<b>MAIN</b>	<b>ST</b>	<b>NW</b>	<b>APT</b>	<b>100</b>
家番号	接頭方向指示	通り名	接尾語	接尾方向指示	アパート ラベル	アパート番号

地方配送路、幹線請負契約、または P.O. Box の住所には、以下の要素があります。

<b>RR</b>	<b>123</b>	<b>BOX</b>	<b>19</b>
地方配送路または幹線請負契約の種別	地方配送路または幹線請負契約の番号		地方配送路、幹線請負契約、または PO Box 番号

私設私書箱の住所には、その他に以下の要素が含まれます。

<b>PMB</b>	<b>345</b>
私設私書箱の種別	私設私書箱の番号

住所行は、住所要素と都市/州/ZIP Code 情報の組み合わせによって構成されます。住所行は、次のように定義されます。

## 住所行

## 住所行のタイプ

テクニカル サポート宛てPITNEY BOWES  
SOFTWARE4200 PARLIAMENT PL STE 600LANHAM MD  
20706-1844

宛名行  
受取人行  
配達住所行  
最終行

米国住所規格の詳細については、米国郵政公社® (USPS®) から発行される *Postal Addressing Standards, USPS Publication 28* (USPS の Web サイトから入手可能) を参照してください。

## Coding Accuracy Support System (CASS)

Coding Accuracy Support System (CASS™) は、住所検証ソフトウェアの精度を認定する United States Postal Service® (USPS®) プログラムです。一部の郵便料金割引を受けるには、ZIP Code™、ZIP + 4™ コード、および配達ポイント バーコードを郵便物に割り当てるための CASS 認定®ソフトウェアを使用する必要があります。

住所検証ソフトウェアが CASS 認定™を受けるには、USPS が実施するテストに合格する必要があります。CASS 認定™ソフトウェアは、次の項目において精度テストに合格する必要があります。

- 5桁のコーディング
- ZIP + 4®/配達ポイント (DP) コーディング
- 配達ルート コーディング
- Delivery Point Validation (DPV®)
- Locatable Address Conversion System (LACS<sup>Link</sup>®)
- Enhanced Line of Travel (eLOT®)
- Residential Delivery Indicator (RDI™)

CASS 認定™製品を使用する場合には、最小レベルとして以下に示す精度が保証されます。

表 1 : CASS 認定レベル

認定レベル	求められる精度レベル
ZIP	98.5%

認定レベル	求められる精度レベル
配達ルート	98.5%
ZIP+4	98.5%
配達ポイント バーコード	100%
eLOT	100%
完全な住所	100%

## Commercial Mail Receiving Agency (CMRA: 民間私書箱)

Commercial Mail Receiving Agency (CMRA) は、私書箱の貸し出しを行う民間企業です。mail drop (郵便受け)としても知られる CMRA は通常、私設私書箱業者が運営しています。そのため、CMRA の住所は、"POB" (郵便局の私書箱) ではなく、"PMB" (私設私書箱) と表記されます。

CMRA の顧客は、自分の住所ではなく、CMRA の住所で郵便物などの配達物を受け取ることができます。顧客と CMRA との間の契約に基づき、CMRA は、郵便物の顧客への転送や、引き取りまでの保管を行います。

CMRA のサービスを利用する理由としては、プライバシーの保護が挙げられます。例えば、自宅を拠点として事業を営む人は、自宅住所を公開したくないと考える場合があります。あるいは、ある地域の顧客が、より知名度の高い住所や高級住宅地に存在する CMRA と契約する場合があります。

## Delivery Point Validation (DPV)

Delivery Point Validation (DPV<sup>®</sup>) は、住所情報の正確さを個々の郵便住所まで照合する米国郵政公社<sup>®</sup> (USPS<sup>®</sup>) のテクノロジーです。この DPV<sup>®</sup> を使用して住所の照合をすることによって、住所不完全のため不達 (UAA) という事態を減少させ、郵便コストや不正な住所情報に関連する他のビジネス コストを削減することができます。

注：DPV<sup>®</sup>は、米国住所に対してのみ適用できます。

DPV<sup>®</sup>なしでの個々の住所検証では、その通り上にある複数の有効な住所までしか照合できません。例えば、USPS データは Maple Lane 上の住所が 500 から 1000 までであることを示しています。住所 610 Maple Ln の検証を試みます。DPV<sup>®</sup>なしで検証すると、この住所は 500 ~ 1000 の範囲にあるため有効と見なされます。ただし、実際には 610 Maple Ln という住所は存在しません。この通りの区画にある家の番号は、608、609、613、および 616 です。DPV<sup>®</sup>処理を使うと、610 Maple Ln が存在しないことが警告され、住所を訂正する措置をとることができます。

DPV<sup>®</sup>は、ターゲットを絞り込んだ郵便リストの作成に役立つ独特の住所属性も備えています。例えば、DPV<sup>®</sup>は郵送先が空き家かどうかを確認したり、それが郵便受取代行業 (CMRA) や私設私書箱の住所であることを識別できます。

DPV<sup>®</sup>は既存の住所の正確性を検証できますが、DPV<sup>®</sup>を使って住所録を作成することはできません。例えば、123 Elm Street Apartment 6 という住所が存在することは確認できますが、同じ通りに Apartment 7 があるかどうかを調べることはできません。住所録の生成を阻止するために、DPV<sup>®</sup> データベースには誤検出レコードが含まれています。誤検出レコードは、誤検出テーブルに存在する人為的に作られた住所です。DPV<sup>®</sup> クエリでマッチしなかった場合は、誤検出テーブルに対してクエリが実行されます。このテーブルにマッチする場合、DPV<sup>®</sup>の処理は停止します。

## Early Warning System (EWS)

Early Warning System (EWS) は、月に 1 回更新される USPS データベースにまだ反映されていない、新規の住所や最近変更された住所に関する最新住所情報を提供します。EWS は USPS<sup>®</sup> データベースの郵便データの更新遅れによる、住所レコードの誤った情報提供を防ぐことができます。

米国郵便データベースが古いほど、住所が誤って変換される可能性は高くなります。米国郵便データベースにあるマッチングする住所が不正確な場合、有効な住所が誤った住所に変換され、壊れた住所が生成されます。

EWS データは、ZIP Code<sup>™</sup>、通り名、前置/後置方位記号、および接尾語に限定される、部分住所情報から構成されます。住所が米国郵便データベースの最新版には存在しない場合に限り、住所レコードに EWS を適用できます。

USPS<sup>®</sup>は、EWS ファイルを週に 1 回更新します。USPS<sup>®</sup>の Web サイト [https://ribbs.usps.gov/cassmass/documents/tech\\_guides/](https://ribbs.usps.gov/cassmass/documents/tech_guides/) から EWS ファイルをダウンロードできます。

## Enhanced Line of Travel (eLot)

eLOT は、Enhanced Carrier Route の郵送が実際の配達順序にできる限り近くなることを保証します。eLOT 順は、正確な順序ではありませんが、配達者によって提供されたルートに従って整えられた ZIP + 4<sup>®</sup> 番号の順になっています。まず、ZIP + 4<sup>®</sup> グループが順序付けられます。次に、各グループ内の住所が昇順になっているか降順になっているかが識別されます。

eLOT は、配達ルートを使用する大量/125 通または不特定郵便以外の郵便物を準備する差出人が使用できます。eLOT 順は、自動化に適合したレターサイズの郵便物以外の Basic Enhanced Carrier Route Standard Mail に必須です。

注：同一月の米国郵便データベースと eLOT データベースをインストールする必要があります (つまり、9 月の eLOT データは、9 月の米国郵便データベースで処理しなければなりません)。米国郵便データベースと eLOT データベースが同一月のものでない場合、eLOT 番号を割り当てられない ZIP + 4<sup>®</sup> Code が存在する恐れがあります。eLOT コードを割り当てるには、住所の ZIP Code<sup>™</sup>、ZIP + 4<sup>®</sup> Code、配達ルートコード、および配達ポイントが提供される必要があります。

## Locatable Address Conversion System (LACS)

USPS<sup>®</sup> Locatable Address Conversion System (LACS) は、地方配送路の住所を通り名に沿った住所に変換した場合、PO Box 番号の再割り当てがあった場合、または通り名に沿った住所が変更した場合に、それに伴って変更した住所を修正します。LACS<sup>Link</sup> 変換の例を以下に示します。

- 地方配送路の住所の通り名に沿った住所への変換: 旧住所: RR 3 Box 45 新住所: 1292 North Ridgeland Drive
- 通り名または通り番号の変更: 旧住所: 23 Main Street 新住所: 45 West First Avenue
- PO Box 番号の再割り当て: 旧住所: PO Box 453 新住所: PO Box 10435

LACS<sup>Link</sup> は、CASS 処理に必須です。

## Residential Delivery Indicator (RDI)

米国の住所に限り、Residential Delivery Indicator (RDI<sup>™</sup>) 処理によって、郵送物に対する最良の配達料を調べることができます。RDI<sup>™</sup> 処理では、住所が企業の住所であるか、個人宅の住所であるかを確認します。一部の配達サービスでは、企業住所への配達よりも個人住所への配達に対して高い料金を設定しているため、この違いは重要です。

## 通り名のエイリアス

米国における通り名のエイリアスとは、通りの一部に付けられた別名のことです。通り名のエイリアスには、次の 4 種類があります。

- **よく使用される名前** — その地域でよく使用される通り名です。通常は、通り上の特定の範囲の住所のみに対して使用されます。
- **省略形** — 通り名の省略形です。AddressLine1 の長さが 31 文字以上になる場合に使用することができます。例えば、1234 BERKSHIRE VALLEY RD APT 312A という通り名は、1234 BERKSHIRE VLLY RD APT 312A と省略することができます。
- **変更名** — 通り名が正式に変更された場合に、新しい名前を表すエイリアスです。例えば、SHINGLE BROOK RD という通り名が CANNING DR に変更された場合、CANNING DR が変更済みのエイリアス タイプとなります。
- **その他の名前** — この通り名エイリアスには、通りの他の名前や、通りの一般的な省略形などがあります。

エイリアスではない通り名のことを、基本通り名と呼びます。

## Suite<sup>Link</sup>

Suite<sup>Link</sup> は、補助的な住所情報の妥当性が確認できなかった米国の企業住所に対し、その補助的な住所情報を修正します。Suite<sup>Link</sup> 処理が有効になっている場合、既知の企業名とその補助的な住所情報からなるデータベースに対して、企業名のマッチングが行われます。

例を次に示します。

企業名: Pitney Bowes  
住所行 1: 4200 Parliament Place  
Address Line 2: STE 1  
郵便番号: 20706

この場合、Suite<sup>Link</sup> は、Suite 番号を以下の正しい Suite 番号に変更します。

企業名: Pitney Bowes  
住所行 1: 4200 Parliament Place  
Address Line 2: **STE 600**  
Postal Code: 20706-1844

## カナダ住所の概念

Canada Post Corporation (CPC; カナダ郵政公社) は、世界で 2 番目に大きな地理的地域で郵便物の収集、処理、および配達業務を行っています (旧ソビエト連邦が扱っていた地域に次いで 2 番目に大きい)。各郵便物が宛先に迅速に配達されるように、CPC では住所ラベル規格を開発して、郵便物の処理および適宜配達を実現しています。

CPC では、郵便物が適切に配達されるように、すべての郵便物に対して次の住所コンポーネントを求めています。

- 受取人
- 配達住所
- コミュニティ/自治体
- 省
- 郵便番号

郵便物が最も効率的に処理されるのは、最適な住所フォーマットに従って、記号と大文字が使用され、かつ、カンマやピリオドなどの区切り文字が使用されていない場合です。CPC が定める住所規則には、形式、句読文字、および住所コンポーネントに関するガイドラインなどが含まれません。

## 住所フォーマット

カナダ郵政公社は、集配ポイントおよび配達ポイントの特定に必要な情報として郵便住所を定義しています。カナダ国内から発送され、カナダ国内を宛先とする郵便物について、CPC は、住所ブロックのコンポーネントの順序を以下のとおりに定めています。

1. 住所以外のデータと受取人情報
2. 配達住所情報
3. 自治体、州、郵便番号

カナダの住所は、以下のガイドラインに従う必要があります。

- 住所要素として、正式な名称よりも記号を使用すること。
- 住所ブロックのすべての行で大文字を使用すること。
- 住所の中に、番号記号 (#) やフランスの番号記号 (n°) を使用しないこと。
- 特に記載のない限り、カンマなどの句読記号を、住所要素やコンポーネントの間の区切り文字として使用しないこと。

- 住所のすべての行の左側の余白を揃えること。
- 住所ブロックの下 3 行は、住所情報、受取人情報、自治体、省、および郵便番号である必要があります。

## 住所以外のデータ

「Attention (注意)」や「Address Correction Required (住所の訂正が必要)」といった住所とは無関係のデータが存在する場合は必ず、配達住所情報行の上の、住所ブロック先頭行の上に記載します。

住所以外のデータとは、差出人が郵便物に記載したい任意の追加情報のことです。これには、「Attention (注意)」や「Confidential (親展)」などの単語や、アカウント番号や顧客識別番号などがあります。

## 受取人情報

受取人情報とは、郵便物の宛先である人物、企業、組織を特定するものです。複数行の情報からなる受取人情報には、以下の要素を記載の順序で含むことができます。

- 名前または気付の情報
- タイトル
- 部署または部門名
- 企業または組織名

上記の順序は、Large Volume Receiver (LVR) や、政府省庁または政府機関にも適用されます。部署が課に分割されている場合は、課名を部署名の上に記載します。

## 配達住所情報: 正式住所

正式住所とは一般的に、宅配または Community Mail Box (superbox) で郵便物を受け取る顧客の住所のことです。特に記載のない限り、同一行の住所コンポーネントおよび要素の間は、1つの空白で区切ります。

正式住所には、以下の要素を含むことができます。

- **正式番号** — 自治体によってその住所に割り当てられた正式な番号。
- **正式番号接尾語** — 11D JESSOME ST や 91 1/2 KING ST などのように、住所に入れなければならない正式番号の後に記載する、単一または複数の英文字。



- **通り名** — 自治体によって変換することなく認識される、正式な通り名。"1ST"、"2ND"、"3RD"、"4TH"、または "1E" や "2E" のように、通り名が、番号とそれに続く "ST"、"ND"、"TH"、"E" などの序数である場合は、番号と序数の間に空白は入れません。通り名が英数字からなる場合は、数字部分と英字部分の間に空白は入れません (例: 14 B ST ではなく 14B ST とします)。
- **通りの種類** — 住所を英語で記載する場合、通り名の後には必ず、通りの種類を記載します。住所をフランス語で記載する場合、通りの種類は、通り名が序数である場合を除き、通り名の前に記載します (例: RUE RENE-LEVESQUE)。通り名が序数である場合は、通り名の後に通りの種類を記載します (例: 2061 36E RUE)。通りの種類には必ず、CPC 記号を使用します。
- **通りの方向** — 必要に応じて、方向を示す 1 文字または 2 文字の記号 (N、S、NE、NW、O、NO など) を、通り情報の最後の要素として記載します。
- **ユニット指定子** — ユニット指定子は、建物によって割り当てられた特定のユニットを識別するものです。値は、英字、英数字、または数字です。ユニット指定子が番号である場合は、数字で表記します ("two" という単語ではなく "2" と表記します)。ユニット指定子が住所の中に使用されていない場合は、ユニット指定子を通り情報の前にハイフンで区切って記載します (317-10228 148 ST)。ユニット指定子の正しい記載方法の例としては、"1 MAIN ST APT 1"、"APT 1 1 MAIN ST"、または "1-1 MAIN ST" があります。

## 配達住所情報: 非正式住所

非正式住所は、顧客に提供されているサービスが、貸金庫、局留め郵便、またはルート サービスなどで、正式住所情報が存在しない場合に使用されます。

## 配達方法情報

配達方法情報は、配達施設情報と同一行に記載します。配達方法情報には、以下の要素を含むことができます。

- **配達方法指定子** — Postal Box (PO BOX)、Rural Route (RR)、Suburban Service (SS)、Mobile Route (MR)、または General Delivery (GD) に対する正式な CPC 記号。
- **配達方法識別子** — 数値識別子。配達方法指定子との間に空白を 1 つ入れて記載します。配達方法識別子の前に、番号記号 (#) またはフランスの省略記号 (n°) を使用してはいけません (PO BOX 123 と記載し、PO BOX #123 とは記載しません)。

## オーストラリア住所

オーストラリアでは、オーストラリア郵便公社が住所規格を定めています。これらの規格が記載されたオーストラリア郵便公社の発行物の一覧と、Address Matching Approval System (AMAS) プログラムについては、オーストラリア郵便公社の Web サイト [www.auspost.com.au](http://www.auspost.com.au) を参照してください。

## 国際住所

住所を取り扱う Pitney Bowes の製品では、米国およびカナダ以外の住所を、"国際"住所として分類します。国際住所の規格は、国によって異なります。Pitney Bowes これらの規格をまとめて、1つの国際住所コーディングシステムを作成しました。このシステムでは、およそ 86 カ国の住所要素を検証および修正でき、141 カ国の郵便番号形式を検証できます。

万国郵便連合 (UPU) の加盟国の郵便規格に関する情報については、万国郵便連合の Web サイト [www.upu.int](http://www.upu.int) を参照してください。

# 3 - 住所の検証

## このセクションの構成

---

米国の住所の検証	20
カナダの住所の検証	20

## 米国の住所の検証

Spectrum Technology Platform の Universal Addressing モジュールの Validate Address サービスは、郵便情報を訂正することを目的に、入力住所と USPS データベース内の住所を照合します。また、郵便料金値引きの特典を受けられる可能性のあるその他の郵便情報も追加します (ZIP + 4 Code など)。

住所のマッチングと正規化では、住所行をコンポーネントに分割し、それらを USPS データベースの内容と比較します。マッチングで使用されない住所情報は、ドロップされた住所情報と見なされます。マッチを検出した場合、入力住所はデータベースの内容に従って正規化されます。データに含まれている住所がデータベースにマッチしない場合は、入力住所の正規化を選択できます。正規化プロセスでは、USPS Publication 28 に定められる規則に従って住所行をフォーマットします。正規化オプションが呼び出され、特定の住所がデータベースにマッチしない場合、Validate Address は個々の要素の認識を試みて、それらを USPS の規則に従ってフォーマットします。

## カナダの住所の検証

Spectrum Technology Platform の Universal Addressing モジュールの Validate Address サービスは、郵便情報を訂正することを目的に、入力住所とカナダ郵便データベース内の住所を照合します。また、郵便料金値引きの特典を受けられる可能性のあるその他の郵便情報も追加します。

住所の検証と正規化では、入力レコードから住所行が抽出され、それらがコンポーネントに分割 (パース) されて、カナダ郵便データベースの内容と比較されます。データベースの候補住所の Finance Number に一致した場合のみ、住所の妥当性確認に成功します。マッチを検出した場合、入力住所はデータベースの内容に従って正規化されます。データベースにマッチしなかった場合、Validate Address は、入力住所をフォーマットするオプションを提供します。正規化プロセスでは、カナダ郵政省発行の「Delivery Needs Accuracy: Canadian Addressing Standards」に定められる規則に従って住所行をフォーマットします。正規化オプションが呼び出され、特定の住所がデータベースにマッチしない場合、Validate Address は個々の要素の認識を試みて、それらをカナダ郵政省の規則に従ってフォーマットします。

# 4 - ステージ リファレンス

## このセクションの構成

---

Global Addressing モジュール	22
Universal Addressing モジュール	128

# Global Addressing モジュール

## Global Addressing モジュール

Spectrum™ Technology Platform 向けの Global Addressing モジュールは、高度な住所正規化と検証の機能を提供します。Global Addressing モジュールには次のようなメリットがあります。

- **高品質データ** — Global Address Validation は、複数のデータソースからのデータを単一の Global Addressing Validation データベースに統合して、可能な限り多くの正確な国際住所データを提供します。米国の場合、USPS® CASS 認定™ソリューションが提供されます。
- **グローバルな住所に対応する専門技術** — Global Addressing バリデーションは、各入力住所を分析し、該当する国の Global Addressing データベースと照合します。必要に応じて Global Address Validation は、郵便規格とユーザの優先設定に基づいて住所を修正し、書式を整えます。
- **自動的な住所提示** — Global Type Ahead は、文字を入力すると、自動的に住所を提示します。
- **住所のパーシング** — Global Address Parser は、Machine Learning 技術により、住所文字列を個別の住所要素に分割します。
- **データベース検索** — 米国データベース検索では、家番号、通り名、都市名、ZIP Code (郵便番号) などの住所情報を直接検索できます。

### コンポーネント

Global Addressing モジュールは、次のコンポーネントで構成されます。

- **Global Address Parser** — 機械学習技術を使用して、住所文字列を、組織名、都市、地方、地区名、郵便番号といった個別の住所要素に分割します。
- **Global Address Validation** — 各入力住所を分析し、該当する国の Global Addressing データベースと照合します。また、必要であれば、その国の郵便規格を使用して住所を修正し、形式を整えます。
- **Global Type-Ahead** — 入力の途中から住所を自動的に予測し、入力に基づく候補を直ちに返します。
- **米国データベース検索** — 米国データベースを直接検索して住所情報を取得できます。

## Global Addressing モジュール データベースのインストール

この手順では、Spectrum™ Product Database (SPD) フォーマットの Global Addressing モジュール データベースを Pitney Bowes [Software and Data Marketplace](#) からダウンロードして、インストールする方法を説明します。

### ハードディスクの空き領域

解凍済みおよび未解凍の SPD バンドルに必要なディスク容量は、以下のとおりです。

- 解凍済みバンドル (全 SPD) - 100 GB
- 未解凍バンドル (全 SPD) - 32 GB

### メモリ

通常の Global Address Validation (GAV) 国データベースを読み込むと、700 MB のメモリが使用される可能性があり、最大 3000 MB が使用される場合もあります。通常の Global Type Ahead (GTA) データベースでも、約 700 MB のメモリが使用されますが、その容量を超えることはまれです。

Spectrum™ Product Database (SPD) 形式の Global Addressing モジュール データベース リソースをダウンロードおよびインストールするには

1. ライセンス済み SPD ファイル (xxx.spd) を選択してダウンロードするには、Pitney Bowes のメールに記載されたリンクを使用して Pitney Bowes にアクセスするか、[Software and Data Marketplace](#) にアクセスします。
2. データベースは zip ファイルとしてダウンロードされます。インストールを開始する前に、データベースを解凍してください。
3. SPD ファイルをインストールします。
  - a) SPD ファイルを、`SpectrumDirectory/server/import` に配置します。これは、SPD ファイルのデフォルトの配置場所です。Spectrum™ Technology Platform サーバーはこのフォルダを監視し、2 秒間隔で新しいファイルの有無を確認します。  
データをインポートするディレクトリの場所を変更するには、`SpectrumDirectory/server/conf/spectrum-container.properties` ファイルの **spectrum.import.dir** プロパティを変更します。
  - b) サーバーは新しい SPD ファイルを検出すると、自動的に SPD ファイルを `SpectrumDirectory/server/ref-data` に解凍します。  
データを格納するフォルダの場所を変更するには、`SpectrumDirectory/server/conf/spectrum-container.properties` ファイルの Data Manager 設定セクションにある **spectrum.data.manager.storage.dir** プロパティを変更します。

4. データは、この時点で使用可能になり、Management Console の **[Spectrum™ データベース]** セクションで Spectrum™ データベース リソースとして追加できるようになります。
5. データベース ファイルをインストールしたら、Management Console でデータベース リソース ツールを使用するか、管理ユーティリティ データベース コマンドを使用して、データベースをリソースとして定義します。
6. 解凍済みの SPD ファイルはそれ以降不要なため、CLI コマンドを使用して、それらの SPD ファイルを削除します。SPD ファイルは、サーバーが SPD ファイルを解凍した場所から、手動で削除しないでください。手動ではなく、CLI コマンドを使用して SPD ファイルを削除します。製品データ CLI コマンドの詳細については、『Spectrum™ Technology Platform 管理ガイド』の「管理ユーティリティ」を参照してください。
  - a) `productdata list` コマンドを実行して、現在インストールされている SPD ファイルの詳細を確認します。ファイル システムにアクセスしなくても、この結果から現在の情報がわかります。十分な情報に基づいて削除するデータを決定できるよう、このコマンドの実行後に `productdata delete` コマンドを実行することをお勧めします。
  - b) `productdata delete` コマンドを実行して SPD ファイルを Spectrum™ Technology Platform から削除します。

#### 例

```
productdata delete --p productName --c productComponent --q qualifier --v dataVintage
```

```
spectrum> productdata delete --p gam --c gav --q GAV-DEU --v 201907
```


### Global Addressing モジュールのデータベース リソースの追加、変更、または削除

新しいデータベース リソースをインストール、または既存のデータベース リソースを変更するたびに、Management Console で定義して、システム上で使用できるようにする必要があります。この手順では、Global Addressing モジュール用にデータベース リソースを追加または変更する方法について説明します。


Global Addressing モジュール データベース リソースを作成するには


1. データベース ファイルをまだシステムにインストールしていない場合は、インストールしてください。データベースのインストール手順については、「Global Addressing モジュール データベースのインストール」のセクションを参照してください。
2. Management Console で、[リソース] の下の **[Spectrum データベース]** を選択します。
3. 左上にあるボタンによって、データベースを管理できます。

新しいデータベースを作成する場合は、追加  をクリックします。

既存のデータベースを変更する場合は、データベースを選択してから編集  をクリックします。



データベースを削除する場合は、データベースを選択してから削除  をクリックします。

既存のデータベースをコピーして新しいデータベースを作成する場合は、コピー  をクリックします。

- 新しいデータベースを作成する場合は、**[データベースの追加]** ページで、**[名前]** フィールドにデータベース リソースの名前を入力します。既存のデータベースをコピーして新しいデータベースを作成する場合は、必要に応じてデフォルト名を変更してください。既存のデータベース リソースの名前を変更することはできません。その名前データベースを参照しているサービスやジョブがあると、動作しなくなるからです。
- [プールサイズ]** フィールドで、このデータベースで処理する同時要求の最大数を指定します。

最適なプール サイズはモジュールによって異なります。一般的には、サーバーが搭載する CPU の数の半分から 2 倍のプール サイズを設定すると、最適な結果が得られます。ほとんどのモジュールに最適なプール サイズは CPU 数と同数です。例えば、サーバーが 4 つの CPU を搭載している場合は、プール サイズを 2 (CPU 数の半分) ~ 8 (CPU 数の 2 倍) の間で試すことができ、多くの場合、最適なサイズは 4 (CPU 数と同数) です。

プールサイズを変更するときは、データベースにアクセスするステージ用としてデータフローに指定されている実行時インスタンスの数を考慮する必要があります。例えば、1つの実行時インスタンスを使用するように設定された Global Address Validation ステージを持つデータフローがあるとします。この場合、Global Address Validation データベースのプール サイズを 4 に設定しても、パフォーマンスは向上しません。実行時インスタンスが 1つしかないので、データベースへの要求は一度に 1つだけとなるためです。ただし、Global Address Validation の実行時インスタンスの数を 4 つに増やすと、パフォーマンスは向上する可能性があります。データベースに同時にアクセスする Global Address Validation のインスタンスが 4 つになり、プール全体が使用されるためです。実行時インスタンスの設定の詳細については、『*Spectrum™ テクノロジー管理ガイド*』を参照してください。

ヒント：さまざまな設定でパフォーマンステストを行って、環境にとって最適なプール サイズと実行時インスタンスの設定を特定してください。

- [モジュール]** フィールドで、**[Global Address Validation Coder]** を選択します。
- [タイプ]** フィールドで、**[Global Addressing]** を選択します。
- 適切なデータベースを選択します。
  - 国際住所処理に使用するグローバル データベースを選択します。
  - 米国 (USA) の住所処理に使用する米国データベースを選択します。
- すべての Global Addressing データベースと、それらのデータベースの中のすべての国を選択する場合は、使用可能なデータベース一覧の最上部にある **[含める]** をクリックします。個々の特定のデータベースと、それらの個々のデータベースの中のすべての国のみを選択する場合は、個々のデータベースの横にある **[含める]** をクリックします。

ヒント：個々のデータベースに含まれる国を表示するには、データベースの左側にある矢印をクリックします。個々のデータベースの中の特定の国のみを含める場合は、このレベルで[含める]をクリックします。

注：国を地域別のデータベース リソースにまとめることをお勧めします。例えば、APAC 諸国を 1 つのデータベース リソースにまとめ、EMEA 諸国を別のデータベース リソースにまとめます。Global Addressing Validation ステージと Global Type Ahead ステージで、すべての国を 1 つのデータベース リソースに追加しようとする、データベース リソースの作成プロセスがタイムアウトして、データベース リソースの作成に失敗することがあります。

10. **[保存]** をクリックして、選択したデータベースを追加し、保存します。Spectrum™ のデータベース ページに、追加または変更したデータベースが表示されます。

## ライセンスと有効期限

Spectrum™ Technology Platform は、ライセンス、データベース、ソフトウェア コンポーネントの有効期限が切れる前に電子メール通知を送付できます。これによって、期限切れによってビジネスプロセスに支障をきたすことなく、必要な措置を講じることができます。有効期限があるコンポーネントには、以下のようなものがあります。

- ライセンス
- データベース (CASS 処理に使用される米国郵便データベースなど)
- 一部のソフトウェア コンポーネント (Universal Addressing モジュールにおいて米国 Global Addressing モジュール内の住所)

### 表示有効期限

有効期限がある項目を参照するには、Management Console を開き、**[システム] > [ライセンスと有効期限]** を選択します。


### 有効期限通知の設定

通知を希望する項目が選択できるため、気になる項目についてのみ通知を受け取ることができます。この手順は、有効期限通知を送信するタイミングと通知メールの受取人の指定方法を示しています。

1. Management Console を開きます。
2. **[システム] > [ライセンスと有効期限]** を選択します。
3. **[通知の設定]** をクリックします。
4. **[通知を送る]** チェック ボックスをオンにします。
5. **[期限切れまでの日数]** フィールドに、ライセンス、ソフトウェア、またはデータの有効期限をその何日前に通知するかを、有効期限までの日数で指定します。この値がデフォルトです。

[システム]>[ライセンスと有効期限] ページで、ライセンス項目ごとに異なる通知期間を指定できます。

例えば、項目の有効期限が切れる 30 日前の通知を希望する場合は、30 と指定します。

6. **[受取人]** の下で、追加ボタン  をクリックし、有効期限通知メールを受け取る電子メールアドレスを入力します。必要に応じて、複数の電子メールアドレスを入力できます。
7. **[保存]** をクリックします。

以上で、通知の受取人と、有効期限の何日前に通知メールが送信されるかが指定されました。電子メールの送信に使用するメール サーバーをまだ設定していない場合は、その設定を行う必要があります。メール サーバーの設定が済むまでは、通知は送信されません。

注：デフォルトでは、有効期限が近づいているすべての項目 (ライセンス、データベース、ソフトウェア コンポーネントなど) に対して有効期限通知が送信されます。**[システム]> [ライセンスと有効期限]** を選択して、特定の項目の有効期限通知を無効にすることができます。

## Global Address Validation

Global Address Validation は、高度な住所の正規化および検証の機能を提供します。Global Address Validation は Global Addressing モジュールの一部です。

### サポートされている国

Global Address Validation は、以下の優先国に対して高度な住所の正規化および検証の機能を提供します。各国に対して 3 桁の ISO 国コードが記載されています。ISO 国コードの全一覧については、[ISO 国コードとコーダー サポート](#) (333 ページ) を参照してください。

- アルゼンチン (ARG)
- オーストラリア (AUS)
- オーストリア (AUT)
- ベルギー (BEL)
- ブラジル (BRA)
- カナダ (CAN)
- 中国 (CHN)
- チェコ共和国 (CHZ)
- デンマーク (DNK)
- フィンランド (FIN)
- フランス (FRA)

- ドイツ (DEU)
- ギリシャ (GRC)
- インド (IND)
- アイルランド (IRL)
- イタリア (ITA)
- 日本 (JPN)
- マレーシア (MYS)
- メキシコ (MEX)
- オランダ (NLD)
- ニュージーランド (NZL)
- ノルウェー (NOR)
- ポーランド (POL)
- ロシア (RUS)
- スペイン (ESP)
- スウェーデン (SWE)
- スイス (CHE)
- 英国 (GBR) (POI 情報を含みます)
- 米国 (USA)

Global Address Validation は上記以外にも、130 カ国を超える世界中の国々をサポートします。

### Global Address Validation の使用




Global Addressing モジュールをインストールして、展開すると、Global Address Validation を使用できます。

- Management Console からサービスとして使用する
- Enterprise Designer からステージとして使用する

### Global Address Validation のサービスとしての使用

Global Address Validation を Management Console からサービスとして使用するには次の手順を実行します。

1. Management Console を開きます。
2. [サービス] タブで **[Global Addressing]** を選択します。
3. ウィンドウ左側のサービス一覧から、**[Global Address Validation]** を選択します。
4. **[データベース リソース]** タブで、使用する Global Address Validation データベース リソースを選択します。

- a) グローバルな住所処理を実行するには、**[国際処理を有効にする]**をクリックし、グローバル データベースを選択します。
  - b) 米国 (USA) の住所処理を実行するには、**[米国の処理を有効にする]**をクリックし、米国 データベースを選択します。
5. **[保存]** をクリックして、データベース選択を保存します。
  6. **[デフォルト オプション]** タブを使用して、住所処理のデフォルト オプションを定義します。デフォルト オプションの詳細については、「**オプション (30ページ)**」を参照してください。
    - a) グローバルな住所処理のデフォルト オプションを定義するには、**[Global Addressing オプション]**をクリックします。グローバルな住所処理のデフォルト オプションのフィールドについては、**オプション (30ページ)** の「Global Addressing オプション」を参照してください。
    - b) 米国 (USA) の住所処理のデフォルト オプションを定義するには、**[米国住所処理オプション]**をクリックします。米国住所処理のデフォルト オプションのフィールドについては、**オプション (30ページ)** の「米国住所処理オプション」を参照してください。
  7. グローバル デフォルト オプションを変更した場合は、**[保存]** をクリックして変更内容を保存します。グローバル デフォルト オプションに加えた変更は、Enterprise Designer の Global Address Validation にも適用されます。Enterprise Designer のジョブが開いている場合は、そのジョブを更新して変更を反映させる必要があります。
  8. **[出力オプション]** タブを使用して、住所処理の出力オプションを定義します。出力オプションのフィールドについては、**オプション (30ページ)** の「出力オプション」を参照してください。
  9. **[プレビュー]** タブをクリックします。
  10. **[プレビュー]** タブで、入力住所要素をそれぞれ該当するフィールドに入力します。入力フィールドについては、**入力 (44ページ)** を参照してください。
  11. **[プレビューを実行]** をクリックします。
  12. ウィンドウ右側にある **[出力レコード]** のプレビューで、検索結果が適切な出力フィールドに配置されていることを確認してください。出力フィールドについては、**出力 (46ページ)** を参照してください。
  13. **[プレビュー]** タブでは、次の操作が可能です。
    - a) 追加  を使用して、**[プレビューを実行]** の処理対象とする入力レコードを追加する。
    - b) インポート  を使用して、**[プレビューを実行]** の処理対象とする複数の入力レコードをインポートする。
    - c) 削除  を使用して、すべてのレコードを現在の**[プレビューを実行]** セッションから削除する。

## Global Address Validation のステージとしての使用

Global Address Validation をステージとして使用して、住所検証のバッチ処理を実行できます。Global Address Validation をステージとして使用するジョブの作成については、以下を参照してください。

- 『Dataflow Designer ガイド』の「最初のデータフロー作成 (ジョブ)」
- [オプション](#)
- [入力](#)
- [出力](#)

### オプション

Global Address Validation は、デフォルト オプション設定に従って住所検証の処理方法を定義します。

表 2 : Global Addressing オプション

オプション名	国のサポート	説明
デフォルトの国	All	<p>住所処理のデフォルトの国。</p> <p>入力住所が国情報を含まない場合に、コーディングのパフォーマンスを向上させるには、Global Address Validation ステージの追加インスタンスを予備のステージとして設定し、入力住所の国コードの処理と抽出を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>Global Address Validation ステージの追加のインスタンスをデータフローの予備 (1 番目の) ステージとして設定します。 予備ステージに、"Identify Country" などのユニークなラベルを付与します。 予備ステージのデフォルト国に "World" を指定します。 予備ステージは、使用可能な入力住所の要素と、("World" をデフォルト国に選択すると使用可能になる) その他のデータソースにより、国コードを判定します。予備ステージからの "国コードの処理済み" 出力は、データフローの次のステップで入力になります。</li> <li>データフローの次のステップとして、住所は、適切な (予備ステージで抽出された) 国コードとともに 2 番目の Global Address Validation ステージを通じて送信され、通り/家/敷地レベルに至るまで検証されます。</li> </ol>

### Global Addressing オプション

Global Address Validation は、Global Addressing オプション設定に従って住所検証の処理方法を定義します。

表 3 : Global Addressing オプション

オプション名	国のサポート	説明
Global Addressing オプション	米国を除くすべての国	グローバルな住所処理固有のオプション。
都市へのフォールバック	米国を除くすべての国	通りレベルのマッチングが見つからない場合は、入力された都市に基づいてマッチ候補が決定されます。
郵便番号へのフォールバック	米国を除くすべての国	通りレベルのマッチングが見つからない場合は、入力された郵便番号に基づいてマッチ候補が決定されます。

### マッチング オプション

Global Address Validation は、マッチング オプションの設定に従って住所検証の処理方法を定義します。

表 4: マッチング オプション

オプション名	国のサ ポート	説明
マッチ モード	All	<p>マッチモードにより、入力住所と参照データとの間のマッチングに適用される柔軟性が決まります。入力の品質と求める出力の品質に応じて、以下のいずれかのマッチ モードを選択します。</p> <p><b>完全一致</b> 非常に厳格な一致。制限の厳しいこのモードでは、生成される一致候補が最も少なくなります。このモードを使用する際には、入力に綴りの間違いや不完全な住所などの問題がないことを確認してください。</p> <p><b>緩和</b> 緩い一致。このモードでは、最も多くの一致候補が生成され、より多くのマッチ結果が得られます。入力に綴りの間違いや不完全な住所などの問題がないと確信できない場合は、このモードを使用します。</p> <p style="text-align: center;">注：米国の場合、緩和マッチ モードは米国データベース検索でのみ使用可能です。</p> <p><b>カスタム</b> カスタムの一致。[カスタム マッチング フィールド] を選択することによって、マッチング条件を定義できます。</p>
返されるレコードの最大数		<p>返されるマッチ候補の最大数。"緩和"などの緩いマッチモードを使うと、複数のマッチ候補がマッチング出力に返されることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>完全一致が見つかった場合は、単一のマッチ候補が返されます。</li> <li>完全一致が見つからず、返されるレコードの最大数のオプションが 1 以外の値に設定されている場合、Global Address Validation は、使用可能なマッチ候補があれば指定された数のマッチ候補を返します。</li> </ul> <p>例えば、完全一致が見つからないとします。返されるレコードの最大数は 3 にセットされています。処理の結果、マッチ候補が 8 件見つかりました。しかし、返されるレコードの最大数が 3 にセットされているため、最も適切な 3 件のマッチ候補のみが、適切なマッチ候補を選び出すためにユーザに提示されます。</p> <p>もう 1 つ例を示します。ここでも完全一致が見つからないとします。返されるレコードの最大数は 5 にセットされています。しかし処理の結果、マッチ候補が 2 件しか見つかりませんでした。この例では、2 件の使用可能なマッチ候補のみが、適切なマッチ候補を選び出すためにユーザに提示されます。</p> <p style="text-align: center;">注：CASS フラグを ON に指定している場合、CASS の処理により、返されるレコードの最大数が 1 にオーバーライドされます (現在実行中の処理に適用)。CASS の処理が ON に設定されている場合、複数候補の提示は有効になりません。</p>



オプション名	国のサ ポート	説明
通りよりも私書箱を優先	CAN FRA GBR	入力 PO Box とのマッチングを、入力された通りとのマッチングよりも優先します。デフォルトは無効です。
都市名よりも郵便番号を優先	AUS	入力郵便番号とのマッチングを、入力都市とのマッチングよりも優先します。デフォルトは無効です。

### カスタム マッチのオプション

Global Address Validation では、カスタム マッチのオプションを使用して、マッチ候補を決定するためのカスタム マッチ条件を設定します。これらのオプションを有効にするには、【マッチモード】を [カスタム] に設定する必要があります。デフォルトでは、これらのオプションは無効です。

表 5: カスタム マッチのオプション

オプション名	国のサ ポート	説明
住所番号	米国を除くすべての国	入力住所番号が一致する必要があります。
City	米国を除くすべての国	入力住所の都市が一致する必要があります。
都市の下位区分	米国を除くすべての国	入力住所の都市の下位区分が一致する必要があります。
州/省	米国を除くすべての国	入力住所の州または省が一致する必要があります。
州/省の下位区分	米国を除くすべての国	入力住所の州または省の下位区分が一致する必要があります。

オプション名	国のサ ポート	説明
Street	米国を除くすべての国	入力通り名、タイプ、方位記号の各フィールドが一致する必要があります。
郵便番号	米国を除くすべての国	入力住所の郵便番号が一致する必要があります。

### 米国住所処理オプション

Global Address Validation は、米国住所処理オプションの設定に従って米国住所の処理方法を指定します。

表 6 : 米国住所処理オプション

オプション名	説明
CASS フラグ	United States Postal Service (USPS) CASS 認定モードで処理します。  注：米国以外の場所で Global Address Validation の米国の住所処理を実行する場合は、Delivery Point Validation (DPV)、LACSLink、SuiteLink、および Residential Delivery Indicator (RDI) のオプションを無効にする必要があります。USPS CASS 認定モードで実行することはできません。
都市名の省略形を割り当てる	ラベルの行で、省略形の都市名を返します。
ノイズ文字の削除	入力ノイズ文字を削除します (不要な句読文字や空白など)。
入力企業を返す	入力企業を返します。
すべてのストリートをマッチング	All Street Matching (ASM) 処理を実行します。ASM は、追加のマッチングロジックを適用することにより、通り名の誤りを修正し、マッチを検索します。例えば、入力で通りの最初の文字の綴りに誤りがあったり、欠落している場合、ASM は該当する地方のすべての通り名を検索して、入力住所を見つけます。ASM は、最良の住所検証結果を提供しますが、パフォーマンスは低下する場合があります。ASM 処理は、米国住所にのみ適用されます。

オプション名

説明

R777 配達可能

配達ルート コード R777 の住所は疑似ルートであり、通り配達に使用できません。ただし、これらの住所には USPS による ZIP + 4 コードが割り当てられているため、これらの住所は配達可能と判定されます。配達ルート コード R777 の住所を配達可能と判定したくない場合は、このオプションを無効にすると、住所に対して以下の処理が行われます。

- ZIP + 4 コードは割り当てられません。
- 住所は USPS Form 3553 (CASS Summary Report) から除外されます。
- DPV 補足コードとして R7 が返されます。

セカンダリを PMB に変換

以下の場合に、セカンダリ情報を私設私書箱 (PMB) に変換します。

- 返された ZIP + 4 住所にセカンダリの番号が存在する。
- セカンダリの番号の DPV 確認が行われない。
- プライマリの番号 (またはその他のセカンダリの番号) が Commercial Mail Receiving Agency (CMRA: 民間私書箱) と確認される。
- 未確認のユニット指定子がシャープ記号 (#) ではない。

注：この処理は、プライマリ住所が CMRA に対応する場合にのみ適用されます。

単位を別のフィールドに保存

出力住所行内の別々のセカンダリユニットおよび PMB 情報を結合しません。ユニットを別のフィールドに保存します。

PMB を別のフィールドに保存

出力住所行内の別々のセカンダリユニットおよび PMB 情報を結合しません。PMB を別のフィールドに保存します。

## オプション名

## 説明

## 通りのエイリアスを返す

ラベルの行で、通りのエイリアス名を返します。通りのエイリアス名とは通りに対する別名で、一連の ZIP + 4 コード レベルで維持されます。

- **入力エイリアスまたはベースを返す**入力住所がエイリアスに一致する場合は、エイリアスを返します。入力住所が基本住所に一致するが、優先エイリアスが存在する場合は、優先エイリアスを返します。入力住所が基本住所に一致し、優先エイリアスが存在しない場合は、基本住所を返します。
- **優先エイリアスまたはベースを返す**優先エイリアスが存在する場合は、優先エイリアスを返します。それ以外の場合は、基本の通りを返します。
- **優先エイリアス、省略形エイリアス、入力エイリアス、またはベースを返す**優先エイリアスを返します。優先エイリアスが存在しない場合は、省略形エイリアスを返します。省略形エイリアスまたは優先エイリアスが存在しないが、他のタイプのエイリアスが入力されている場合は、入力エイリアスを返します。これらのいずれのシナリオも該当しない場合は、基本通り名を返します。
- **優先エイリアス、省略形エイリアス、またはベースを返す**優先エイリアスが存在する場合は、優先エイリアスを返します。優先エイリアスが存在しない場合は、省略形エイリアスを返します。いずれも存在しない場合は、基本の通り名を返します。
- **省略形エイリアス、優先エイリアス、入力エイリアス、またはベースを返す**省略形エイリアスを返します。省略形エイリアスが存在しない場合は、優先エイリアスを返します。省略形エイリアスまたは優先エイリアスが存在しないが、他のタイプのエイリアスが入力されている場合は、入力エイリアスを返します。エイリアスが存在しない場合は、基本の通り名を返します。
- **省略形エイリアス、優先エイリアス、またはベースを返す**省略形エイリアスを返します。省略形エイリアスが存在しない場合は、優先エイリアスを返します。いずれも存在しない場合は、基本の通り名のみを返します。

## オプション名

## 説明

### 二重の住所

入力ファイルに二重の住所 (1 つは従来の住所、もう 1 つは私書箱の住所を含む住所) が含まれている場合、このフィールドは住所の処理およびマッチングで使用する順序を決定します。選択された住所が有効な場合、処理は停止しません。選択された住所を検証できなかった場合、処理では 2 つ目の住所のコーディングが試みられます。

- **都市および郵便番号より上** マッチング処理では、住所の最後の行に近い住所行が最も優先されます。最後の行より上の住所行はマッチングに使用されません。デフォルト
- **1 行目を優先** マッチング処理では、二重の住所の 1 行目が最も優先されます。
- **>2 行目を優先** マッチング処理では、二重の住所の 2 行目が最も優先されます。
- **従来の住所を優先** マッチング処理では、従来の住所が最も優先されます。
- **私書箱を優先** マッチング処理では、私書箱が最も優先されます。
- **最初の有効な住所が優先** されます マッチング処理では、(住所行 1、住所行 2 の順で) 最初の有効な住所が最も優先されます。

注: 単一行に二重の住所が含まれており、CASS フラグが有効な場合、以下の順で USPS 住所タイプの優先順位が使用されます。

1. PO Box
2. Firm
3. Highrise
4. Street
5. Rural Route
6. General Delivery

### VeriMove データ ブロック

VeriMove データブロック オプションは、250 バイトの追加情報コードを出力ファイルに返すかどうかを指定します。この追加情報は、Pitney Bowes VeriMove 転居更新製品への入力として使用される場合があります。

### 追加の処理

Global Address Validation は、デフォルトのオプション設定に従って追加の処理オプションを定義します。

表 7 : 追加の処理オプション

オプション名	説明
Delivery Point Validation (DPV)	<p>Delivery Point Validation (DPV) 処理を実行します。USPS CASS の規則では、DPV 処理が必須となっています。DPV 処理を実行しない場合、Global Address Validation は USPS Form 3553 (CASS Summary Report) を生成しません。デフォルトは無効です。</p> <p>注：DPV が無効な場合、すべての DPV オプションも無効になり、グレー表示されます。</p> <p>注：米国以外の場所で Global Address Validation の米国の住所処理を実行する場合は、Delivery Point Validation (DPV) オプションを無効にする必要があります。USPS CASS 認定モードで実行することはできません。</p>
タイブレーク	<p>USPS では、不正確な通りレコードのマッチングのタイブレーカーとして DPV 処理を使用することを許可しています。タイのレコードのうち 1 つのみが配達ポイントとして検証された場合、不正確なレコードに対するマッチングが可能になります。入力住所の方位記号のために処理で不正確なマッチングとなっている場合、レコードのうち 1 つのみが配達ポイントとして検証され、配達ポイントとして検証されたレコードが基本的な方位記号のルールに違反していない場合に DPV 処理をタイブレーカーとして使用できます。デフォルトは有効です。</p> <p>USPS CASS の規則では、DPV タイブレーク処理で USPS Form 3553 (USPS CASS Summary Report) の生成が必須となっています。</p>
Commercial Mail Receiving Agency (CMRA: 民間私書箱)	<p>Commercial Mail Receiving Agency (CMRA: 民間私書箱) 処理を実行します。個人や企業に対する民間企業による郵便受けのレンタルサービスが Commercial Mail Receiving Agency (CMRA: 民間私書箱) です。デフォルトは無効です。</p>
PO Box as Street Address (PBSA: 通りの住所として使用する私書箱)	<p>DPV の私書箱(PBSA) 処理を実行します。PBSA 住所は、USPS の私書箱を表す通りの住所です。PBSA テーブルを使用して、PBSA 住所を特定します。PBSA の結果を出力に返します。デフォルトは無効です。</p>
No-Stat	<p>DPV No-Stat 処理を実行します。No-Stat テーブルを使用して、コンピュータによる配達順序 (CDS) 前処理の対象とならない荷物を特定します。適切な No-Stat コードを出力に返します。デフォルトは無効です。</p>
空き家	<p>DPV の空き家テーブル処理を実行します。空き家テーブルを使用して、過去にアクティブな配達住所だったが、USPS のデータによると過去 90 日間に居住者がいない配達住所を特定します。適切な空き家コードを出力に返します。デフォルトは無効です。</p>

オプション名	説明
配達不可能な住所 (DNA)	DPV の配達不可能な住所 (DNA) 処理を実行します。DNA テーブルを使用して、地方配送路/幹線請負契約路 (HCR)、長い私道、ゲートッドコミュニティなど、配達者が郵便物を玄関口まで配達できない配達住所や、住宅/建物に物理的にアクセスできない配達住所を特定します。適切な DNA コードを出力に返します。デフォルトは無効です。
スローバック	DPV の私書箱スローバック処理を実行します。私書箱スローバック テーブルを使用して、郵便物が配達されない通りの住所である配達ポイントを特定します。代わりに、顧客の私書箱の住所に配達します。私書箱スローバックの結果を出力に返します。デフォルトは無効です。
安全でない場所 (NSL)	DPV の安全でない場所 (NSL) 処理を実行します。NSL テーブルを使用して、安全ではない配達先を特定します。例えば、配達者が玄関に来ることはできるが、セキュリティ上の懸念があるため荷物を置くことができないような場合です。特定の曜日に営業していない、あるいは郵便受取人がいない場所 (店舗など) についての NSL 指定アラートが差出人に表示されます。NSL の結果を出力に返します。デフォルトは無効です。
Enhanced Line of Travel (eLOT)	経路コードの加工行 (eLOT) を割り当てます。デフォルトは無効です。
Early Warning System (EWS)	早期警告システム (EWS) 処理を実行します。早期警告システム (EWS) 処理を実行します。現在使用されているが、ZIP + 4 ファイルにはまだ含まれていない新しい住所の情報を USPS 早期警告システム (EWS) で見つけることができます。USPS では、すべての CASS 認定ソフトウェアが、最新の ZIP + 4 ファイルに見つからない住所を USPS EWS ファイルで検証することを要求しています。住所が EWS ファイルに見つかった場合、その住所は最新の ZIP + 4 ファイル内の類似の住所にはマッチングされません。代わりに、ZIP + 4 ファイルが更新されて USPS EWS ファイルの正しい住所が反映されるまで、入力住所は失敗となり、コーディングされません。デフォルトは無効です。
Residential Delivery Indicator (RDI)	Residential Delivery Indicator (RDI) 処理を実行します。デフォルトは無効です。  注：米国以外の場所で Global Address Validation の米国の住所処理を実行する場合は、Residential Delivery Indicator (RDI) オプションを無効にする必要があります。USPS CASS 認定モードで実行することはできません。

オプション名	説明
LACSLink	<p>LACSLink (Locatable Address Conversion System) 処理を実行します。USPS CASS の規則では、LACSLink 処理が必須となっています。LACSLink 処理を実行しない場合、Global Address Validation は USPS Form 3553 (CASS Summary Report) を生成しません。デフォルトは無効です。</p> <p>注：米国以外の場所で Global Address Validation の米国の住所処理を実行する場合は、LACSLink オプションを無効にする必要があります。USPS CASS 認定モードで実行することはできません。</p>
SuiteLink	<p>SuiteLink 処理を実行します。USPS CASS の規則では、SuiteLink 処理が必須となっています。SuiteLink 処理を実行しない場合、Global Address Validation は USPS Form 3553 (CASS Summary Report) を生成しません。デフォルトは無効です。</p> <p>注：米国以外の場所で Global Address Validation の米国の住所処理を実行する場合は、SuiteLink オプションを無効にする必要があります。USPS CASS 認定モードで実行することはできません。</p>
SuiteLink セカンダリを返す	<p>SuiteLink セカンダリ情報が利用可能な場合に、セカンダリ情報を返す方法を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>SuiteLink</b> と入力<small>の両方</small>SuiteLink と入力セカンダリ情報の両方を返します。デフォルト</li> <li>• <b>SuiteLink</b> のみSuiteLink セカンダリのみを返します。入力セカンダリは返しません。</li> <li>• <b>入力のみ</b>入力セカンダリのみを返します。SuiteLink セカンダリは返しません。</li> <li>• なしSuiteLink セカンダリまたは入力セカンダリを返しません。</li> </ul>

### CASS メーカー情報

USPS Form 3553 (CASS Summary Report) に表示される差出人の名前と住所。DPV を実行する場合、この情報は必須です。DPV を実行しない場合、この情報はオプションです。

表 8 : CASS メーカー情報

オプション名	説明
名前	USPS Form 3553 (CASS Summary Report) のセクション D ボックス 3 に表示される差出人の名前。



オプション名	説明
住所	差出人の住所。この情報は、USPS Form 3553 (CASS Summary Report) のセクション D ボックス 3 に表示されます。
住所 2	差出人の住所の追加の住所行は、USPS Form 3553 (CASS Summary Report) のセクション D ボックス 3 に表示されます。
住所 3	差出人の住所の追加の住所行は、USPS Form 3553 (CASS Summary Report) のセクション D ボックス 3 に表示されます。
住所 4	差出人の住所の追加の住所行は、USPS Form 3553 (CASS Summary Report) のセクション D ボックス 3 に表示されます。
都市、州、郵便番号	差出人の都市、州、郵便番号情報は、USPS Form 3553 (CASS Summary Report) のセクション D ボックス 3 に表示されます。

### 複数住所行のオプション

Global Address Validation は、複数住所行のオプション設定を使用して、複数住所行の処理に固有のオプションを定義します。返される住所行の形式を指定するには、3 つのオプションを選択します (返される行それぞれについて 1 つと、特別オプションが 1 つ)。

表 9 : 複数住所行のオプション

オプション名	説明
行 1 を返す	<p>返される行 1 の形式を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 一番上にある有効な行を返します。</li> <li>• 一番上にある企業行を返します。</li> <li>• 都市行より上にある最初の有効な行を返します。</li> <li>• 都市行より上にある最初の通りの住所行を返します。</li> <li>• 都市行より上にある私書箱または RR/HC 行を返します。</li> <li>• 一番上にある最良の通りまたは私書箱行を返します。見つからない場合は、一番上にある企業行または地方配送路行を返します。[行 1 を返す] でこのオプションを選択すると、処理では、次の順で上から下に選択されます。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 最初の私書箱行または完全な住所。</li> <li>2. 範囲があるが接尾語のない最初の通り行。</li> <li>3. 接尾語があるが範囲のない最初の通り行。</li> <li>4. 最初の地方配送路行。</li> <li>5. 最初の企業タイプ。</li> </ol> </li> </ul>

## オプション名

## 説明

## 行 2 を返す

返される行 2 の形式を指定します。

- 空白行を返します。
- 一番上にある有効な行を返します。
- 上から 2 番目の有効な行を返します。
- 一番上にある企業行を返します。
- 結合された住所行の後半部 (前半部が行 1 で返された場合) を返します。
- 都市行より上にある最初の有効な行を返します。
- 都市行より上にある 2 番目の有効な行を返します。
- 都市行より上にある最初の通りの住所行を返します。
- 都市行より上にある私書箱または RR/HC 行を返します。
- 都市行より上にある最初の有効な行を返します。この条件が満たされずに 2 行目が空白になる場合、[行 2 を返す] で使用されていない一番上の行を返します。

## 特別オプション

返される行の特別オプションを指定します。

- 返される行にすべての特別オプションを使用します。
- 返される行に特別オプションを使用しません。
- 範囲のない通り行に一連の "0" を追加します。例えば、Main St が 0 Main St になります。
- 結合された住所行を分割します。

## 行の順序を返す

正規化された行を返す順序を指定します。

- **0** 企業行。
- **1** 私書箱の住所行。
- **2** 範囲と接尾語の単語の両方がある住所行。
- **3** 範囲があるが接尾語のない住所行、接尾語があるが範囲のない住所行。
- **4** 地方配送路の住所行。
- **5** 個人名、企業名 (企業の単語なし)、未識別。
- **6** アパート タイプ行。
- **7** 可能性のある都市行。
- **8** 都市の行。
- **9** この行を無視。
- **B** 地方配送路の住所行の後ろにある私書箱の住所行。
- **M** 軍関係の住所行。
- **N** 最良の住所行 1、最良の住所行 2、都市、州、企業。URB および郵便番号は別々のフィールドに返されます。デフォルトは N です。
- **R** 私書箱行の前にある地方配送路の住所行。

オプション名	説明
# で始まる行を連結しない	# で始まる行を既存の住所行に連結しない場合は、 <b>【# で始まる行を連結しない】</b> チェックボックスをオンにします。
ピリオド (.) を有効な文字として認識しない	ピリオドを有効な文字として認識しない場合 (住所行をスキャンする前にピリオドを削除する必要がある場合)、 <b>【ピリオド (.) を有効な文字として認識しない】</b> チェックボックスをオンにします。
はみ出し行を連結しない	1 単語の行を住所行に連結しない場合は、 <b>【はみ出し行を連結しない】</b> チェックボックスをオンにします。
セカンダリまたは PMB を結合しない	分離されたセカンド ユニットと PMB 情報を結合しない場合は、 <b>【セカンダリまたは PMB を結合しない】</b> チェックボックスをオンにします。
企業名を特定しない	企業名処理を実行しない場合は、 <b>【企業名を特定しない】</b> チェックボックスをオンにします。
都市の下位区分を特定しない	都市化名 (Puerto Rico) 処理を実行しない場合は、 <b>【都市の下位区分を特定しない】</b> チェックボックスをオンにします。
最終行を特定しない	最終行 (都市、州、郵便番号) 処理を実行しない場合は、 <b>【最終行を特定しない】</b> チェックボックスをオンにします。

### ログ レベル オプション

Global Address Validation は、ログ レベル オプションを使用して、メッセージのログ記録を定義します。

表 10 : ログ レベル オプション

オプション名	説明
ログ レベル	<p>ログに記録するメッセージのレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• メッセージなし。</li> <li>• 深刻なメッセージ</li> <li>• エラー メッセージ</li> <li>• 警告メッセージ</li> <li>• 情報メッセージ</li> <li>• デバッグ メッセージ</li> </ul>

## 出力オプション

出力オプションの設定は、Global Address Validation の処理によって返される要素を定義します。

表 11 : 出力オプション

オプション名	説明						
パース済み住所	パース済み住所要素 (住所行 1、郵便番号、国など)。これらのフィールドのいくつかの意味は、国によって異なる場合があります。G/Z レベルの一致を返す場合は、[パース済み住所]を選択しないでください。						
入力住所	元の入力住所を返します。						
適合率	住所マッチの適合率を表すコードを返します。						
Country specific fields	国固有の出力情報を返します。						
結果コード	結果コード情報を返します。						
大文字と小文字の区別	住所は次のフォーマットで返されます。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"><b>混在</b></td> <td>出力データは大文字と小文字が混在するフォーマットで返されます。例えば、100 Main Street。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"><b>Lower</b></td> <td>出力データはすべて小文字で返されます。例えば、100 main street。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"><b>大文字</b></td> <td>出力データはすべて大文字で返されます。例えば、100 MAIN STREET。デフォルトは大文字です。</td> </tr> </table>	<b>混在</b>	出力データは大文字と小文字が混在するフォーマットで返されます。例えば、100 Main Street。	<b>Lower</b>	出力データはすべて小文字で返されます。例えば、100 main street。	<b>大文字</b>	出力データはすべて大文字で返されます。例えば、100 MAIN STREET。デフォルトは大文字です。
<b>混在</b>	出力データは大文字と小文字が混在するフォーマットで返されます。例えば、100 Main Street。						
<b>Lower</b>	出力データはすべて小文字で返されます。例えば、100 main street。						
<b>大文字</b>	出力データはすべて大文字で返されます。例えば、100 MAIN STREET。デフォルトは大文字です。						

## 入力

Global Address Validation は、住所を入力として使用します。すべての住所は、その住所の国に関係無くこのフォーマットを使用します。最大のパフォーマンスと最良の住所マッチを得るには、入力住所リストが可能な限り完全で、綴りの誤りや不完全な住所がなく、できる限り郵便当局の規格に従っている必要があります。多くの郵便当局が、その国の住所規格に関する情報を掲載した Web サイトを提供しています。

**注:** 国名または 2 文字か 3 文字の ISO 国コードは省略可能です。国名を省略すると、Global Address Validation は、**[デフォルト オプション]** タブで選択された **[デフォルト国]** に対して取得できる最も適切な候補を返します。ISO コードの一覧は、[ISO 国コードとコーダーサポート](#) (333ページ) を参照してください。

表 12 : Global Address Validation の入力

フィールド名	書式	説明
FirmName	文字列	会社名または場所の名前。例えば、PITNEY BOWES です。
AddressLine1	文字列	最初の住所行。例: 34 GLENVIEW ROAD MOUNT KURNING-GAI NSW 2080 AddressLine1 には、二重住所 (配達可能な複数の住所が含まれる) を含めることもできます。例えば、PO BOX 3220 STN C 181 QUEEN STREET OTTAWA ON K1Y1E4 という二重住所には、PO Box と通りの住所の両方が含まれます。
AddressLine2	文字列	2 番目の住所行 (USA のみ)。
AddressLine3	文字列	3 番目の住所行 (USA のみ)。
AddressLine4:	文字列	4 番目の住所行 (USA のみ)。
AddressLine5	文字列	5 番目の住所行 (USA のみ)。
AddressLine6	文字列	6 番目の住所行 (USA のみ)。
LastLine	文字列	住所の最終行。例: 34 GLENVIEW ROAD MOUNT KURNING-GAI NSW 2080  注 : Global Address Validation は、City や PostalCode などの個々の要素が指定されていない場合は、LastLine の情報のみを考慮します。
City	文字列	都市または町の名前。最良のマッチ結果を得るには、入力住所には正式な都市名を使用します。
CitySubdivision	文字列	国により、次のいずれかの名前。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 使用せず — AUS、AUT、BEL、CHE、DEU、DNK、FIN、FRA、IRL、MYS、NLD、NOR、POL、SWE</li> <li>• 散布エリア (DA) および列挙エリア (EA) — CAN</li> <li>• 地方 (Locality) — BRA、GBR、GRC、ITA、ESP</li> <li>• 郊外 (Suburb) — NZL</li> <li>• 都市化名 (Urbanization name) (プエルトリコ) — USA</li> </ul>

フィールド名	書式	説明
StateProvince	文字列	<p>国により、次の州または省の名前。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 使用せず — BEL、CHE、DNK、IRL、NLD、NOR</li> <li>• 連邦州 (<b>Bundesland</b>) — DEU</li> <li>• 州 (<b>Province</b>) — CAN</li> <li>• 県 (<b>Province</b>) (<b>voivodship</b>) — POL</li> <li>• 地域 (<b>Region</b>) — AUT、ESP、FRA、GBR、GRC、NZL</li> <li>• 地域 (<b>Region</b>) (<b>län</b>) — FIN</li> <li>• 地域 (<b>Region</b>) (<b>lan</b>) — SWE</li> <li>• 州 (<b>State</b>) — AUS、BRA、USA</li> <li>• 州 (<b>State</b>) (<b>negeri</b>) — MYS</li> </ul>
StateProvinceSubdivision	文字列	<p>国により、次の州または省の下位区分の名前。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 使用しない — AUT、BRA、CAN、FIN、GBR、MYS</li> <li>• 郡 (<b>Department</b>) — FRA</li> <li>• 地区 (<b>District</b>) — GRC</li> <li>• 郡 (<b>District</b>) (<b>fylke/counties</b>) — NOR</li> <li>• 地区 (<b>District</b>) (<b>poviat</b>) — POL</li> <li>• コミューン (<b>Kommun</b>) — SWE</li> <li>• 郡 (<b>Kreis</b>) — DEU</li> <li>• 地方自治体 (<b>Local Government Authority: LGA</b>) — AUS</li> <li>• 州 (<b>Province</b>) — BEL、CHE、DNK、ESP、IRL、ITA、NLD</li> <li>• 地方行政区画 (<b>Region</b>) — NZL</li> </ul>
PostalCode	文字列	各国の標準フォーマットで表記された郵便番号。
Country	文字列	<p>2または3文字のISO国コードで表される国名このフィールドはオプションです。国名を省略すると、Global Address Validation は、[デフォルト オプション] タブで選択された [デフォルト国] に対して取得できる最も適切な候補を返します。ISO コードの一覧は、<a href="#">ISO 国コードとコーダー サポート</a> (333ページ) を参照してください。</p>

## 出力

Global Address Validation の出力は、ユーザが選択した出力オプションによって決まります。

### 標準住所出力

標準住所出力は、宛名ラベルに表記される住所に対応する住所行で構成されます。都市、州または省、郵便番号などのデータも、標準住所出力に含まれます。

表 13 : 標準住所出力

フィールド名	書式	説明
AdditionalInputData	文字列	マッチングに使用されなかったその他の入力データです。
AddressBlock1-2	文字列	<p><b>AddressBlock</b> 出力フィールドには、正規化済み、または標準化済みの住所が、実際の郵便物に印刷される形式にフォーマットされて入ります。<b>Global Address Validation</b> は、郵便当局の規格に従って住所の書式を整え、住所ブロックの形式にします。住所の各行が、別々の住所ブロックフィールドに入れて返されます。最大2つの住所ブロック出力フィールド、<b>AddressBlock1</b> および <b>AddressBlock2</b> が使用されます。</p> <p><b>AddressBlock1</b> には以下の要素が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• PO Box — CAN、FRA、GBR</li> <li>• 企業名</li> <li>• Unit Number</li> <li>• Unit Type</li> <li>• 家番号</li> <li>• 通り名</li> </ul> <p><b>AddressBlock2</b> には以下の要素が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Locality</li> <li>• 都市</li> <li>• 郵便番号</li> <li>• County</li> <li>• 州</li> </ul> <p>例えば、以下の入力住所の場合、</p> <p>AddressLine1: 34 Glenview Road City: Mount Kurning-Gai StateProvince: NSW PostalCode: 2080</p> <p>以下の住所ブロックが出力されます。</p> <p>AddressBlock1: 34 Glenview Road AddressBlock2: Mount Kurning-Gai NSW 2080</p> <p>以下の例では、入力住所に PO Box (CAN、FRA、および GBR) が含まれ、[通りよりも私書箱を優先] オプションが選択されています。</p> <p>AddressLine1: 1 Great Lawn PO Box 10916 CM5 5AL</p> <p>以下の住所ブロックが出力されます。</p> <p>AddressBlock1: PO Box 10916 AddressBlock2: ONGAR CM5 5AL</p>

フィールド名	書式	説明
AddressBlock3-10	文字列	<p>米国の住所のその他の AddressBlock フィールドです。米国の住所の場合、AddressBlock1 から始まり、データには以下の要素が含まれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業名</li> <li>• URB 名</li> <li>• その他の住所行の情報</li> <li>• 必須の住所行の情報</li> <li>• 最終行</li> </ul>
AddressLine1	文字列	<p>最初の住所行。</p> <p>例: 34 GLENVIEW ROAD MOUNT KURNING-GAI NSW 2080</p> <p>二重住所の例では、<b>PO BOX 3220 STN C 181 QUEEN STREET OTTAWA ON K1Y1E4</b> という住所に PO Box と通りの住所の両方が含まれています。</p> <p>[通りよりも私書箱を優先] オプションが有効になっている場合、このフィールドには <b>PO BOX 3220 STN C</b> が表示されます。</p> <p>[通りよりも私書箱を優先] オプションが無効になっている場合、このフィールドには <b>181 QUEEN STREET</b> が表示されます。</p> <p>Global Address Validation では、以下の国の PO Box マッチングがサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• カナダ (CAN)</li> <li>• フランス (FRA)</li> <li>• 英国 (GBR)</li> <li>• 米国 (USA)</li> </ul>
AddressLine2	文字列	2 番目の住所行 ( <b>USA のみ</b> )。
ApartmentLabel	文字列	アパートや住宅の種類。例: 39 Acacia Avenue Flat <b>B</b> 。
ApartmentNumber	文字列	アパートや住宅の番号。例: 39 Acacia Avenue Flat <b>B</b> 。
建物	文字列	建物の名前。
City	文字列	都市または町の名前。最良のマッチ結果が得られるように、入力住所には正式な都市名を使用してください。



フィールド名	書式	説明
City.Matched	文字列	都市マッチのステータス。 <b>True</b> 都市名がマッチしました。 <b>False</b> 都市名がマッチしませんでした。
CitySubdivision	文字列	国により、次のいずれかの名前。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 使用せず — AUS、AUT、BEL、CHE、DEU、DNK、FIN、FRA、IRL、MYS、NLD、NOR、POL、SWE</li> <li>• 散布エリア (DA) および列挙エリア (EA) — CAN</li> <li>• 地方 (Locality) — BRA、GBR、GRC、ITA、ESP</li> <li>• 郊外 (Suburb) — NZL</li> <li>• 都市化名 (Urbanization name) (プエルトリコ) — USA</li> </ul>
CitySubdivision.Matched	文字列	都市の下位区分のマッチのステータス。 <b>True</b> 都市の下位区分がマッチしました。 <b>False</b> 都市の下位区分がマッチしませんでした。
Confidence	文字列	返された住所に割り当てられた確信レベル。範囲は0 ~ 100 です。0 は失敗を表します。100 はマッチ結果が正しいことに対する確信レベルが非常に高いことを表します。
Country	文字列	国が、言語または [国フォーマット] オプションで指定されたコードで入ります。ISO コードの一覧は、 <a href="#">ISO 国コードとコーダー サポート (333ページ)</a> を参照してください。
Country specific fields	文字列	国固有の出力情報。国固有の出力情報を出力に含めるには、 <b>[国固有のフィールド]</b> 出力オプションをオンにします。
FirmName	文字列	会社名。
Firmname.Matched	文字列	企業名のマッチのステータス。 <b>True</b> 企業名がマッチしました。 <b>False</b> 企業名がマッチしませんでした。
HouseNumber	文字列	家番号または PO Box 番号 (CAN、FRA、UK)。例: <b>39 Acacia Avenue or PO Box 3220</b> 。

フィールド名	書式	説明
Housenumber.Matched	文字列	家番号のマッチのステータス。 <b>True</b> 家番号がマッチしました。 <b>False</b> 家番号がマッチしませんでした。
LeadingDirectional	文字列	接頭方向指示。例えば、123 E Main St Apt 3 の "123"。
MatchOnAllStreetFields	文字列	すべての通り フィールドのマッチのステータス。 <b>True</b> すべての通り フィールドがマッチしました。 <b>False</b> すべての通り フィールドがマッチしませんでした。
MatchOnStreetDirectional	文字列	通り方位記号のマッチのステータス。 <b>True</b> 通り方位記号がマッチしました。 <b>False</b> 通り方位記号がマッチしませんでした。
MatchScore	文字列	将来使用するために予約されています。
MultimatchCount	文字列	住所が参照データ内の複数の候補住所と一致した場合、このフィールドには一致した候補の数が含まれます。
PostalCode	文字列	住所の郵便番号。郵便番号のフォーマットは国によって異なります。
PostalCode.AddOn	文字列	郵便番号の 2 番目の部分。ほとんどの国ではこのフィールドを使用しません。
Postalcode.Matched	文字列	郵便番号のマッチのステータス。 <b>True</b> 郵便番号がマッチしました。 <b>False</b> 郵便番号がマッチしませんでした。
Principality	文字列	国内の地域。例えば、イングランド、スコットランド、ウェールズは公国です。このフィールドは、通常は空白です。
ProcessedBy	文字列	Global Addressing モジュールのステージ名。

フィールド名	書式	説明
結果コード	文字列	フィールドレベルの結果コード。フィールドレベルの結果コードは、各住所要素をどのように処理したかを示します。フィールドレベルの結果コードは、修飾子 "Result" で返されます。例えば、City のフィールドレベルの結果コードは City.Result に格納されます。結果コードの出力フィールドの全一覧については、「結果コード」を参照してください。
StateProvince	文字列	<p>国により、次のいずれかの州または省の名前。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 使用せず — BEL、CHE、DNK、IRL、NLD、NOR</li> <li>• 連邦州 (<b>Bundesland</b>) — DEU</li> <li>• 州 (<b>Province</b>) — CAN</li> <li>• 県 (<b>Province</b>) (<b>voivodship</b>) — POL</li> <li>• 地域 (<b>Region</b>) — AUT、ESP、FRA、GBR、GRC、NZL</li> <li>• 地域 (<b>Region</b>) (<b>län</b>) — FIN</li> <li>• 地域 (<b>Region</b>) (<b>lan</b>) — SWE</li> <li>• 州 (<b>State</b>) — AUS、BRA、USA</li> <li>• 州 (<b>State</b>) (<b>negeri</b>) — MYS</li> </ul>
StateProvince.Matched	文字列	<p>州または省のマッチのステータス。</p> <p><b>True</b>            州または省がマッチしました。</p> <p><b>False</b>           州または省がマッチしませんでした。</p>
StateProvinceSubdivision	文字列	<p>国により、次の州または省の下位区分の名前。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 使用しない — AUT、BRA、CAN、FIN、GBR、MYS</li> <li>• 郡 (<b>County</b>) — USA</li> <li>• 郡 (<b>Department</b>) — FRA</li> <li>• 地区 (<b>District</b>) — GRC</li> <li>• 郡 (<b>District</b>) (<b>fylke/counties</b>) — NOR</li> <li>• 地区 (<b>District</b>) (<b>poviat</b>) — POL</li> <li>• コミューン (<b>Kommun</b>) — SWE</li> <li>• 郡 (<b>Kreis</b>) — DEU</li> <li>• 地方自治体 (<b>Local Government Authority: LGA</b>) — AUS</li> <li>• 州 (<b>Province</b>) — BEL、CHE、DNK、ESP、IRL、ITA、NLD</li> <li>• 地方行政区画 (<b>Region</b>) — NZL</li> </ul>

フィールド名	書式	説明
StateProvinceSubdivision.Matched	文字列	州または省の下位区分のマッチのステータス。 <b>True</b> 州または省の下位区分がマッチしました。 <b>False</b> 州または省の下位区分がマッチしませんでした。
StreetName	文字列	不動産が存在する通りの名前、またはPO Boxにマッチした入力レコードを示す "PO Box"。例: 123 E Main St または PO Box 3220。
StreetName.Matched	文字列	通り名のマッチのステータス。 <b>True</b> 通り名がマッチしました。 <b>False</b> 通り名がマッチしませんでした。
StreetType	文字列	通りの種類。例えば、123 E Main St Apt 3 の "123"。また、123 E Main Ave Apt 3 の "Ave" です。この2つはまったく別の通りです。通りの種類を使用すると、データの適合率が高まります。
StreetType.Matched	文字列	通りの種類のマッチのステータス。 <b>True</b> 通りの種類がマッチしました。 <b>False</b> 通りの種類がマッチしませんでした。
TrailingDirectional	文字列	接尾方向指示。例えば、123 Pennsylvania Ave NW の "NW"。
VendorCode	文字列	ベンダーコード。このフィールドは、"国固有のフィールド" という出力オプションを選択した場合のみ存在します。

### パース済み入力

Global Address Validation の出力には、パース済み形式の入力住所を含めることができます。このようなタイプの出力は、"パース済み入力" と呼ばれます。パース済み入力フィールドには、Global Address Validation が住所を検証したかどうかにかかわらず、入力として使用された住所データが含まれます。住所が郵便番号/都市レベルで検証される場合、この情報は存在しません。住所が通りレベルで検証された場合に存在します。パース済み入力フィールドを出力に含めるには、[パース済み住所] 出力オプションを選択します。

表 14 : パース済み入力

フィールド名	書式	説明
DualAddressParsed.Input	文字列	<p>二重住所とは、配達可能な住所が複数含まれる住所のことです。例えば、PO Box と通りの住所の両方が含まれる住所は二重住所と見なされます。二重住所行が入力されると、このフィールドには AddressBlock1 で使用されない住所行が含まれます。</p> <p>PO Box (CAN、FRA、および UK) と通りの住所が入力され、[通りよりも私書箱を優先] オプションが有効になっている場合、AddressLine1 フィールドと AddressBlock1 フィールドに PO Box 番号が返されて、DualAddressParsed.Input フィールドには通りの住所が返されます。</p> <p>PO Box (CAN、FRA、および UK) と通りの住所が入力され、[通りよりも私書箱を優先] オプションが無効になっている場合、AddressLine1 フィールドと AddressBlock1 フィールドに通りの住所が返されて、DualAddressParsed.Input フィールドには PO Box が返されます。</p>
ParsedAddressLine1.Input	文字列	<p>入力に渡される 1 番目の住所行。</p> <p>一部の国では (CAN、FRA、および UK)、[通りよりも私書箱を優先] オプションが有効になっていると、このフィールドに PO Box が含まれます。</p>
ParsedApartmentLabel.Input	文字列	入力に渡されるユニット指定子。
ParsedApartmentNumber.Input	文字列	入力に渡されるユニット番号。
ParsedCity.Input	文字列	入力に渡される都市/地方/郊外の名前。
ParsedCitySubdivision.Input	文字列	入力に渡される都市化名。
ParsedCountry.Input	文字列	入力に渡される国。
ParsedHouseNumber.Input	文字列	入力に渡される家番号。例えば、123 E Main St Apt 3 の "123"。
ParsedPlaceName.Input	文字列	入力に渡される場所名または企業名。
ParsedPostCodeAddOn.Input	文字列	入力に渡される郵便番号の 2 番目の部分。ほとんどの国ではこのフィールドを使用しません。

フィールド名	書式	説明
ParsedPostCodeBase.Input	文字列	入力に渡される郵便番号。 一部の国では、このフィールドに郵便番号の最初の部分が含まれ、 <b>ParsedPostCodeAddOn.Input</b> に郵便番号の 2 番目の部分が含まれません。
ParsedPostStreetType.Input	文字列	入力に渡される通りの種類。例えば、123 E Main St Apt 3 の <b>"123"</b> 。
ParsedPreStreetType.Input	文字列	入力に渡される前置方位記号の種類。例えば、123 E Main St Apt 3 の <b>"123"</b> 。
ParsedStateProvince.Input	文字列	国により、入力に渡されるいずれかの州または省の名前。
ParsedStateProvinceSubdivision.Input	文字列	入力に渡される下位区分。

### 適合率

Global Address Validation の出力には、入力住所の住所マッチの適合率を表す適合率コードを含めることができます。適合率コードを出力に含めるには、**[適合率]** 出力オプションを選択します。

注：マッチ分析レポートの "適合率コード数" セクションは、"適合率" 出力オプションをオンにした時にのみ表示されます。

表 15 : 適合率

フィールド名	書式	説明
PrecisionCode	文字列	

フィールド名	書式	説明
		住所マッチの適合率を表すコード。
		Z カテゴリの一致は、マッチングが郵便番号レベルで成立したことを示します。
	<b>Z1</b>	ZIP Code™ または郵便番号 1 に一致。
	<b>Z2</b>	ZIP + 2 に一致または郵便番号 2 に部分一致。
	<b>Z3</b>	ZIP + 4® または郵便番号 2 に一致。
		G カテゴリの一致は、レコードがエリア名に一致したことを意味します。
	<b>G1</b>	州/省 (エリア名 1) に一致。
	<b>G2</b>	国/地域 (エリア名 2) に一致。
	<b>G3</b>	都市/町 (エリア名 3) に一致。
	<b>G4</b>	郊外/村 (エリア名 4) に一致。
		B カテゴリの一致は、レコードが PO Box に一致したことを意味します。
	<b>B1</b>	未検証の PO Box に一致。レコードを PO Box として識別するのに十分な情報がありますが、PO Box 番号が有効かどうかを判断するのに十分な情報はありません。
	<b>B2</b>	検証済みの PO Box に一致。
		S カテゴリの一致は、レコードが単一の住所候補に一致したことを意味します。
	<b>S0</b>	一切の座標が利用できない単一致。これはきわめてまれにしか発生しません。住所の一部がソースデータと一致した可能性があります。
	<b>S1</b>	ZIP Code™ または郵便番号 1 レベルに単一致。Z1 の結果と同じ品質の一致です。
	<b>S2</b>	ZIP + 2 に単一致または郵便番号 2 レベルに部分一致。Z2 の結果と同じ品質の一致です。
	<b>S3</b>	ZIP + 4® または郵便番号 2 レベルに単一致。Z3 の結果と同じ品質の一致です。
	<b>S4</b>	通りレベルに単一致。
	<b>S5</b>	通りの住所に単一致。通りセグメント データしか使用できないため、この補間の精度は S7 で返される結果ほど高くはありません。S5 コードの後に、マッチングの精度を示す文字とダッシュが設定されます。
	<b>S6</b>	ZIP セントロイドにポイントが位置付けられた単一致。



フィールド名	書式	説明
		<b>S7</b> 家屋の間を補間して得られた通りの住所に単一致。
		<b>S8</b> 通りの住所または家番号に単一致。
		<b>SC</b> 最も近いセグメントから予測された家レベルに単一致。
		<b>SG</b> 地方 (areaName3) の中心部、または地形特性から導き出された地方レベルのジオコードにポイントが位置付けられた単一致。SG 結果コードは、GNAF 信頼レベル 5 (地方または近隣) またはレベル 6 (特定の地域) に関連付けられます。(オーストラリアの住所のみ)
		<b>SL</b> 地方下位区分(ブロックまたはセクター)の通りレベルに単一致。SL 結果コードは、他の地理的な入力フィールド(都市、地区、または州)の一致も必要とします。(インドの住所のみ)
		<b>SX</b> 交差点にポイントが位置付けられた単一致。

適合率コード S (通り一致) は、追加の 8 文字により、住所がデータベース内の住所にどの程度一致するかを示します。文字は、次のような順序で並びます。

例えば、S5--N-SCZA という結果コードは、通り名、後置方位記号、都市名、および郵便番号が一致する単一致を意味します。ダッシュは、家番号、前置方位記号、および大通りタイプにマッチングがないことを示します。一致する候補は、通り範囲住所データベースで見つかりました。このレコードは、見つかった候補の通り住所のレベルに一致します。

フィールド名	書式	説明
		<b>H</b> 家番号の一致。
		<b>P</b> 通りの前置方位記号。P は、次の条件が 1 つでも満たされた場合に示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>候補の前置方位記号が、入力の前置方位記号と一致する。</li> <li>前置方位記号と後置方位記号を入れ替えると、候補の後置方位記号と入力の前置方位記号が一致する。</li> <li>入力に前置方位記号が含まれない。</li> </ul>
		<b>N</b> 通り名の一致。
		<b>T</b> 通り/大通り タイプの一致。
		<b>S</b> 通りの後置方位記号。 <ul style="list-style-type: none"> <li>候補の後置方位記号が、入力の後置方位記号に一致する。</li> <li>前置方位記号と後置方位記号を入れ替えると、候補の前置方位記号と入力の後置方位記号が一致する。</li> <li>入力に後置方位記号が含まれない。</li> </ul>
		<b>C</b> 都市または町の名前。
		<b>Z</b> 郵便番号の一致。
		<b>A</b> Addressing データセットの一致
		<b>U</b> カスタム ユーザ辞書の一致

### 単一一致の 'S' 適合率コード

以下の表に、国別の s カテゴリ適合率コードのサポート状況を示します。's' 適合率コードの詳細については、「[表 15: 適合率 \(55ページ\)](#)」を参照してください。こうした説明は大多数の国に当てはまります。オーストラリアおよびカナダの例外は、この表に続くセクションに記載されています。

黒丸 "•" は s コードがサポートされていることを示します。空欄は s コードがサポートされていないことを示します。

国名	S8	S7	S6	S5	S4	S3	S2	S1	S0	SX	SC	SG	SL
オーストラリア (AUS)	•	•		•	•				•			•	
カナダ (CAN)	•	•		•	•	•		•	•		•		

国名	S8	S7	S6	S5	S4	S3	S2	S1	S0	SX	SC	SG	SL
デンマーク (DNK)	•	•		•	•					•			
ドイツ (DEU)	•	•		•	•					•			
英国 (GBR)	•	•		•	•				•	•			
インド (IND)	•				•								•
ニュージーランド (NZL)	•	•		•	•					•			
その他すべての 国々	•	•		•	•				•	•	•		

### オーストラリアー 'S' 適合率コードの説明

以下の表は、オーストラリアの 'S' 適合率コードを説明したものです。

結果コード	説明
S8	住所ポイント候補に関連付けられた単一ポイント、または家番号が同一の住所ポイント候補にポイントが位置付けられた単一一致。補間は必要ありません。
S8.....G	S8.....G 結果コードは GNAF 信頼レベル 1 または 2 (最高レベルの GNAF 信頼度) の単一一致を表すために使用されます。
S7	候補の通りセグメント沿いの補間ポイントに位置付けられた単一一致。潜在的な候補が住所ポイント候補ではなく、他の住所ポイント候補には家番号が正確に一致するものがない場合、S7 の結果コードが住所ポイント補間を使って返されます。

結果コード	説明
S7.....G	S7.....G 結果コードは GNAF 信頼レベル 3 の単一一致を表すために使用されます。
S5	通り住所の位置にポイントが位置付けられた単一一致。
S4	形状ポイント パスの中心にポイントが位置付けられた、単一一致 (形状ポイントによって通りのポリラインの形状が定義されます)。
S4.....G	S4.....G 結果コードは、独自の道路特性に基づく GNAF 信頼レベル 4 での単一一致を表すために使用されます。
S0	一切の座標が利用できない単一一致 (きわめてまれにしか発生しません)。
SX	交差点にポイントが位置付けられた単一一致。
SC	元のポイントが関連通り セグメントに向かう方向またはそのセグメントから離れる方向に (通常は垂線に沿って) 指定の距離だけ移動された単一一致。この結果コードを返すことができるのは、ポイント ジオコーディング データセットと通り セグメント ジオコーディング データセットの両方が使用可能、かつ中心線オフセット機能が使用されている場合に限られます。
SG	地方 (areaName3) の中心部、または地形特性から導き出された地方レベルのジオコードにポイントが位置付けられた単一一致。SG 結果コードは、GNAF 信頼レベル 5 (地方または近隣) またはレベル 6 (特定の地域) に関連付けられます。

### カナダ - 'S' 適合率コードの説明

以下の表に、カナダの 's' 適合率コードの説明を示します。

結果コード	説明
通りレベルでジオコーディングされた候補は、文字 S で始まる結果コードを返します。コードの 2 番目の位置は、ジオコーディングされたレコードの結果ポイントの位置的な精度を示します。	
S8	住所ポイント候補に関連付けられた単一ポイント、または家番号が同一の住所ポイント候補にポイントが位置付けられた単一一致。補間は必要ありません。
S7	候補の通り セグメント沿いの補間ポイントに位置付けられた単一一致。潜在的な候補が住所ポイント候補ではなく、他の住所ポイント候補には家番号が正確に一致するものがない場合、S7 の結果コードが住所ポイント補間を使って返されます。

結果コード	説明
S5	通り住所の位置にポイントが位置付けられた単一一致。
S4	形状ポイント パスの中心にポイントが位置付けられた、単一一致 (形状ポイントによって通りのポリラインの形状が定義されます)。
S3	FSALDU の郵便セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。
S1	FSA の郵便セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。
S0	一切の座標が利用できない単一一致 (きわめてまれにしか発生しません)。
SC	元のポイントが関連通り セグメントに向かう方向またはそのセグメントから離れる方向に (通常は垂線に沿って) 指定の距離だけ移動された単一一致。この結果コードを返すことができるのは、ポイント ジオコーディング データセットと通り セグメント ジオコーディング データセットの両方が使用可能、かつ中心線オフセット機能が使用されている場合に限られます。

### 結果コード

結果コードは、Global Address Validation が米国の住所をどのように処理したかに関する情報を示します。

表 16 : 結果コード

フィールド名	書式	説明
ApartmentLabel.Result	文字列	<p>アパート指定子 (例: STE や APT) の結果コード。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 入力フィールドは空と見なされました。</li> <li><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。</li> <li><b>C</b> 修正済み。</li> <li><b>D</b> ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。</li> <li><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチしました。マッチした各レコードのこのフィールドの値が異なります。</li> <li><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</li> <li><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</li> </ul>
ApartmentNumber.Result	文字列	<p>アパート番号 (例: Apt 3) の結果コード。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 入力フィールドは空と見なされました。</li> <li><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。</li> <li><b>C</b> 修正済み。</li> <li><b>D</b> ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。</li> <li><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチしました。マッチした各レコードのこのフィールドの値が異なります。</li> <li><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</li> <li><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</li> </ul>

フィールド名	書式	説明
City.Result	文字列	<p>妥当性が確認された都市名の結果コード。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 入力フィールドは空と見なされました。</li> <li><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。</li> <li><b>C</b> 修正済み。</li> <li><b>D</b> ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。</li> <li><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチしました。マッチした各レコードのこのフィールドの値が異なります。</li> <li><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</li> <li><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</li> </ul>
CitySubdivision.Result	文字列	<p>妥当性が確認された都市の都市化名の結果コード。主にプエルトリコの住所で使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 入力フィールドは空と見なされました。</li> <li><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。</li> <li><b>C</b> 修正済み。</li> <li><b>D</b> ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。</li> <li><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチしました。マッチした各レコードのこのフィールドの値が異なります。</li> <li><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</li> <li><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</li> </ul>

フィールド名	書式	説明
FirmName.Result	文字列	<p>妥当性が確認された企業名の結果コード。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 入力フィールドは空と見なされました。</li> <li><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。</li> <li><b>C</b> 修正済み。</li> <li><b>D</b> ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。</li> <li><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチしました。マッチした各レコードのこのフィールドの値が異なります。</li> <li><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</li> <li><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</li> </ul>
HouseNumber.Result	文字列	<p>家番号 (例: <b>123 E Main St Apt 3</b>) の結果コード。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 入力フィールドは空と見なされました。</li> <li><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。</li> <li><b>C</b> 修正済み。</li> <li><b>D</b> ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。</li> <li><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチしました。マッチした各レコードのこのフィールドの値が異なります。</li> <li><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</li> <li><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</li> </ul>



フィールド名	書式	説明
LeadingDirectional.Result	文字列	<p>接頭方向指示 (例: 123 <b>E</b> Main St Apt 3) の結果コード。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 入力フィールドは空と見なされました。</li> <li><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。</li> <li><b>C</b> 修正済み。</li> <li><b>D</b> ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。</li> <li><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチしました。マッチした各レコードのこのフィールドの値が異なります。</li> <li><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</li> <li><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</li> </ul>
POBox.Result	文字列	<p>郵便局の私書箱番号の結果コード。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空白 不適用。</li> <li><b>C</b> 修正済み。</li> <li><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</li> <li><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</li> </ul>
PostalCode.Result	文字列	<p>郵便番号の結果コード。米国式の住所の場合に、ZIP Code と呼びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空白 不適用。</li> <li><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。</li> <li><b>C</b> 修正済み。</li> <li><b>D</b> ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。</li> <li><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチしました。マッチした各レコードのこのフィールドの値が異なります。</li> <li><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</li> <li><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</li> </ul>

フィールド名	書式	説明
PostalCode.Source	文字列	郵便番号ソースの結果コード。 空白 不適用。 <b>ZIPMOVE</b> 入力住所の ZIP Code™ は、USPS® が改訂した ZIP Code™ 境界に基づいて修正され、住所に別の ZIP Code™ が設定されました。
PostalCode.Type	文字列	郵便番号タイプの結果コード。 空白 不適用。 <b>P</b> 私書箱のみ。 <b>U</b> ユニーク ZIP Code™。 <b>M</b> 軍施設の ZIP Code™。
RRHC.Result	文字列	地方配送路/幹線請負契約のインジケータの結果コード。 空白 不適用。 <b>C</b> 修正済み。 <b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。 <b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。
RRHC.Type	文字列	地方配送路/幹線請負契約のインジケータの結果コード。 空白 不適用。 <b>HC</b> 幹線請負契約ルート。 <b>RR</b> 地方配送路。

フィールド名	書式	説明
StateProvince.Result	文字列	<p>州または省の名前の結果コード。</p> <p><b>空白</b> 不適用。</p> <p><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。</p> <p><b>C</b> 修正済み。</p> <p><b>D</b> ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。</p> <p><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。</p> <p><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</p> <p><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>
StreetName.Alternate.Type	文字列	<p>代替通り名タイプ</p> <p><b>空白</b> 不適用。</p> <p><b>A</b> エイリアス (その他)。</p> <p><b>B</b> 基本の通り。</p> <p><b>D</b> 代替通り。</p> <p><b>P</b> 優先するエイリアス。</p> <p><b>X</b> 省略形エイリアス。</p>

フィールド名	書式	説明
StreetName.Result	文字列	<p>通り名 (例: 123 E Main <b>St</b> Apt 3) の結果コード。</p> <p><b>空白</b> 不適用。</p> <p><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。</p> <p><b>C</b> 修正済み。</p> <p><b>D</b> ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。</p> <p><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。</p> <p><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</p> <p><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>
StreetName.Type	文字列	<p>通り名タイプ。</p> <p><b>空白</b> 不適用。</p> <p><b>A</b> エイリアス (その他)。</p> <p><b>B</b> 基本の通り。</p> <p><b>D</b> 代替通り。</p> <p><b>P</b> 優先するエイリアス。</p> <p><b>X</b> 省略形エイリアス。</p>

フィールド名	書式	説明
StreetSuffix.Result	文字列	<p>通り名 (例: 123 E Main <b>St</b> Apt 3) の結果コード。</p> <p><b>空白</b> 不適用。</p> <p><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。</p> <p><b>C</b> 修正済み。</p> <p><b>D</b> ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。</p> <p><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチしました。マッチした各レコードのこのフィールドの値が異なります。</p> <p><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</p> <p><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>
TrailingDirectional.Result	文字列	<p>接尾方向指示 (例: 123 Pennsylvania Ave <b>NW</b>) の結果コード。</p> <p><b>空白</b> 不適用。</p> <p><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。</p> <p><b>C</b> 修正済み。</p> <p><b>D</b> ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。</p> <p><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチしました。マッチした各レコードのこのフィールドの値が異なります。</p> <p><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</p> <p><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>

## 入力住所

Global Address Validation の出力には、入力住所を含めることができます。入力住所を含めるには、**[入力住所]** 出力オプションを選択します。

表 17 : 入力住所

フィールド名	書式	説明
AddressLine1.Input	文字列	入力に渡される 1 番目の住所行。
AddressLine2.Input	文字列	入力に渡される 2 番目の住所行 (USA のみ)。
City.Input	文字列	入力に渡される都市/地方/郊外の名前。
CitySubdivision.Input	文字列	入力に渡される都市/町の下位区分。
LastLine.Input	文字列	入力に渡される最終行。
StateProvince.Input	文字列	入力に渡される州/省。
StateProvinceSubdivision.Input	文字列	入力に渡される州/省の下位区分。
PostalCode.Input	文字列	入力に渡される郵便番号。
Country.Input	文字列	入力に渡される国。
FirmName.Input	文字列	入力に渡される会社名。

### 国固有のフィールド

Global Address Validation の出力には、国固有のフィールドを含めることができます。国固有のフィールドを出力に含めるには、**[国固有のフィールド]** 出力オプションを選択します。

表 18 : オーストラリア (AUS) の国固有のフィールド

フィールド名	書式	説明
AUS.Parcel.ID	文字列	GNAF 小区画識別子。
AUS.Pid	文字列	GNAF Persistent Identifier (GNAF PID) は、GNAF の住所を一意に定義する 14 文字の英数字からなる文字列です。PID は GNAF Dictionary の主要な住所フィールドの組み合わせから構成されています。例: <b>GAACT718519668</b> 。

フィールド名	書式	説明
AUS.Principal.Pid	文字列	主要住所の Persistent Identifier。
AUS.Address.Class	文字列	GNAF 住所区分。
AUS.SA1	文字列	GNAF Statistical Area Level 1 (SA1) 識別子。
AUS.Level.Number	文字列	多層建築の階またはレベルの番号。例えば、Floor 2, 17 Jones Street の "Floor 2"。

表 19 : カナダ (CAN) の国固有のフィールド

フィールド名	書式	説明
CAN.Census.CD	文字列	住所がある場所の CD (Census Division)。Census Divisions の詳細については、Statistics Canada Web サイトの <a href="http://www12.statcan.ca/english/census01/Products/Reference/dict/geo008.htm">http://www12.statcan.ca/english/census01/Products/Reference/dict/geo008.htm</a> を参照してください。
CAN.Census.CMA	文字列	住所がある場所の CMA (Census Metropolitan Area)。Census Metropolitan Area の詳細については、Statistics Canada Web サイトの <a href="http://www12.statcan.ca/english/census01/Products/Reference/dict/geo009.htm">http://www12.statcan.ca/english/census01/Products/Reference/dict/geo009.htm</a> を参照してください。
CAN.Census.CSD	文字列	住所がある場所の CSD (Census Subdivision)。Census Subdivisions の詳細については、Statistics Canada Web サイトの <a href="http://www12.statcan.ca/english/census01/Products/Reference/dict/geo012.htm">http://www12.statcan.ca/english/census01/Products/Reference/dict/geo012.htm</a> を参照してください。
CAN.Census.CT	文字列	住所がある場所の CT (Census Tract)。Census Tract の詳細については、Statistics Canada Web サイトの <a href="http://www12.statcan.ca/english/census01/Products/Reference/dict/geo013.htm">http://www12.statcan.ca/english/census01/Products/Reference/dict/geo013.htm</a> を参照してください。

フィールド名	書式	説明
CAN.Census.DA	文字列	住所がある場所の DA (Dissemination Area)。Dissemination Area の詳細については、Statistics Canada Web サイトの <a href="http://www12.statcan.ca/english/census01/Products/Reference/dict/geo021.htm">http://www12.statcan.ca/english/census01/Products/Reference/dict/geo021.htm</a> を参照してください。

表 20 : インド (IND) の国固有のフィールド

フィールド名	書式	説明
IND.Is.Rural	文字列	住所が農村部 (村) にあるかどうかを示します。
IND.POI.Category	文字列	POI (ポイント情報) カテゴリ。銀行、ATM、レストランといった POI の種類を表すフィールドです。
IND.ExtendedResultCode	文字列	ブロック情報。
IND.SUBLOCALITY	文字列	地方の下のレベルの行政区分。

表 21 : アイルランド (IRL) 国固有のフィールド

フィールド名	書式	説明
IRL.Eircode	文字列	住所の EircodeEircode は、7 文字の英数字コードで、2 つの部分に分かれています。  ルーティング キー 最初の 3 文字は、主要な郵便配達地域を定義します。  一意 ID 最後の 4 文字は、個々の個人住所や勤務先住所を一意に識別します。

表 22 : イタリア (ITA) の国固有のフィールド

フィールド名	書式	説明
ITA.Historical.Postcode	文字列	この住所の以前の郵便番号。



表 23 : 日本 (JAP) の国固有のフィールド

フィールド名	書式	説明
JPN.BANCHI	文字列	番地。
JPN.CHOMOKU	文字列	丁目 (街区番号)。
JPN.CHOOAZA	文字列	町・大字。
JPN.GO	文字列	号 (家番号)。
JPN.JUSHO CODE	文字列	一意の住所を表すポイント ID。

表 24 : オランダ (NLD) の国固有のフィールド

フィールド名	書式	説明
NLD.EXTENED_POST_CODE	文字列	6 桁の郵便番号。出力は、候補の 6 桁の郵便番号を含みます (存在する場合)。

表 25 : ニュージーランド (NZL) の国固有のフィールド

フィールド名	書式	説明
NZL.Aliased.SUBURB	文字列	ニュージーランドの郊外のエイリアス。正式に認識されている郊外名の代替名。

表 26 : 英国 (GBR) の国固有のフィールド

フィールド名	書式	説明
GBR.DependentStreet.Name	文字列	英国の住所には、主通り名と従属通り名という 2 つの通り名が含まれることがあります。住所によっては通り名がまったく含まれないものもあります。
GBR.Dependent.Locality	文字列	従属地方名。従属地方は大きな村または地区です。例えば、 <b>Wimbledon</b> 。

フィールド名	書式	説明
GBR.DoubleDependent.Locality	文字列	二重従属地方名。二重従属地方は小さな村または小区域です。
GBR.Historic.Postcode	文字列	新しい郵便番号で置き換えられている古い郵便番号が入力住所に含まれていた場合、このフィールドには古い郵便番号が格納されます。
GBR.Aliased.Locality	文字列	郵便住所には含まれない地方です。
GBR.OSAPR	文字列	Ordnance Survey Address Point Reference (OSAPR)。各住所に固有の OSAPR があります。OSAPR は常に 18 文字の長さであり、文字列 AP で始まる必要があります。
GBR.UPRN	文字列	Unique Property Reference Number。UPRN は、不動産の名前、ステータス、従属する地区、利用法 (単独居住から複数居住など) が変更されたり、不動産が解体されたりしても、一意の不動産を永続的に参照する一意の識別子です。歴史的住所、代替住所、暫定住所のすべてが同じ UPRN に対して記録されます。UPRN フィールドは、北アイルランドの住所に対しては返されません。
GBR.RPC	文字列	RPC は、候補の位置的な精度を表します。RPC は、住所に割り当てられる座標の精度を示します。

表 27 : 米国 (USA) の国固有のフィールド

フィールド名	書式	説明
USA.AbbreviatedCityName	文字列	都市名の省略形。

フィールド名	書式	説明
USA.AddressLocation	文字列	<p>住所情報が見つかった場所。</p> <p><b>01</b> 入力住所が住所行 1 で見つかりました。</p> <p><b>02</b> 入力住所が住所行 2 で見つかりました。</p> <p><b>03</b> 入力住所が住所行 1 と 3 で見つかりました。</p> <p><b>04</b> 企業が入力住所行 1 で見つかりました。住所行が見つかりません。</p> <p><b>06</b> 入力住所が住所行 2 で見つかりました。企業が住所行 1 で見つかりました。</p> <p><b>08</b> 企業が入力住所行 2 で見つかりました。住所行が見つかりません。</p> <p><b>09</b> 入力住所が住所行 1 で見つかりました。企業が住所行 2 で見つかりました。</p> <p><b>80</b> 住所行が見つかりません。</p>
USA.AdvancedBarcode	文字列	返される 14 桁のバーコード。開始フレーム文字、ZIP Code、ZIP + 4、配達ポイント、チェック デジット、および終了フレーム文字で構成されます。
USA.AltStreet	文字列	返される代替通り名。
USA.AltStreetType	文字列	<p>返される代替通り名タイプ。</p> <p><b>B</b> 基本の通り。</p> <p><b>A</b> エイリアス (その他)。</p> <p><b>D</b> 代替通り。</p> <p><b>P</b> 優先するエイリアス。</p> <p><b>X</b> 省略形エイリアス。</p>
USA.Apartment1	文字列	住所の最初のアパート (ユニット) フィールド。このフィールドは出力に使用されます。このフィールドは、 <b>[単位を別のフィールドに保存]</b> が選択されている場合にのみ設定されます。選択されている場合、データは AddressLineX フィールドには含まれません。

フィールド名	書式	説明
USA.Apartment2	文字列	住所の 2 番目のアパート (ユニット) フィールド。このフィールドは出力に使用されます。このフィールドは、 <b>[単位を別のフィールドに保存]</b> が選択されている場合にのみ設定されます。選択されている場合、データは <b>AddressLineX</b> フィールドには含まれません。
USA.BCCheckDigit	文字列	正しいバーコードの印刷に必要な、有効な 1 桁のモジュロ チェック デジット。
USA.CarrierRouteCode	文字列	返される配達ルート コード。
USA.CASSAddressLine1	文字列	正常にコード化された住所では、出力ラベル行 <b>Address Line 1</b> にコード化された住所行の情報が含まれます。
USA.CASSAddressLine2	文字列	正常にコード化された住所では、出力ラベル行 <b>Address Line 2</b> に都市/州/ <b>ZIP Code</b> の情報が含まれます。
USA.CASSCityName	文字列	都市名。ここで返される都市名は、 <b>USPS</b> の規則で義務付けられている都市名です。都市名の派生形 (正式名称、省略形、非正式など) は別のフィールドで返されます。
USA.CongressionalDistrict	文字列	返される下院選挙区。
USA.DefaultMatch	文字列	返されるデフォルト マッチ。 <b>Y</b> 配達ルート、または ZIP + 4、または DPBC デフォルト値が返されます。 <b>空白</b> デフォルト値は返されませんでした。
USA.DPV	文字列	返される <b>Delivery Point Validation (DPV)</b> インジケータ。 <b>N</b> 住所は有効な配達ポイントではありません。 <b>USPS</b> はこの住所に郵便を配達できません。 <b>Y</b> 住所は検証済みの配達ポイントです。主要範囲と補助的範囲 (存在する場合) は有効です。 <b>USPS</b> はこの住所に郵便を配達できます。 <b>S</b> この住所には有効な主要範囲が含まれています。補助的範囲はありますが、確認されていません。 <b>USPS</b> はこの住所に郵便を配達できます。 <b>D</b> この住所には有効な主要範囲が含まれています。補助的範囲はありません。 <b>USPS</b> はこの住所に郵便を配達できます。

フィールド名	書式	説明
USA.DPV.CMRA	文字列	<p>返される Commercial Mail Receiving Agents (CMRA) インジケータ。</p> <p><b>Y</b> 住所は有効な CMRA です。</p> <p><b>N</b> 住所は確認済みの配達ポイントですが、有効な CMRA ではありません。</p> <p><b>空白</b> 住所が確認済みの配達ポイントではない場合、このフィールドは空白になります。</p>
USA.DPV.DNA	文字列	<p>DPV 配達不可能な住所 (DNA) テーブル ステータス インジケータ。DNA テーブルは、地方配送路/幹線請負契約路 (HCR)、長い私道、ゲートッドコミュニティなど、配達者が郵便物を玄関口まで配達できない配達住所や、住宅/建物に物理的にアクセスできない配達住所を識別します。</p> <p><b>Y</b> 住所が DPV DNA テーブルに見つかりました。</p> <p><b>N</b> 住所は DPV DNA テーブルに見つかりませんでした。</p> <p><b>空白</b> DPV DNA テーブルへのクエリは実行されませんでした。</p>
USA.DPV.FalsePositive	文字列	<p>DPV 誤検出フラグ。</p> <p><b>Y</b> 住所は確認済みの配達ポイントではなく、誤検出ファイルから肯定的回答を受け取りました。</p> <p><b>N</b> 住所は確認済みの配達ポイントではなく、誤検出ファイルから否定的回答を受け取りました。住所が確認済みの配達ポイントである場合、このフィールドは空白になります。</p> <p><b>空白</b> 誤検出テーブルへのクエリは実行されませんでした。</p>

フィールド名	書式	説明
USA.DPV.Footnote	文字列	返される DPV 補足コード。
		<b>A1</b> 入力住所は ZIP + 4 ファイルにマッチしませんでした。
		<b>AA</b> 入力住所は ZIP + 4 ファイルにマッチしました。
		<b>BB</b> 入力住所は、DPV にマッチしました (すべてのコンポーネント)。
		<b>CC</b> 入力住所の主要な番号は DPV にマッチしましたが、補助的な番号はマッチしませんでした (存在しましたが無効でした)。
		<b>F1</b> 入力住所は軍施設の ZIP Code にマッチしました。
		<b>G1</b> 入力住所は局留めの住所にマッチしました。
		<b>M1</b> 入力住所の主要な番号が欠落しています。
		<b>M3</b> 入力住所の主要な番号が無効です。
		<b>N1</b> 入力住所の主要な番号は DPV にマッチしましたが、住所に補助的な番号が欠落しています。
		<b>P1</b> 入力住所に PO Box、地方配送路、または幹線請負契約の番号が欠落しています。
		<b>P3</b> 入力住所の PO Box、地方配送路、または幹線請負契約の番号が無効です。
		<b>PB</b> 入力住所は通りの住所として使用する私書箱 (PBSA) です。
		<b>R1</b> 入力住所は CMRA にマッチしましたが、補助的な番号が存在しません。
		<b>R7</b> 入力住所は配達ルート R777 です。
<b>RR</b> 入力住所は、CMRA にマッチしました。		
<b>U1</b> 入力住所はユニーク ZIP Code にマッチしました。		
USA.DPV.LeadingDirectional	文字列	[誤検出 (シード)] テーブル違反を作成する、レコードのパス済みの通り前置方位記号。
USA.DPV.MatchedZIP	文字列	[誤検出 (シード)] テーブル違反を作成する、レコードのパス済み ZIP Code。
USA.DPV.MatchedZIP4	文字列	[誤検出 (シード)] テーブル違反を作成する、レコードのパス済み + 4 ZIP Code。

フィールド名	書式	説明
USA.DPV.NoStat	文字列	<p>DPV No-Stat テーブルのステータス。</p> <p><b>Y</b> 住所が DPV No-Stat テーブルに見つかりました。</p> <p><b>N</b> 住所は DPV No-Stat テーブルに見つかりませんでした。</p> <p>空白 DPV No-Stat テーブルへのクエリは実行されませんでした。</p>
USA.DPV.NSL	文字列	<p>DPV 安全でない場所 (NSL) テーブルのステータス。</p> <p><b>Y</b> 住所が DPV NSL テーブルに見つかりました。</p> <p><b>N</b> 住所は DPV NSL テーブルに見つかりませんでした。</p> <p>空白 DPV NSL テーブルへのクエリは実行されませんでした。</p>
USA.DPV.PBSAFound	文字列	<p>DPV 通りの住所として使用する私書箱 (PBSA) テーブルのステータスインジケータ。</p> <p><b>Y</b> 住所が DPV PBSA テーブルに見つかりました。</p> <p><b>N</b> 住所は DPV PBSA テーブルに見つかりませんでした。</p> <p>空白 DPV PBSA テーブルへのクエリは実行されませんでした。</p>
USA.DPV.Range	文字列	[誤検出 (シード)] テーブル違反を作成する、レコードのパス済みの通り主要範囲。
USA.DPV.SeedHit	文字列	<p>DPV 誤検出 (シード) テーブルのインジケータ。</p> <p><b>Y</b> 住所が DPV 誤検出 (シード) テーブルに見つかりました。</p> <p><b>N</b> 住所は DPV 誤検出 (シード) テーブルに見つかりませんでした。</p>
USA.DPV.StreetName	文字列	[誤検出 (シード)] テーブル違反を作成する、住所の通り名。
USA.DPV.Suffix	文字列	[誤検出 (シード)] テーブル違反を作成する、住所の通り接尾語。

フィールド名	書式	説明
USA.DPV.Throwback	文字列	DPV P.O.Box スローバック テーブルのインジケータ。 <b>Y</b> 住所が DPV P.O.Box スローバック テーブルに見つかりました。 <b>N</b> 住所は DPV P.O.Box スローバック テーブルに見つかりませんでした。 <b>空白</b> DPV P.O.Box スローバック テーブルへのクエリは実行されませんでした。
USA.DPV.TrailingDirectional	文字列	[誤検出(シード)] テーブル違反を作成する、住所の通り後置方位記号。
USA.DPV.UnitDesignator	文字列	[誤検出(シード)] テーブル違反を作成する、住所のユニット指定子。
USA.DPV.UnitNumber	文字列	[誤検出(シード)] テーブル違反を作成する、レコードのユニット番号。
USA.DPV.Vacant	文字列	DPV 空き家テーブルのインジケータ。 <b>Y</b> 住所が DPV 空き家テーブルに見つかりました。 <b>N</b> 住所は DPV 空き家テーブルに見つかりませんでした。 <b>空白</b> DPV 空き家テーブルへのクエリは実行されませんでした。
USA.DPV.ZIP4	文字列	DPV 処理に使用される ZIP + 4。
USA.EWSFailure	文字列	住所が USPS 早期警告システム (EWS) ファイルに見つかったため、マッチングは行われませんでした。
USA.FIPSCountyNumber	文字列	返される 5 桁の FIPS コード。1 と 2 の位置に州コードが含まれます。3 から 5 の位置に郡コードが含まれます。出力情報にのみ使用されます。
USA.FiveDigitBarcode	文字列	返される 5 桁のバーコード。
USA.FiveDigitScheme	文字列	返される 5 桁の結合された ZIP Code。
USA.FullCityName	文字列	都市の正式名称。



フィールド名	書式	説明
USA.LACS	文字列	LACSLink のステータス。 <b>L</b> 住所は LACSLink 処理の対象となります。 <b>空白</b> 利用できる LACSLink 処理がありません。
USA.LACS.Indicator	文字列	1バイトの CASS ステージファイル LACS <sup>Link</sup> インジケータ値。CASS ステージテストを実行していない場合は、このフィールドを無視してかまいません。CASS ステージテストを実行している場合は、このフィールドの値を使用してステージレコードを設定します。 <b>Y</b> LACS <sup>Link</sup> 誤検出 (シード) テーブルで見つかるレコード。 <b>N</b> LACS <sup>Link</sup> 誤検出 (シード) テーブルで見つからないレコード。
USA.LACS.PreLACSAddress	文字列	LACSLink 処理前の入力住所。
USA.LACS.PreLACSLeadingDirectional	文字列	LACSLink 処理前に判断された、入力住所の通りの前置方位記号。
USA.LACS.PreLACSMatchedZIP	文字列	LACSLink 処理前に判断された、入力住所にマッチした ZIP Code。
USA.LACS.PreLACSMatchedZIP4	文字列	LACSLink 処理前に判断された、入力住所にマッチした ZIP+4 Code。
USA.LACS.PreLACSRange	文字列	LACSLink 処理前に判断された、入力住所の通りの主要範囲。
USA.LACS.PreLACSStreetName	文字列	LACSLink 処理前に判断された、入力住所の通り名。
USA.LACS.PreLACSSuffix	文字列	LACSLink 処理前に判断された、入力住所の通り接尾語。
USA.LACS.PreLACSTrailingDirectional	文字列	LACSLink 処理前に判断された、入力住所の通りの後置方位記号。
USA.LACS.PreLACSUnitD	文字列	LACSLink 処理前に判断された、入力住所のユニット指定子。
USA.LACS.PreLACSUnitN	文字列	LACSLink 処理前に判断された、入力住所のユニット番号。

フィールド名	書式	説明
USA.LACS.ReturnCode	文字列	<p>LACSLink リターン コード。</p> <p><b>A</b> LACS<sup>Link</sup> 処理は成功しました。LACS<sup>Link</sup> 処理によってレコードがマッチしました。</p> <p><b>00</b> LACS<sup>Link</sup> 処理は失敗しました。LACS<sup>Link</sup> 処理において、マッチするレコードは見つかりませんでした。</p> <p><b>09</b> LACS<sup>Link</sup> 処理において、入力住所は、古い高層のデフォルト住所にマッチしました。住所は変換されています。ただし、不明確な住所の提供を避け、LACS<sup>Link</sup> 処理では、新しい住所を提供しません。</p> <p><b>14</b> LACS<sup>Link</sup> 処理は失敗しました。LACS<sup>Link</sup> 処理において、マッチする結果が検出されましたが、他のUSPSの規則に基づき、変換は行われませんでした。</p> <p><b>92</b> LACS<sup>Link</sup> 処理は成功しました。LACS<sup>Link</sup> 処理によってレコードがマッチしました。入力のユニット番号はドロップされました。</p>
USA.LACS.SeedHit	文字列	<p>住所が LACSLink 誤検出 (シード) テーブルに見つかったかどうかを示します。</p> <p><b>Y</b> 住所が LACS<sup>Link</sup> 誤検出 (シード) テーブルに見つかりました。</p> <p><b>N</b> 住所は LACS<sup>Link</sup> 誤検出 (シード) テーブルに見つかりませんでした。</p>
USA.LOTCode	文字列	<p>返される enhanced Line of Travel (eLOT) コード。出力情報にのみ使用されます。eLOT が利用できない場合、デフォルト値は 0000D です。</p>
USA.LOTSequence	文字列	<p>eLOT コードの最後の文字は eLOT 順を示します。</p> <p><b>A</b> 昇順。</p> <p><b>D</b> 降順。</p>

フィールド名	書式	説明
USA.MatchLevel	文字列	返されるマッチ レベル。 <b>F</b> 企業レコードと一致。 <b>G</b> 局留めと一致。 <b>H</b> 高層と一致。 <b>P</b> PO Box と一致。 <b>R</b> 地方配送路/幹線請負契約と一致。 <b>S</b> 通りレベルと一致。
USA.NonMailingCityName	文字列	非正式な都市名。USPS には認識されるものの、ZIP Code に対する標準名ではない都市名です。多くはそのエリアの非正式な名前です。
USA.Parsed.AltPostDirectional	文字列	パース済み代替後置方位記号。
USA.Parsed.AltPreDirectional	文字列	パース済み代替前置方位記号。
USA.Parsed.AltRange	文字列	パース済み代替範囲。
USA.Parsed.AltStreetName	文字列	パース済み代替通り名。
USA.Parsed.AltStreetSuffix	文字列	パース済み代替接尾語。
USA.Parsed.PMUnitDesignator	文字列	パース済み PMB または MSC 指定子。
USA.Parsed.PMUnitNumber	文字列	パース済み PMB または MSC ユニット番号。
USA.Parsed.PostDirectional	文字列	パース済み後置方位記号。
USA.Parsed.PreDirectional	文字列	パース済み前置方位記号。
USA.Parsed.Range	文字列	パース済み主要範囲。
USA.Parsed.AltStreetName	文字列	パース済み通り名。
USA.Parsed.StreetSuffix	文字列	パース済み通り接尾語。

フィールド名	書式	説明
USA.Parsed.Unit2Designator	文字列	パース済みの 2 番目のユニット指定子。
USA.Parsed.Unit2Number	文字列	パース済みの 2 番目のユニット番号。
USA.Parsed.UnitDesignator	文字列	パース済みユニット指定子。
USA.Parsed.UnitNumber	文字列	パース済みユニット番号。
USA.POBoxOnly	文字列	<p>PO Box 専用配達区域のステータス インジケータ。</p> <p><b>Y</b> 住所の ZIP Code は PO Box 専用配達区域です。</p> <p><b>N</b> 住所の ZIP Code は PO Box 専用配達区域ではありません。</p> <p>空白 入力住所に対応する USPS ZIP Code を判断できません。</p>
USA.PostalBarcode	文字列	返される配達ポイント バーコード。
USA.PreferredCityName	文字列	<p>ZIP Code に対応する標準都市名。</p> <p>注: 正常にコード化された住所では、USA.PreferredCityName および USA.PreferredState フィールドが常に設定されます。</p> <p>コード化されていない住所では、USA.PreferredCityName および USA.PreferredState フィールドは次の場合に設定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ZIP Code のみの入力 (都市が入力されないか、見つからない)。</li> <li>• 単一の ZIP Code 都市の入力 (ZIP Code が入力されないか、見つからない)。</li> <li>• 都市/州/ZIP Code の入力および合致 (ZIP Code が都市の一部)。</li> </ul> <p>それ以外のコード化されていない住所の場合、標準フィールドは空白になります。</p>

フィールド名	書式	説明
USA.PreferredState	文字列	<p>標準都市名に対してよく使用される州の略語。</p> <p>注: 正常にコード化された住所では、USA.PreferredCityName および USA.PreferredState フィールドが常に設定されます。</p> <p>コード化されていない住所では、USA.PreferredCityName および USA.PreferredState フィールドは次の場合に設定されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ZIP Code のみの入力 (都市が入力されないか、見つからない)。</li> <li>• 単一の ZIP Code 都市の入力 (ZIP Code が入力されないか、見つからない)。</li> <li>• 都市/州/ZIP Code の入力および合致 (ZIP Code が都市の一部)。</li> </ul> <p>それ以外のコード化されていない住所の場合、標準フィールドは空白になります。</p>
USA.PrivateMailbox	文字列	返されるマッチした私設私書箱 (PMB) または郵便物集配所コード (MSC)。
USA.PrivateMailbox.Input	文字列	将来使用するために予約されています。
USA.PrivateMailbox.Type	文字列	将来使用するために予約されています。
USA.PrivateMailbox.Type.Input	文字列	将来使用するために予約されています。
USA.RDI	文字列	<p>返される Residential Delivery Indicator (RDI)。</p> <p><b>Y</b> 住所は、個人住所への配達です。</p> <p><b>N</b> 住所は、企業住所への配達です。</p> <p><b>空白</b> 住所検索に失敗した (ZIP+4 を返さなかった) か、RDI が有効になっていませんでした。</p>

フィールド名	書式	説明
USA.SeasonalFlags	文字列	<p>1月から始まる、時季限定的な配達インジケータ。返される ZIP Code の時季限定的なインジケータ。これらのインジケータは、5桁の ZIP Code のレベルで、時季限定的な住所で配達を受け取る月を特定します。12の月のフラグ(1月から12月まで)があります。月スロットの1つに "Y" がある場合、そのスロットで指定された月に、時季限定的な住所への配達が行われることを示します。その ZIP Code への季節的配達がない場合、このフィールドは空白になります。</p> <p><b>Y</b>           この月に郵便を配達します。</p> <p><b>N</b>           この月に郵便を配達しません。</p>
USA.Status	文字列	<p>住所のマッチ ステータス。</p> <p><b>F</b>           住所がマッチしませんでした。</p> <p><b>空白</b>       住所が正常にマッチしました。</p>

フィールド名	書式	説明
USA.Status.Code	文字列	
USA.Status.Description		

フィールド名	書式	説明
		返されるマッチ ステータス コード。
	4101	住所に都市、州、ZIP Code がありません。
	4102	住所に ZIP Code と都市名がありません。
	4103	住所に ZIP Code と州名がありません。
	4104	ユニーク ZIP Code とマッチできません。
	4211	住所の ZIP Code が無効で、都市名がありません。
	4212	住所に ZIP Code がなく、都市名が無効です。
	4213	住所の ZIP Code と都市名が無効です。
	4301	入力住所に通りがありません。
	4399	空白の住所レコードです。
	4411	Global Address Validation データベースに主要通りが見つかりません。
	4412	確実性で順位付けされた主要名がありません。
	4421	範囲または家番号が無効です。
	4422	方位記号が誤っているか欠落しています。
	4423	接尾語が誤っているか欠落しています。
	4425	接尾語と方位記号が誤っているか欠落しています。
	4450	入力住所に範囲がありません。
	4451	複数のコンポーネントの失敗。住所コンポーネントに複数のオプションがあるために、住所が割り当てに失敗しています。
	4460	EWS の失敗。住所が EWS テーブルで見つかりました。
	4461	eLOT 割り当てに失敗しました。住所は正常にコード化されましたが、eLOT コードが割り当てられていません。
	4465	住所に企業が必要です。企業が指定されていないか、マッチしませんでした。
	4466	住所に補助的な住所が必要です(デフォルトの通りの住所はありません)。補助的な住所が指定されていないか、マッチしませんでした。
	4467	住所はコード化されましたが、ZIP 移動処理のフラグが付けられています。住所は最終的な ZIP 移動条件に適合しませんでした。ZIP 移動処理では、通り、接尾語、および方位記号(前置と後置の両方)が完全に一致している必要があります。



フィールド名	書式	説明
		<b>4500</b> コード化できません。コード化できない理由を特定できない場合は、このエラーが発生します。
		<b>4600</b> Global Address Validation データベースに配達できない住所があります。  注：このステータス コードは、正常にマッチした住所ではまだ有効になる可能性があります。2つのコードの組み合わせは、これが有効な住所ではあるものの、USPS の規格によって配達できないことを示しています。
		<b>4601</b> 住所が Delivery Point Validation (DPV) 処理に失敗しました。
		<b>4602</b> 住所に配達ルート R777 のフラグが付けられており、この住所は通り配達の対象になりません。このステータスコードは、[R777 配達可能] オプションが無効になっている場合にのみ生成されます。
		<b>4801</b> 住所がロックされており、処理されませんでした。
		<b>5101</b> 警告: アパート/スイートの番号がありません。
		<b>5102</b> 警告: アパート/スイートが入力されていますが、無効です。
		<b>5103</b> 警告: 入力企業名が見つからないか無効です。
		<b>5104</b> 警告: 住所に対して複数の企業が返されました。
		<b>5105</b> 警告: PO Box 番号が無効か使用できません。
		<b>5106</b> 警告: アパート/スイートが入力されましたが、この住所には使用できません。
		<b>5200</b> 情報: 省略された住所が Process Unassign の実行で正しくカウントされました。

フィールド名	書式	説明
USA.StreetNameAliasType	文字列	<p>通りのエイリアス名のタイプ。通りのエイリアス名は通りの代替名で、5桁の ZIP Code レベルで維持されます。</p> <p><b>省略形</b> 通りのエイリアス名は通り名の省略形です。例えば、HARTS-NM RD は HARTSVILLE NEW MARLBORO RD の省略形エイリアスです。</p> <p><b>変更済み</b> 正式な通り名が変更され、通りのエイリアス名は新しい正式な通り名を反映しています。例えば、SHINGLE BROOK RD という通り名が CANNING DR に変更された場合、CANNING DR が変更済みのエイリアスタイプとなります。</p> <p><b>その他</b> 通りのエイリアス名は、通り名のニックネーム、別名、または一般的な省略形から成ります。</p> <p><b>よく使用される名前</b> 通りのエイリアス名は、USPS 優先エイリアスの通り名です。</p>
USA.SuiteLink.Fidelity	文字列	<p>SuiteLinkFidelity コード。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 企業名のすべての単語がマッチしています。</li> <li>2 許容できるマッチです。企業名の1つ以上の単語がマッチしませんでした。許容基準は満たしています。</li> <li>3 許容できないマッチです。企業名の1つ以上の単語がマッチしませんでした。許容基準を満たしていません。</li> </ol>
USA.SuiteLink.MatchCode	文字列	<p>SuiteLink マッチ コード。</p> <p><b>A</b> SuiteLink マッチが見つかりました。</p> <p><b>B</b> SuiteLink マッチは見つかりませんでした。</p> <p><b>C</b> 企業名が空白の値に正規化されました。</p> <p><b>D</b> ZIP + 4 Code が高層のデフォルトとして認識されません。</p> <p><b>E</b> Suite<sup>Link</sup> データベースの有効期限が切れています。</p>
USA.SuiteLink.ReturnCode	文字列	<p>SuiteLink リターン コード。</p> <p><b>A</b> SuiteLink マッチが成功しました。</p> <p><b>00</b> SuiteLink マッチが失敗しました。</p>
USA.VeriMoveDataBlock	文字列	<p>将来使用するために予約されています。</p>

フィールド名	書式	説明
USA.ZIPValid	文字列	返される ZIP Code。
USA.ZIP4Valid	文字列	返される ZIP + 4 Code。

## レポート

### レポート

Global Address Validation により、バッチ処理のレポートを作成できます。レポートを作成するには、Enterprise Designer で目的のレポートのアイコンをキャンバスにドラッグします。レポートにコネクタを引く必要はありません。

### マッチ分析 (国別)

Global Address Validation マッチ分析 (国別) レポートは、ジョブで処理された住所マッチング サマリ統計を国別に示します。レポートの使用方法については、『Spectrum™ Technology Platform データフロー デザイナー ガイド』を参照してください。

### 一致要素のサマリ

このセクションには一致要素のサマリ情報が国別で示されます。

国別レコード総数	当該国に関して処理された入力レコードの総数。
家番号が一致	家番号が一致したレコードの数と割合。
通り名が一致	通り名が一致したレコードの数と割合。
都市名が一致	都市名が一致したレコードの数と割合。
郵便番号が一致	郵便番号が一致したレコードの総数と割合。
州/省が一致	州/省が一致したレコードの数と割合。

### 適合率コードごとの集計

このセクションには、ジョブで処理されたレコードの数と割合に関する統計値が適合率コードごとに集計して示されます。適合率コードは、個々のレコードの住所マッチングの精度を表します。

注: マッチ分析レポートの [適合率コードごとの集計] セクションは、[適合率] 出力オプションをオンにした場合にのみ表示されます。

### 適合率コード Z のカテゴリ

Z カテゴリは、マッチングが郵便番号レベルで成立したことを示します。郵便番号の一致が返されるのは次のどちらかのケースです。

- 郵便番号へのマッチングが指定してあり、マッチングしたロケーションに該当する郵便番号の適合率が以下のいずれかである場合。
- 郵便番号への代替が指定してあり、通りレベルでマッチングが見つからなかった場合。

適合率コード Z1	ZIP Code (郵便番号 1) に一致するレコードの数と割合。
適合率コード Z2	ZIP + 2 (郵便番号 2 への部分一致) に適合するレコードの数と割合。
適合率コード Z3	ZIP + 4 (郵便番号 2) に一致するレコードの数と割合。

### 適合率コード G のカテゴリ

地理的レベルの候補は、文字 G で始まる適合率コードを返します。適合率コードの G に続く番号は、そのマッチングの精度に関するより詳細な情報を示します。

適合率コード G1	州/省 (エリア名 1) に一致するレコードの数と割合。
適合率コード G2	郡/地方行政区画 (エリア名 2) に一致するレコードの数と割合。
適合率コード G3	都市/町 (エリア名 3) に一致するレコードの数と割合。
適合率コード G4	郊外/村 (エリア名 4) に一致するレコードの数と割合。

### 適合率コード S のカテゴリ

通りレベルの候補は、文字 S で始まる適合率コードを返します。適合率コードの S に続く文字は、そのマッチングの精度に関するより詳細な情報を示します。

適合率コード SX	交差点で検証済みのレコードの数と割合。
適合率コード SC	最も近いセグメントから予測された家レベルで一致するレコードの数と割合。
適合率コード S0	住所の一部がソース データに一致するレコードの数と割合。
適合率コード S4	通りレベルで一致するレコードの数と割合。
適合率コード S5	通りの住所に一致するレコードの数と割合。
適合率コード S7	家屋の間を補間して得られた通りの住所に一致するレコードの数と割合。
適合率コード S8	通りの住所または家番号に一致するレコードの数と割合。

適合率コード S の詳細については、「Global Address Validation の出力」セクションを参照してください。

## 信頼度

このセクションには、一致するレコードの割合が信頼度によってどう変化するかを表すグラフが国別に示されます。返される住所の信頼度は0～100の範囲で変化します。0は失敗を表します。100はマッチ結果が正しいことに対する確信レベルが非常に高いことを表します。

注：信頼度は一致したレコードの割合に基づいて計算されます。入力レコードで処理に失敗したもの (Status.Code=F) とマッチングしなかったものは信頼度の計算から除外され、このレポートの信頼度グラフには含まれません。

信頼度 < 40	40 未満の信頼度 (低) で一致するレコードの割合。
信頼度 40-85	信頼度 40 ～ 85 (中) で一致するレコードの割合。
信頼度 > 85	85 超の信頼度 (高) で一致するレコードの割合。

### 一致要素のサマリ。対象: 不明

レポートのこのセクションには、条件「入力の国コードが認識できず、かつ住所マッチングで国を特定できない」を満たすレコードのマッチングに関する統計値が示されます。

注：このセクションは、ジョブの出力に国レベルでマッチングしないレコードがあった場合にのみ表示されます。

### 適合率コードごとの集計。対象: 不明

このセクションには、条件「入力の国コードが認識できず、かつ住所マッチングで国を特定できない」を満たすレコードのマッチング適合率に関する統計値が示されます。適合率コードは、個々のレコードの住所マッチングの精度を表します。

注：マッチ分析レポートの[適合率コードごとの集計]セクションは、[適合率]出力オプションをオンにした場合にのみ表示されます。

### 一致要素のサマリ。対象: すべての国

レポートのこのセクションには、データベースに統合されたすべての国について、国レベルでマッチングしたすべての入力住所のマッチングに関する統計値が示されます。

### 適合率コードごとの集計。対象: すべての国

このセクションには、データベースに統合されたすべての国について、国レベルでマッチングしたすべての入力住所のマッチング適合率に関する統計値が示されます。適合率コードは、個々のレコードの住所マッチングの精度を表します。

注：マッチ分析レポートの[適合率コードごとの集計]セクションは、[適合率]出力オプションをオンにした場合にのみ表示されます。

### 適合率コードの定義

このセクションは、レポートに表示される適合率コードのリファレンスです。適合率コードの詳細については、「Global Address Validation の出力」セクションを参照してください。

### レポート フッター

各ページのフッターに、レポートが生成された時刻とページ番号が表示されます。

### 住所マッチングサマリ レポート

住所マッチングサマリ レポートにより、処理した国ごとのマッチング統計のサマリを取得できます。レポートの使用方法については、『*Spectrum™ Technology Platform Dataflow Designer ガイド*』を参照してください。

### Country

このセクションでは、マッチング統計を処理した国ごとに示します。

<b>Country</b>	この列には、ジョブで処理した各国がリスト表示されます。
<b>Matched Records</b>	正常に一致したレコードの数
<b>Matched Records %</b>	正常に一致したレコードの比率
<b>Unmatched Records</b>	正常に一致しなかったレコードの数
<b>Unmatched Records %</b>	正常に一致しなかったレコードの比率
レコードの合計	その国に対して処理されたレコードの合計

### [すべてのレコード]

このセクションには、処理されたすべての国に対するマッチング結果の合計がリスト表示されます。

<b>Matched Records</b>	正常に一致したレコードの合計
<b>Matched Records %</b>	ジョブで正常に一致したレコードの比率
<b>Unmatched Records</b>	正常に一致しなかったレコードの合計
<b>Unmatched Records %</b>	ジョブで正常に一致しなかったレコードの比率
レコードの合計	ジョブで処理された一致および不一致レコードの合計

### USPS Form 3553 (CASS Summary Report)

United States Postal Service® (USPS) Form 3553 (CASS Summary Report) は、Postal Form 3553 の複製です。USPS Coding Accuracy Support System (CASS) 認定の設定を使用しているときは、Global Address Validation がこのフォームを自動的に生成します。USPS では、CASS 認定の確認にこのフォームを要求しています。

USPS Form 3553 (CASS Summary Report) の 2 ページ目には、フォームの各フィールドに関する詳細な情報が記載されています。USPS Form 3553 (CASS Summary Report) の詳細については、<http://about.usps.com/forms/ps3553.pdf> を参照してください。レポートの使用方法については、『*Spectrum™ Technology Platform Dataflow Designer ガイド*』を参照してください。

## Global Type Ahead

Global Type Ahead は、入力途中から住所を自動的に予測し、入力に基づく候補を直ちに返します。提示されたリストから適切な候補を選び出すことができます。Global Type Ahead は Global Addressing モジュールの一部です。

### Global Type Ahead の機能

Global Type Ahead は以下の機能を提供します。

- 国の選択 (オプション)。使用できる国のリストについては、[サポートされている国](#) (96 ページ) を参照してください。
- 単一行の入力で通り住所を検索
- 表示する候補の数を指定
- 最も近い一致に基づく順序で返される候補
- POI (ポイント情報) を検索
- 通り住所と POI の両方を同時に検索
- ファジー マッチ機能

注：POI とカテゴリ/サブカテゴリの機能は、POI データのライセンスを取得してインストールした場合のみアクセス可能です。

住所と POI のどちらの検索でも、候補は入力どおりに表示されます。より具体的な情報を入力すると、結果が絞り込まれ、関連性の高い候補が表示されます。候補には、完全な住所と POI (候補がポイント情報の場合) が含まれます。

Global Type Ahead をインストールおよび展開すると、Management Console でそのすべての機能を試用し、返される候補を確認することができます。

Global Type Ahead のサンプル アプリケーションは、Spectrum™ のランディング ページで提供されています。

## サポートされている国

Global Type Ahead は、以下の国々について、通り住所と POI (ポイント情報) を提供します。各国に対して 3 桁の ISO 国コードが記載されています。ISO 国コードの全一覧については、[ISO 国コードとコーダー サポート](#) (333ページ) を参照してください。

注：POI データは別途購入する必要があります。POI とカテゴリ/サブカテゴリの機能は、POI データのライセンスを取得してインストールした場合のみアクセス可能です。通り住所データは、Global Addressing モジュールに含まれます。

- アンドラ (AND)
- オーストラリア (AUS)
- オーストリア (AUT)
- バーレーン (BHR)
- ベルギー (BEL)
- ブラジル (BRA)
- カナダ (CAN)
- チェコ共和国 (CZE)
- デンマーク (DNK)
- フィンランド (FIN)
- フランス (FRA)
- ドイツ (DEU)
- ギリシャ (GRC) (POI 情報は含まれません)
- ハンガリー (HUN)
- アイルランド (IRL)
- イタリア (ITA)
- 日本 (JPN)
- クウェート (KWT)
- リヒテンシュタイン (LIE)
- ルクセンブルク (LUX)
- メキシコ (MEX)
- オランダ (NLD)
- ニュージーランド (NZL) (POI 情報は含まれません)
- ノルウェー (NOR)
- オマーン (OMN)
- ポーランド (POL)
- ポルトガル (PRT)
- カタール (QAT)



- ロシア (RUS)
- サウジアラビア (SAU)
- シンガポール (SGP)
- スロバキア (SVK)
- スロベニア (SVN)
- 南アフリカ (ZAF)
- スペイン (ESP)
- スウェーデン (SWE)
- スイス (CHE)
- タイ (THA)
- トルコ (TUR)
- アラブ首長国連邦 (ARE)
- 英国 (GBR)
- 米国 (USA)

**注：**

対象範囲となる国とデータ ヴィンテージの詳細については、最新のデータベースリリース ノートを参照してください。

### Global Type Ahead の使用

Global Addressing モジュールをインストールして、展開すると、Global Type Ahead を次のように使用できます。

- Management Console からサービスとして使用する
- Enterprise Designer からステージとして使用する
- サンプル Web アプリケーションとして使用する
- Global Type Ahead (GTA) 機能を既存の Web アプリケーションに組み込むためのシンプルなインターフェイスを提供する Java Script コンポーネントとして使用する

### Global Type Ahead のサービスとしての使用

Global Type Ahead を Management Console からサービスとして使用するには次の手順を実行します。

1. Management Console を開きます。
2. [サービス] タブで **[Global Addressing]** を選択します。
3. ウィンドウ左側のサービス一覧から、**[Global Type Ahead]** を選択します。
4. **[データベース リソース]** タブで、使用する Global Type Ahead データベース リソースを指定します。

5. **[保存]** をクリックして、データベース選択を保存します。
6. **[デフォルト オプション]** タブをクリックします。
7. **[デフォルト オプション]** タブで、必要なオプションを指定します。オプションの詳細については、[オプション](#) (98ページ) を参照してください。
8. グローバル デフォルト オプションを変更した場合は、**[保存]** をクリックして変更内容を保存します。グローバル デフォルト オプションに加えた変更は、Enterprise Designer の Global Type Ahead にも適用されます。
9. **[プレビュー]** タブをクリックします。
10. **[AddressLine1]** フィールドに、住所の完全な最初の行を入力します。通常は、通りと家番号が含まれます。
11. **[Country]** フィールドに、国名または 2 文字か 3 文字の ISO 国コードを入力します。国名を省略すると、Global Type Ahead は、**[デフォルト オプション]** タブで選択された **[デフォルト 国]** に対して取得できる最も適切な候補を返します。ISO コードの一覧は、[ISO 国コードとコーダー サポート](#) (333ページ) を参照してください。
12. 都市、州/省、または郵便番号を指定して、結果をさらにフィルタリングすることができます。
13. **[プレビューを実行]** をクリックします。
14. ウィンドウ右側にある **[出力レコード]** のプレビューで、検索結果が適切な出力フィールドに配置されていることを確認してください。出力フィールドについては、[出力](#) (100ページ) を参照してください。

### Global Type Ahead のステージとしての使用

Global Type Ahead を Enterprise Designer からステージとして使用して、住所検証のバッチ処理を実行できます。Global Type Ahead をステージとして使用するジョブの作成については、以下を参照してください。

- 『Dataflow Designer ガイド』の「最初のデータフロー作成 (ジョブ)」
- [オプション](#) (98ページ)
- [入力](#) (100ページ)
- [出力](#) (100ページ)

### オプション

Global Type Ahead は、デフォルト オプション設定に従って住所取得の処理方法を定義します。

表 28 : Global Type Ahead のオプション

オプション名	国のサ ポート	説明
データベース	All	Global Type Ahead (グローバル先行入力) 処理に使用するデータベース。Management Console の [データベース リソース] パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。
デフォルトの国	All	住所マッチ処理のデフォルトの国。
検索タイプ	All	<p>The Global Type Ahead の検索オプション:</p> <p><b>住所</b> 通り住所を検索します。</p> <p><b>POI (ポイント情報)</b> POI (ポイント情報) を検索します。</p> <p><b>City</b> 指定の都市の範囲内で通り住所を検索します。</p> <p><b>州</b> 指定の州の範囲内で通り住所を検索します。</p> <p><b>郵便番号</b> 指定の郵便番号の範囲内で通り住所を検索します。</p>
最大候補数	All	返される検索候補の最大数。最大数は 99 です。デフォルトは 5 です。
ファジー マッチ	All	<p>Global Type Ahead には、入力された綴りが誤っていても住所や POI の取得を最適化できるアルゴリズムがあります。このような機能はファジー マッチと呼ばれ、マッチ設定の制約によって実装されます。</p> <p><b>なし</b> ファジー マッチ機能は、デフォルトで無効になっています。</p> <p><b>ハード マッチ</b> ハードマッチを選択すると、1文字の置換、挿入、削除、または移動が許可されます。</p> <p><b>ソフト マッチ</b> ソフトマッチを選択すると、2文字の置換、挿入、削除、または移動が許可されます。</p>
住所番号の一致	All	マッチするために家番号の一致が必須であるかどうかを <b>[住所番号の一致]</b> で指定できます。このマッチング制約が選択されている場合、返される候補は入力家番号と一致する必要があります。デフォルトでは、 <b>[住所番号の一致]</b> ボックスはオフになっています。これは、返される候補が入力家番号に一致する必要がないことを意味します。入力に家番号が含まれない場合、 <b>[住所番号の一致]</b> の制約の効果はありません。

## 入力

インタラクティブな環境では、Global Type Ahead は、入力の途中から住所を自動的に予測し、入力に基づく候補を直ちに返します。Global Type Ahead は、POI (ポイント情報) も返すことができます。

注：POI データは別途購入する必要があります。POI とカテゴリ/サブカテゴリの機能は、POI データをライセンス取得してインストールした場合のみ使用可能です。通り住所データは、Global Addressing モジュールに含まれます。

表 29 : Global Type Ahead 入力

フィールド名	書式	説明
AddressLine1	文字列	住所の完全な最初の行。通常は通りと家番号が含まれます。
City	文字列	都市または町の名前。
StateProvince	文字列	国により、次のいずれかの州または省の名前。
郵便番号	文字列	住所の郵便番号。郵便番号のフォーマットは国によって異なります。
Country	文字列	国名または 2 文字か 3 文字の ISO 国コード国名を省略すると、Global Type Ahead は、[デフォルト オプション] タブで選択された [デフォルト国] に対して取得できる最も適切な候補を返します。ISO コードの一覧は、 <a href="#">ISO 国コードとコーダーサポート</a> (333ページ) を参照してください。

## 出力

Global Type Ahead の出力は、ユーザが選択した出力オプションによって決まります。

返される候補は、Management Console でプレビューできます。候補には、Spectrum™ Technology Platform 候補で確認できるのと同じ完全な住所要素 (AddressLine、Ragnge、City、County、State、Country など) が含まれます。

注：Global Type Ahead ステージでは、現在英国 (GBR) および米国 (USA) の範囲および範囲単位をサポートしています。英国 (GBR) の場合、UK Royal Mail (RM) データが使用されます。米国 (USA) の場合は、Master Location Data (MLD) が使用されます。

表 30 : Global Type Ahead 出力

フィールド名	書式	説明
AddressLine1	文字列	住所の完全な最初の行。通常は通りと家番号が含まれます。
AddressNumber.Match	文字列	住所番号に対するマッチング試行のステータス。入力住所番号が候補と一致した場合は <b>true</b> を返します。住所番号が一致しない場合は、このフィールドは返されません。
City	文字列	都市または町の名前。
City.Match	文字列	都市に対するマッチング試行のステータス。入力の都市が候補と一致した場合は <b>true</b> を返します。都市が一致しない場合は、このフィールドは返されません。
County	文字列	郡の名前。
Country	文字列	国名。
FirmName	文字列	会社名。
FormattedAddress	文字列	書式設定済みの住所。
LastLine	文字列	住所の最終行。例えば、10 DOWNING STREET LONDON, SW1A 2AA の " <b>LONDON, SW1A 2AA</b> "。
Locality	文字列	地方。
PostalCode	文字列	住所の郵便番号。郵便番号のフォーマットは国によって異なります。
RangeCount	文字列	候補の範囲の数。
レンジ	文字列	候補に対して特定された各範囲の追加情報。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Range</b> - 範囲番号。</li> <li>• <b>UnitCount</b> - 範囲のユニットの数。</li> <li>• <b>UnitsInfo</b> - ユニットおよび書式設定されたユニット住所の情報を提供します。</li> </ul>
StateProvince	文字列	国により、次のいずれかの州または省の名前。

フィールド名	書式	説明
StreetName.Match	文字列	通り名に対するマッチング試行のステータス。入力通り名が候補と一致した場合は <b>true</b> を返します。通り名が一致しない場合は、このフィールドは返されません。
タイプ	文字列	POI 一致の場合は <b>1</b> を返します。通り住所一致の場合は <b>2</b> を返します。POI とカテゴリ/サブカテゴリの機能は、POI データをライセンス取得してインストールした場合のみ使用可能です。POI データを含めて、辞書に対して候補を返すには、POI データのライセンスが必要です。

### Global Type Ahead サンプル Web アプリケーション

Global Type Ahead ステージには、Global Type Ahead の機能を示すためのサンプル Web アプリケーションが付属しています。Global Type Ahead は、入力の途中から住所を自動的に予測し、入力に基づく候補を直ちに返します。提示されたリストから適切な候補を選び出すことができます。

**注：** サンプル Web アプリケーションを使用する前に、Management Console で Global Type Ahead データベース リソースを追加し、Global Type Ahead サービスにデータベース リソースを保存します。

Global Type Ahead サンプル Web アプリケーションを使用するには、以下の手順に従います。

1. Spectrum™ Technology Platform サーバーが実行されていることを確認します。
2. Web ブラウザを開いて、`http://<servername>:<port>/globaltypeahead` に移動します。例えば、サーバーの名前が "myserver" で、サーバーでデフォルトの HTTP ポート 8080 を使用している場合は、`http://myserver:8080/globaltypeahead` に移動します。Global Type Ahead のサンプル Web アプリケーションは、Spectrum™ のランディング ページの Spectrum™ Data Quality でも提供されています。

**注：** このサイトは、Internet Explorer 8.0 またはそれ以降、Chrome、Mozilla Firefox で最も適切に表示されます。

3. ログイン画面が表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力します。
4. **[OK]** をクリックします。
5. ドロップダウン リストからデータベースを選択します。
6. ドロップダウン リストから国を選択します。
7. 住所の入力中に表示される候補の最大数を選択します。
8. 適切なマッチ タイプを選択します。

9. 住所フィールドに住所を入力します。入力中に住所の候補が表示されます。より具体的な住所情報を入力するほど、結果が絞り込まれ、関連性の高い候補が表示されます。
10. 都市、州、または郵便番号を指定して、結果をフィルタリングすることができます。
11. 提案された住所のリストから選択します。
12. 選択した住所が [検索結果] ボックスに表示されます。
13. 別の住所を検索するには、[リセット] をクリックしてフィールドをクリアします。

## Global Type Ahead Java Script コンポーネント

Global Type Ahead Java Script コンポーネントは、Global Type Ahead (GTA) 機能を既存の Web アプリケーションに組み込むために使用できるシンプルなインターフェイスです。Global Type Ahead は、入力された情報に基づいて候補の住所を提案します。より具体的な情報を入力すると、結果が絞り込まれ、関連性の高い候補が表示されます。提案されたリストから適切な候補を選び出すことができます。

### 必要条件

Global Type Ahead Java Script コンポーネント:

- AngularJS (1.x) Web インターフェイスを使用する
- 既存の Web アプリケーションには HTML ソースで単一行インターフェイスを使用する
- Global Type Ahead Java Script コンポーネント オプションをメイン コードとは別のファイルで保持する
- メインの Global Type Ahead Java Script コンポーネント コードを HTML アプリケーションに組み込まれるサブフォルダに配置する
- 以下のいずれかの認証方式を使用して、Spectrum™ Technology Platform および Global Addressing モジュールのインターフェイスを呼び出す
  - 認証なし
  - Session
  - クライアント
  - オープン トークン
- Spectrum™ Technology Platform を Global Type Ahead および Global Address Validation のホスト サービス プロバイダ (例: localhost:8080) として使用する
- Web ページの動作に必要な任意の Web サーバーを受け付ける

### Global Type Ahead の Web アプリケーションへの統合

Global Type Ahead の機能を既存の Web アプリケーションに統合するには、次の手順を実行します。

- **必要条件** (103ページ) を確認していない場合は、まず確認します。

- 既存のアプリケーションに数行のコードを挿入します。
- 設定ファイルを編集します。
- 既存の Web アプリケーションから Global Type Ahead API にインターフェイス ロジックを提供するフォルダを組み込みます。

### Global Type Ahead Java Script コンポーネントのインストール

Global Type Ahead Java Script コンポーネントをインストールするには、次の手順を実行します。

1. Global Type Ahead Java Script コンポーネントは、Global Addressing モジュール インストールの一部としてインストールされます。**Spectrum/server/app/deploy** フォルダで **globaltypeahead.war** ファイルを見つけます。
2. **globaltypeahead.war** ファイルを開きます。
3. **WebWidget** サブフォルダを見つけます。このフォルダには、Java Script コンポーネントを使用するために必要なファイルが含まれています。

### Global Type Ahead Java Script コンポーネントを使用するための Spectrum™ Technology Platform の設定

Global Type Ahead Java Script コンポーネントをインストールした後、Web アプリケーションで Global Type Ahead Java Script コンポーネントを使用するために Spectrum™ Technology Platform を設定する必要があります。**必要条件** (103ページ) をまだ確認していない場合は、確認してください。

#### CORS の有効化

Spectrum™ Technology Platform を呼び出す外部 Web サイトを使用する場合は、CORS (Cross-origin Resource Sharing) を有効にする必要があります。CORS により、不正な Web アプリケーションが Spectrum™ Technology Platform などのサーバーからサービスを盗用することを防止できます。詳細については、『Spectrum™ Technology Platform 管理ガイド』の「CORS の有効化」を参照してください。

1. **server/conf** フォルダに移動します。
2. **spectrum.properties** ファイルの以下のオプションを変更します。
3. **spectrum.jetty.cors.enabled** プロパティを **true** に設定します。デフォルトは **false** です。
4. **spectrum.jetty.cors.allowedOrigins** オプションに、Web サーバーのホスト名とポート番号を追加します。

注：CORS では、localhost からのみセキュア Web アクセスが必須となります (例: <https://localhost:82>)。

以下の例に示すように、名前付きサーバーからはセキュアでないアクセスが許可されません。

```
spectrum.jetty.cors.allowedOrigins=http://us-8qryp12.pbi.global.pvt:82
```



この例では、**us-8qxyp12.pbi.global.pvt** がマシン名です。マシン名では大文字と小文字が区別されるので、入力した内容がブラウザでどのように処理されるか確認することをお勧めします。この名前は、使用するサーバー (マシン) 名に変更する必要があります。**:82** は、Web サーバーが実行されているポートです。Web サーバーの設定時にポートを設定します。詳細については、「[Web サーバー](#)」を参照してください。

## 認証

Global Type Ahead Java Script コンポーネントを使用する前に、Spectrum™ Technology Platform サーバーへの Web サービス リクエストのための認証を設定する必要があります。Spectrum™ Technology Platform の認証処理の詳細については、『*Spectrum™ Technology Platform Web サービス ガイド*』を参照してください。

Global Type Ahead Java Script コンポーネントの認証プロパティを設定するには、以下の手順に従います。

1. Spectrum/app/conf フォルダにある **spectrum-container.properties** ファイルを編集します。
  - a) **REST** の場合は、**spectrum-container.properties** ファイルで、**spectrum.security.authentication.webservice.enabled.REST** プロパティの値を必要に応じて設定します。例えば、すべての REST サービスで認証を有効にするには、**spectrum.security.authentication.webservice.enabled.REST=true** に設定します。  
この値を **FALSE** に設定すると、Spectrum™ Technology Platform から認証要件がすべて削除されます (推奨しません)。SOAP と REST の両方の値を同期させておくことをお勧めします。
  - b) **SOAP** の場合は、**spectrum-container.properties** ファイルで、**spectrum.security.authentication.webservice.enabled.SOAP** プロパティの値を必要に応じて設定します。例えば、すべての SOAP サービスで認証を有効にするには、**spectrum.security.authentication.webservice.enabled.SOAP=true** に設定します。  
この値を **FALSE** に設定すると、Spectrum™ Technology Platform から認証要件がすべて削除されます (推奨しません)。SOAP と REST の両方の値を同期させておくことをお勧めします。
2. CORS 認証を有効にします。**spectrum.properties** ファイルで、**spectrum.jetty.cors.allowedHeaders** オプションの末尾に “, Authorization” を追加します。  
例:

```
spectrum.jetty.cors.allowedHeaders=X-PINGOTHER, Origin,  
X-Requested-With, Content-Type, Accept, Authorization
```

### Global Type Ahead Java Script コンポーネントの設定

Global Type Ahead Java Script コンポーネントをインストールした後は、Web アプリケーション用にツールを設定する必要があります。[必要条件](#)（103ページ）をまだ確認していない場合は、確認してください。

### Global Type Ahead Java Script コンポーネントのカスタマイズ

Global Type Ahead Java Script コンポーネントをカスタマイズして使用するには、次の手順を実行します。

1. ルート フォルダの **autoCompleteDemoApp.js** ファイルを編集します。
2. **spectrumServerName** フィールドに、ポートを含めた Spectrum™ Technology Platform サーバーの名前を入力します。
3. **authentication** フィールドに、必要な Spectrum™ Technology Platform 認証のタイプを以下から 1 つ入力します。
  - なし
  - Session
  - クライアント
  - トークン
  - 自分で作成した認証トークン
4. **defaultCountry** フィールドに、デフォルトの国を指定します。完全な国名を入力します。データ内の住所の多くが所在する国を指定する必要があります。例えば、住所の多くが英国に所在する場合は、英国を指定します。住所入力時に国名を省略すると、Global Type Ahead は、指定されたデフォルトの国に対して取得できる最も適切な候補を返します。
5. **fuzzy** フィールドに、使用するマッチングロジックのタイプを入力します。Global Type Ahead には、入力された綴りが誤っていても住所の取得を最適化できるアルゴリズムがあります。このような機能はファジー マッチと呼ばれ、マッチ設定の制約によって実装されます。
  - なし - ファジー マッチはデフォルトで無効です。
  - ハード マッチ - ハード マッチを選択すると、1 文字の置換、挿入、削除、または移動が許可されます。
  - ソフト マッチ - ソフト マッチを選択すると、2 文字の置換、挿入、削除、または移動が許可されます。

注：ファジー マッチングは、代替ツール表示でのみ利用できます。
6. **maxCandidatesReturned** フィールドに、返される検索候補の最大数として 1 ~ 99 の数字を入力します。最大数は 99 です。デフォルトは 5 です。

7. **sessionTimeout** フィールドに、トークン認証のタイムアウト値を分単位で入力します。デフォルトは 30 です。

#### Global Type Ahead Java Script コンポーネントの処理の設定

Global Type Ahead Java Script コンポーネントの処理を個々の用途に応じて定義するには、以下の手順に従います。

1. ルート フォルダにある **index.html** ファイルを編集します。
2. 6 行目は、Global Type Ahead Java Script コンポーネントに使用される AngularJS のバージョンを定義しています。デフォルトバージョンの AngularJS を置き換えるには、使用するバージョンを入力します。
3. 7 行目は、ソース コードを Web ページから利用できるようにしています。
4. 9 行目は、カスタマイズファイルを指定しています。詳細については、「[Global Type Ahead Java Script コンポーネントのカスタマイズ \(106ページ\)](#)」を参照してください。
5. 11、12、13 行目は、index.html Web ページの動作に必要なカスケードスタイルシート (CSS) を定義しています。デフォルトの CSS を置き換えるには、Global Type Ahead Java Script コンポーネントとともに使用する CSS を入力します。
6. 34 行目は、Global Type Ahead Java Script コンポーネントを呼び出しています。  
Web サーバーと Spectrum™ Technology Platform サーバーは、物理的に同じコンピュータやプラットフォームに配置する必要はありません。例えば、Linux で実行されている Web サーバーから Windows で実行されている Spectrum™ Technology Platform サーバーにアクセスすることもできます。
7. モジュール名 (例: ng-app) とコントローラ (例: ng-controller) は、**WebWidget/autoCompleteDemoApp.js** と **index.html** ファイルの両方で一致している必要があります。
8. **template.html** ファイルの場所である **WebWidget\pb-address-complete\address-complete.js** は、設定に基づいて正確である必要があります。

#### 代替 Global Type Ahead Java Script コンポーネント処理

Global Type Ahead Java Script コンポーネントは、デフォルトのインターフェイスとともにインストールされます。このインターフェイスは、pb-address-complete フォルダにあります。pb-address-complete フォルダに、Global Type Ahead Java Script コンポーネントのコードが含まれています。

代替インターフェイスを表示するには、次の手順を実行します。

1. **pb-address-complete** フォルダを見つけます。
2. **template.html** の名前を **template1.html** に変更します。
3. **template2.html** の名前を **template.html** に変更します。

4. これにより、「**Global Type Ahead Java Script コンポーネントのカスタマイズ** (106ページ)」で説明されているファジー マッチング オプションを含む代替インターフェイスが表示されます。

### Global Type Ahead Java Script コンポーネントの使用

Global Type Ahead Java Script コンポーネントを使用するには、以下の手順に従います。

1. Spectrum と Web サーバーを起動します。
2. Web ブラウザを開いて Web サーバーを参照します。例えば、サーバーの名前が "myserver" で、サーバーでポート 82 を使用している場合は、http://myserver:82 に移動します。
3. **[住所検索]** フィールドで住所の入力を開始します。3 文字目を入力すると候補の表示が始まります。
4. 補助的範囲 (APT 番号) を含む高層の住所を入力すると、補助的範囲 (APT) がいくつあるかが先行入力表示に示されます。先行入力表示の項目をクリックすると、その住所に対応する補助的範囲が表示されます。
5. 最終的な住所を選択します。
6. 住所が (Global Address Validation を使用して) 検証され、ページの下部にある [検索結果] セクションに表示されます。結果はエンドユーザー向けのフィールドとしてもエクスポートされ、さらに顧客アプリケーションやページ内で (アプリケーションの要件に従って) 使用できます。以下のフィールドがあります。
  - **selectedRangeItem** - このフィールドは、選択された高層住所と高層のオブジェクトを出力し、補助的範囲 (存在する場合) を含んでいます。
  - **selectedResult** - このフィールドは、上記で選択された高層住所の補助的範囲またはリストから選択された候補のオブジェクトを出力します。
  - **selectedAddress** - このフィールドは、先行入力テキスト ボックスにも表示される、選択された住所の住所フォーマットを出力します。
7. 入力する住所に対する結果をフィルタリングするには、住所を入力する前に、国を変更するか、都市、州、または郵便番号を指定します。都市または郵便番号の入力中に、検証された選択肢の一覧が示されます。

### テクニカル ノート

Web サービスの認証の詳細については、『*Spectrum™ Technology Web サービス ガイド*』の「Web サービスの認証」を参照してください。

CORS の有効化の詳細については、『*Spectrum™ Technology Platform 管理ガイド*』の「CORS の有効化」を参照してください。

index.html の以下のタグで、ウィジェット処理が実行されます。

- <Link> タグによって、index.html Web ページの動作に必要な CSS (カスケード スタイル シート) が定義されます。このタグを削除して、CSS ファイルによって定義されている効果を確認できます。独自の CSS を使用することもできます。
- 次のタグは、インクルードされている AngularJS のバージョンを定義します。
  - `<script src="./js/angular.min.js"></script>`
- 次のタグは、ウィジェットのソース コードを Web ページから利用できるようにしています。
  - `<script src="./pb-address-complete/address-complete.js"></script>`
- 次のタグは、カスタマイズ ファイル (上記参照) をインクルードします。
  - `<script type="text/javascript" src="autoCompleteDemoApp.js"></script>`
- 次のタグは、HTML ページにウィジェットを組み込みます。
  - `<pb-address-complete options="options" selected-address = "selectedAddress" city = "city" country = "country" on-select="onSelect(address)"></pb-address-complete>`
- Web サーバーと Spectrum サーバーは、物理的に同じコンピュータやプラットフォームに配置する必要はありません。例えば、Linux で実行されている Web サーバーから Windows で実行されている Spectrum サーバーにアクセスすることもできます。

## グローバル住所パーサー

グローバル住所パーサー (Global Address Parser) は、Machine Learning 技術により、郵便の住所文字列を、組織名、都市、地方、地区、および郵便番号などの該当の構成要素に分割します。これは、**[Global Addressing モジュール]** 機能の一部です。

次の 2 つの方法で Global Address Parser にデータを入力できます。

- **[Management Console]** を使用してデータを 1 つずつ入力する
- 単一の列に配置された住所などのヘッダーを持つカンマ区切りの住所ファイルを **[Management Console]** にインポートする、または、**[Enterprise Designer]** で任意のデータ ソースのステージを代わりに使用する

次の例では、入力住所文字列と、それに対応するフォーマットされた出力を示しています。

入力文字列: "Pitney Bowes Ltd Unit 5 Hatfield Business Park Mosquito Way Hatfield Hertfordshire AL10 9UJ GBR"

フォーマットされた出力レコード:

フィールド名	フォーマットされた出力
組織名	PITNEY BOWES LTD
PlaceName	ハットフィールド ビジネス パーク
Floor	ユニット 5
Street	モスキート ウェイ
City	ハットフィールド
County	ハートフォードシャー
郵便番号	AL10 9UJ
Country	GBR
Confidence.Total	78.64

### Global Address Parser の機能

Global Address Parser では、次のことが可能です。

- **Machine Learning** でトレーニングされたモデルにより、住所文字列を構成要素に分割およびフォーマットします。
- 住所をローマ字に分割して、ローマ字の入力住所を受け入れます。いくつかのギリシャ文字もサポートします。
- 現在、以下の国についてパーシングをサポートしています。
  - オーストラリア
  - カナダ
  - フランス
  - ドイツ
  - Spain
  - 英国
  - 米国
- 国固有の住所表記の慣習に効率的に対応します。住所コンポーネントは国によって多種多様です。例えば、ドイツの住所では通常、家番号は通り名の後に続き、郵便番号は市の前に表記し

ます。このモジュールは、こうした複雑さのすべてを効率的に処理し、指定した国の慣習に従って住所コンポーネントを予測します。

- パーシングのためのリファレンス用の住所データベースが不要になります。

### 予測の精度を高めるガイドライン

住所コンポーネントの予測精度を最大にするには、次のパターンに従った入力住所文字列にする必要があります。

#### オーストラリアの住所のガイドライン

**非住所コンポーネントを避ける** 入力文字列内の非住所コンポーネントは、誤った予測をもたらすことがあります。予測用に文字列を読み込ませる前にそうしたコンポーネントを削除します。

**住所コンポーネント内のシーケンスを維持する** 住所コンポーネントは次の順に配置します。**[組織名] > [住所番号] > [通り] > [郵便番号] > [都市] > [州/省] > [国]**

例:

- 誤った例: *Level 5 176 Messines Ridge Rd Griffith College Mount Gravatt QLD 4122 Australia*
- 正しい例: *Griffith College Level 5 176 Messines Ridge Rd Mount Gravatt QLD 4122 Australia*

**冗長な住所コンポーネントを削除する** 入力住所文字列には住所コンポーネントが重複しないようにします。例えば、1つの文字列に2つの異なる組織名がある、または組織に繰り返されている名前があるなどです。

例: *Griffith College Level 5 176 Messines Ridge Rd Griffith College Mount Gravatt QLD 4122 Australia*

**結合されたコンポーネントを住所文字列に含めない** 結合された住所コンポーネントは不正確な予測につながります。

例:

- 誤った例: *Griffith College Level-5-176 Messines Ridge Rd Mount Gravatt QLD 4122 Australia*
- 正しい例: *Griffith College Level 5 176 Messines Ridge Rd Mount Gravatt QLD 4122 Australia*

**文字列に宛名を含めない** オーストラリアの住所の場合、文字列に宛名があると予測が不正確になります。

例:

- 誤った例: *Alice Smith Griffith College Level 5 176 Messines Ridge Rd Mount Gravatt QLD 4122 Australia*

- 正しい例: *Griffith College Level 5 176 Messines Ridge Rd Mount Gravatt QLD 4122 Australia*

住所コンポーネントに丸括弧 "()" "()" で囲まれた住所コンポーネントはどれも、パースされま  
を含めない  
せん。

例: *Griffith College (Level 5) 176 Messines Ridge Rd Mount Gravatt QLD 4122 Australia*

### オーストラリアの住所での制約事項

オーストラリアの住所では、住所パーサーに制約があります。

- 私書箱の住所はサポートされていません。
- センテンス固有の住所 ("~に近い"、"~の間の"、"~のそばの" などが含まれる住所) には対応していません。

例: *Tourquay Road Close To Butcher Shop Hervey Bay QLD 4655 AUS*

- 道路名に "および" ("and" または "&") が含まれる住所はサポートされていません。

例: *Corner Farrall Road and O'Connor Road Stratton 6056 AUS*

- 通り名の形式が複雑な住所 (例えば、タワー、公園、ビルディングといった、通りの追加情報) はサポートされていません。

例: *Wesfarmers Limited Level 14 Brookfield Place Tower 2 123 St Georges Terrace Perth 6000 AUS*

- 文字形式のユニット/通りのコンポーネントはサポートされていません。

例: *Ground Floor 46 Charlotte St Brisbane 4000 AUS*

- 住所内で、組織、州、国を繰り返さないでください (Australia または QLD など)。

例: *DOF Subsea Australia Pty Ltd 5th FL 181 St Georges TCE Perth Western Australia 6000 AUS*

### カナダの住所のガイドライン

**非住所コンポーネントを避ける** 入力文字列内の非住所コンポーネントは、誤った予測をもたらすことがあります。予測用に文字列を読み込ませる前にそうしたコンポーネントを削除します。

**住所コンポーネント内のシーケンスを維持する** 住所コンポーネントは次の順に配置します。[組織名] > [住所番号] > [通り] > [郵便番号] > [都市] > [州/省] > [国]

例:

- 誤った例: *127 ORR AVE L4L9K2 ON WOODBRIDGE CAN*
- 正しい例: *127 ORR AVE L4L9K2 WOODBRIDGE ON CAN*



**冗長な住所コンポーネントを削除する** 入力住所文字列には住所コンポーネントが重複しないようにします。例えば、1つの文字列に2つの異なる組織名がある、または組織に繰り返されている名前があるなどです。

例: *Adlib Publishing Systems Inc Adlib Publishing Systems Inc 10 5100 South Service Rd Burlington ON Canada*

**結合されたコンポーネントを住所文字列に含めない** 結合された住所コンポーネントは不正確な予測につながります。

例:

- 誤った例: *Adlib-Publishing-Systems-Inc-10 South Service Rd Burlington ON Canada*
- 正しい例: *Adlib Publishing Systems Inc-10 South Service Rd Burlington ON Canada*

**文字列に宛名を含めない** カナダの住所の場合、文字列に宛名があると不正確な予測となります。

例:

- 誤った例: *Mr. XXX Adlib Publishing Systems Inc 10 5100 South Service Rd Burlington ON Canada*
- 正しい例: *Adlib Publishing Systems Inc 10 5100 South Service Rd Burlington ON Canada*

**住所コンポーネントに丸括弧 "()" を含めない** "()" で囲まれた住所コンポーネントはどれも、パースされません。

例: *(Adlib Publishing Systems Inc) 10 5100 South Service Rd Burlington ON Canada*

### カナダの住所での制約事項

カナダの住所では、住所パーサーに制約があります。

- ユニットまたはアパートの情報はサポートされていません。
- 住所にフランス語の文字が存在すると正しく表示されません。

### フランスの住所のガイドライン

**非住所コンポーネントを避ける** 入力文字列内の非住所コンポーネントは、誤った予測をもたらすことがあります。予測用に文字列を読み込ませる前にそうしたコンポーネントを削除します。

**住所コンポーネント内のシーケンスを維持する** 住所コンポーネントは次の順に配置します。[組織名] > [住所番号] > [通り] > [郵便番号] > [都市] > [州/省] > [国]

例:

- 誤った例: *Normandie Hôtel 236 Rue Denis Papin Barentin Seine-Maritime 76360 France*

- **正しい例:** *Normandie Hôtel 236 Rue Denis Papin 76360 Barentin Seine-Maritime France*

**冗長な住所コンポーネントを削除する** 入力住所文字列には住所コンポーネントが重複しないようにします。例えば、1つの文字列に2つの異なる組織名がある、または組織に繰り返されている名前があるなどです。

例: *School André Marie 351 Boulevard de Normandie 76360 André Marie Barentin France*

**結合されたコンポーネントを住所文字列に含めない** 結合された住所コンポーネントは不正確な予測につながります。

例:

- **誤った例:** *School-André-Marie 351 Boulevard de Normandie 76360 Barentin Seine-Maritime France*
- **正しい例:** *School André Marie 351 Boulevard de Normandie 76360 Barentin Seine-Maritime France*

**文字列に宛名を含めない** カナダの住所の場合、文字列に宛名があると予測が不正確になります。

例:

- **誤った例:** *Mr. XXXXX School André Marie 351 Boulevard de Normandie 76360 Barentin Seine-Maritime France*
- **正しい例:** *School André Marie 351 Boulevard de Normandie 76360 Barentin Seine-Maritime France*

**住所コンポーネントに丸括弧 "()" を含めない** "()" で囲まれた住所コンポーネントはどれも、パースされません。

例: *School (André Marie) 351 Boulevard de Normandie 76360 Barentin Seine-Maritime France*

### フランスの住所での制約事項

フランスの住所では、住所パーサーに制約があります。

- 都市名が含まれる通り名はサポートされていません。

例: *14 Rue de Maule 78870 Bailly France*

- フランスの海外県は正確にパースされません (例えば、Martinique、Réunion、Guadeloupe)。

### ドイツの住所のガイドライン

**非住所コンポーネントを避ける** 入力文字列内の非住所コンポーネントは、誤った予測をもたらすことがあります。予測用に文字列を読み込ませる前にそうしたコンポーネントを削除します。

**住所コンポーネント内のシーケンスを維持する** 住所コンポーネントは次の順に配置します。[組織名] > [フロア] > [場所の名前] > [住所番号] > [通り] > [近隣] > [都市/郊外/郡] > [郵便番号] > [国].

例:

- 誤った例: *3 Weseler Strasse 46514 Schermbeck DEU*
- 正しい例: *Weseler Strasse 3 46514 Schermbeck DEU*

**冗長な住所コンポーネントを削除する** 入力住所文字列には住所コンポーネントが重複しないようにします。例えば、1つの文字列に2つの異なる組織名がある、または組織に繰り返されている名前があるなどです。

例: *Weseler Strasse 3 Weseler Strasse 46514 Schermbeck DEU*

**住所番号および通り名が含まれるようにする** 住所文字列には、住所番号および通り名が含まれる必要があります。このような不可欠の住所文字列コンポーネントがない場合は、結果の精度が影響を受けます。

例:

- 誤った例: *46514 Schermbeck DEU*
- 正しい例: *Weseler Strasse 3 46514 Schermbeck DEU*

**結合されたコンポーネントを住所文字列に含めない** 結合された住所コンポーネントは不正確な予測につながります。

例:

- 誤った例: *Weseler-Strasse-3 46514 Schermbeck DEU*
- 正しい例: *Weseler Strasse 3 46514 Schermbeck DEU*

**文字列に宛名を含めない** ドイツの住所の場合、文字列に宛名があると予測が不正確になります。

例:

- 誤った例: *Mr John Doe Weseler Strasse 3 46514 Schermbeck DEU*
- 正しい例: *Weseler Strasse 3 46514 Schermbeck DEU*

**住所コンポーネントに丸括弧 "()" を含めない** "()" で囲まれた住所コンポーネントはどれも、パースされません。

例: *Weseler Strasse 3 46514 (Schermbeck) DEU*

## スペインの住所のガイドライン

**非住所コンポーネントを避ける** 入力文字列内の非住所コンポーネントは、誤った予測をもたらすことがあります。予測用に文字列を読み込ませる前にそうしたコンポーネントを削除します。

住所コンポーネント内のシーケンスを維持する 住所コンポーネントは次の順に配置します。[組織名] > [通り] > [住所番号] > [郵便番号] > [都市] > [州/省] > [国]

例:

- 誤った例: *Calle San Fernando 4 University of Seville 41004 Sevilla Spain*
- 正しい例: *University of Seville Calle San Fernando 4 41004 Sevilla Spain*

冗長な住所コンポーネントを削除する 入力住所文字列には住所コンポーネントが重複しないようにします。例えば、1つの文字列に2つの異なる組織名がある、または組織に繰り返されている名前があるなどです。

例: *University of Seville Calle San Fernando 4 University of Seville 41004 Sevilla Spain*

結合されたコンポーネントを住所文字列に含めない 結合された住所コンポーネントは不正確な予測につながりません。

例:

- 誤った例: *University of Seville Calle-San-Fernando 4 41004 Sevilla Spain*
- 正しい例: *University of Seville Calle San Fernando 4 41004 Sevilla Spain*

文字列に宛名を含めない スペインの住所の場合、文字列に宛名があると予測が不正確になります。

例:

- 誤った例: *Francisco Rodríguez University of Seville Calle San Fernando 4 41004 Sevilla Spain*
- 正しい例: *University of Seville Calle San Fernando 4 41004 Sevilla Spain*

住所コンポーネントに丸括弧 "()" を含めない "()" で囲まれた住所コンポーネントはどれも、パースされません。

例: *University of Seville (Calle San Fernando) 4 41004 Sevilla Spain*

### スペインの住所での制約事項

スペインの住所では、住所パーサーに制約があります。

- 略語 (例: PL. (場所)、Av.、BL. (大通りや並木道)、C. (通り)) で始まる住所はサポートされていません。

- ランドマーク情報 (例: ~にある、~の近くの、~との間にある) が含まれる通り名はサポートされていません。

### 英国の住所のガイドライン

**非住所コンポーネントを避ける** 入力文字列内の非住所コンポーネントは、誤った予測をもたらすことがあります。予測用に文字列を読み込ませる前にそうしたコンポーネントを削除します。

**住所コンポーネント内のシーケンスを維持する** 住所コンポーネントは次の順に配置します。[組織名] > [フロア] > [場所の名前] > [住所番号] > [通り] > [近隣] > [都市/郊外/郡] > [郵便番号] > [国].

例:

- 誤った例: *Pitney Bowes Limited London Milenium street Unit 3 AB10 3DF GBR*
- 正しい例: *Pitney Bowes Limited Unit 3 Milenium street London AB10 3DF GBR*

**冗長な住所コンポーネントを削除する** 入力住所文字列には住所コンポーネントが重複しないようにします。例えば、1つの文字列に2つの異なる組織名がある、または組織に繰り返されている名前があるなどです。

例:

- 誤った例: *Pitney Bowes Limited Pitney Bowes Limited Unit 10 Logix Cyber Park 10 Manor Street London AB10 3DF GBR*

**組織タイプのある単一トークンの組織名にする** 単一トークンの組織名に、*Ltd*、*Inc*、および *Reg* などの組織タイプが続くようにします。以下の例では、*Ardian* が単一トークン組織名です。この場合、組織名の後に「*Limited*」というタイプがないため、結果が不正確になる可能性があります。

例:

- 誤った例: *Ardian Fourth Floor Channel House St Helier Je2 4UH GBR*
- 正しい例: *Ardian Limited Fourth Floor Channel House St Helier Je2 4UH GBR*

### 英国の住所での制約事項

次のような文字列が住所にあると、住所パーサーの予測が不正確になる傾向があります。このような文字列が住所文字列にないか注意します。

**組織名に別の住所コンポーネントが含まれる** 組織名に、*Floor*、*Flat*、および *House* などのそのほかの住所コンポーネントがあると、予測精度が影響を受けることがあります。

例: *Flat Seasons 632 Kings Road London Middlesex SW6 2DU GBR*

組織名に数字が含まれる

組織名に数字があると、誤った予測になる傾向があります。

例: *123 Limited ABC Street AB10 3DF GBR*

### 米国の住所のガイドライン

非住所コンポーネントを避ける

入力文字列内の非住所コンポーネントは、誤った予測をもたらすことがあります。予測用に文字列を読み込ませる前にそうしたコンポーネントを削除します。

住所コンポーネント内のシーケンスを維持する

住所コンポーネントは次の順に配置します。**[組織名] > [住所番号] > [通り] > [都市] > [州/省] > [郵便番号] > [国]**

例:

- 誤った例: *2200 Western CT Pitney Bowes USA Lisle IL 60532*
- 正しい例: *Pitney Bowes 2200 Western CT Lisle IL 60532 USA*

冗長な住所コンポーネントを削除する

入力住所文字列には住所コンポーネントが重複しないようにします。例えば、1つの文字列に2つの異なる組織名がある、または組織に繰り返されている名前があるなどです。

例: *Pitney Bowes 2200 Western CT Pitney Bowes Lisle IL 60532 USA*

結合されたコンポーネントを住所文字列に含めない

結合された住所コンポーネントは不正確な予測につながりません。

例:

- 誤った例: *Pitney-Bowes-2200 Western CT Lisle IL 60532 USA*
- 正しい例: *Pitney Bowes 2200 Western CT Lisle IL 60532 USA*

文字列に宛名を含めない

米国の住所の場合、文字列に宛名があると予測が不正確になります。

例:

- 誤った例: *Mr John Doe Pitney Bowes 2200 Western CT Lisle IL 60532 USA*
- 正しい例: *Pitney Bowes 2200 Western CT Lisle IL 60532 USA*

住所コンポーネントに丸括弧 "()" を含めない

"()" で囲まれた住所コンポーネントはどれも、パースされません。

例: *Pitney Bowes 2200 Western CT (Lisle) IL 60532 USA*

### 米国の住所での制約事項

米国の住所では、住所パーサーに制約があります。

- 私書箱の住所はサポートされていません。
- 様方 (In Care) の略号である (C/O) の住所はサポートされていません。
- [住所番号] がない場合、[通り番号] が [住所番号] として返る場合があります (上付き文字がない数字の桁の場合にのみ、この状況が発生します)。
- いくつかの定義済み住所の場合、[方向] が [州/省] で返る場合があります (特に [方向] が 2 文字の場合に、この状況が発生します)。

### Global Address Parser へのアクセス

Global Addressing Module をインストールして展開すると、Global Address Parser を次の 2 つの例のように使用できます。

- **[Enterprise Designer]** からステージとして使用する
- **[Management Console]** からサービスとして使用する

**[Address Parser]** 画面を使用して、次のタスクを実行できます。

1. **パーシングオプションの設定:**住所が属する国、およびパーシングに必要な最小の信頼性レベルを指定します。
2. **住所のパーズ:**住所文字列を入力し、パーズ済み出力を取得します。

注：タスクの実行の詳細については、セクション「**Global Address Parser のステージとしての使用** (119ページ)」および「**Global Address Parser のサービスとしての使用** (120ページ)」を参照してください。

### Global Address Parser のステージとしての使用

Global Address Parser を、ジョブの住所パーシング ステージとして使用できます。その場合、バッチ住所パーシングのみ実行可能です。

住所文字列バッチをパーズするには、Global Address Parser ステージに入力ステージおよび出力ステージを追加します。

注：Enterprise Designer の任意のステージを使用したジョブの作成の詳細については、『Dataflow Designer ガイド』の「最初のデータフロー作成 (ジョブ)」を参照してください。

次のテーブルで Global Address Parser のオプションを示します。

表 31 : Global Address Parser のオプション

フィールド名	説明
次の値でシステムデフォルト オプションを上書きします。	デフォルト オプションを変更するには、このチェックボックスをオンにします。
デフォルト オプション	
Country	<p>パースする住所が属する国を選択します。次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オーストラリア</li> <li>・ カナダ</li> <li>・ フランス</li> <li>・ ドイツ</li> <li>・ Spain</li> <li>・ 英国</li> <li>・ 米国</li> </ul>
最小信頼度スコア	<p>0 ~ 100 の範囲で、パーサーに結果を表示させる最小の信頼性を割り当てます。</p> <p>注：ここで指定した信頼性スコアに満たないパーシング結果は、出力として表示されません。</p>

注：出力フィールドの詳細については、[パース済み住所出力（122ページ）](#)を参照してください。

### Global Address Parser のサービスとしての使用

住所の文字列を適切な要素に分割するには、以下の手順を実行する必要があります。

- ・ パーシング オプションを設定します。
- ・ パースする入力住所を Global Address Parser に入力します。


**Global Address Parser** 画面を表示して住所をパースする手順は次のとおりです。


1. Web ブラウザで、次の場所に移動します。

`http://server:port/managementconsole`

ここで **server** は、Spectrum™ Technology Platform サーバーの名前または IP アドレスで、**port** は HTTP ポートです。デフォルトの HTTP ポートは 8080 です。





2. 自分の資格情報でログインします。
3. **[サービス]** タブで **[Global Addressing]** を選択します。
4. ウィンドウ左側のサービス一覧から、**[Global Address Parser]** を選択します。  
**Global Address Parser** 画面が表示されます。**[デフォルト オプション]** タブが選択されています。
5. パースする住所国 を選択します。住所は以下の国でパースできます。
  - オーストラリア
  - カナダ
  - フランス
  - ドイツ
  - Spain
  - 英国
  - 米国
6. このパースに必要な **[最小信頼度スコア]** を設定します。この信頼度スコアに達しなかった場合、結果は表示されません。
7. **[保存]** をクリックします。  
指定したオプションが次の操作 (パースする住所の入力) のために保存されます。
8. **[プレビュー]** タブをクリックします。
9. パースする住所をパーサーに送り込むには、これらのアイコンのどれかをクリックします。
  - レコードを一度にまとめてパーサーに送り込む場合は、次の操作を行います。
    1. **[レコードを追加]** ボタン  をクリックします。
    2. **[入力レコード <住所レコードのシーケンス>]** セクションの **[住所]** フィールドに、パースする住所文字列を入力します。

注：ステップ a と b を繰り返して複数の住所文字列を追加します。追加できる住所文字列は最大 100 個です。
  - 複数の住所文字列を csv ファイルからインポートする場合は、**[レコードをインポート]** ボタン  をクリックします。**[データのインポート]** ポップアップウィンドウが表示されます。ここで、以下の値を入力します。
    1. **[ファイル名]** フィールドで、住所レコードのファイルを選択します。
    2. 住所ファイルで使われている **[フィールド区切り文字]** を選択します。
    3. **[インポートするレコードの最大数]** を指定します。
    4. **[OK]** をクリックします。

入力または選択した住所レコードが **[プレビューを実行]** ボタンの下に入力レコードとして表示されます。

注：入力住所の文字列には固有の名前が 2 つ以上含まれていなければなりません。例えば、入力住所の文字列が London だけだと、パーサーに認識されません。住所の文字列には、都市の名前、場所の名前、郵便番号など、固有の名前 (要素) を 2 つ以上含める必要があります。

10. 住所のいずれかの文字列を削除するには、カーソルを対応する **[入力レコード <住所レコードのシーケンス>]** に合わせ、表示された **[このレコードを削除]** アイコン  をクリックします。

注：すべてのレコードを削除するには、**[入力レコード]** の下にある **[すべてのレコードの削除]**  アイコンをクリックします。

11. パース結果を表示するには **[プレビューを実行]** ボタンをクリックします。  
 パースされた住所要素 (出力レコード) が、対応する入力レコードのすぐ隣に表示されます。  
 出力フィールドの詳細については、[パース済み住所出力](#) (122ページ) を参照してください。

### パース済み住所出力

パース済み出力には、すべての住所コンポーネントが、入力住所文字列の対応する値とともに表示されます。すべての国の住所コンポーネントには例外があります。以下の表は、すべての住所コンポーネントの説明、コンポーネントが取り得る値、およびこれらの値がオーストラリア (AUS)、カナダ (CAN)、フランス (FRA)、ドイツ (DEU)、スペイン (ESP)、英国 (GBR)、米国 (USA) の住所にも適用されるかどうかを示しています。

注：いくつかの住所コンポーネントの値は、出力内で入れ替え可能です。

- カナダの住所の場合: 都市と州/省を入れ替えることができます。
- ドイツの住所の場合: 郊外、都市、郡、州/省を入れ替えることができます。
- 英国の住所の場合: 都市、郊外および近隣を入れ替えることができます。

表 32 : 住所コンポーネント、定義、および有効性

住所のコンポーネント	AUS	CAN	DEU	ESP	FRA	GBR	USA	受け入れおよびパースの対象となる値
	有効	有効	有効	有効	有効	有効	有効	
組織名	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	組織、病院、機関、学校、および銀行の名前。

住所のコンポーネント	AUS	CAN	DEU	ESP	FRA	GBR	USA	受け入れおよびパースの対象となる値
Floor	-	-	-	-	-	はい	-	アパート番号、付属する建物の情報、フロア、スイート、およびフラットの番号。
PlaceName	-	-	-	-	-	はい	-	ランドマーク、建物、建物名、集落名、団体名、住居および商業複合施設、および経済特区。
AddressNumber	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	建物番号、通りの住所番号
Street	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	大通りの名前。
近隣	-	-	-	-	-	はい	-	細分化された地方、都市、町。
City	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	国の地理的レベル区域ごとの、村、都市、地区、または郊外これらの要素が集まって場所情報を構成します。
Suburb	-	-	はい	-	-	はい	-	
County	-	-	はい	-	-	はい	-	
郵便番号	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	主に郵便の仕分けを目的として、地理的レベルの地域に割り当てられる一連の文字および数字の両方またはいずれか一方郵便番号には、スペースや句読文字が含まれることもあります。
POBox	-	-	はい	-	-	はい	-	ユニークな住所を持つ鍵のかかるボックス。郵便局の敷地内に設置されます。
StateProvince	はい	はい	はい	はい	はい	-	はい	国に関する広域な地理的レベルのエンティティ。
Country	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	国名。

注：表に示したすべてのコンポーネントが、入力住所すべてに対して表示されないこともあります。コンポーネントが表示されるには、その値が入力文字列に含まれる必要があります。

## 米国データベース検索

米国データベース検索を使用すると、米国データベースで住所情報を直接検索できます。米国データベース検索は、Global Addressing モジュールの一部です。

### サポートされている国

米国データベース検索には、米国のデータベースのみを対象とした検索機能があります。

### 米国データベース検索の使用

Global Addressing モジュールをインストールして、展開すると、米国データベース検索を使用して次のことを実行できます。

- 最終行検索
- 通り名検索
- 家番号検索
- 都市または都市/州の組み合わせに対する郵便番号検索

Management Console から米国データベース検索を使用するには、次の手順を実行します。

1. Management Console を開きます。
2. [サービス] タブで **[Global Addressing]** を選択します。
3. ウィンドウ左側のサービス一覧から、**[米国データベース検索]** を選択します。
4. **[データベース リソース]** タブで、使用する Global Address Validation データベース リソースを指定します。
5. **[保存]** をクリックして、データベース選択を保存します。
6. **[デフォルト オプション]** タブをクリックします。
7. **[デフォルト オプション]** タブで、返される候補の最大数を指定します。デフォルト値は 100 です。
8. グローバル デフォルト オプションを変更した場合は、**[保存]** をクリックして変更内容を保存します。
9. **[プレビュー]** タブをクリックします。
10. 実行する検索のタイプの手順に従います。
11. **[プレビューを実行]** をクリックします。
12. ウィンドウ右側にある **[出力レコード]** のプレビューで、検索結果が適切な出力フィールドに配置されていることを確認してください。出力フィールドの詳細。

### 都市、州、および郵便番号での最終行検索の使用

最終行検索を使用して、次のことができます。

- 完全な都市および州またはその一部に対応するすべての都市および郵便番号を検索します。
- 完全な郵便番号またはその一部に対応するすべての都市および郵便番号を検索します。
- 特定の郵便番号に対応するすべての都市、および特定の都市に対応するすべての郵便番号を検索します。

#### 最終行検索での都市と州の使用

完全な都市および州またはその一部に対応するすべての都市および ZIP Code を表示するには:

1. LastLine フィールドに、完全な都市および州またはその一部を入力します。
2. **[プレビューを実行]** をクリックします。
3. ウィンドウ右側にある **[出力レコード]** のプレビューで、検索結果が、指定された入力範囲に基づいて、適切な出力フィールドに配置されていることを確認してください。

例: LastLine フィールドに "Whe" と "IL" を入力します。出力レコードには、"Wheaton IL" と "Wheeling IL" に対応するすべての都市と ZIP Code が表示されます。

#### 最終行検索での ZIP Code の使用

完全な ZIP Code またはその一部に対応するすべての都市および ZIP Code を表示するには:

1. LastLine フィールドに、完全な ZIP Code またはその一部を入力します。
2. **[プレビューを実行]** をクリックします。
3. ウィンドウ右側にある **[出力レコード]** のプレビューで、検索結果が、指定された入力範囲に基づいて、適切な出力フィールドに配置されていることを確認してください。

例: LastLine フィールドに "6018" を入力します。出力レコードには、"60180" から "60189" まで、"6018" という文字で始まるすべての ZIP Code と、その範囲内にある ZIP Code に対応するすべての都市が表示されます。

#### 最終行検索での都市/州および郵便番号の使用

特定の郵便番号に対応するすべての都市、および特定の都市に対応するすべての郵便番号を表示するには:

1. LastLine フィールドに、完全な都市/州および郵便番号またはその一部を入力します。
2. **[プレビューを実行]** をクリックします。
3. ウィンドウ右側にある **[出力レコード]** のプレビューで、検索結果が、指定された入力範囲に基づいて、適切な出力フィールドに配置されていることを確認してください。

例: LastLine フィールドに "Wheaton IL 60187" と入力します。出力レコードには、"Wheaton IL 60187" と "Wheaton IL 60189" が含まれます。出力では、"60187" に対応するすべての都市、および "Wheaton IL" に対応するすべての郵便番号が返されます。

### 通り名での最終行検索の使用

最終行検索を使用して、次のことができます。

- 都市/州に対応するすべての通り名を検索します。
- 郵便番号に対応するすべての通り名を検索します。

注：通り名検索では、完全な都市/州および郵便番号を使用する必要があります。

### 通り名検索での都市と州の使用

都市/州に対応するすべての通り名を表示するには:

1. LastLine フィールドに、完全な都市および州を入力します。
2. StreetName フィールドに "\*" (引用符なしのアスタリスク) を入力します。
3. **【プレビューを実行】** をクリックします。
4. ウィンドウ右側にある **【出力レコード】** のプレビューで、検索結果が、指定された入力の範囲に基づいて、適切な出力フィールドに配置されていることを確認してください。

例: LastLine フィールドに "Wheaton" と "IL" を入力します。また、StreetName フィールドに "\*" を入力します。出力レコードには、"Wheaton IL" で見つかるすべての通り名が含まれます。

例: LastLine フィールドに "Wheaton" と "IL" を入力します。また、StreetName フィールドに "a" を入力します。出力レコードには、"Wheaton IL" で見つかる、"a" で始まるすべての通り名が含まれます。"and" を入力して、"Wheaton IL" で見つかる、"and" で始まるすべての通り名を表示することもできます。

### 通り名検索での ZIP Code の使用

都市/州に対応するすべての通り名を表示するには:

1. LastLine フィールドに ZIP Code を入力します。
2. StreetName フィールドに "\*" (引用符なしのアスタリスク) を入力します。
3. **【プレビューを実行】** をクリックします。
4. ウィンドウ右側にある **【出力レコード】** のプレビューで、検索結果が、指定された入力の範囲に基づいて、適切な出力フィールドに配置されていることを確認してください。

例: LastLine フィールドに "60187" を入力します。また、StreetName フィールドに "\*" を入力します。出力レコードには、ZIP Code "60187" で見つかるすべての通り名が表示されます。

**例:** LastLine フィールドに "60187" を入力します。また、StreetName フィールドに "a" を入力します。出力レコードには、"a" で始まる通り名のうち、ZIP Code "60187" で見つかるものがすべて表示されます。"as" を入力して、"as" で始まる通り名のうち、"60187" で見つかるものすべてを表示することもできます。

### 家番号での最終行検索の使用

最終行検索を使用して、次のことができます。

- 都市/州の通り名に対応するすべての家番号を見つける
- ZIP Code の通り名に対応するすべての家番号を見つける

注：家番号検索では、完全な都市/州および ZIP Code を使用する必要があります。

### 家番号検索での都市と州の使用

都市/州の通り名に対応するすべての家番号を表示するには:

1. LastLine フィールドに、完全な都市および州を入力します。
2. StreetName フィールドに完全な通り名を入力します。
3. HouseNumber フィールドに "\*" (引用符なしのアスタリスク) を入力します。
4. **[プレビューを実行]** をクリックします。
5. ウィンドウ右側にある **[出力レコード]** のプレビューで、検索結果が、指定された入力の範囲に基づいて、適切な出力フィールドに配置されていることを確認してください。

**例:** LastLine フィールドに "Wheaton" と "IL" を入力します。また、StreetName フィールドに "Lincoln"、HouseNumber フィールドに "\*" を入力します。出力レコードには、イリノイ州ウィートン、リンカーン通りに対応するすべての家番号が表示されます。

### 家番号検索での ZIP Code の使用

都市/州の通り名に対応するすべての家番号を表示するには:

1. LastLine フィールドに完全な ZIP Code を入力します。
2. StreetName フィールドに完全な通り名を入力します。
3. HouseNumber フィールドに "\*" (引用符なしのアスタリスク) を入力します。
4. **[プレビューを実行]** をクリックします。
5. ウィンドウ右側にある **[出力レコード]** のプレビューで、検索結果が、指定された入力の範囲に基づいて、適切な出力フィールドに配置されていることを確認してください。

**例:** LastLine フィールドに "60187" を入力します。また、StreetName フィールドに "Lincoln"、HouseNumber フィールドに "\*" を入力します。出力レコードには、ZIP Code 60187 に対応するリンカーン通りのすべての家番号が表示されます。

# Universal Addressing モジュール

## Universal Addressing モジュール

Universal Addressing モジュールは、住所品質モジュールで、住所の正規化とバリデーションを実行して、郵便物の配達品質を高めることができます。Universal Addressing モジュールを使用すると、住所データに対して郵便当局が定める品質規格への準拠を徹底できます。住所がこれらの規格に準拠していれば、郵便物を規定の配達日数でより確実に配達できます。また、差出人も、これらの規格に準拠すれば、郵便料金の大幅な割引を受けることができます。米国における郵便料金の割引については、[www.usps.com](http://www.usps.com) にある *USPS Domestic Mail Manual (DMM)* を参照してください。カナダにおける郵便料金の割引については、カナダ郵便公社の Web サイト [www.canadapost.ca](http://www.canadapost.ca) を参照してください。オーストラリアにおける郵便料金の割引については、オーストラリア郵便公社の Web サイト [www.auspost.com.au](http://www.auspost.com.au) を参照してください。

Universal Addressing モジュールは、供与されているライセンスに応じて、バッチ モード、リアルタイムモード、またはホステッドサービスとして使用できます。バッチバージョンの Universal Addressing モジュールは USPS™ による CASS 認定®です。また、オーストラリア郵便当局による AMAS 認定でもあります。

Spectrum™ Technology Platform では、2つの住所品質モジュールを使用でき、Universal Addressing モジュールはその1つです。もう1つは Address Now モジュールです。このモジュールは、米国とカナダ以外の住所のサポートが強化されており、より多くの国のバリデーションが可能で、2バイトにも対応しています。国際住所データが大量にある場合は、住所の正規化とバリデーションの両面で利点があることから、Address Now モジュールの使用を検討してください。

### コンポーネント

Universal Addressing モジュールは、次のコンポーネントで構成されます。適切なデータベース (独自の環境で Universal Addressing を稼働している場合)、またはホステッド サービス (Pitney Bowes ホステッド サービスを介して Universal Addressing を利用している場合) のライセンスを取得していれば、これらのコンポーネントを、米国、カナダ、オーストラリア、および国際住所に対して適用できます。

- **Auto Complete Loqate** — フォームに入力された各文字に基づいて瞬時に結果が返され、正確なデータのみがデータベースに入力されることを保証します。
- **Get Candidate Addresses** — 指定された住所に一致する可能性のあるもののリストを返します。



- **Get Candidate Addresses Loqate** — Loqate エンジンとデータベースを使用して、指定された住所に一致する可能性のあるもののリストを返します。
- **Get City State Province** — 指定された郵便番号に対する都市および州または省を返します。
- **Get City State Province Loqate** — Loqate エンジンとデータベースを使用して、指定された郵便番号に対する都市および州または省を返します。
- **Get Postal Codes** — 指定された都市の郵便番号を返します。
- **Get Postal Codes Loqate** — Loqate エンジンとデータベースを使用して、指定された都市の郵便番号を返します。
- **Validate Address** — 米国、カナダ、および国際郵便データを使用して、住所を正規化し、妥当性を確認します。
- **Validate Address AUS** — オーストラリアの郵便データを使用して、住所を正規化し、妥当性を確認します。
- **Validate Address Global** — **Validate AddressGlobal** は、米国およびカナダ以外の住所に対する高度な住所の正規化および検証機能を提供します。**ValidateAddressGlobal** は、米国およびカナダの住所の妥当性も確認できますが、その他の国の住所の妥当性を確認する能力に優れています。米国およびカナダ以外の住所を大量に処理する場合は、**ValidateAddress Global** の使用を検討してください。
- **Validate Address Loqate** — **Validate AddressLoqate** は、郵便当局の住所データを使用して、住所を正規化し、妥当性を確認します。**ValidateAddress Loqate** は、情報を修正し、管轄の郵便当局が推奨する書式で住所の書式を整えることができます。また、郵便番号、都市名、州または省名など、欠落している郵便情報を追加します。

## Universal Addressing モジュールのデータベース

注：このセクションの内容は、*UAM- US*、*UAM- Canada*、*UAM- International*、*Loqate*、および *Validate Address Global* のユーザにのみ適用されます。

Universal Addressing モジュール データベースは、Pitney Bowes **Software and Data Marketplace** から Spectrum™ 製品データベース (SPD) 形式で配布されています。以前のバージョンから Spectrum™ Technology Platform バージョン **2019.1** にアップグレードした後は、以前設定したデータベースをすべて削除し、SPD を使用して再設定する必要があります。古いデータベースやヴィンテージをインストールすることはできません。

### ハードディスクの空き領域

解凍済みおよび未解凍の SPD バンドルに必要なディスク容量は、以下のとおりです。

- 解凍済みバンドル (全 SPD) - 50 GB
- 未解凍バンドル (全 SPD) - 20 GB

Spectrum™ 製品データベース (SPD) 形式の Universal Addressing モジュール データベース リソースをダウンロードおよびインストールするには、[Universal Addressing モジュールの SPD ファイルのインストール](#) (130ページ) を参照してください。

### Universal Addressing モジュールの SPD ファイルのインストール

このタスクの実行には、Spectrum™ Technology Platform の管理者 (admin) 権限が必要です。データを削除する前に、Management Console で、データがデータベース リソースによって使用されていないことを確認します。

Spectrum™ Product Database (SPD) 形式の Universal Addressing モジュール データベース リソースをダウンロードおよびインストールするには:

1. Pitney Bowes からのお知らせ、または [Pitney Bowes Software and Data Marketplace \(SDM\)](#) からの電子メール通知に記載されているリンクを使用して、Pitney Bowes からライセンス済みの SPD 形式ファイル (xxx.spd) を選択してダウンロードします。ダウンロードしたファイルが zip ファイルの場合、一時ディレクトリに展開します。
2. 先に進む前に、Spectrum™ Technology Platform サーバーが稼働していることを確認します。
3. Spectrum™ コマンド ライン ウィンドウを開きます。
4. 次のコマンドを入力して Spectrum™ Technology Platform サーバーに接続します。

```
connect --h servername:port --u username --p password --s TrueOrFalse
```

Spectrum™ サーバーでセキュアな接続が必要な場合は、**--s True** を設定します。デフォルトは **False** です。

例を次に示します。

```
connect --h myserver:8080 --u admin --p myPassword1 --s False
```

5. 次のように入力して、データを Spectrum™ サーバーにインストールします。

```
productdata install --f fileOrDirectory --w TrueOrFalse
```

インストールの完了を待機するには、**--w True** を設定します。バックグラウンドでインストールを進めるには、**--w False** を設定します。デフォルトは **False** です。

例を次に示します。

```
productdata install --f E:/UAM/USS112019_201820.spd --w False
```

複数の .spd ファイルを使用して Spectrum™ 製品をインストールする場合は、ファイルへのフォルダパスを使用します。コマンドによって、フォルダおよびサブフォルダ内のデータファイルがインストールされます。

例を次に示します。

```
productdata install --f E:/UAM/ValidateAddress --w False
```

- SPD ファイルのインストール後にデータベースをリソースとして定義するには、**Management Console** を使用したデータベース リソースの作成 (132ページ) または **CLI コマンド** を使用したデータベース リソースの作成 (134ページ) を参照してください。

製品データ固有の CLI コマンドの詳細については、『*Spectrum™ Technology Platform 管理ガイド*』の「管理ユーティリティ」の「製品データ」を参照してください。

### Universal Addressing モジュールの SPD ファイルの削除

このタスクの実行には、Spectrum™ Technology Platform の管理者 (admin) 権限が必要です。データを削除する前に、Management Console で、データがデータベース リソースによって使用されていないことを確認します。

SPD ファイルは、サーバーが SPD ファイルを解凍した場所から、手動で削除しないでください。手動ではなく、CLI コマンドを使用して SPD ファイルを削除します。製品データ固有の CLI コマンドの詳細については、『*Spectrum™ Technology Platform 管理ガイド*』の「管理ユーティリティ」の「製品データ」を参照してください。

- インストールの開始前に、Spectrum™ Technology Platform サーバーが稼働していることを確認します。
- 次のコマンドを入力して Spectrum™ Technology Platform サーバーに接続します。

```
connect --h servername:port --u username --p password --s TrueOrFalse
```

Spectrum™ サーバーでセキュアな接続が必要な場合は、**--s True** を設定します。デフォルトは **False** です。

例を次に示します。

```
connect --h myserver:8080 --u admin --p myPassword1 --s False
```

- `productdata list` コマンドを実行して、現在インストールされている SPD ファイルの詳細を確認します。ファイル システムにアクセスしなくても、この結果から現在の情報がわかります。十分な情報に基づいて削除するデータを決定できるよう、このコマンドの使用後に `productdata delete` コマンドを使用することをお勧めします。

Spectrum CLI ウィンドウを開き、以下のコマンドを入力します。

```
productdata list
```

- productdata delete コマンドを実行して SPD ファイルを Spectrum™ Technology Platform から削除します。

```
productdata delete --p productName --c Component --q Qualifier --v Vintage
```

例を次に示します。

```
productdata delete --p "Universal Addressing Module" --c C6P --q UAM-CAN --v SEP2019
```


### Universal Addressing モジュールのデータベース リソースの作成


新しい Spectrum™ 製品データベース (SPD) 形式のファイルをインストールした後、**Management Console** を使用したデータベース リソースの作成 (132ページ) または **CLI コマンド** を使用したデータベース リソースの作成 (134ページ) を使用して、新たにインストールしたデータベースを Universal Addressing モジュールのデータベース リソースとして定義します。

#### Management Console を使用したデータベース リソースの作成

新たにインストールした SPD ファイルから Management Console で Universal Addressing モジュールのデータベース リソースを作成するには、次の手順を実行します。

- Management Console を開きます。
- [リソース] > [Spectrum データベース] に移動します。  
[Spectrum データベース] メニューが表示されなければ、データベース リソースを定義する必要はありません。
- 左上にあるボタンによって、データベースを管理できます。

新しいデータベースを作成する場合は、追加  をクリックします。

既存のデータベースをコピーして新しいデータベースを作成する場合は、コピー  をクリックします。

- [名前] フィールドにデータベース リソースの名前を入力します。任意の名前にすることができます。既存のデータベース リソースをコピーして新しいデータベース リソースを作成する場合は、必要に応じて名前を変更します。既存のデータベース リソース名を変更することはできません。
- [プールサイズ] フィールドで、このデータベースで処理する同時要求の最大数を指定します。

最適なプール サイズはモジュールによって異なります。一般的には、サーバーが搭載する CPU の数の半分から 2 倍のプール サイズを設定すると、最適な結果が得られます。ほとんどのモジュールに最適なプール サイズは CPU 数と同数です。例えば、サーバーが 4 つの CPU

を搭載している場合は、プール サイズを 2 (CPU 数の半分) ~ 8 (CPU 数の 2 倍) の間で試すことができ、多くの場合、最適なサイズは 4 (CPU 数と同数) です。

プールサイズを変更するときは、データベースにアクセスするステージ用としてデータフローに指定されている実行時インスタンスの数を考慮する必要があります。例えば、1つの実行時インスタンスを使用するように設定された Universal Addressing モジュール ステージを持つデータフローがあるとします。この場合、Universal Addressing モジュール データベースのプール サイズを 4 に設定しても、パフォーマンスは向上しません。実行時インスタンスが 1 つしかないので、データベースへの要求は一度に 1 つだけとなるためです。ただし、Universal Addressing モジュール ステージの実行時インスタンスの数を 4 つに増やすと、パフォーマンスは向上する可能性があります。4 つの Universal Addressing モジュール ステージのインスタンスがデータベースに同時にアクセスしてプール全体を使用するためです。実行時インスタンスの設定の詳細については、『Spectrum™ テクノロジー管理ガイド』を参照してください。

ヒント：さまざまな設定でパフォーマンステストを行って、環境にとって最適なプール サイズと実行時インスタンスの設定を特定してください。

6. **[最小メモリ (MB)]** フィールドで、このデータベースリソースに割りてられるメモリの最小サイズを指定します。
7. **[最大メモリ (MB)]** フィールドで、このデータベースリソースに割りてられるメモリの最大サイズを指定します。
8. **[モジュール]** フィールドで、**[Universal Addressing モジュール]** を選択します。
9. **[タイプ]** フィールドで、データのタイプを選択します。
  - a) カナダの住所処理を行う場合は、**[カナダ住所コーダー]** データベースを選択します。
  - b) 国際住所処理を行う場合は、**[国際住所コーダー]** データベースを選択します。
  - c) 米国 (USA) の住所処理を行う場合は、**[米国住所コーダー]** データベースを選択します。
10. カナダ住所コーダーでは、**[\*カナダ:]** フィールドで基本データベース ヴィンテージを選択します。
11. 国際住所コーダーでは、**[\*国際:]** フィールドで基本データベース ヴィンテージを選択します。
12. 米国住所コーダーでは、**[\*米国:]** フィールドで基本データベース ヴィンテージを選択します。
13. 米国住所コーダーでは、処理に使用する以下のオプションのデータベースのデータベース ヴィンテージを指定します。
  - Delivery Point Validation (DPV)
  - LACSLink
  - SuiteLink
  - Residential Delivery Indicator (RDI)
  - Early Warning System (EWS)

14. 処理開始時の追加コマンドライン引数、プロパティ、リモート処理の環境変数などの詳細設定をオーバーライドするには、**[詳細設定をオーバーライド]**を選択します。
15. **[保存]**をクリックして、データベース リソースを追加し、保存します。Spectrum™ のデータベース ページに、追加したデータベース リソースが表示されます。

### CLI コマンドを使用したデータベース リソースの作成

新たにインストールした SPD ファイルから Universal Addressing モジュールのデータベース リソースを作成して設定するには、`uamdb create` コマンドを使用します。

Universal Addressing モジュールのすべての CLI コマンド オプションの詳細な説明を参照するには、次のように入力します。

```
help uamdb
```

特定の Universal Addressing モジュール CLI コマンドで利用可能なオプションの詳細な説明を参照するには、"Help" とコマンド名を入力します。

例を次に示します。

```
help uamdb create
```

#### **uamdb create**

`uamdb create` コマンドは、新しい Universal Addressing モジュール データベースを作成します。

#### 使用方法

```
uamdb create --t Type --n Name --c CacheSize --i Country --pl PreloadingType
--dt DatabaseType --b BasePath --d DPVPath --l LACSPath --s SuiteLinkPath --r
RDIPath --e EWSPath --p Poolsize --mm minimumMemorySize --mx maximumMemorySize
```

注：パラメータのリストを表示するには、"help uamdb create" と入力します。

必須	引数	説明
はい	<code>--t <i>Type</i></code>	データベースのタイプを指定します。ここで <i>Type</i> は次のいずれかです。
	<b>USA</b>	米国のデータベース
	<b>CAN</b>	カナダのデータベース
	<b>INTL</b>	国際データベース
	<b>Loqate</b>	Loqate データベース
	<b>Global</b>	Validate Address Global データベース

必須	引数	説明
		<b>Amas</b> オーストラリアのデータベース
はい	<code>--n Name</code>	データベースの名前を指定します。
いいえ	<code>--c CacheSize</code>	Validate Address Global データベースのキャッシュ サイズを指定します。 <b>CacheSize</b> は次のいずれかです。 <b>None</b> キャッシュなし <b>Small</b> 小さいキャッシュ <b>Large</b> 大きいキャッシュ (デフォルト)
いいえ	<code>--i Country</code>	使用する Validate Address Global データベース内の各国の 3 桁の ISO コードを指定します。 <b>Country</b> は、"All" (デフォルト)、またはカンマで区切られたコードのリストです。
いいえ	<code>--pl PreloadingType</code>	プリロードする Validate Address Global データベースの量を指定します。 <b>PreloadingType</b> は次のいずれかです。 <b>None</b> データをプリロードしません (デフォルト)。 <b>Partial</b> メタデータおよびインデックス構造をメモリにロードします。参照データ自体はハード ドライブに残ります。パフォーマンスがやや向上します。また、目的のデータベースをすべてロードするだけのメモリが使用できない場合の代替策となります。 <b>Full</b> 参照データベース全体をメモリに移します。米国や英国など、大規模なデータベースを持つ国では、大量のメモリが必要になることがあります。処理速度は大幅に向上します。
いいえ	<code>--dt DatabaseType</code>	Validate Address Global データベースの処理モードを指定します。 <b>DatabaseType</b> は次のいずれかです。 <b>Batch_Interactive</b> バッチ処理またはインタラクティブな環境で使用します。処理速度を重視して最適化されているため、自動で修正できないあいまいなデータが見つかった場合は、住所修正の試行を停止します (デフォルト)。 <b>認定</b> オーストラリアの郵便物を対象に、Postal Address File に対する郵便物の正規化と検証を行うためのバッチ処理環境で使用されます。

必須	引数	説明
		<p><b>高速実行</b> 住所フィールドに不完全なデータを入力し、<b>Validate Address Global</b> に候補を生成してもらう場合に使用します。</p>
はい	--b <i>BasePath</i>	<p>ベース サブスクリプション データベース パスを指定します。</p> <p><b>注: USA、CAN、INTL、Loqate、および Validate Address Global</b> の場合は、データパスの代わりにデータベース ヴィンテージを指定します。例:NOV2017</p>
いいえ	--d <i>DPVPath</i>	DPV データベース ヴィンテージを指定します。
いいえ	--l <i>LACSPath</i>	LACS データベース ヴィンテージを指定します。
いいえ	--s <i>SuiteLinkPath</i>	SuiteLink データベース ヴィンテージを指定します。
いいえ	--r <i>RDIPath</i>	RDI データベース ヴィンテージを指定します。
いいえ	--e <i>EWSPath</i>	EWS データベース ヴィンテージを指定します。
いいえ	--p <i>Poolsize</i>	このデータベースで処理する同時要求の最大数を指定します。デフォルトは 4 です。
いいえ	--mn or --minMem <i>minimum_memory_size</i>	このデータベースに割りてられるメモリの最小サイズを定義します。この値は、--mx で設定された値と同じか、それより小さい必要があります。
いいえ	--mx or --maxMem <i>maximum_memory_size</i>	このデータベースに割りてられるメモリの最大サイズを定義します。この値は 0 より大きく、なおかつ 65536 MB より小さい必要があります。

**注:** データベース ヴィンテージは、*uamdb listdatasets* コマンドを使用して取得できます。詳細については、[uamdb listdatasets](#) を参照してください。

**例**

*UAM US、CAN、INTL、Loqate、または Validate Address Global* のデータベースを作成するには、入力を次の形式で指定します。

```
uamdb create --t USA --n UAM_US --b FEB2018 --d AUG2018 --r
SEP2018 --mn 1200 --mx 65536
```

**Universal Addressing モジュールのデータベース リソースの変更**


Management Console でデータベース リソース ツールを使用するか、Universal Addressing モジュールの CLI コマンドを使用して、Universal Addressing モジュールのデータベース リソース



を変更できます。Universal Addressing モジュールのデータベース リソースの変更の詳細については、[Management Console を使用したデータベース リソースの変更](#)（137ページ）または[CLI コマンドを使用したデータベース リソースの変更](#)（137ページ）を参照してください。

### [Management Console を使用したデータベース リソースの変更](#)

Universal Addressing モジュールのデータベース リソースを変更するには、次の手順を実行します。

1. Management Console を開きます。
2. [リソース] > [Spectrum データベース] に移動します。
3. 既存のデータベースを変更する場合は、データベースを選択してから編集  をクリックします。
4. 必要な変更を行います。データベースリソースのフィールドの詳細については、[Management Console を使用したデータベース リソースの作成](#)（132ページ）を参照してください。
5. [保存] をクリックして、選択したデータベース リソースへの変更を保存します。Spectrum™ のデータベース ページに、変更したデータベース リソースが表示されます。

### [CLI コマンドを使用したデータベース リソースの変更](#)

Universal Addressing モジュールのデータベース リソースを変更するには、`uamdb modify` コマンドを使用します。

Universal Addressing モジュールのすべての CLI コマンド オプションの詳細な説明を参照するには、次のように入力します。

```
help uamdb
```

特定の Universal Addressing モジュール CLI コマンドで利用可能なオプションの詳細な説明を参照するには、"Help" とコマンド名を入力します。

例を次に示します。

```
help uamdb modify
```

#### *uamdb modify*

`uamdb modify` コマンドは、既存の Universal Addressing モジュール データベースを更新します。

#### 使用方法

```
uamdb modify--tType--n Name--bBasePath--dDPVPath--l LACSPath--s SuiteLinkPath--r RDIPath--e EWSPath--p Poolsize
```

必須	引数	説明
はい	<code>--t Type</code>	データベースのタイプを指定します。ここで <b>Type</b> は次のいずれかです。  <b>USA</b> 米国のデータベース <b>CAN</b> カナダのデータベース <b>INTL</b> 国際データベース <b>Global</b> Validate Address Global データベース
はい	<code>--n Name</code>	データベースの名前を指定します。
はい	<code>--b BasePath</code>	ベース サブスクリプション データベース パスを指定します。  <b>注: USA、CAN、INTL、Loqate、および Validate Address Global</b> の場合は、データパスの代わりにデータベース ヴィンテージを指定します。例: NOV2017
いいえ	<code>--d DPVPath</code>	DPV データベース ヴィンテージを指定します。
いいえ	<code>--l LACSPath</code>	LACS データベース ヴィンテージを指定します。
いいえ	<code>--s SuiteLinkPath</code>	SuiteLink データベース ヴィンテージを指定します。
いいえ	<code>--r RDIPath</code>	RDI データベース ヴィンテージを指定します。
いいえ	<code>--e EWSPath</code>	EWS データベース ヴィンテージを指定します。
いいえ	<code>--p Poolsize</code>	このデータベースで処理する同時要求の最大数を指定します。デフォルトは 4 です。

**注:** データベース ヴィンテージは、`uamdb listdatasets` コマンドを使用して取得できます。詳細については、[uamdb listdatasets](#) を参照してください。

**例**

**UAM US、CAN、INTL、Loqate、または Validate Address Global** のデータベースを作成するには、入力を次の形式で指定します。

```
uamdb modify --n UAM_US --t USA --b SEP2018 --d AUG2018 --r OCT2018
```


### Universal Addressing モジュールのデータベース リソースの削除

Management Console でデータベース リソース ツールを使用するか、Universal Addressing モジュールの CLI コマンドを使用して、Universal Addressing モジュールのデータベース リソースを削除できます。Universal Addressing モジュールのデータベース リソースの削除の詳細について

では、[Management Console を使用したデータベース リソースの削除 \(139ページ\)](#) または [CLI コマンドを使用したデータベース リソースの削除 \(139ページ\)](#) を参照してください。

### Management Console を使用したデータベース リソースの削除

Universal Addressing モジュールのデータベース リソースを削除するには、次の手順を実行します。

1. Management Console を開きます。
2. [リソース] > [Spectrum データベース] に移動します。
3. データベースを削除する場合は、データベースを選択してから削除  をクリックします。
4. 選択したデータベース リソースを削除するかを確認するメッセージが表示されます。データベース リソースの削除を確定するには、[はい] をクリックします。
5. データベース リソースが削除され、Spectrum™ のデータベース ページに表示されなくなります。

### CLI コマンドを使用したデータベース リソースの削除

Universal Addressing モジュールのデータベース リソースを削除するには、`uamdb delete` コマンドを使用します。

Universal Addressing モジュールのすべての CLI コマンド オプションの詳細な説明を参照するには、次のように入力します。

```
help uamdb
```

特定の Universal Addressing モジュール CLI コマンドで利用可能なオプションの詳細な説明を参照するには、"Help" とコマンド名を入力します。

例を次に示します。

```
help uamdb delete
```

#### ***uamdb delete***

`uamdb delete` コマンドは、Universal Addressing モジュール データベースを削除します。

#### 使用方法

```
uamdb delete --t Type --n Name
```

必須	引数	説明
はい	<code>--t <i>Type</i></code>	データベースのタイプを指定します。ここで <i>Type</i> は次のいずれかです。
	<b>USA</b>	米国のデータベース

必須	引数	説明
		<b>CAN</b> カナダのデータベース
		<b>INTL</b> 国際データベース
		<b>Loqate</b> Loqate データベース
		<b>Global</b> Validate Address Global データベース
		<b>Amas</b> オーストラリアのデータベース
はい	<code>--n Name</code>	データベースの名前を指定します。

**例**

この例は、"UAM\_CAN" という名前のカナダのデータベースを削除します。

```
uamdb delete --t CAN --n UAM_CAN
```

**住所データベース**

Universal Addressing モジュールは、いくつかの必須データベースとオプション データベースを使用します。これらのデータベースは Spectrum™ Technology Platform サーバーにインストールされます。一部のデータベースは、Pitney Bowes が提供するサブスクリプションによって利用可能で、月に 1 回、または年に 4 回更新されます。その他のデータベースは、USPS® がライセンス提供しています。次の表に、Universal Addressing データベースの一覧を示します。

表 33 : Universal Addressing モジュールのデータベース

データベース名とその説明	必須またはオプションの区別	提供元
<p><b>米国郵便データベース</b></p> <p>米国郵便データベースは、Pitney Bowes 独自のフォーマットで提供されています。米国内のすべての家番号範囲が含まれており、月に 1 回更新されます。このデータベースファイルには、次の情報が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ZIP + 4<sup>®</sup> Code</li> <li>• 正規化済みの住所要素</li> <li>• 都市および州の情報</li> </ul> <p>米国郵便データベースには、Enhanced Street Matching (ESM) および All Street Matching (ASM) の実行に必要なデータも含まれています。ESM および ASM は、通常の住所検証プロセスでマッチしなかった任意の入力住所に対して、追加のマッチング ロジックを適用します。</p>	<p>米国住所処理に必須</p>	<p>Pitney Bowes サブスクリプション (月 1 回更新)</p>
<p><b>カナダ郵便データベース</b></p> <p>カナダ郵便データベースは、Pitney Bowes 独自のフォーマットです。このデータベース ファイルには、次の情報が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 郵便番号</li> <li>• 正規化済みの住所要素</li> <li>• 自治体および州の情報</li> </ul>	<p>カナダ住所処理に必須</p>	<p>Pitney Bowes サブスクリプション (月 1 回更新)</p>
<p><b>国際郵便データベース</b></p> <p>国際郵便データベースは、世界各地の郵便住所データの集まりです。各国のデータは、提供されているデータのレベルに応じて分類されています。カテゴリは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>カテゴリ A</b>—住所の郵便番号、都市名、州/郡名、通りの住所要素、および国名の検証と修正が可能です。</li> <li>• <b>カテゴリ B</b>—住所の郵便番号、都市名、州/郡名、および国名の検証と修正が可能です。通りの住所要素の検証または修正はサポートしません。</li> <li>• <b>カテゴリ C</b>—国名の検証および修正と、郵便番号の書式の検証が可能です。</li> </ul>	<p>国際住所処理に必須</p>	<p>Pitney Bowes サブスクリプション (年 4 回更新)</p>

データベース名とその説明

必須またはオプションの区別 提供元

**DPV® データベース**

Delivery Point Validation Database は、米国の郵送先住所の妥当性をチェックするために使用できます。DPV データベースにより、米国郵便データベースによる郵便住所の検証能力を高めることができます。

注：DPV データベースには、Commercial Mail Receiving Agency (CMRA: 民間私書箱) の処理に必要なデータも含まれています。

米国郵便データベースの新しいエディションが提供される度に、DPV データベースの対応するエディションが提供されます。USPS ライセンスでは、有効期限を過ぎても米国郵便データベースを使用することを許可しますが(一部制約があります)、DPV データベースの有効期限後に、DPV 検索を実行することはできません。

USPS ライセンスでは、DPV データを、住所または住所一覧の作成に使用することを禁じています。住所一覧の作成を防止するために、DPV Database には「誤検出レコード」が含まれています。誤検出レコードとは、人為的に作成された住所のことです。DPV クエリでマッチしなかった場合は、DPV データベース内の誤検出テーブルに対するクエリが実行されます。このテーブルにマッチする場合、DPV の処理は停止します。

USPS ライセンスでは、米国外に DPV データを輸出することも禁じています。

オプション。ただし、CASS 認定™の処理には必須。米国住所のみに対応  
Pitney Bowes サブスクリプション (月 1 回更新)

**eLOT® データベース**

Enhanced Line of Travel (eLOT) データベースは、Enhanced Carrier Route の郵送が実際の配達順序にできる限り近くなることを保証する米国住所データベースです。eLOT データベースは、一部の種類の郵便料金割引を受けるために必須です。

eLOT データベースに対する毎月の更新情報は、米国郵便データベースと同じメディアで提供されます郵便データベースの最新版に掲載されていないことが必要です。

同一月の米国郵便データベースと eLOT データベースをインストールする必要があります (例えば、9 月の eLOT データは、9 月の米国郵便データベースで処理しなければなりません)。米国郵便データベースと eLOT データベースが同一月のものでない場合、eLOT 番号を割り当てられない ZIP + 4® Code が存在する恐れがあります。eLOT コードを割り当てるには、住所の ZIP Code™、ZIP + 4 Code、配達ルート コード、および配達ポイントが提供される必要があります。

オプション。米国住所のみに対応  
Pitney Bowes サブスクリプション (月 1 回更新)

データベース名とその説明	必須またはオプションの区別	提供元
<p><b>EWS データベース</b></p> <p>Early Warning System (EWS) データベースは、米国郵便データベースの郵便データの更新遅れに起因する住所検証の誤りを防ぎます。</p> <p>EWS データベースは、ZIP Code™、通り名、接頭および接尾方向指示、接尾語という一部の住所情報のみで構成されています。住所が米国郵便データベースの最新版には存在しない場合に限り、住所レコードに EWS を適用できます郵便データベースの最新版に掲載されていないことが必要です。</p> <p>USPS® は、EWS ファイルを週に 1 回 (木曜日) 更新します。USPS® Web サイト <a href="https://postalpro.usps.com/">https://postalpro.usps.com/</a> から EWS ファイルをダウンロードできます。</p>	<p>オプション。米国住所のみに対応</p>	<p>USPS® Web サイトから無償でダウンロード可能</p>
<p><b>LACSLink® データベース</b></p> <p>LACSLink データベースを使って、地方配送路の住所の通り名に沿った住所への変更、PO Box 番号の再割り当て、または通り名に沿った住所の変更に伴って変更された住所を訂正できます。</p> <p>USPS ライセンスでは、LACSLink データを、住所または住所一覧の作成に使用することを禁じています。住所一覧の作成を防止するために、LACSLink データベースには「誤検出レコード」が含まれています。誤検出レコードとは、人為的に作成された住所のことです。LACSLink クエリでマッチしなかった場合は、LACSLink データベース内の誤検出テーブルに対するクエリが実行されます。このテーブルにマッチすると、LACSLink 処理は停止します。</p> <p>USPS ライセンスでは、米国外に LACSLink データベースを輸出することも禁じています。</p>	<p>オプション。ただし、CASS 認定™の処理には必須。米国住所のみに対応</p>	<p>Pitney Bowes サブスクリプション (月 1 回更新)</p>
<p><b>RDI™ データベース</b></p> <p>Residential Delivery Indicator (RDI™) ファイルの処理により、住所が住宅、企業、または (住宅と企業の) 混在のいずれに該当するかが決まります。</p> <p>RDI は DPV に似ています。RDI では、データがハッシュ テーブルとして提供されます。ただし、RDI の処理は DPV よりもずっと単純です。DPV では、標準のハッシュ アルゴリズムが住所全体ではなく 9 桁および 11 桁の ZIP Code™ のみで決定されます。</p>	<p>オプション。米国住所のみに対応</p>	<p>Pitney Bowes サブスクリプション (月 1 回更新)</p>

データベース名とその説明	必須またはオプションの区別	提供元
<p><b>Suite<sup>Link™</sup> データベース</b></p> <p>Suite<sup>Link™</sup> は、補助的な住所情報の妥当性が確認できなかった米国の企業住所に対し、その補助的な住所情報を修正します。Suite<sup>Link™</sup> 処理が有効な場合、ValidateAddress は FirmName フィールドの値と既知の会社名のデータベースとのマッチングを試みます。その後、ValidateAddress は正しい補助的な住所情報を提供します。</p>	オプション。米国住所のみに対応	Pitney Bowes サブスクリプション (月 1 回更新)

## 標準フィールド

次の表では、Validate Address Loqate および Validate Address Global ステージで使用される一部の標準フィールドおよび用語と、その説明を示します。

フィールド	説明
Validate Address Loqate	
Address Verification Code	Address Verification Code (AVC) は、住所に対する精度インジケータで構成される 11 バイトのコードです。これらのコードは、処理結果の品質を表し、必要に応じて入力データを修正する方法に関するガイドラインを示します。個別住所のそれぞれに、独自のコードが付与されます。このコードは、データ フローの出力内で自動的に返されます。
AMAS 出力	オーストラリア用の Validate Address は、AMAS 認定データを使用してオーストラリア固有の出力フィールド (バーコード、配達ポイントインジケータ、フロア番号、フロア タイプ、私書箱番号など) を提供します。
Validate Address Global	
ElementInputStatus	ElementInputStatus は、入力要素を参照データに対してマッチングした際の要素ごとの情報を提供します。このフィールドの値は、バッチとパースのどちらのモードを使用するかによって変わります。これを理解するには、ドキュメントの特定の項目 (「ElementInputStatus、ElementResultStatus、および ElementRelevance の解釈」) を参照する必要があります。



フィールド	説明
ElementRelevance	その土地の郵便当局の基準から基準から判断して、実際にどの住所要素が関連しているかを示します。これを理解するには、ドキュメントの特定の項目 (「ElementInputStatus、ElementResultStatus、および ElementRelevance の解釈」) を参照する必要があります。
ElementResultStatus	ElementResultStatus は、出力フィールドが入力フィールドから変更されているか、またどのように変わっているかを示すことによって、結果を ProcessStatus フィールドよりも詳細に分類します。これを理解するには、ドキュメントの特定の項目 (「ElementInputStatus、ElementResultStatus、および ElementRelevance の解釈」) を参照する必要があります。
ProcessStatus	これは住所品質に関する全体的な説明を提供します。2桁のコードで、さまざまなバリエーションがあります。これを理解するには、ドキュメントの特定の項目 (「ElementResultStatus」) を参照する必要があります。

## Auto Complete Loqate

Auto Complete Loqate は、住所データのリアルタイム入力に対して高速で正確な結果を返します。フォームに入力された各文字に基づいて瞬時に結果が返され、正確なデータのみがデータベースに入力されることを保証します。Auto CompleteLoqate には [高度な検索を優先] オプションも用意されており、インデックス ファイル形式のデータを使用することによって、238 カ国に対して入力時間を最大 80% 短縮します。

### 入力

AutoCompleteLoqate の入力の一覧を以下の表に示します。

表 34 : 入力フォーマット

フィールド名	説明
AddressLine1	最初の住所行。
AddressLine2	2 行目の住所行。

フィールド名	説明
AddressLine3	3 行目の住所行。
AddressLine4	4 行目の住所行。
City	都市名。
Country	<p>国コードまたは名前を、以下のいずれかのフォーマットで入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 桁の ISO 国コード</li> <li>• 3 桁の UPU 国コード</li> <li>• 英語の国名</li> </ul> <p>ISO コードの一覧は、<a href="#">ISO 国コードとモジュール サポート</a>を参照してください。</p>
FirmName	会社名または企業名。
PostalCode	住所の郵便番号。
StateProvince	州または省。

## オプション

表 35 : **AutoCompleteLoqate** のオプション

オプション名	説明
データベース	住所処理に使用するデータベースを指定します。Management Console の【データベース リソース】パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。

オプション名	説明
大文字と小文字の区別	<p>出力データの大文字と小文字の区別を指定します。次のいずれかです。</p> <p><b>混在</b> 出力に大文字と小文字を混在させます (デフォルト)。例: 123 Main StMytown FL 12345</p> <p><b>大文字</b> 出力に大文字を使用します。例: 123 MAIN STMYTOWN FL 12345</p>
デフォルトの国	<p>デフォルトの国を指定します。大部分の住所が存在する国を指定してください。例えば、処理する住所の大部分がドイツにある場合は、ドイツを指定します。</p>
国フォーマット	<p><b>Country</b> 出力フィールドに返される国名に使用するフォーマットを指定します。例えば、英語を選択した場合、"Deutschland" という国名は "Germany" として返されます。</p> <p><b>英語名</b> 英語の国名を使用します (デフォルト)。</p> <p><b>ISO コード</b> 国名の代わりにその国の 2 文字の ISO の略語を使用します。</p> <p><b>UPU コード</b> 国名の代わりにその国の万国郵便連合 (Universal Postal Union: UPU) の略語を使用します。</p>
スクリプト/アルファベット	<p>出力がどのアルファベットまたはスクリプトで返されるかを指定します。このオプションは双方向で、通常はネイティブからラテン文字へ、およびラテン文字からネイティブへ実行されます。</p> <p><b>入力文字</b> 書き直しを実行せず、入力と同じスクリプトで出力します (デフォルト)。</p> <p><b>ネイティブ</b> 使用可能な場合は、選択した国のネイティブスクリプトで出力します。</p> <p><b>ラテン文字 (英語)</b> 英語の値を使用します。</p>
返されるレコードの最大数	<p>AutoCompleteLoqate が返す住所の最大数。デフォルトは 10 です。</p>

オプション名

説明

高度な検索を優先

インデックス ファイル形式のデータを使用することによって、240 カ国に対して入力時間を最大 80% 短縮します。検索を実行すると、Loqate エンジンはず、該当するインデックスを検索します。インデックスが存在する場合は、候補住所のリストを直ちに返そうと試みます。インデックスが存在しないか、インデックスによって結果が1つも返されない場合は、オリジナルの検索処理を開始します。

注：高度な検索は、入力ファイルにフィールドが 2 つだけ存在する場合に実行可能です。1 つは Country フィールドで、もう 1 つはいずれかの AddressLine フィールドです。このオプションを選択し、入力ファイルにそれ以外のフィールドが含まれる場合は、オリジナルの検索処理が自動的に開始されます。

検索を行うために、Auto Complete インデックスは米国内の検索に対しては最初の 10 文字まで、その他すべての対象国内の検索に対しては最初の 15 文字までを使用します。空白と句読文字は、この文字数にカウントされません。

高度な検索は、ボツワナ、エチオピア、インド、カザフスタン、マレーシア、モンゴル、セントクリストファー・ネイビス、およびサンマリノでは使用できません。

注：高度な検索を使用するには、有効なライセンスが必要です。高度な検索のライセンスを取得していないか、ライセンスの期限が切れている状態で、この機能を有効にすると、ジョブ全体が失敗します。

重複処理

重複処理マスクを有効にし、重複レコードの処理および削除の方法を指定します。次のオプションから 1 つ以上を選択します。

- 単一            デフォルトで選択されています。入力の前処理により、単一フィールドで発生している重複を削除します。
- 複数            デフォルトで選択されています。入力の前処理により、すべてのフィールドわたり重複を削除します。
- 非標準        入力の前処理により、標準住所フィールドでないフィールド内の重複を削除します。
- 出力            デフォルトで選択されています。検証の出力の後処理により、検証されていないフィールドから重複を削除します。

オプション名	説明
データ ライセンス エラーの処理	データ ライセンス エラーの発生時に Spectrum Technology Platform がどのように応答するかを指定します。
ジョブのエラー	データライセンスエラーが発生した場合、ジョブ全体をエラーにします。
レコードのエラー	データライセンスエラーの発生原因となったレコードをエラーにし、処理を続行します。

## 出力

AutoCompleteLoqate の出力はオプションであり、[AutoCompleteLoqate オプション] ダイアログボックスの [出力フィールド] セクションで選択したフィールドに直接対応します。

表 36 : AutoCompleteLoqate の出力

フィールド名	説明
AddressLine1	最初の住所行。
AddressLine2	2 行目の住所行。
AddressLine3	3 行目の住所行。
AddressLine4	4 行目の住所行。
City	都市名。
Country	3 文字の ISO 3166-1 Alpha 3 国コード。ISO コードの一覧は、 <a href="#">ISO 国コードとモジュール サポート</a> を参照してください。
FirmName	企業名。

フィールド名	説明
HouseNumber	候補住所の家番号が含まれる範囲の終了家番号。
PostalCode	郵便番号。
PostalCode.AddOn	ZIP + 4 <sup>®</sup> Code の末尾 4 桁。
ProcessedBy	住所を処理した住所コーダーを示します。 <b>LOQATE</b> Loqate コーダーが住所を処理しました。
StateProvince	州または省の省略形。
Status	マッチの成功または失敗。 <b>NULL</b> 成功 <b>F</b> 失敗
Status.Code	失敗の原因 (ある場合)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DisabledCoder</li> <li>• RequestFailed</li> <li>• NoLookupAddressFound</li> </ul>
Status.Description	問題の説明 (ある場合)。 <b>Did not return multiples</b> 入力住所はデータベース内の 1 つの住所とのみマッチしました。AutoCompleteLoqate は、一致する可能性のある住所が複数見つかった場合のみデータを返します。 <b>Not able to look up the address pattern</b> AutoCompleteLoqate は、部分的な住所を処理できません。

## Get Candidate Addresses

**Get Candidate Addresses** は、与えられた入力住所にマッチするとみなされる住所のリストを返します。**Get Candidate Addresses** は、入力住所が郵便データベースの複数の住所にマッチする場合のみ、候補の住所を返します。入力住所が、郵便データベースの 1 つの住所のみにマッチする場合は、住所データを返しません。

米国およびカナダ以外の住所については、**Validate Address** が返す複数のマッチ結果と、**Get Candidate Addresses** が同じ住所に対して返す結果の間に、矛盾が存在する場合があります。矛盾した結果が得られるのはおそらく、**Validate Address** のパフォーマンス チューニング設定で 100 以外の値を設定しているためです。**Get Candidate Addresses** と **Validate Address** で矛盾のない結果を得るには、パフォーマンス チューニング オプションを 100 に設定します。

注：デフォルトでは、**Get Candidate Addresses** は個々の家番号との一致は確認しません。各通りの家番号の範囲とのマッチングを行います。**Get Candidate Addresses** は通り名、都市名、州/省名、および郵便番号を特定した後、入力された家番号が、マッチした通り名の家番号の範囲に含まれるかどうかを確認します。ユニット番号についても同様の処理が行われます。個々の家番号が有効であることを確認するには、**Validate Address Delivery Point Validation (DPV)** 処理オプションを使用する必要があります。DPV 処理は、米国住所に対してのみ使用可能です。

カナダのコーダーには、特定の郵便番号を入力として受け取り、その郵便番号のデータベースに格納された通り情報を返す逆検索ルーチンが含まれています。この機能を使用するには、**PostalCode** フィールドにカナダの郵便番号を入力します。カナダの郵便番号を入力した場合の結果については、以下の 2 つめの例を参照してください。

**Get Candidate Addresses** は、**Universal Addressing** モジュールに含まれています。

### 米国住所の例

AddressLine1: PO Box 1 City: NY State: NY

**Preview Output**

AddressLine1	PO Box 1	PO Box 1
City	New York	New York
Country	USA	USA
HouseNumberHigh	60	9
HouseNumberLow	1	1
HouseNumberParity	B	B
MatchLevel	A	A
PostalCode	10002	10008
PostalCode.AddOn	0001	0001
ProcessedBy	USA	USA
RecordType	PostOfficeBox	PostOfficeBox
RecordType.Default		
StateProvince	NY	NY
UnitNumberParity		

**カナダ住所の例**

PostalCode: A1A1A1

**Preview Output**

AddressLine1	LOWER BATTERY RD	LOWER BATTERY RD
City	ST. JOHN'S	ST. JOHN'S
Country	CAN	CAN
HouseNumberHigh	000003	000004 A
HouseNumberLow	000001	000002
HouseNumberParity	O	E
MatchLevel	A	A
PostalCode	A1A1A1	A1A1A1
ProcessedBy	CAN	CAN
RecordType	Normal	Normal
StateProvince	NL	NL

## 入力

GetCandidateAddresses の入力の一覧を以下の表に示します。



表 37 : 入力フォーマット

フィールド名	説明
AddressLine1	最初の住所行。
AddressLine2	2 行目の住所行。
AddressLine3	3 行目の住所行。 米国またはカナダの住所には適用されません。
AddressLine4	4 行目の住所行。 米国またはカナダの住所には適用されません。
AddressLine5	5 行目の住所行。 英国住所にのみ適用されます。通り名、ユニット番号、ビルディング番号などを含めることができます。
City	都市名。
StateProvince	州または省。 米国の住所に限り、州を StateProvince フィールドの代わりに City フィールドに入れることができます。
PostalCode	住所の郵便番号。米国住所の場合は、次のいずれかの形式の ZIP Code™ になります。  9999999999-9999A9A9A9A9A 9A99999 999  注：カナダ住所の場合は、このフィールドのみを入力すると、候補となる住所データが返されます。その他の国の場合は、AddressLine1 と AddressLine2 も入力する必要があります。

フィールド名	説明
Country	<p>国コードまたは名前を、以下のいずれかのフォーマットで入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 桁の ISO 国コード</li> <li>• 3 桁の UPU 国コード</li> <li>• 英語の国名</li> <li>• フランス語の国名</li> <li>• ドイツ語の国名</li> <li>• スペイン語の国名</li> </ul> <p>ISO コードの一覧は、<a href="#">ISO 国コードとモジュール サポート</a>を参照してください。</p>
FirmName	会社名または企業名。
USUrbanName	米国住所都市化名。主にプエルトリコの住所に使用します。

## オプション

表 38 : GetCandidateAddresses オプション

オプション名	説明
米国住所処理を有効にする	<p>米国住所を処理するかどうかを指定します。米国住所処理を有効にすると、GetCandidateAddresses は、米国住所の候補となる住所の取得を試みます。米国住所処理を無効にすると、米国住所は失敗します。つまり、Status 出力フィールドに "F" が設定されて返されます。出力フィールド Status.Code は、"DisabledCoder" となります。米国住所処理のライセンスを取得していない場合は、ジョブに米国住所が含まれるか否かにかかわらず、米国住所処理を無効にしなければ、ジョブを正常に実行することはできません。</p> <p>注：米国住所を正常に処理するには、米国住所処理の有効なライセンスを取得する必要があります。米国住所処理のライセンスを取得していないか、ライセンスの期限が切れているにもかかわらず、米国住所処理を有効にすると、ジョブ全体が失敗します。</p>

オプション名

説明

データベース

米国住所処理に使用するデータベースを指定します。Management Console の **[米国データベース リソース]** パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。

カナダ住所処理を有効にする

カナダ住所を処理するかどうかを指定します。カナダ住所処理を有効にすると、GetCandidateAddresses は、カナダ住所の候補となる住所の取得を試みます。カナダ住所処理を無効にした場合、Status フィールドに "F" が設定されカナダ住所は失敗します。出力フィールド Status.Code は、"DisabledCoder" となります。カナダ住所処理のライセンスを取得していない場合は、ジョブにカナダ住所が含まれるか否かにかかわらず、カナダ住所処理を無効にしなければ、ジョブを正常に実行することはできません。

注：カナダ住所を正常に処理するには、カナダ住所処理の有効なライセンスを取得する必要があります。カナダ住所処理のライセンスを取得していないか、ライセンスの期限が切れているにもかかわらず、カナダ住所処理を有効にすると、ジョブ全体が失敗します。

データベース

カナダ住所処理に使用するデータベースを指定します。Management Console の **[カナダ データベース リソース]** パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。

国際住所処理を有効にする

国際住所 (米国およびカナダ以外の住所) を処理するかどうかを指定します。国際住所処理を有効にすると、GetCandidateAddresses は、国際住所の候補となる住所の取得を試みます。国際住所処理を無効にした場合、Status フィールドに "F" が設定され国際住所は失敗します。出力フィールド Status.Code は、"DisabledCoder" となります。国際住所処理のライセンスを取得していない場合は、ジョブに国際住所が含まれるか否かにかかわらず、国際住所処理を無効にしなければ、ジョブを正常に実行することはできません。

注：国際住所を正常に処理するには、国際住所処理の有効なライセンスを取得する必要があります。国際住所処理のライセンスを取得していないか、ライセンスの期限が切れているにもかかわらず、国際住所処理を有効にすると、ジョブ全体が失敗します。

オプション名	説明
データベース	国際的な住所の検証に使用するデータベースを指定します。 Management Console の【国際データベース リソース】パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。
大文字と小文字の区別	出力データの大文字と小文字の区別を指定します。次のいずれかです。 <b>混在</b> 出力に大文字と小文字を混在させます (デフォルト)。 例: 123 Main StMytown FL 12345 <b>大文字</b> 出力に大文字を使用します。例: 123 MAIN STMYTOWN FL 12345
返されるレコードの最大数	GetCandidateAddresses が返す候補住所の最大数。デフォルトは 10 です。最大数は 10 になります。
短い都市名を返す	米国住所に対しては、USPS® が承認する都市の略称がある場合に、それを返すかどうかを指定します。USPS® は、14 文字以上の都市名に対し、略称を定めています。都市の略称は 13 文字以下で、宛名ラベルのサイズが限られている場合に使用できます。短い都市名が存在しない都市に対しては、正式な都市名が返されます。

オプション名

説明

二重住所マッチ ロジック

(米国住所のみ)。ストリート情報と PO Box/地方配送路/Highway Contract 情報の両方が住所に含まれる場合に、GetCandidateAddresses が、ストリート一致を返すか、または PO Box/地方配送路/Highway Contract 一致を返すかを制御します。詳細については、[二重住所ロジックについて](#) (194ページ) を参照してください。

**通常一致** (デフォルト) USPS®CASS™ の規則では、以下の優先順位に基づいて、返す住所を決定します。

1. PO Box
2. Firm
3. Highrise
4. Street
5. Rural Route
6. General Delivery

**通りマッチング** 住所行に関係なく、通り一致を返します。

**PO Box 一致** 住所行に関係なく、PO Box 一致を返します。

通りマッチング

通り名のマッチングの精度 (米国住所のみ)。

**完全一致** 入力された通り名は、データベースに完全に一致する必要があります。

**厳格** マッチング アルゴリズムは "厳格" です。

**中** マッチング アルゴリズムは "中" です (デフォルト)。

**あいまい** マッチング アルゴリズムは "あいまい" です。

企業マッチング

企業名マッチングの精度 (米国住所のみ)。

**完全一致** 入力された企業名は、データベースに完全に一致する必要があります。

**厳格** マッチング アルゴリズムは "厳格" です。

**中** マッチング アルゴリズムは "中" です (デフォルト)。

**あいまい** マッチング アルゴリズムは "あいまい" です。

## オプション名

## 説明

### 道順マッチング

道順マッチングの精度。

完全一致	入力された道順は、データベースに完全に一致する必要があります。
厳格	マッチングアルゴリズムは "厳格" です。
中	マッチングアルゴリズムは "中" です (デフォルト)。
あいまい	マッチングアルゴリズムは "あいまい" です。

### 拡張通りマッチングを実行

Enhanced Street Matching (ESM) を実行するかどうかを指定します。ESM は、通常の住所検証プロセスでマッチしなかった任意の入力住所に対して、追加データによる別のマッチングロジックを適用します。ESM は、米国住所にのみ適用されます。

### 失敗時に住所行を検索

ValidateAddress において、住所行で都市、州/省、郵便番号の検索を行うかどうかを指定します。

このオプションにより、ValidateAddress において、City、StateProvince、および PostalCode の各入力フィールドの値を使用して住所にマッチする結果が得られなかった場合に、AddressLine 入力フィールドで都市、州/省、郵便番号、および国を検索することができます。

入力住所において、AddressLine フィールドに都市、州/省、および郵便番号の情報が存在する場合は、このオプションを有効にすることを検討してください。

入力住所において、City、State/Province、および PostalCode フィールドが使用されている場合は、このオプションを無効にしてください。このオプションを有効にしてこれらのフィールドを使用すると、ValidateAddress がこれらのフィールド値の修正 (例えば、スペルミスのある都市名など) に失敗する可能性が高くなります。

## 出力

GetCandidateAddresses は、次の出力を返します。

表 39 : GetCandidateAddresses の出力

フィールド名	説明
AddressLine1	最初の住所行。
AddressLine2	2 行目の住所行。
AddressLine3	3 行目の住所行。
AddressLine4	4 行目の住所行。
AddressLine5	英国住所にのみ適用されます。住所の妥当性が確認された場合は、妥当性が確認され、正規化された住所の 5 行目です。住所の妥当性が確認できなかった場合は、入力住所の 5 行目がそのまま出力されます。
CanadianDeliveryInstallation AreaName	配達施設名 (カナダ住所のみ)
CanadianDeliveryInstallation QualifierName	配達施設の修飾子 (カナダ住所のみ)
CanadianDeliveryInstallation Type	配達施設の種類 (カナダ住所のみ)
City	都市名。
Country	3 文字の ISO 3166-1 Alpha 3 国コード。ISO コードの一覧は、 <a href="#">ISO 国コードとモジュール サポート</a> を参照してください。
FirmName	企業名。

フィールド名	説明
HouseNumberHigh	候補住所の家番号が含まれる範囲の終了家番号。
HouseNumberLow	候補住所の家番号が含まれる範囲の開始家番号。
HouseNumberParity	HouseNumberLow と HouseNumberHigh の間の家番号の番号付けスキームを次のように示します。 <b>E</b> 偶数値のみ <b>O</b> 奇数値のみ <b>B</b> 両方
MatchLevel	米国およびカナダ以外の住所に対し、候補住所のマッチ レベルを示します。米国およびカナダの住所では常に "A" になります。次のいずれかです。 <b>A</b> 候補は通りレベルで入力住所にマッチします。 <b>B</b> 候補は州/省レベルで入力住所にマッチします。
PostalCode	郵便番号。米国では、ZIP Code™ になります。
PostalCode.AddOn	ZIP + 4® Code の末尾 4 桁。米国住所にのみ適用されます。
RecordType	米国およびカナダの郵政当局によって定義されている住所レコードのタイプ (米国およびカナダの住所のみサポート): <ul style="list-style-type: none"> <li>• FirmRecord</li> <li>• GeneralDelivery</li> <li>• HighRise</li> <li>• PostOfficeBox</li> <li>• RRHighwayContract</li> <li>• Normal</li> </ul>
RecordType.Default	"デフォルト" マッチを示すコード <b>Y</b> 住所はデフォルト レコードにマッチしています。 <b>NULL</b> 住所はデフォルト レコードにマッチしていません。



フィールド名	説明
StateProvince	州または省の省略形。
Status	マッチの成功または失敗。 <b>NULL</b> 成功 <b>F</b> 失敗
Status.Code	失敗の原因 (ある場合)。次のいずれかの値になります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• DisabledCoder</li><li>• RequestFailed</li></ul>
Status.Description	問題の説明 (ある場合)。 <b>Did not return multiples</b> 入力住所はデータベース内の 1 つの住所とのみマッチしました。GetCandidateAddresses は、一致する可能性のある住所が複数見つかった場合にデータを返します。 <b>Number of candidates is not greater than 1</b> 入力住所はデータベース内の複数の住所にマッチしましたが、住所が返されませんでした。 <b>PerformUSProcessing disabled</b> Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。 <b>PerformCanadianProcessing disabled</b> Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。 <b>PerformInternationalProcessing disabled</b> Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。
UnitNumberHigh	候補住所のユニット番号が含まれる範囲の終了ユニット番号。
UnitNumberLow	候補住所のユニット番号が含まれる範囲の開始ユニット番号。

フィールド名	説明
UnitNumberParity	UnitNumberLow と UnitNumberHigh の間のユニット番号の番号付けスキームを次のように示します。 <b>E</b> 偶数値のみ <b>O</b> 奇数値のみ <b>B</b> 両方
USUrbanName	妥当性が確認された都市の都市化名。都市化名は、主にプエルトリコ住所に使用されます。

## Get Candidate Addresses Loqate

**Get Candidate Addresses Loqate** は、与えられた入力住所に一致するとみなされる住所のリストを返します。**Get Candidate Addresses Loqate** は、入力住所が郵便データベースの複数の住所にマッチする場合のみ、候補の住所を返します。入力住所が、郵便データベースの 1 つの住所のみにマッチする場合は、住所データを返しません。**[Country]** 入力フィールドは必須です。このフィールドが空白の場合、出力は返されません。

注：デフォルトでは、**Get CandidateAddresses Loqate** は個々の家番号との一致は確認しません。各通りの家番号の範囲とのマッチングを行います。**Get Candidate Addresses Loqate** は通り名、都市名、州/省名、および郵便番号を特定した後、入力された家番号が、マッチした通り名の家番号の範囲に含まれるかどうかを確認します。ユニット番号についても同様の処理が行われます。

**Get Candidate Addresses Loqate** は、**Universal Addressing** モジュールに含まれています。

**Preview Input**

AddressLine1	PO box 1	
AddressLine2	73 baruch	
AddressLine3		
AddressLine4		
City	ny	
StateProvince	ny	
PostalCode		
Country	usa	
FirmName		

Import Data... Delete Record View Run Preview

---

**Preview Output**

AddressLine1	PO box 1 73	PO box 1 73	PO box 1 73	PO box 1 73	PO box 1 73
AddressLine2	Baruch	Baruch	Baruch	Baruch	Baruch
AddressLine3					
AddressLine4					
City	New York	New York	New York	New York	New York
Country	USA	USA	USA	USA	USA
FirmName					
PostalCode	10002	10008	10009	10012-0003 0003	10013
PostalCodeAddIn					
ProcessedBy	LOGATE	LOGATE	LOGATE	LOGATE	LOGATE
StateProvince	NY	NY	NY	NY	NY

View Run Preview

PostalCode: A1A1A1

**Preview Output**

AddressLine1	LOWER BATTERY RD	LOWER BATTERY RD
City	ST. JOHN'S	ST. JOHN'S
Country	CAN	CAN
HouseNumberHigh	000003	000004 A
HouseNumberLow	000001	000002
HouseNumberParity	0	E
MatchLevel	A	A
PostalCode	A1A1A1	A1A1A1
ProcessedBy	CAN	CAN
RecordType	Normal	Normal
StateProvince	NL	NL

## 入力

GetCandidateAddressesLoqate の入力の一覧を以下の表に示します。

表 40 : 入力フォーマット

フィールド名	説明
AddressLine1	最初の住所行。
AddressLine2	2 行目の住所行。
AddressLine3	3 行目の住所行。
AddressLine4	4 行目の住所行。
City	都市名。
Country	<p>国コードまたは名前を、以下のいずれかのフォーマットで入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 桁の ISO 国コード</li> <li>• 3 桁の UPU 国コード</li> <li>• 英語の国名</li> </ul> <p>ISO コードの一覧は、<a href="#">ISO 国コードとモジュール サポート</a>を参照してください。</p> <p>注：このフィールドは必須です。このフィールドが空白の場合、出力は返されません。</p>
FirmName	会社名または企業名。
PostalCode	住所の郵便番号。米国住所の場合は、次のいずれかの形式の ZIP Code™ になります。
StateProvince	<p>州または省。</p> <p>米国住所に限り、州は、StateProvince フィールドではなく、City フィールドに入力することもできます。</p>

## オプション

表 41 : GetCandidateAddressesLoqate のオプション

オプション名	説明
データベース	住所処理に使用するデータベースを指定します。Management Console で定義されたデータベースのみが使用可能です。
大文字と小文字の区別	出力データの大文字と小文字の区別を指定します。次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>混在</b> 出力に大文字と小文字を混在させます (デフォルト)。例: 123 Main StMytown FL 12345</li> <li><b>大文字</b> 出力に大文字を使用します。例: 123 MAIN STMYTOWN FL 12345</li> </ul>
アドレス検索処理	候補を検索する方法を指定します。次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>検索</b> 住所の全体または一部を入力し、近似一致結果のリストを出力として返します (デフォルト)。</li> <li><b>確認</b> 住所行、住所コンポーネント、またはその両方を組み合わせて住所情報を入力し、入力により近く一致する結果を出力として返します。</li> </ul>
デフォルトの国	デフォルトの国を指定します。大部分の住所が存在する国を指定してください。例えば、処理する住所の大部分がドイツにある場合は、ドイツを指定します。GetCandidateAddressLoqate は、[StateProvince]、[PostalCode]、および [Country] の各住所フィールドから国を特定できなかった場合、指定された国を使用して、住所の検証を試みます。

オプション名	説明
国フォーマット	<p><b>Country</b> 出力フィールドに返される国名に使用するフォーマットを指定します。例えば、英語を選択した場合、"Deutschland" という国名は "Germany" として返されます。</p> <p><b>英語名</b> 英語の国名を使用します (デフォルト)。</p> <p><b>ISO コード</b> 国名の代わりにその国の 2 文字の ISO の略語を使用します。</p> <p><b>UPU コード</b> 国名の代わりにその国の万国郵便連合 (Universal Postal Union: UPU) の略語を使用します。</p>
スクリプト/アルファベット	<p>出力がどのアルファベットまたはスクリプトで返されるかを指定します。このオプションは双方向で、通常はネイティブからラテン文字へ、およびラテン文字からネイティブへ実行されます。</p> <p><b>入力文字</b> 書き直しを実行せず、入力と同じスクリプトで出力します (デフォルト)。</p> <p><b>ネイティブ</b> 使用可能な場合は、選択した国のネイティブスクリプトで出力します。</p> <p><b>ラテン文字 (英語)</b> 英語の値を使用します。</p>
返されるレコードの最大数	<p>GetCandidateAddressesLoqate が返す候補住所の最大数。デフォルトは 10 です。最大数は 99 です。</p>

## 出力

GetCandidateAddressesLoqate は、次の出力を返します。

表 42 : GetCandidateAddressesLoqate の出力

フィールド名	説明
AddressLine1	最初の住所行。
AddressLine2	2 行目の住所行。

フィールド名	説明
AddressLine3	3 行目の住所行。
AddressLine4	4 行目の住所行。
City	都市名。
Country	3 文字の ISO 3166-1 Alpha 3 国コード。ISO コードの一覧は、 <a href="#">ISO 国コードとモジュール サポート</a> を参照してください。
FirmName	企業名。
PostalCode	郵便番号。米国では、ZIP Code™になります。
PostalCode.AddOn	ZIP + 4® Code の末尾 4 桁。米国住所にのみ適用されます。
ProcessedBy	住所を処理した住所コーダーを示します。 <b>LOQATE</b> Loqate コーダーが住所を処理しました。
StateProvince	州または省の省略形。
Status	マッチの成功または失敗。 <b>NULL</b> 成功 <b>F</b> 失敗
Status.Code	失敗の原因 (ある場合)。次のいずれかの値になります。 • RequestFailed

フィールド名	説明
Status.Description	問題の説明 (ある場合)。次のいずれかの値になります。 <b>Did not return multiples</b> 入力住所はデータベース内の 1 つの住所とのみマッチしました。GetCandidateAddressesLoqate は、一致する可能性のある住所が複数見つかった場合のみデータを返します。

## Get City State Province

Get City State Province は、与えられた入力郵便番号に対する都市および州/省を返します。

注：Get City State Province は、米国およびカナダの住所のみをサポートします。

Get City StateProvince は、Universal Addressing モジュールに含まれています。

### 入力

入力フィールドを以下の表に示します。

表 43 : GetCityStateProvince の入力

フィールド名	説明
PostalCode	ZIP Code™ またはカナダの郵便番号を次のいずれかのフォーマットで示します。 99999 99999-9999 A9A9A9 A9A 9A9



## オプション

表 44 : GetCityStateProvince のオプション

オプション名	説明
米国住所処理を有効にする	<p>米国住所を処理するかどうかを指定します。米国住所処理を有効にした場合、GetCityStateProvince は米国住所の州を返します。米国住所処理を無効にすると、米国住所は失敗します。つまり、Status 出力フィールドに "F" が設定されて返されます。出力フィールド Status.Code は、"DisabledCoder" となります。米国住所処理のライセンスを取得していない場合は、ジョブに米国住所が含まれるか否かにかかわらず、米国住所処理を無効にしなければ、ジョブを正常に実行することはできません。</p> <p>注：米国住所を正常に処理するには、米国住所処理の有効なライセンスを取得する必要があります。</p>
データベース	<p>米国住所処理に使用するデータベースを指定します。Management Console の [米国データベース リソース] パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。</p>
カナダ住所処理を有効にする	<p>カナダ住所を処理するかどうかを指定します。カナダ住所処理を有効にした場合、GetCityStateProvince はカナダ住所の州を返します。カナダ住所処理を無効にした場合、Status フィールドに "F" が設定されカナダ住所は失敗します。出力フィールド Status.Code は、"DisabledCoder" となります。カナダ住所処理のライセンスを取得していない場合は、ジョブにカナダ住所が含まれるか否かにかかわらず、カナダ住所処理を無効にしなければ、ジョブを正常に実行することはできません。</p> <p>注：カナダ住所を正常に処理するには、カナダ住所処理の有効なライセンスを取得する必要があります。</p>
データベース	<p>カナダ住所処理に使用するデータベースを指定します。Management Console の [カナダ データベース リソース] パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。</p>
非正式な都市名を含める	<p>非正式な都市名を出力に含めるかどうかを指定します。非正式な都市名は、主要都市名の代替名です。例えば、Hollywood は Los Angeles の非正式な都市名です。</p>
返されるレコードの最大数	<p>返される都市と州/省のペアの最大数を指定します。デフォルト値は 10 です。</p>

## 出力

**GetCityStateProvince** は、入力郵便番号に一致する都市と州/省、およびマッチングの成功または失敗を示すコードを返します。複数の都市/州または都市/省が入力郵便番号にマッチする場合、複数の出力レコードが返されます。

**表 45 : GetCityStateProvince の出力**

フィールド名	説明
City	一致した都市名。
City.Type	USPS® によって正規化された都市名のタイプ (米国住所のみ)。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>V</b> 非正式 (Non-Mailing) 都市名。</li> <li><b>P</b> 主要都市名。都市名は、主要な郵送都市名です。</li> <li><b>S</b> 補助的な都市名。都市名は、代替都市名ですが、許容されます。都市は複数の補助的な都市名を持つことができます。</li> </ul>
PostalCode	入力郵便番号。
ProcessedBy	住所を処理した住所コーダーを示します。次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>USA</b> 米国住所コーダーが住所を処理しました。</li> <li><b>CAN</b> カナダ住所コーダーが住所を処理しました。</li> </ul>
StateProvince	州または省の省略形。
Status	マッチの成功または失敗。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>NULL</b> 成功</li> <li><b>F</b> 失敗</li> </ul>

フィールド名	説明						
Status.Code	<p>失敗の原因 (ある場合)。次の値のみが有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DisabledCoder</li> <li>• UnrecognizedPostalCode</li> </ul>						
Status.Description	<p>失敗の説明。有効な値は次のとおりです。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td><b>Postal code not found</b></td> <td>Status.Code=UnrecognizedPostalCode の場合にこの値が表示されます。</td> </tr> <tr> <td><b>PerformUSProcessing disabled</b></td> <td>Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。</td> </tr> <tr> <td><b>PerformCanadianProcessing disabled</b></td> <td>Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。</td> </tr> </tbody> </table>	<b>Postal code not found</b>	Status.Code=UnrecognizedPostalCode の場合にこの値が表示されます。	<b>PerformUSProcessing disabled</b>	Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。	<b>PerformCanadianProcessing disabled</b>	Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。
<b>Postal code not found</b>	Status.Code=UnrecognizedPostalCode の場合にこの値が表示されます。						
<b>PerformUSProcessing disabled</b>	Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。						
<b>PerformCanadianProcessing disabled</b>	Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。						

## Get City State Province Loqate

Get City State Province Loqate は、与えられた入力郵便番号に対する都市および州/省を返します。

このステージは、Universal Addressing モジュールに含まれています。

### 入力

入力フィールドを以下の表に示します。

**表 46 : GetCityStateProvinceLoqate の入力**

フィールド名	説明
Country	<p>国コードまたは名前を、以下のいずれかのフォーマットで入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 桁の ISO 国コード</li> <li>• 3 桁の UPU 国コード</li> <li>• 英語の国名</li> </ul> <p>ISO コードの一覧は、<a href="#">ISO 国コードとモジュール サポート</a>を参照してください。</p>

フィールド名	説明
PostalCode	住所の郵便番号。

## オプション

表 47 : GetCityStateProvinceLoqate のオプション

フィールド名	説明 / 有効な値						
データベース	住所処理に使用するデータベースを指定します。Management Console の [データベース リソース] パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。						
返されるレコードの最大数	GetCityStateProvinceLoqate が返す必要がある住所の最大数。デフォルトは 10 です。						
スクリプト/アルファベット	出力がどのアルファベットまたはスクリプトで返されるかを指定します。このオプションは双方向で、通常はネイティブからラテン文字へ、およびラテン文字からネイティブへ実行されます。 <table border="0" data-bbox="560 1207 1421 1428"> <tr> <td>入力文字</td> <td>書き直しを実行せず、入力と同じスクリプトで出力します (デフォルト)。</td> </tr> <tr> <td>ネイティブ</td> <td>使用可能な場合は、選択した国のネイティブ スクリプトで出力します。</td> </tr> <tr> <td>ラテン文字 (英語)</td> <td>英語の値を使用します。</td> </tr> </table>	入力文字	書き直しを実行せず、入力と同じスクリプトで出力します (デフォルト)。	ネイティブ	使用可能な場合は、選択した国のネイティブ スクリプトで出力します。	ラテン文字 (英語)	英語の値を使用します。
入力文字	書き直しを実行せず、入力と同じスクリプトで出力します (デフォルト)。						
ネイティブ	使用可能な場合は、選択した国のネイティブ スクリプトで出力します。						
ラテン文字 (英語)	英語の値を使用します。						
データ ライセンス エラーの処理	データ ライセンス エラーの発生時に Spectrum Technology Platform がどのように応答するかを指定します。 <table border="0" data-bbox="560 1585 1421 1753"> <tr> <td>ジョブのエラー</td> <td>データ ライセンス エラーが発生した場合、ジョブ全体をエラーにします。</td> </tr> <tr> <td>レコードのエラー</td> <td>データ ライセンス エラーの発生原因となったレコードをエラーにし、処理を続行します。</td> </tr> </table>	ジョブのエラー	データ ライセンス エラーが発生した場合、ジョブ全体をエラーにします。	レコードのエラー	データ ライセンス エラーの発生原因となったレコードをエラーにし、処理を続行します。		
ジョブのエラー	データ ライセンス エラーが発生した場合、ジョブ全体をエラーにします。						
レコードのエラー	データ ライセンス エラーの発生原因となったレコードをエラーにし、処理を続行します。						

## 出力

**GetCityStateProvinceLoqate** は、入力郵便番号に一致する都市と州/省、およびマッチングの成功または失敗を示すコードを返します。複数の都市/州または都市/省が入力郵便番号にマッチする場合、複数の出力レコードが返されます。

**表 48 : GetCityStateProvinceLoqate の出力**

フィールド名	説明
City	一致した都市名。
Country	[国フォーマット] で選択した、以下のいずれかのフォーマットで示された国。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ISO コード</li> <li>• UPU コード</li> <li>• 英語</li> </ul>
PostalCode	入力郵便番号。
ProcessedBy	住所を処理した住所コーダーを示します。 <b>LOQATE</b> Loqate コーダーが住所を処理しました。
StateProvince	州または省の省略形。
Status	マッチの成功または失敗。 <b>NULL</b> 成功 <b>F</b> 失敗
Status.Code	失敗の原因 (ある場合)。次の値のみが有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• UnrecognizedPostalCode</li> </ul>

フィールド名	説明
Status.Description	失敗の説明。次の値のみが有効です。 <b>Postal code not found</b> Status.Code=UnrecognizedPostalCode の場合にこの値が表示されます。

## Get Postal Codes

Get Postal Codes では、特定の都市の郵便番号の検索が可能です。このサービスは、都市、州、および国を入力として受け取り、その都市の郵便番号を返します。入力を正しい順序で指定しなければ、郵便番号は返されません。

注：Get Postal Codes は、米国住所にのみ対応します。

Get Postal Codes は、Universal Addressing モジュールに含まれています。

### 入力

GetPostalCodes は、都市、州/省、および国を入力として受け取ります。

表 49 : GetPostalCodes の入力

フィールド名	説明
City	郵便番号を検索する都市。 City フィールドに都市と州を入力できます。これを行う場合は、StateProvince フィールドを空白のままにする必要があります。 City および StateProvince フィールドの文字数が 100 文字を超えてはなりません。
StateProvince	郵便番号を検索する都市の州または省。 州は、StateProvince フィールドではなく、City フィールドに入力することもできます。 City および StateProvince フィールドの文字数が 100 文字を超えてはなりません。

フィールド名	説明
Country	郵便番号を検索する都市の国コードまたは名前。有効な値は US のみです。

## オプション

表 50 : **GetPostalCodes** のオプション

オプション	説明
データベース	郵便番号検索に使用するデータベースを指定します。Management Console の [米国データベース リソース] パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。
非正式な都市名を含める	都市の非正式な都市名の郵便番号を含めるかどうかを指定します。非正式な都市名は、主要都市名の代替名です。例えば、Hollywood は Los Angeles の非正式な都市名です。
都市タイプを含める	都市タイプを出力で返すかどうかを指定します。有効にすると、都市タイプが City.Type フィールドに返されます。

## 出力

**GetPostalCodes** は、指定された都市の郵便番号を返します。各郵便番号は、以下の表に列挙されたデータとともにそれぞれ個別のレコードで返されます。

表 51 : GetPostalCodes の出力

フィールド名	説明
City.Type	<p>USPS® の都市タイプ (米国住所のみ)。都市タイプを判別するには、ZIP Code と都市名を調べます。例えば、メリーランド州ランハムの郵便番号は、20703、20706、および 20784 です。ランハムは、20703 と 20706 では主要都市ですが、20784 では非正式都市です。</p> <p>このフィールド列に値が設定されるのは、<b>[都市タイプを含める]</b> がオンの場合のみです。有効な値を次に示します。</p> <p><b>V</b> 非正式 (Non-Mailing) 都市名。</p> <p><b>P</b> 主要都市名。都市名は、主要な郵送都市名です。</p> <p><b>S</b> 補助的な都市名。都市名は、代替都市名ですが、許容されます。都市は複数の補助的な都市名を持つことができます。</p>
PostalCode	指定された都市の郵便番号。
ProcessedBy	このサービスは米国住所に対してのみ機能するため、ProcessedBy には常に USA という 1 つの値が含まれます。
Status	<p>マッチの成功または失敗。</p> <p><b>NULL</b> 成功</p> <p><b>F</b> 失敗</p>
Status.Code	<p>失敗の原因 (ある場合)。次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CountryNotSupported</li> <li>• UnableToLookup</li> </ul>
Status.Description	<p>失敗の説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 入力された国がサポートされていません</li> <li>• 入力された都市が空白でした</li> <li>• 入力された都市と州 / 省が空白であったか、一致が見つかりませんでした</li> <li>• 都市と州の不一致 (スペルの相違が見つかるか、都市/州が非正式都市であるが、非正式マッチングが許可されていないか、都市/州が ZIP Code と一致しない)</li> </ul>



## GetPostalCodes Loqate

GetPostalCodesLoqate では、特定の都市の郵便番号の検索が可能です。このサービスは、都市、州、および国を入力として受け取り、その都市の郵便番号を返します。入力を正しい順序で指定しなければ、郵便番号は返されません。

GetPostalCodesLoqate は、Universal Addressing モジュールに含まれています。

### 入力

GetPostalCodesLoqate は、都市、州/省、および国を入力として受け取ります。

表 52 : GetPostalCodesLoqate の入力

フィールド名	説明 / 有効な値
City	郵便番号を検索する都市。 City フィールドに都市と州を入力することができます。これを行う場合は、StateProvince フィールドを空白のままにする必要があります。
Country	国コードまたは名前を、以下のいずれかのフォーマットで入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 桁の ISO 国コード</li> <li>• 3 桁の UPU 国コード</li> <li>• 英語の国名</li> </ul> ISO コードの一覧は、 <a href="#">ISO 国コードとモジュール サポート</a> を参照してください。
StateProvince	郵便番号を検索する都市の州または省。 州は、StateProvince フィールドではなく、City フィールドに入力することもできます。

## オプション

表 53 : GetPostalCodesLoqate のオプション

オプション	説明
データベース	郵便番号検索に使用するデータベースを指定します。Management Console で定義されたデータベースのみが使用可能です。
データ ライセンス エラーの処理	データ ライセンス エラーの発生時に Spectrum Technology Platform がどのように応答するかを指定します。
ジョブのエラー	データ ライセンス エラーが発生した場合、ジョブ全体をエラーにします。
レコードのエラー	データ ライセンス エラーの発生原因となったレコードをエラーにし、処理を続行します。

## 出力

GetPostalCodesLoqate は、指定された都市の郵便番号を返します。各郵便番号は、以下の表に列挙されたデータとともにそれぞれ個別のレコードで返されます。

表 54 : GetPostalCodesLoqate の出力

フィールド名	説明 / 有効な値
PostalCode	指定された都市の郵便番号。
ProcessedBy	住所を処理した住所コーダーを示します。 <b>LOQATE</b> Loqate コーダーが住所を処理しました。
Status	マッチの成功または失敗。 <b>NULL</b> 成功 <b>F</b> 失敗

フィールド名	説明 / 有効な値
Status.Code	失敗の原因 (ある場合)。次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>InvalidCountry</li> <li>UnableToLookup</li> </ul>
Status.Description	失敗の説明。 <ul style="list-style-type: none"> <li>入力された国がサポートされていません</li> <li>入力された都市が空白でした</li> <li>入力された都市と州 / 省が空白であったか、一致が見つかりませんでした</li> </ul>

## Validate Address

**ValidateAddress** は、郵便当局の住所データを使用して、住所を正規化し、妥当性を確認します。**ValidateAddress** は、情報を修正し、管轄の郵便当局が推奨する書式で住所の書式を整えることができます。また、郵便番号、都市名、州/省名など、欠落している郵便情報を追加します。

**ValidateAddress** は、**ValidateAddress** が住所の妥当性を確認したかどうか、返した住所の確信レベル、住所の妥当性が確認できなかった場合はその理由など、バリデーション処理に関する結果インジケータも返します。

**ValidateAddress** は、住所のマッチングと正規化において、住所行をコンポーネントに分割し、それらを **Universal Addressing** モジュールの各種データベースの内容と比較します。マッチを検出した場合、入力住所をデータベース情報に合わせて正規化します。データベースにマッチしなかった場合、**ValidateAddress** は、オプションで入力住所の書式を整えます。書式設定プロセスでは、該当する郵便当局の規則に従って住所行の構成を試みます。

**Validate Address** は、**Universal Addressing** モジュールに含まれています。

### 入力

**ValidateAddress** は、入力として住所を受け取ります。すべての住所は、その住所の国に関係無くこのフォーマットを使用します。米国住所に対する住所行データの処理方法に関する重要な情報については、「[米国住所の住所行処理 \(182ページ\)](#)」を参照してください。

表 55 : 入力フォーマット

フィールド名	書式	説明
AddressLine1	文字列 [50]	最初の住所行。
AddressLine2	文字列 [50]	2 行目の住所行。
AddressLine3	文字列 [50]	3 行目の住所行。 カナダの住所には適用されません。
AddressLine4	文字列 [50]	4 行目の住所行。 カナダの住所には適用されません。
AddressLine5	文字列 [50]	5 行目の住所行。 英国住所にのみ適用されます。通り名、ユニット番号、ビルディング 番号などを含めることができます。
City	文字列 [50]	都市名。 米国住所に限り、都市、州、および ZIP Code™ を City フィールドに 入力することができます。これを行う場合は、StateProvince フィール ドと PostalCode フィールドを空白のままにする必要があります。
StateProvince	文字列 [50]	州または省。 米国の住所に限り、州を StateProvince フィールドの代わりに City フィールドに入れることができます。

フィールド名	書式	説明
PostalCode	文字列 [10]	<p>住所に対する郵便番号を次のいずれかのフォーマットで示します。</p> <p>99999 99999-9999 A9A9A9 A9A 9A9 9999 999</p> <p>米国式の住所の場合に、住所に限り、ZIP Code™ を City フィールドに入力することができます。</p> <p>米国式の住所の場合に、住所に限り、都市、州、または ZIP Code™ が PostalCode フィールドにある場合に、ValidateAddress がデータをパーシングして、住所を正しく処理することができます。最適な結果を得るため、このデータを適切なフィールド (City、StateProvince、PostalCode) に入力してください。</p>
Country	文字列 [50]	<p>国コードまたは名前を、以下のいずれかのフォーマットで入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 文字の ISO 3166-1 Alpha 2 国コード</li> <li>• 3 文字の ISO 3166-1 Alpha 3 国コード</li> <li>• 英語の国名</li> <li>• フランス語の国名</li> <li>• ドイツ語の国名</li> <li>• スペイン語の国名</li> </ul> <p>ISO コードの一覧は、<a href="#">ISO 国コードとモジュール サポート</a>を参照してください。</p>
FirmName	文字列 [50]	会社名または企業名。
USUrbanName	文字列 [50]	米国住所都市化名。主にプエルトリコの住所で使用されます。
CustomerID	文字列 [9]	この郵便物が汎用バーコードを使用している場合、USPS® が割り当てた顧客 ID をこのフィールドに指定します。ValidateAddress の汎用バーコードは、OneCode ACS® サービスを使用する郵便物に使用されます。

フィールド名	書式	説明
CanLanguage	文字列	<p>カナダの住所に限り、<b>【カナダ住所オプション】</b> タブの <b>【使用言語判断対象】</b> フィールドが [CanLanguage (カナダ言語) 入力 フィールド] に設定されている場合に、住所が英語かフランス語かを示します。</p> <p>このフィールドが空白の場合、アドレスは英語でフォーマットされています。このフィールドに空白以外の値が含まれる場合、住所はフランス語でフォーマットされています。ケベックの住所は、このフィールドの値に関係なく常にフランス語でフォーマットされます。</p>

### 米国住所の住所行処理

米国住所の場合、AddressLine1 から AddressLine4 の入力フィールドの処理方法は、企業名抽出または都市化コード抽出のオプションが有効になっているかどうかによって異なります。2つのオプションのいずれかが有効になっている場合は、ValidateAddress は、4つすべてのフィールドのデータを参照して、住所の妥当性を確認し、要求されたデータ (企業名または都市化コード) を抽出します。どちらのオプションも有効でない場合は、ValidateAddress は、空白でない最初の2つの住所行フィールドのみを使用して、妥当性を確認します。他の住所行フィールドのデータは、AdditionalInputData 出力フィールドに返されます。例を次に示します。

**AddressLine1:** A1 Calle A **AddressLine2:** **AddressLine3:** URB Alamar **AddressLine4:** Pitney Bowes

この住所において、企業名抽出または都市化コード抽出が有効である場合は、ValidateAddress は、4つすべての住所行を確認します。企業名抽出と都市化コード抽出がどちらも有効でない場合は、ValidateAddress は、AddressLine1 と AddressLine3 (空白でない最初の2つの住所行) を参照して、そのデータを使用して住所の妥当性を確認します。AddressLine4 のデータは、AdditionalInputData 出力フィールドに返されます。

### オプション

#### 出力データ オプション

以下の表に、ValidateAddress が返す情報の種類を制御するオプションの一覧を示します。これらのオプションのうちの一部は、カナダ住所に対してオーバーライドすることができます。詳細については、[カナダ住所のオプション](#) (208ページ) を参照してください。

表 56 : 出力データ オプション

オプション	説明
標準住所を含める	<p>住所データの 1～4 行に加えて、都市、州、郵便番号、企業名、および都市化名情報を返します。各住所行は、封筒に記載される住所の実際の行に対応しています。詳細については、<a href="#">出力 (219ページ)</a> を参照してください。</p> <p><b>Validate Address</b> が住所の妥当性を確認できた場合は、住所行には正規化済み住所が含まれます。正規化済み住所では、句読文字が取り除かれ、方向指示と通り接尾語には省略形が使用され、住所要素が修正されています。</p> <p><b>Validate Address</b> が住所の妥当性を確認できなかった場合は、住所行には入力住所がそのまま含まれます ("パス スルー" データ)。このオプションを指定しなかった場合でも、妥当性が確認されなかった住所は必ず、パス スルー データとして住所行フィールドに含まれます。</p>
一致した住所要素を含める	<p>家番号、通り名、通り接尾語、方向指示などの住所の各要素が、個別のフィールドに返されます。詳細については、<a href="#">#unique_150</a>を参照してください。このオプションとともに、<b>[マッチしなかった場合に正規化データを返す]</b> を選択した場合は、住所要素に、妥当性が確認できなかった住所の入力住所が含まれることとなります。</p>
郵便情報を含める	<p>出力住所には、妥当性が確認された各住所の様々な追加データが含まれます。詳細については、<a href="#">郵便データ出力 (227ページ)</a> を参照してください。</p>
正規化された入力住所要素を含める	<p>このオプションでは、<b>Validate Address</b> が住所の妥当性を確認できたかどうかにかかわらず、入力住所をパース済み形式で返します。家番号、通り名、通り接尾語、方向指示などの入力住所の各要素が、個別のフィールドに返されます。</p> <p><b>[正規化された入力住所要素を含める]</b> オプションは、検証できなかった入力だけでなく、すべての入力住所をパース済み形式で返す点で、<b>[一致した住所要素を含める]</b> と <b>[マッチしなかった場合に正規化データを返す]</b> の組み合わせと異なります。詳細については、<a href="#">パース済み入力 (224ページ)</a> を参照してください。</p>

## オプション

## 説明

個々のフィールドの結果コードを含める

フィールドレベルの結果インジケータを含めるかどうかを指定します。フィールドレベルの結果インジケータは、各住所要素をどのように処理したかを示します。フィールドレベルの結果インジケータは、修飾子 "Result" で返されます。例えば、HouseNumber のフィールドレベルの結果インジケータは **HouseNumber.Result** に格納されます。結果インジケータの出力フィールドの完全な一覧は、[フィールドレベルの結果インジケータ](#) (233ページ) を参照してください。

マッチしなかった場合に正規化データを返す

住所の妥当性を確認できない場合に書式を整えた住所を返すかどうかを指定します。住所には、その国の標準住所書式が設定されます。このオプションを選択しない場合、住所の妥当性を確認できないと、出力住所フィールドは空白になります。

注：このオプションは、米国およびカナダの住所のみに適用されます。その他の住所に対して書式を整えたデータは返されません。

**【標準住所を含める】**、**【住所行の要素を含める】**、および **【郵便情報を含める】** の各チェック ボックスで指定されたフォーマットを使用して、書式を整えた住所が返されます。**【住所行の要素を含める】** を選択した場合は、妥当性が確認できた住所に対しては、パース済みで妥当性を確認済みの住所が、パース済み住所要素に含まれることに注意してください。住所の妥当性が確認できなかった場合には、パース済み住所要素には、入力住所がパース済み形式で含まれることとなります。**Validate Address** が住所の妥当性を確認できたかどうかにかかわらず、必ず入力住所をパース済み形式で出力したい場合は、**【正規化された入力住所要素を含める】** を選択します。

このオプションをオンにする場合は、**【標準住所を含める】** と **【住所行の要素を含める】** またはそのいずれかを選択する必要があります。

通り名のエイリアスを返す

米国住所に対しては、通り名のエイリアスを出力に使用するかどうかを指定します。通り名のエイリアスとは、通りに対する別名で、通常は、通り上の特定の範囲の住所のみに対して使用されます。通り名のエイリアスを出力に使用しないと指定した場合は、通りにエイリアス名があるかどうかにかかわらず、出力では通りの "基本" 名が使用されます。基本名とは、通り全体に適用される名称です。



## オプション

## 説明

## 通り名のエイリアスを返す

米国住所に対しては、入力に使用されている通り名のエイリアスの処理方法を指定します。通り名のエイリアスとは、通りに対する別名で、通常は、通り上の特定の範囲の住所のみに対して使用されます。

このオプションを有効にすると、入力に使用されている通り名のエイリアスが、出力にも使用されます。このオプションを有効にしない場合は、入力に使用されている通り名のエイリアスが、出力では基本通り名に変換されますが、次の例外があります。

- 入力において、よく使用されるエイリアスが使用されている場合は、そのエイリアスが必ず出力で使用されます。
- 入力で使用されている変更名のエイリアスは、出力では必ず基本通り名に変換されます。

これは、**Validate Address** で通り名のエイリアスを処理する方法を制御する 3 つのオプションのうちの 1 つです。他の 2 つは、**[通り名に対してよく使用されるエイリアスの処理]** と **[通り名に対する省略形エイリアスの処理]** です。

注：**[通り名に対する省略形エイリアスの処理]** を有効にした場合は、**[通り名のエイリアスを返す]** を無効にした場合でも、必ず省略形エイリアスが出力に使用されます。

## オプション

## 説明

## 住所データ ブロックを返す

実際の郵便物に印字される、書式を整えた住所を返すかどうかを指定します。住所の各行が、別々の住所ブロックフィールドに入れて返されます。**AddressBlock1** から **AddressBlock9** まで、最大 9 つの住所ブロック出力フィールドが使用されます。

例えば、以下の住所入力の場合、

AddressLine1: 4200 Parliament Place  
AddressLine2: Suite 600  
City: Lanham  
StateProvince: MD  
PostalCode: 20706

以下の住所ブロックが出力されます。

AddressBlock1: 4200 PARLIAMENT PL STE 600  
AddressBlock2: LANHAM MD 20706-1882  
AddressBlock3: UNITED STATES OF AMERICA

**Validate Address** は、郵便当局の規格に従って、住所の書式を整えて、住所ブロックの形式にします。国名は、万国郵便連合 (UPU) の国名で返されます。**【国フォーマット】** オプションは、住所ブロックの国名には影響を与えないことに注意してください。このオプションは、**Country** 出力フィールドに返される名前だけに影響を与えます。

米国およびカナダ以外の住所に対しては、**ValidateAddress** で住所の妥当性が確認できなかった場合、住所ブロックは返されません。米国およびカナダの住所に対しては、妥当性が確認できなかった場合も住所ブロックが返されます。

## オプション

## 説明

AMAS 表記を使用してデータをフォーマット 実際の郵便物に印字される、書式を整えた住所を返すかどうかを指定します。住所の各行が、別々の住所ブロックフィールドに入れて返されます。**AddressBlock1** から **AddressBlock9** まで、最大 9 つの住所ブロック出力フィールドが使用されます。

例えば、以下の住所入力の場合、

AddressLine1: 4200 Parliament Place  
 AddressLine2: Suite 600  
 City: Lanham  
 StateProvince: MD  
 PostalCode: 20706

以下の住所ブロックが出力されます。

AddressBlock1: 4200 PARLIAMENT PL STE 600  
 AddressBlock2: LANHAM MD 20706-1882  
 AddressBlock3: UNITED STATES OF AMERICA

**Validate Address** は、郵便当局の規格に従って、住所の書式を整えて、住所ブロックの形式にします。国名は、万国郵便連合 (UPU) の国名で返されます。**【国フォーマット】** オプションは、住所ブロックの国名には影響を与えないことに注意してください。このオプションは、**Country** 出力フィールドに返される名前だけに影響を与えます。

米国およびカナダ以外の住所に対しては、**ValidateAddress** で住所の妥当性が確認できなかった場合、住所ブロックは返されません。米国およびカナダの住所に対しては、妥当性が確認できなかった場合も住所ブロックが返されます。

---

### 下院選挙区の取得

**ValidateAddress** は、住所に対する米下院選挙区を特定できます。

下院選挙区を取得するには、**【出力データ オプション】** タブの **【郵便情報を含める】** チェックボックスを選択します。これにより、下院選挙区を含む、住所に関する様々なデータが返されます。このオプションによって返される具体的なデータについては、**郵便データ出力** (227 ページ) を参照してください。

表 57 : 下院選挙区出力

フィールド名	説明
USCongressionalDistrict	下院選挙区番号。住所が州以外の住所 (プエルトリコやワシントン D.C. など) である場合は、このフィールドは空白になります。

#### 郡名の取得

ValidateAddress は、ある住所が所在する郡を特定し、その郡名を返すことができます。

注：郡名は、米国住所にのみ適用されます。

郡名を取得するには、[出力データ オプション] タブの [郵便情報を含める] チェック ボックスを選択します。これにより、郡名を含む、住所に関する様々なデータが返されます。このオプションによって返される具体的なデータについては、[郵便データ出力 \(227ページ\)](#) を参照してください。

表 58 : 郡名出力

フィールド名	説明
USCountyName	郡名

#### FIPS 郡番号の取得

連邦情報処理標準 (FIPS) 郡番号は、州の中の各郡を識別する番号です。これらの番号は、州レベルにおいてのみ一意であり、国レベルでは一意ではないことに注意してください。詳細については、<http://www.census.gov> を参照してください。

注：FIPS 郡番号は、米国住所にのみ適用されます。

FIPS 郡番号を取得するには、[出力データ オプション] タブの [郵便情報を含める] チェック ボックスを選択します。これにより、FIPS 郡番号を含む、住所に関する様々なデータが返されます。このオプションによって返される具体的なデータについては、[郵便データ出力 \(227ページ\)](#) を参照してください。

表 59 : FIPS 郡番号出力

フィールド名	説明
USFIPSCountyNumber	FIPS (連邦情報処理標準) 郡番号

#### 配達ルート コードの取得

配達ルート コードとは、個々の郵便配達者に割り当てられた一意の識別子で、これによって米国の各配達ルートを一意に識別することができます。ValidateAddress は、宛先の配達ルートを表すコードを返すことができます。

注：配達ルート コードは、米国住所に対してのみ存在します。

配達ルート コードを取得するには、[出力データ オプション] タブの [郵便情報を含める] チェックボックスを選択します。これにより、配達ルート コードを含む、住所に関する様々なデータが返されます。このオプションによって返される具体的なデータについては、[郵便データ出力 \(227 ページ\)](#) を参照してください。

表 60 : 配達ルート コード出力

フィールド名	説明
USCarrierRouteCode	配達ルート コード

#### 配達ポイント バーコードの作成

配達ポイント バーコード (DPBC) は、住所を POSTNET™ バーコードで表記したものです。開始および終了フレームバーと、ZIP + 4® Code、ストリートの住所の番号に基づいて計算された値、および修正ディジットの 1 桁ごとに 5 本のバーがあり、合計 62 本のバーで構成されます。DPBC により、配達業者の徒歩経路のレベルにまで手紙を自動仕分けすることができます。ValidateAddress は、DPBC の作成に必要なデータを生成します。

注：配達ポイント バーコードは、米国住所に対してのみ存在します。配達ポイント バーコードの詳細については、<http://www.usps.com> を参照してください。

DPBC の作成に必要なデータを生成するには、[出力データ オプション] タブの [郵便情報を含める] チェックボックスを選択します。これにより、DPBC の作成に必要なデータを含む、住所に

関する様々なデータが返されます。このオプションによって返される具体的なデータについては、[郵便データ出力](#)（227ページ）を参照してください。

表 61 : 配達ポイント バーコード出力

フィールド名	説明
PostalBarCode	配達ポイント バーコードの配達ポイント部分
USBCCheckDigit	11桁の配達ポイント バーコードのチェック デジット部分

DPBC を作成するには、ValidateAddress 出力フィールドの値を次のように結合します。

PostalCode.Base + PostalCode.Addon + PostalBarcode + USBCCheckDigit

例えば、次のデータがあるとしてします。

- **PostalCode.Base** = 49423
- **PostalCode.Addon** = 4506
- **PostalBarcode** = 29
- **USBCCheckDigit** = 2

このデータから作成されるバーコードは、次のようになります。

494234506292

#### デフォルト オプション

以下の表に、住所のフォーマットと処理を制御するオプションの一覧を示します。これらのオプションはデフォルトですべての住所に適用されるので、"デフォルト オプション" と言います。これらのオプションのうちの一部は、カナダ住所に対してオーバーライドすることができます。詳細については、「[カナダ住所のオプション](#)（208ページ）」を参照してください。

表 62 : デフォルト オプション

オプション	説明
大文字と小文字の区別	<p>出力住所の大文字と小文字の区別を指定します。次のいずれかです。</p> <p><b>混在</b>            出力に大文字と小文字を混在させます (デフォルト)。例: 123 Main StMytown FL 12345</p> <p><b>大文字</b>           出力に大文字を使用します。例: 123 MAIN STMYTOWN FL 12345</p>
郵便番号区切り文字を挿入する	<p>ZIP™ Code またはカナダの郵便番号に区切り文字 (スペースまたはハイフン) を使用するかどうかを指定します。</p> <p>例えば、区切り文字ありの ZIP + 4® Code は 20706-1844、区切り文字なしは 207061844 になります。区切り文字ありのカナダの郵便番号は P5E"1S7、区切り文字なしは P5E1S7 になります。</p> <p>注：カナダの郵便番号ではスペースが、米国のZIP + 4® コードではハイフンが使用されます。</p>
多国籍文字を出力	<p>ウムラウト記号やアクセント記号などの付加記号を含む多国籍文字を返すかどうかを指定します(米国住所ではサポートされません)。</p>
複数の住所を返す	<p>一致する可能性のある住所を複数持つ入力住所に対して複数の住所を返すかどうかを示します。</p> <p>詳細については、「<a href="#">複数マッチを返す (195ページ)</a>」を参照してください。</p>

## オプション

## 説明

### セカンダリ住所の配置

米国住所の補助的な住所情報を配置する場所を指定します。補助的な住所情報とは、部屋番号やアパート番号などの指定子のことです。例えば、次の住所の補助的な住所情報は "Apt 10E" で、主要な住所情報は "424 Washington Blvd" です。

Apt 10E424 Washington BlvdSpringfield MI 49423

**住所と同じ行** 主要な住所情報と補助的な住所情報の両方を AddressLine1に配置します (デフォルト)。

**住所行を分割** 主要な住所情報を AddressLine1に、補助的な住所情報を AddressLine2 に配置します。

**二重住所を分割** 主要な住所情報と補助的な住所情報の両方を AddressLine1に配置し、二重住所からドロップされた情報を AddressLine2 に配置します。二重住所とは、通り情報と、PO Box/地方配送路/幹線請負契約情報の両方を含む住所のことです。詳細については、「[二重住所ロジックについて \(194ページ\)](#)」を参照してください。

### 都市フォーマット

短い都市名または非正式な都市名を代替名として持つ都市名を書式設定する方法を指定します。米国およびカナダの住所に適用されます。

**短** USPS® が承認した都市の略称が 1 つある場合、それを返します。USPS® は、14 文字以上の都市名に対し、略称を定めています。都市の略称は 13 文字以下で、宛名ラベルのサイズが限られている場合に使用できます。短い都市名が存在しない都市に対しては、正式な都市名が返されます。

**長** 長い都市名を返します (デフォルト)。

**標準** 入力住所に省略された都市名が使用されている場合にのみ、省略された都市名を返します。入力住所に短い都市名が使用されていない場合は、その都市に対する USPS® の規則によって、長い都市名または短い都市名が返されます。CASS™ テストを実行する場合は、このオプションを選択します。

**Non-Mailing (非正式)** 入力都市名が非正式な都市名の場合、非正式な都市名 (非正式名) を出力します。例えば、"Hollywood" は "Los Angeles" の非正式な都市名です。このオプションを選択せず、入力都市名が非正式な都市名の場合、長いバージョンの郵送都市名が返されます。



オプション

説明

国フォーマット

**Country** 出力フィールドに返される国名に使用するフォーマットを指定します。例えば、英語を選択した場合、"Deutschland" という国名は "Germany" として返されます。

英語名	英語の国名を使用します (デフォルト)。
スペイン語名	スペイン語の国名を使用します。
フランス語名	フランス語の国名を使用します。
ドイツ語名	ドイツ語の国名を使用します。
ISO コード	国名の代わりにその国の 2 文字の ISO の略語を使用します。
UPU コード	国名の代わりにその国の万国郵便連合 (Universal Postal Union: UPU) の略語を使用します。

デフォルトの国

デフォルトの国を指定します。大部分の住所が存在する国を指定してください。例えば、処理する住所の大部分がカナダにある場合は、カナダを指定します。ValidateAddress は、[StateProvince]、[PostalCode]、および [Country] の各住所フィールドから国を特定できなかった場合、指定された国を使用して、住所の検証を試みます。

二重住所ロジック

複数の空白ではない住所行があるか、複数の住所タイプが同じ住所行に設定されている場合にどのタイプの一致を返すかを指定します。(米国住所のみ)。

通常一致	(デフォルト) USPS®CASS™ の規則では、以下の優先順位に基づいて、返す住所を決定します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. PO Box</li> <li>2. Firm</li> <li>3. Highrise</li> <li>4. Street</li> <li>5. Rural Route</li> <li>6. General Delivery</li> </ol>
通りマッチング	住所行に関係なく、通り一致を返します。
PO Box 一致	住所行に関係なく、PO Box 一致を返します。
詳細については、「 <a href="#">二重住所ロジックについて (194ページ)</a> 」を参照してください。	

## 二重住所ロジックについて

米国住所に対してのみ、**[二重住所ロジック]** オプションは、通り情報と PO Box/地方配送路/幹線請負契約情報の両方が住所に含まれる場合に、**Validate Address** が通り一致を返すか、または PO Box/地方配送路/幹線請負契約一致を返すかを制御します。

注：通り情報が PO Box/地方配送路/幹線請負契約情報と別の住所行入力フィールドに含まれている場合、**[二重住所ロジック]** オプションは、効果を持ちません。

例えば、次の入力住所が与えられたとします。

AddressLine1: 401 N Main St Apt 1 POB 1City: KempStateProvince: TXPostalCode: 75143

ValidateAddress は、次のいずれかを返します。

- **[二重住所ロジック]** が **[通常一致]** または **[PO Box 一致]** のいずれかに設定されている場合は、次を返します。

AddressLine1: PO Box 1City: KempStateProvince: TXPostalCode: 75143-0001

- **[二重住所ロジック]** が **[通り一致]** に設定されている場合は、次を返します。

AddressLine1: 401 N Main St Apt 1City: KempStateProvince: TXPostalCode: 75143-4806

住所の正規化に使用されない住所データは、次の 2 カ所のいずれかに返すことができます。

- **AddressLine2** — **[セカンダリ住所の配置]** フィールドで **[二重住所を分割]** を選択した場合、住所の正規化に使用されない住所情報は **AddressLine2** フィールドに返されます。詳細については、[デフォルトオプション](#) (190ページ) を参照してください。例えば、二重住所に対して通り一致を返すと選択すると、次のようになります。

AddressLine1: 401 N Main St Apt 1AddressLine2: PO Box 1City: KempStateProvince: TXPostalCode: 75143-0001

- **AdditionalInputData** — **[セカンダリ住所の配置]** フィールドで **[二重住所を分割]** を選択しない場合、住所の正規化に使用されない住所情報は **AdditionalInputData** フィールドに返されます。このオプションの詳細については、[デフォルトオプション](#) (190ページ) を参照してください。例えば、二重住所に対して通り一致を返すと選択すると、次のようになります。

AddressLine1: 401 N Main St Apt 1City: KempStateProvince: TXPostalCode: 75143-0001AdditionalInputData: PO Box 1

ドロップされた住所情報を取得するには、**[セカンダリ住所の配置]** を **[二重住所を分割]** に設定します。詳細については、[デフォルトオプション](#) (190ページ) を参照してください。

## 複数マッチを返す

`ValidateAddress` が、入力住所に一致する可能性のある複数の住所を郵便データベース内で検出した場合、一致する可能性のある住所を `ValidateAddress` が返すよう設定できます。例えば、次の住所は米国郵便データベース内の複数の住所にマッチします。

PO BOX 1  
New York, NY

## オプション

複数マッチを返すには、次の表に示すオプションを使用します。

表 63 : 複数マッチのオプション

オプション名	説明
複数の住所を返す	一致する可能性のある住所を複数持つ入力住所に対して複数の住所を返すかどうかを示します。
結果の最大数	<p><b>【複数の住所を返す】</b> チェック ボックスの横に、返す住所の最大数を示す 1 ~ 10 の数字を入力します。</p> <p>デフォルト値は 1 です。</p> <p>注: <b>【複数の住所を返す】</b> のチェックをはずした場合と <b>【複数の住所を返す】</b> にチェックを入れ、結果の最大数として 1 を指定した場合の違いは、<b>【複数の住所を返す】</b> のチェックをはずした場合は複数マッチによって失敗が返され、<b>【複数の住所を返す】</b> にチェックを入れ、結果の最大数として 1 を指定した場合は複数マッチによって 1 つのレコードが返される点です。</p>
個々のフィールドの結果コードを含める	どの出力住所が候補住所かを特定するには、 <b>【出力データ】</b> タブの <b>【個々のフィールドの結果コードを含める】</b> にチェックを入れる必要があります。このように設定すると、候補住所のレコードのフィールドレベルの結果インジケータに 1 つ以上の値 "M" が格納されます。

## 出力

複数マッチを返すよう選択した場合、住所は指定した住所フォーマットで返されます。住所フォーマットの指定については、[出力データオプション](#) (182ページ) を参照してください。どのレコードが候補住所であるかを特定するには、フィールドレベルの結果インジケータに複数の値 "M" があるかどうかを調べます。詳細については、[フィールドレベルの結果インジケータ](#) (233ページ) を参照してください。

## 米国住所のオプション

オプション名	説明
米国住所処理を有効にする	<p>米国住所を処理するかどうかを指定します。米国住所処理を有効にすると、<b>ValidateAddress</b> は米国住所の検証を試みます。米国住所処理を無効にすると、米国住所は失敗します。つまり、<b>Status</b> 出力フィールドに "F" が設定されて返されます。出力フィールド <b>Status.Code</b> は、"DisabledCoder" となります。米国住所処理のライセンスを取得していない場合は、ジョブに米国住所が含まれるか否かにかかわらず、米国住所処理を無効にしなければ、ジョブを正常に実行することはできません。</p> <p>注：米国住所を正常に処理するには、米国住所処理の有効なライセンスを取得する必要があります。米国住所処理のライセンスを取得していないか、ライセンスの期限が切れているにもかかわらず、米国住所処理を有効にすると、ジョブ全体が失敗します。</p>
データベース	<p>米国住所の妥当性の確認に使用するデータベースを指定します。<b>Management Console</b> の [米国データベース リソース] パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。</p>
トラベルライン	<p><b>Enhanced Line of Travel (eLOT)</b> 処理は、トラベルライン シーケンス コードを住所に割り当てます。住所は eLOT 順でソートされませんが、住所を eLOT 順にソートするために使えるトラベルライン シーケンス コードが提供されます。</p> <p>eLOT 処理を実行するには、eLOT データベースをインストールしておく必要があります。</p> <p>このオプションで返される出力フィールドの一覧については、<a href="#">Enhanced Line of Travel 出力 (251ページ)</a> を参照してください。</p>
Residential Delivery Indicator 処理	<p><b>Residential Delivery Indicator (RDI™)</b> 処理は、住所が (企業住所ではなく) 個人住所であることを調べます。RDI™ 処理を実行するには、RDI™ データベースをインストールしておく必要があります。</p> <p>DPV® と RDI™ の両方の処理を有効にしている場合は、RDI™ 情報は、住所が有効な配達ポイントである場合のみ返されます。DPV® で住所の妥当性が確認されなかった場合は、RDI™ データは返されません。</p>

オプション名

説明

拡張通りマッチング

Enhanced Street Matching (ESM) は、追加のマッチング ロジックを適用することにより、綴りに誤りがある通り名や複雑な通り名を修正し、マッチ結果を得ます。ESM を使うと、より多くの住所の妥当性を確認できるようになりますが、パフォーマンスは低下します。ASM が有効な場合は、ESM を実行することはできません。

すべてのストリートをマッチング

All Street Matching (ASM) は、ESM 処理に加えて追加のマッチング ロジックを適用することにより、通り名の誤りを修正し、マッチ結果を得ます。通りの最初の文字が誤っている場合の通りのマッチングに有効です。ASM は、最良の住所検証結果を提供しますが、パフォーマンスは低下します。

Delivery Point Validation & CMRA

Delivery Point Validation (DPV<sup>®</sup>) は、特定の住所が有効な住所の範囲内にあるかどうかを確認するのではなく、特定の住所が存在するかどうかを確認します。CMRA 処理は、住所が、Commercial Mail Receiving Agency (CMRA: 民間私書箱) と呼ばれる民間企業が貸し出す私書箱であるかどうかを確認します。

DPV および CMRA 処理を実行するには、DPV データベースをインストールしておく必要があります。DPV データベースには、DPV と CMRA の両方のデータが含まれます。

このオプションで返される出力フィールドの一覧については、[DPV および CMRA 出力 \(254 ページ\)](#) を参照してください。

LACS/Link 変換

USPS<sup>®</sup> Locatable Address Conversion System (LACS) は、地方配送路の住所を通り名に沿った住所に変換した場合、PO Box 番号の再割り当てがあった場合、または通り名に沿った住所が変更した場合に、それに伴って変更した住所を修正します。LACS<sup>Link</sup> 処理を有効にした場合、妥当性が確認できなかった住所、または妥当性が確認され、LACS<sup>Link</sup> 変換のフラグが付けられた住所に対し、その処理が実行されます。

LACS<sup>Link</sup> 処理を実行するには、LACS<sup>Link</sup> データベースをインストールしておく必要があります。

このオプションで返される出力フィールドの一覧については、[LACSLink 出力 \(252 ページ\)](#) を参照してください。

## オプション名

## 説明

## 早期警告システム

Early Warning System (EWS) は、USPS® EWS ファイルを使用して、ZIP + 4® データベースには存在しない住所の妥当性を確認します。

EWS 処理を実行するには、EWS データベースをインストールしておく必要があります。

入力住所が、EWS ファイルの住所に一致する場合、次のレコード レベルの結果インジケータが返されます。

- Status="F"
- Status.Code="EWSFailure"
- Status.Description="Address found in EWS table"

オプション名

説明

---

企業名抽出

## オプション名

## 説明

AddressLine1 ~ AddressLine4 から企業名を抽出し、FirmName 出力フィールドに入れるかどうかを指定します。このオプションは、入力レコードの FirmName フィールドが空白で、住所行が複数存在する場合に適用されます。

住所行の中の企業名を特定するため、住所行をスキャンし、どのフィールドが住所行で、どのフィールドが企業名の行であるかを特定するためのキーワードおよびパターンが検索されます。この処理はパターンに基づいて行われるため、フィールドが誤って認識される場合があります。最適な企業名抽出を行うためのヒントを、以下に示します。

- 可能ならば、主要な住所要素を AddressLine1、補助的な要素を AddressLine2、都市化名を AddressLine3、企業名を AddressLine4 に配置します。住所に都市化コードが存在しない場合は、企業名を AddressLine3 に配置し、AddressLine4 を空白にします。例を次に示します。

**AddressLine1:** 4200 Parliament Place**AddressLine2:** Suite 600**AddressLine3:** Pitney Bowes  
**AddressLine4:** <blank>

- 住所行を 2 行だけ定義する場合は、ほとんどの場合 AddressLine2 には補助的な住所が入ります。AddressLine2 を企業名として処理する確率を上げるには、企業名を AddressLine3 に配置し、AddressLine2 は空白にします。
- 企業名に数字が含まれていると("1 Stop Software" の "1" など)、そのフィールドが住所行として扱われる可能性が高くなります。

以下に、企業名抽出の例をいくつか示します。

- 次の例では、AddressLine2 が FirmName 出力フィールドに抽出されます。

**FirmName:** <空白>**AddressLine1:** 4200 Parliament Place Suite 600**AddressLine2:** International Goose Feathers inc.

- 次の例では、AddressLine3 が FirmName 出力フィールドに抽出されます。

**FirmName:** <空白>**AddressLine1:** 4200 Parliament Place**AddressLine2:** Suite 600**AddressLine3:** Pitney Bowes

- 次の例では、AddressLine3 は AdditionalInputData 出力フィールドに配置されます。FirmName 入力フィールドが空白ではないため、企業名は抽出されません。

**FirmName:** International Goose Feathers Inc.**AddressLine1:** 4200 Parliament Place**AddressLine2:** Suite 600**AddressLine3:** Pitney Bowes

- 次の例では、空白でない住所行が 1 行しかなく、その行は必ず主要な住所要素として処理されるため、企業名は抽出されません。

**FirmName:** <空白>**AddressLine1:** 4200 Parliament Place Suite 600

- 次の例では、AddressLine2 は補助的な住所要素として処理されます。数字の "1" が含まれているために、そのフィールドが補助的な住所要素として扱われるためです。



オプション名

説明

**FirmName:** <空白>**AddressLine1:** 4200 Parliament Place Suite  
600**AddressLine2:** 1 Stop Software

米国都市化名を抽出

**AddressLine1** ~ **AddressLine4** から都市化名を抽出し、**USUrbanName** 出力フィールドに入れるかどうかを指定します。このオプションは、入力レコードの **USUrbanName** フィールドが空白で、住所行が複数存在する場合に適用されます。

住所行の中の都市化名を特定するため、住所行をスキャンし、どのフィールドが住所行で、どのフィールドが都市化名の行であるかを特定するためのキーワードおよびパターンが検索されます。この処理はパターンに基づいて行われるため、フィールドを誤って認識する場合があります。最適な都市化名抽出を行うには、できる限り、主要な住所要素を **AddressLine1**、補助的な要素を **AddressLine2**、都市化名を **AddressLine3**、企業名を **AddressLine4** に配置します。例を次に示します。

**AddressLine1:** A1 Calle A**AddressLine2:****AddressLine3:** URB  
Alamar**AddressLine4:** Pitney Bowes

Suite/Link サポート

**Suite<sup>Link™</sup>** 処理を実行するかどうかを指定します。

**Suite<sup>Link</sup>** は、補助的な住所情報の妥当性が確認できなかった米国の企業住所に対し、その補助的な住所情報を修正します。**Suite<sup>Link</sup>** 処理が有効になっている場合、既知の企業名とその補助的な住所情報からなるデータベースに対して、企業名のマッチングが行われます。

例を次に示します。

企業名: Pitney Bowes  
住所行 1: 4200 Parliament Place  
Address Line 2: STE 1  
郵便番号: 20706

この場合、**Suite<sup>Link</sup>** は、**Suite** 番号を以下の正しい **Suite** 番号に変更します。

企業名: Pitney Bowes  
住所行 1: 4200 Parliament Place  
Address Line 2: **STE 600**  
Postal Code: 20706-1844

**Suite<sup>Link™</sup>** 処理を実行するには、**Suite<sup>Link™</sup>** データベースをインストールしておく必要があります。

このオプションで返されるフィールドの一覧については、[SuiteLink 出力](#) (256ページ) を参照してください。

オプション名

説明

通り名に対してよく使用されるエイリアスの処理

通り名に対してよく使用されるエイリアスを出力に使用するかどうかを指定します。

米国における通り名のエイリアスとは、通りの一部に付けられた別名のことです。通り名のエイリアスには、次の 4 種類があります。

- **よく使用される名前** — その地域でよく使用される通り名です。通常は、通り上の特定の範囲の住所のみに対して使用されます。
- **省略形** — 通り名の省略形です。AddressLine1 の長さが 31 文字以上になる場合に使用することができます。例えば、1234 BERKSHIRE VALLEY RD APT 312A という通り名は、1234 BERKSHIRE VLLY RD APT 312A と省略することができます。
- **変更名** — 通り名が正式に変更された場合に、新しい名前を表すエイリアスです。例えば、SHINGLE BROOK RD という通り名が CANNING DR に変更された場合、CANNING DR が変更済みのエイリアス タイプとなります。
- **その他の名前** — この通り名エイリアスには、通りの他の名前や、通りの一般的な省略形などがあります。

エイリアスではない通り名のことを、基本通り名と呼びます。

入力において、よく使用されるエイリアスが使用されている場合は、このオプションを選択しているかどうかにかかわらず、そのエイリアスが出力の通り名になります。

これは、ValidateAddress でストリート名のエイリアスを処理する方法を制御する 3 つのオプションのうちの 1 つです。他の 2 つは **[通り名のエイリアスを返す]** と **[通り名に対する省略形エイリアスの処理]** です。

多くの場合、**[ストリート名に対してよく使用されるエイリアスの処理]** と **[ストリート名に対する省略形エイリアスの処理]** の両方が選択されており、ValidateAddress が、郵便データベース内でよく使用されるエイリアスと省略形エイリアスの両方を検出した場合は、省略形エイリアスが出力に使用されます。入力の通り名がよく使用されるエイリアスである場合は、例外になります。この場合は、よく使用されるエイリアスが出力に使用されます。

注: 入力住所に、"変更名"である通り名のエイリアスが含まれている場合は、指定したオプションにかかわらず、出力住所には必ず、基本通り名が使用されます。

オプション名

説明

通り名の省略形エイリアスの処理 出力住所行の長さが 31 文字以上になる場合に、通り名に対する省略形エイリアスを出力に使用するかどうかを指定します。

これは、**ValidateAddress** でストリート名のエイリアスを処理する方法を制御する 3 つのオプションのうちの 1 つです。他の 2 つは **[通り名のエイリアスを返す]** と **[通り名に対してよく使用されるエイリアスの処理]** です。

注: 入力において、よく使用されるエイリアスが指定されている場合は、通り名に対する省略形エイリアスの処理を有効にしても、出力の通り名は必ず、よく使用されるエイリアスになります。

注: 入力住所に、"変更名"である通り名のエイリアスが含まれている場合は、指定したオプションにかかわらず、出力住所には必ず、基本通り名が使用されます。

配達ポイントが郵便物受領可能かどうかを調べる

住所の "no stat" ステータスを調べます。住所が存在するが、郵便物を受け取れない場合、その住所は "no stat" とみなされるため、配達ルートに関する配達統計としてカウントされません (そのため "no stat" という用語が使用されます)。例としては、建設中の建物や、郵便物を受け取る可能性が低いと郵便配達業者が識別した建物などがあります。

注: このオプションを使用するには DPV 処理を有効にする必要があります。

結果は **DPVNoStat** フィールドに返されます。詳細については、[LACSLink 出力 \(252ページ\)](#)

住所が空家であるかを調べる

そのロケーションがすくなくとも 90 日間使用されていないかどうかを調べます。

注: このオプションを使用するには DPV 処理を有効にする必要があります。

結果は **DPVVacant** フィールドに返されます。詳細については、[LACSLink 出力 \(252ページ\)](#)

VeriMove 詳細データを返す

出力に VeriMove 詳細データを返します。

オプション名

説明

**ZIP+4 キャリアルート R777 を抑制** キャリアルート R777 の住所を抑制するかどうかを指定します。これらの住所は疑似ルートであり、通り配達に使用できません。これらの住所には USPS® による ZIP + 4® コードが割り当てられているため、Validate Address はこれらの住所を配達可能と判定します。キャリアルート R777 の住所を配達可能と判定したくない場合は、このオプションを選択します。その場合は、次のように動作します。

- ZIP + 4 コードは割り当てられません
- 住所は USPS Form 3553 (CASS Summary Report) から除外されます
- DPV 補足コードとして R7 が返されます

通りマッチング

入力住所が郵便データベース内の住所にマッチするかどうかを調べる際に使用するアルゴリズムを指定します。次のいずれかです。

- 完全一致** 入力された通り名は、データベースに完全に一致する必要があります。
- 厳格** マッチングアルゴリズムは "厳格" です。
- 中** マッチングアルゴリズムは "中" です (デフォルト)。
- あいまい** マッチングアルゴリズムは "あいまい" です。

企業マッチング

入力住所が郵便データベース内の住所にマッチするかどうかを調べる際に使用するアルゴリズムを指定します。次のいずれかです。

- 完全一致** 入力された企業名は、データベースに完全に一致する必要があります。
- 厳格** マッチングアルゴリズムは "厳格" です。
- 中** マッチングアルゴリズムは "中" です (デフォルト)。
- あいまい** マッチングアルゴリズムは "あいまい" です。

道順マッチング

入力住所が郵便データベース内の住所にマッチするかどうかを調べる際に使用するアルゴリズムを指定します。次のいずれかです。

- 完全一致** 123 N Main St. における "N" など、入力された道順がデータベースに完全に一致する必要があります。
- 厳格** マッチングアルゴリズムは "厳格" です。
- 中** マッチングアルゴリズムは "中" です。デフォルト
- あいまい** マッチングアルゴリズムは "あいまい" です。

オプション名	説明
DPV 成功条件	<p>DPV 結果がレコードの失敗の原因とならない一致条件を選択します。</p> <p>注: このオプションを使用するには DPV 処理を有効にする必要があります。</p>
CMRA との一致をマッチとみなさない	<p>民間私書箱 (CMRA) との一致をマッチとみなしませんか。</p> <p>注: このオプションを使用するには DPV 処理を有効にする必要があります。</p>
PMB 要素配置箇所	<p>私書箱 (PMB) の情報をどこに配置するかを指定します。</p> <p>どの住所行にも配置しない 標準住所出力に PMB 情報を含めません (デフォルト)。</p> <p><b>AddressLine1</b> PMB 情報を AddressLine1 に配置します。AddressLine1 を選択した場合は、<b>[住所フォーマット]</b> フィールドに <b>[結合ユニット]</b> または <b>[二重住所を分割]</b> をセットする必要があります。</p> <p><b>AddressLine2</b> PMB 情報を AddressLine2 に配置します。このオプションは、<b>[3553 Form を作成]</b> をオンにしている場合は選択できません。</p>

オプション名

説明

優先する都市

優先する最終行都市名を格納するかどうかを指定します。

**ZIP+4 Last Line** USPS ZIP+4 ファイルからの Preferred Last Line City Name を格納します (都市名を上書き)。

注：このオプションを選択すると、Validate Address は CASS 認定の設定と USPS 3553 レポートを生成します。

**USPS City/State** USPS City/State ファイルからの USPS-preferred City Name を格納します

注：このオプションを選択すると、Validate Address は CASS 認定の設定と USPS 3553 レポートを生成しません。

**Primary** USPS City/State ファイルからの Primary City Name を格納します

注：このオプションを選択すると、Validate Address は CASS 認定の設定と USPS 3553 レポートを生成しません。

CASS 認定処理

特定のオプションの組み合わせを有効にすると、ValidateAddress を CASS 認定™モードで動作させることができます。CASS 認定™処理を使用すると、USPS® の郵便料金値引きのための条件を揃えることができます。

CASS 認定™処理を使用すると、Validate Address が USPS CASS Form 3553 を生成します。このフォームを USPS に郵便物と一緒に渡さなければ、値引きを受けることができません。フォームには CASS 処理に使用したソフトウェアに関する情報、名前と住所のリストに関する情報、出力ファイルに関する情報、差出人に関する情報、およびその他の郵便物に関する統計が含まれます。USPS Form 3553 の詳細については、[www.usps.com](http://www.usps.com) を参照してください。

また、CASS 認定™処理では USPS CASS 詳細レポートも生成されます。このレポートに含まれる情報は 3553 レポートと同じものですが、DPV、LACS、および SuiteLink に関する大幅に詳しい統計情報が含まれます。USPS CASS 詳細レポートは、郵便料金の値引きを受けるために必ずしも必要ではなく、郵便物と一緒に提出する必要はありません。

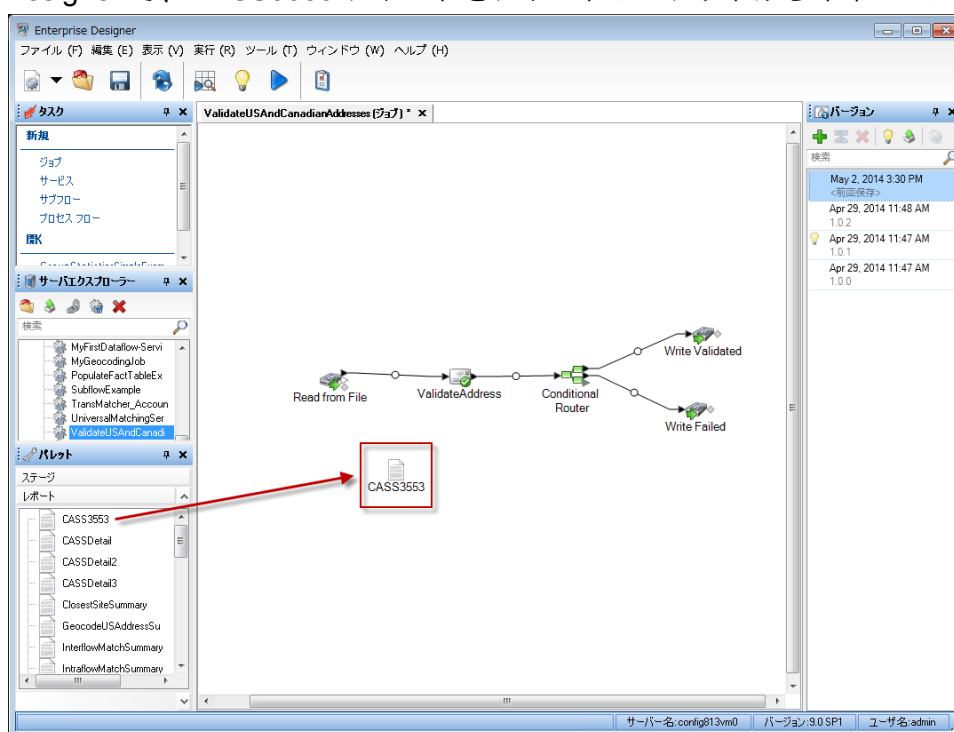
注：USPS CASS Form 3553 と USPS CASS 詳細レポートはバッチ処理でのみ使用できません。

Validate Address を CASS 認定™モードで実行するには、以下の手順に従います。

1. Validate Address を CASS 認定™モードにする必要があります。ウィンドウの一番上に **(CASS 認定でないもの)** と表示される場合は、**[CASS 有効]** ボタンをクリックしてください。**[CASS ルールを強制]** チェック ボックスが表示されます。
2. **[CASS 3553 を設定]** をクリックします。**[CASS レポート フィールド]** ダイアログ ボックスが表示されます。
3. **[リスト処理元]** の会社名、**[リスト名または ID 番号]**、およびこのジョブで処理する **[リスト数]** を入力します。
4. **[差出人名]**、**[住所]**、および **[都市]**、**[州]**、**[ZIP]** を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。

生成された USPS® CASS Form 3553 のセクション B にリストの情報が、セクション D に差出人の情報が表示されます。

6. Enterprise Designer で、**CASS3553** レポートをレポートのパレットからキャンバスにドラッ



グします。

7. キャンバスの **[CASS3553]** アイコンをダブルクリックします。
8. **[ステージ]** タブで、**[Validate Address]** チェックボックスをオンにします。Validate Address ステージを何か別の名前に変更している場合は、住所検証ステージに指定した名前のチェック ボックスをオンにする必要があります。
9. **[パラメータ]** タブで、レポートのフォーマットを選択します。PDF、HTML、またはプレーンテキストのフォーマットでレポートを作成できます。
10. **[OK]** をクリックします。
11. CASS 詳細レポートを生成する場合は、**CASSDetail** に対して手順 6 ~ 10 を繰り返します。

注：Validate Address ステージとレポートの間にコネクタを引く必要はありません。

## カナダ住所のオプション

オプション名	説明
カナダ住所処理を有効にする	<p>カナダ住所を処理するかどうかを指定します。カナダ住所処理を有効にした場合、<b>ValidateAddress</b> はカナダ住所の検証を試みます。カナダ住所処理を無効にすると、<b>Status</b> 出力フィールドに"F" が設定されて返され、カナダ住所処理は失敗します。その際、出力フィールド <b>Status.Code</b> は、"DisabledCoder" となります。カナダ住所処理のライセンスを取得していない場合は、ジョブにカナダ住所が含まれるか否かにかかわらず、カナダ住所処理を無効にしなければ、ジョブを正常に実行することはできません。</p> <p>注：カナダ住所を正常に処理するには、カナダ住所処理の有効なライセンスを取得する必要があります。カナダ住所処理のライセンスを取得していないか、ライセンスの期限が切れているにもかかわらず、カナダ住所処理を有効にすると、ジョブ全体が失敗します。</p>
データベース	<p>カナダ住所の検証に使用するデータベースを指定します。カナダ住所検証用のデータベースを指定するには、<b>[データベース]</b> ドロップダウンリストからデータベースを選択します。<b>Management Console</b> の <b>[カナダ データベース リソース]</b> パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。</p>



オプション名

説明

使用言語判断対象

住所及び方向指示の書式設定に使用する言語 (英語またはフランス語) の判断方法を指定します。以下に、英語およびフランス語で書式設定された住所の例を示します。

英語: 123 Main St W フランス語: 123 Rue Main O

このパラメータは、住所の書式設定を制御します。また、方向指示の綴りにも影響を与えますが、接尾語の綴りには影響を与えません。

**通り接尾語** マッチング処理によって返される通り接尾語によって、言語を判断します。マッチング処理によって返されるストリート接尾語は、**ValidateAddress** が処理において内部で使用するもので、入力住所のものとは異なる場合があります。あいまいなレコードは、入力と同様に書式設定されます。デフォルトケベック州の住所はすべて、フランス語で書式設定されます。

**CPC データベース** カナダ データベースによって、言語を判断します。カナダ データベースには、**Canada Post Corporation (CPC: カナダ郵政公社)**からのデータが含まれています。ケベック州の住所はすべて、フランス語で書式設定されます。

**CanLanguage フィールド** CanLanguage 入力フィールドによって、言語を判断します。このフィールドに空白以外の値が設定されている場合は、住所はフランス語で書式設定されます。

デフォルト英語アパートメント ラベル

英語の住所に対し、入力住所にアパートメント ラベルが存在しない場合に、出力に使用するデフォルト アpartment ラベルを指定します。【セカンダリ住所フォーマット】フィールドで【先頭と番号のみ】を選択した場合、この設定は無視されます。

**Apt** ラベルとして "Apt" を使用します。デフォルト

**Apartment** ラベルとして "Apartment" を使用します。

**Suite** ラベルとして "Suite" を使用します。

**Unit** ラベルとして "Unit" を使用します。

オプション名

説明

デフォルト フランス語アパートメント ラベル

フランス語の住所に対し、入力住所にアパートメント ラベルが存在しない場合に、出力に使用するデフォルト アパートメントラベルを指定します。【セカンダリ住所フォーマット】フィールドで【先頭と番号のみ】を選択した場合、この設定は無視されます。

<b>App</b>	"App" をラベルとして使用します。デフォルト
<b>Appartement</b>	Use "Appartement" as the label.
<b>Bureau</b>	Use "Bureau" as the label.
<b>Suite</b>	Use "Suite" as the label.
<b>Unite</b>	Use "Unite" as the label.

LVR/Single-Single CPC データ レコードを強制的に修正

正式情報やスイート情報を変更して、Large Volume Receiver (LVR) または Single-Single レコードをマッチさせます (その郵便番号/通り名/通り タイプに対して 1 つしかレコードがない場合に使用します)。

**N** LVR または Single-Single レコードをマッチさせるために正式情報やスイート情報を変更しません。LVR レコードは、有効だが修正不可能なレコード (VN) としてマーク付けされます。Single-Single レコードは可能ならば修正されます。または、修正不可能なレコードとして処理されます。

**Y** LVR または Single-Single レコードをマッチさせるために正式情報やスイート情報を変更します。

注：このチェック ボックスをオンにする場合は、SERP 認定の設定 ではないため、Statement of Address Accuracy は印刷されません。

郵便番号の競合時に家番号を優先

家番号と郵便番号がともに有効だが競合するという場合、【郵便番号の競合時に家番号を優先】を選択することによって、家番号に合わせて郵便番号を強制的に修正することができます。このオプションを選択しない場合、郵便番号に合わせて家番号が変更されます。

オプション名	説明
都市名のエイリアスを返す	入力住所に都市名のエイリアスがある場合、そのエイリアスを返すかどうかを指定します。 <b>【都市フォーマット】</b> フィールドで <b>【デフォルト オプションを使用】</b> を選択している場合は、このオプションは無効です。
正式住所ではないキーワードを短縮します。	出力において、正式住所ではないキーワードを短縮するかどうかを指定します。例えば、Post Office Box とPO Box のどちらを使用するかが決まります。
SERP 設定を有効にする	SERP オプションを使用するかどうかを指定します。
セカンダリ住所フォーマット	<p>出力住所における、補助的な住所情報の配置場所を指定します。補助的な住所情報とは、部屋番号やアパート番号などの指定子のことです。</p> <p><b>デフォルト オプションを使用</b> アパート情報を、<b>【デフォルト オプションを使用】</b> タブの <b>【セカンダリ住所フォーマット】</b> フィールドで指定された場所に配置します。デフォルト</p> <p><b>住所行の末尾</b> アパート情報を、AddressLine1 フィールドの末尾に配置します。</p> <p><b>先頭と番号のみ</b> アパート番号のみ (ラベルは除く) を、AddressLine1 フィールドの先頭に配置します。例えば、400-123 Rue Main とします。</p> <p><b>先頭、番号、ラベル</b> アパート番号とラベルを、AddressLine1 フィールドの先頭に配置します。例えば、Apt 400 123 Rue Main とします。</p> <p><b>住所行を分割</b> アパート情報を別の行に配置します。</p> <p><b>入力と同じ</b> アパート情報を入力住所と同じ場所に配置します。</p>

オプション名

説明

都市フォーマット

都市の名前が長い場合に、**long**、**medium**、もしくは**short**のどの都市名を使用するかを指定します。例を次に示します。

Long: BUFFALO HEAD PRAIRIE  
Medium: BUFFALO-HEAD-PR  
Short: BUFFALO-HD-PR

デフォルト **【デフォルト オプション】** タブの **【都市フォーマット オプション マット】** フィールドで指定されたデフォルト オプションを使用します。デフォルト **【都市フォーマット】** フィールドで **【Non-Mailing (非正式)】** を選択した場合、都市は、このオプションで **【Long】** を選択し (以下を参照)、**【都市名のエイリアスを返す】** ボックスをオンにした場合と同じように書式設定されます。

**短** 短い都市名を出力します。

**長** 長い都市名を出力します。

**中** 中間の長さの都市名を出力します。

**入力と同じ** 入力住所と同じ都市フォーマットを使用します。出力は、L、M、または S です。

地方集配路線情報配置箇所

地方配送路の配達情報を配置する場所を指定します。地方配送路の配達情報を含む住所の例を以下に示します。

36 GRANT RD RR 3 ANTIGONISH NS

この住所において、"RR 3" は地方配送路の配達情報です。

**AddressLine1** 地方配送路の配達情報を、住所と同一行の住所情報の後に配置します。デフォルト例を次に示します。

36 GRANT RD RR 3

**AddressLine2** 地方配送路の配達情報を、別の住所行に配置します。例を次に示します。

36 GRANT RD RR 3

## オプション名

## 説明

---

配達オフィス情報を配置

配達局情報の配置場所を指定します。配達局情報を含む住所の例を次に示します。

PO BOX 8625 STN AST.JOHN'S NL

**入力と同じ** 配達局情報を、入力住所と同じ場所に配置します。デフォルト

**AddressLine1** 配達局情報を、住所と同一行の住所情報の後に配置します。例を次に示します。

PO BOX 8625 STN A

**AddressLine2** 配達局情報を、別の住所行に配置します。例を次に示します。

PO BOX 8625STN A

---

オプション名

説明

二重住所ロジック

住所に、正式情報と非正式情報の両方が含まれている場合に、**ValidateAddress** がストリート一致と、**PO Box**/非正式一致のどちらを返すかを指定します。次のいずれかです。

**デフォルト オプションを使用** **DualAddressLogic** のグローバル オプションを使用します。デフォルト

**PO Box 一致** **PO Box** など通り以外のデータとマッチングします。

**通りマッチング** 通りとマッチングします。

例えば、次の入力住所が与えられたとします。

AddressLine1: 36 GRANT RDAddressLine2: RR 4City: ANTIGONISHStateProvince: NS

**ValidateAddress** は、次のいずれかを返します。

- **[二重住所ロジック]** が **[ストリート一致]** に設定されている場合、**ValidateAddress** は次を返します。

AddressLine1: 36 GRANT RDAddressLine2: RR 3City: ANTIGONISHStateProvince: NSPostalCode: B2G 2L1

- **[二重住所ロジック]** が **[PO Box 一致]** に設定されている場合、**ValidateAddress** は次を返します。

AddressLine1: RR 4City: ANTIGONISHStateProvince: NSPostalCode: B2G 2L2

住所の正規化に使用されない住所データは、**AdditionalInputData** フィールドに返されます。詳細については、「[出力データオプション \(182ページ\)](#)」を参照してください。

**SERP** の処理

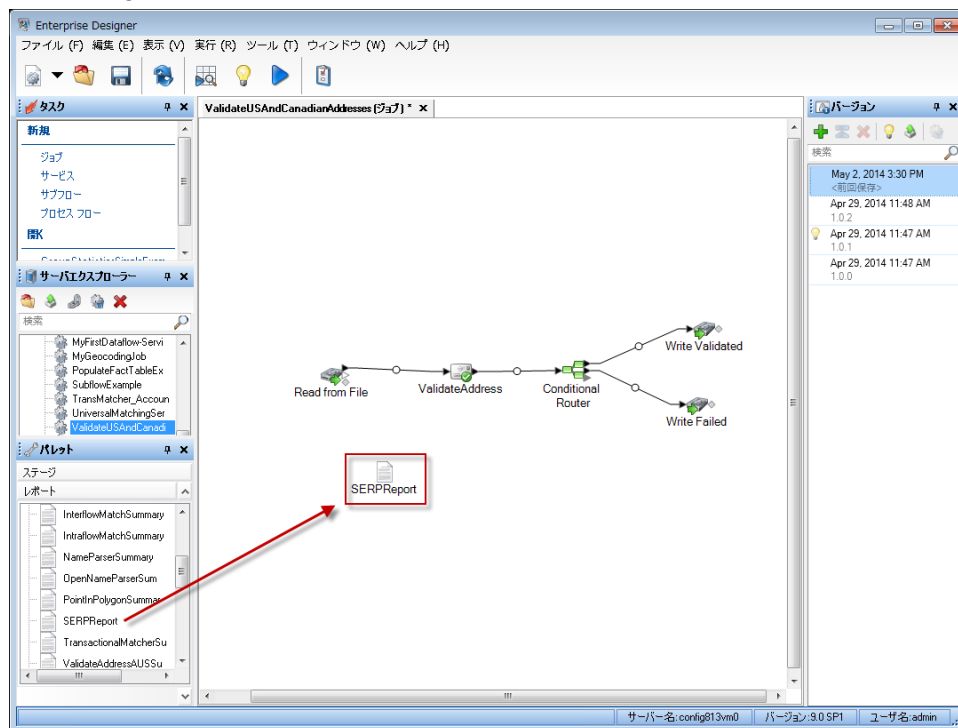
**ValidateAddress** は **Software and Evaluation Recognition Processing (SERP)** に対応しています。**SERP** 処理を使用すると、**Canada Post**<sup>®</sup> の郵便料金値引きのための条件を揃えることができます。**Validate Address** が **PoCAD** データを返し、これによって家番号とアパートのデータの精度を向上させることができます。

注： **PoCAD** データはバッチ モードでのみ返すことができます。**PoCAD** データをリアルタイムで返そうとすると、**Validate Address** がエラーを返します。

SERP 認定™ 処理を使用すると、Validate Address は Canada Post SERP Statement of Accuracy を生成します。このフォームを Canada Post に郵便物と一緒に渡さなければ、値引きを受けることができません。フォームには SERP 処理に使用したソフトウェアに関する情報、名前と住所のリストに関する情報、出力ファイルに関する情報、差出人に関する情報、およびその他の郵便物に関する統計が含まれます。Canada Post の Address Accuracy Statement について詳しくは、<http://www.canadapost.ca/cpo/mc/business/productsservices/atoz/addressaccuracy.jsf>を参照してください。

Validate Address を SERP 認定™ モードで実行するには、以下の手順に従います。

1. Validate Address を SERP 認定™ モードにする必要があります。ウィンドウの一番上に (SERP 認定でないもの) と表示される場合は、**[SERP 設定を有効にする]** ボタンをクリックしてください。**[SERP を設定]** ボックスが表示されます。
2. **[SERP を設定]** をクリックします。**[SERP レポート フィールド]** ダイアログボックスが表示されます。
3. 荷主の **[CPC 番号]** を入力します。
4. 差出人の **[名前]**、**[住所]**、および **[都市]**、**[州]**、**[郵便番号]** を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。
6. Enterprise Designer で、SERP レポートをレポートのパレットからキャンバスにドラッグし



ます。

注：Validate Address ステージと CASS3553 レポートの間にコネクタを引く必要はありません。

7. キャンバスの **[SERPReport]** アイコンをダブルクリックします。
8. **[ステージ]** タブで、**[Validate Address]** チェックボックスをオンにします。Validate Address ステージを何か別の名前に変更している場合は、住所検証ステージに指定した名前のチェックボックスをオンにする必要があります。
9. **[パラメータ]** タブで、レポートのフォーマットを選択します。PDF、HTML、またはプレーンテキストのフォーマットでレポートを作成できます。デフォルトではPDFフォーマットで作成されます。
10. **[OK]** をクリックします。

#### SERP リターン コードの取得

SERP リターン コードは、カナダ郵政公社の Software Evaluation and Recognition Program の規定によって定められる入力住所の品質を表します。

SERP リターン コードを取得するには、**[出力データ]** タブで、**[郵便情報を含める]** チェックボックスを選択します。これにより、SERP リターン コードを含む、住所に関する様々なデータが返されます。このオプションによって返される具体的なデータについては、[郵便データ出力 \(227ページ\)](#) を参照してください。

SERP リターン コードは、以下の出力フィールドに返されます。



表 64 : SERP リターン コード出力

フィールド名	説明
CanadianSERPCode	<p data-bbox="552 430 1031 472">検証/修正リターン コード (カナダ住所のみ)。</p> <p data-bbox="552 483 1404 556"><b>V</b> 入力は無効です。カナダ郵政公社は、以下のすべての条件を満たす住所を、「有効な」住所であると定義しています。</p> <p data-bbox="682 567 1404 640">注：一部例外があります。詳細については、CPC にお問い合わせください。</p> <ul data-bbox="600 672 1421 1050" style="list-style-type: none"> <li>• 住所は、CPC の Postal Code Data Files に示されるとおりに、すべての必須コンポーネントを含む必要があります。</li> <li>• 住所は、CPC の Postal Code Data Files の単一の住所のみに対し、すべてのコンポーネントにおいて完全に一致する必要があります。ただし、CPC Postal Code Data Files に示されている、許容される別の語および名前が使用されていてもかまいません。</li> <li>• 住所コンポーネントは、あいまいな部分がなく、はっきりと認識できる形式である必要があります。一部のコンポーネントには、それらを識別するための "修飾子" が必要な場合があります。例えば、Route Service の住所には、同じ番号の "Suburban Service" または "SS" の住所と区別するために、"Rural Route" または "RR" のキーワードが必要です。</li> </ul> <p data-bbox="552 1071 1421 1186"><b>I</b> 入力は無効です。「無効な」住所とは、有効な住所に対する CPC の条件を満たさない住所のことです (上記を参照)。例としては、住所コンポーネントが欠落している、無効である、または矛盾が存在する場合は挙げられます。</p> <p data-bbox="552 1197 1421 1270"><b>C</b> 入力は修正可能です。「修正可能な」住所とは、修正することによって、単一の住所のみに一致させることのできる住所のことです。</p> <p data-bbox="552 1281 1421 1396"><b>N</b> 入力は修正不可能です。「修正不可能な」住所とは、複数の異なる修正方法があり得るために Validate Address が単一の修正住所を特定できない住所のことです。</p> <p data-bbox="552 1407 1055 1438"><b>F</b> 入力住所は外国 (カナダ以外) の住所です。</p>

### 国際住所オプション

米国とカナダ以外の住所は "国際" 住所と呼ばれます。以下に、国際住所の処理をコントロールするオプションについて説明します。

## オプション名

## 説明

---

国際住所処理を有効にする

国際住所(米国およびカナダ以外の住所)を処理するかどうかを指定します。国際住所処理を有効にした場合、**Validate Address** は国際住所の妥当性を確認します。国際住所処理を無効にした場合、**Status** フィールドに "F" が設定され国際住所は失敗します。出力フィールド **Status.Code** は、"DisabledCoder" となります。国際住所処理のライセンスを取得していない場合は、ジョブに国際住所が含まれるか否かにかかわらず、国際住所処理を無効にしなければ、ジョブを正常に実行することはできません。

注：国際住所を正常に処理するには、国際住所処理の有効なライセンスを取得する必要があります。国際住所処理のライセンスを取得していないか、ライセンスの期限が切れているにもかかわらず、国際住所処理を有効にすると、ジョブ全体が失敗します。

---

データベース

国際住所の妥当性の確認に使用するデータベースを指定します。国際住所検証用のデータベースを指定するには、**[データベース]** ドロップダウンリストからデータベースを選択します。**Management Console** の **[国際データベースリソース]** パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。

---

## オプション名

## 説明

## 世界の都市および通りの検索

デフォルトでは、**Validate Address** は、住所マッチングの精度とパフォーマンスのバランスをうまくとります。マッチング精度を犠牲にしてパフォーマンスを向上させる場合は、**【世界の都市および通りの検索】** フィールドを使用して、処理速度を上げます。これを実行すると、精度はやや低下します。このオプションは、米国およびカナダ以外の住所のパフォーマンスのみを制御します。この設定が影響を与えるレコードの割合は少なく、大部分が英国の住所です。米国およびカナダ住所処理のパフォーマンスは制御できません。

**Get Candidate Addresses** を使用した場合に **Get Candidate Addresses** が返す候補住所は、国際住所のパフォーマンスチューニング オプションを 100 以外の任意の値に設定した場合に **Validate Address** が返す複数マッチと異なることがあります。

米国およびカナダ以外の住所のパフォーマンスを制御するには、**【世界の都市および通りの検索】** スライダーを使用します。マッチング精度を上げるには、スライダーを右に動かします。値 100 が最高精度になります。処理速度を上げるには、スライダーを左に動かします。値を 0 にすると、処理速度が最速になります。

## 失敗時に住所行を検索

このオプションにより、**Validate Address** において、**City**、**StateProvince**、および **PostalCode** の各入力フィールドの値を使用して住所にマッチする結果が得られなかった場合に、**AddressLine** 入力フィールドで都市、州/省、郵便番号、および国を検索することができます。

入力住所において、**AddressLine** フィールドに都市、州/省、および郵便番号の情報が存在する場合は、このオプションを有効にすることを検討してください。

入力住所において、**City**、**State/Province**、および **PostalCode** フィールドが使用されている場合は、このオプションを無効にしてください。このオプションを有効にしてこれらのフィールドを使用すると、**Validate Address** がこれらのフィールド値の修正 (例えば、スペルミスのある都市名など) に失敗する可能性が高くなります。

## 出力

**ValidateAddress** からの出力には、選択した出力カテゴリに応じて異なる情報が含まれます。

## 標準住所出力

標準住所出力は、宛名ラベルに表記される住所に対応する 4 行の住所で構成されます。都市、州/省、郵便番号などのデータも、標準住所出力に含まれます。**【標準住所を含める】** チェック ボックスを選択した場合、妥当性を確認した住所に対し、標準住所出力が返されます。妥当性が確認できなかった住所に対しては、標準住所フィールドが必ず返されます。妥当性が確認されなかった住所に対しては、標準住所出力フィールドには、入力住所がそのまま含まれます ("パス スルー" データ)。妥当性が確認できなかった場合に、郵便当局の規格に従って住所を正規化するには、**【マッチしなかった場合に正規化データを含める】** チェック ボックスを選択します。

表 65 : 標準住所出力

フィールド名	説明
AdditionalInputData	住所検証プロセスで使用されない入力データ。詳細については、「 <a href="#">AdditionalInputData について (258 ページ)</a> 」を参照してください。
AddressLine1	住所の妥当性が確認された場合は、妥当性が確認され、正規化された住所の 1 行目です。住所の妥当性が確認できなかった場合は、入力住所の 1 行目がそのまま出力されます。
AddressLine2	住所の妥当性が確認された場合は、妥当性が確認され、正規化された住所の 2 行目です。住所の妥当性が確認できなかった場合は、入力住所の 2 行目がそのまま出力されます。
AddressLine3	住所の妥当性が確認された場合は、妥当性が確認され、正規化された住所の 3 行目です。住所の妥当性が確認できなかった場合は、入力住所の 3 行目がそのまま出力されます。
AddressLine4	住所の妥当性が確認された場合は、妥当性が確認され、正規化された住所の 4 行目です。住所の妥当性が確認できなかった場合は、入力住所の 4 行目がそのまま出力されます。
AddressLine5	英国住所にのみ適用されます。住所の妥当性が確認された場合は、妥当性が確認され、正規化された住所の 5 行目です。住所の妥当性が確認できなかった場合は、入力住所の 5 行目がそのまま出力されます。

フィールド名	説明
City	妥当性が確認された都市名。
Country	[国フォーマット] で選択した、以下のいずれかのフォーマットで示された国。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ISO コード</li> <li>• UPU コード</li> <li>• 英語</li> <li>• フランス語</li> <li>• ドイツ語</li> <li>• スペイン語</li> </ul>
DepartmentName	企業内の下位区分(英国住所においてのみ)。例えば、エンジニアリング部門などです。
FirmName	妥当性が確認された企業名。
PostalCode	妥当性が確認された ZIP Code™ または郵便番号。
PostalCode.AddOn	ZIP Code™ の 4 桁のアドオン部分。例えば、60655-1844 という ZIP Code™ において、4 桁のアドオン部分は 1844 になります(米国住所のみ)。
PostalCode.Base	5 桁の ZIP Code™。例えば、20706 (米国住所のみ)。
StateProvince	妥当性が確認された州または省の略称。
USUrbanName	妥当性が確認された都市の都市化名。(米国住所のみ)。主にプエルトリコの住所で使用されます。

### パース済み住所要素出力

**[一致した住所要素を含める]** チェック ボックスを選択した場合、出力住所は、パース済み住所の形式で書式設定されます。ValidateAddress で、妥当性が確認できなかった場合に、パース済み住

所形式で書式設定されたデータ (正規化済み住所) を返すには、**[マッチしなかった場合に正規化データを返す]** チェック ボックスを選択します。

注：妥当性が確認できたかどうかにかかわらず、常にパースした入力データを返すには、**[正規化された入力住所要素を含める]** を選択します。詳細については、「[パース済み入力 \(302ページ\)](#)」を参照してください。

表 66 : パース済み住所出力

フィールド名	説明
AdditionalInputData	ValidateAddress で使用されない入力データ。詳細については、「 <a href="#">AdditionalInputData について (258ページ)</a> 」を参照してください。
AdditionalInputData.Base	ValidateAddress によって正規化済み住所に出力されなかった入力データ。詳細については、「 <a href="#">AdditionalInputData について (258ページ)</a> 」を参照してください。
AdditionalInputData.Unmatched	マッチャーに引き渡されたが、ValidateAddress による検証に使用されなかった入力データ。詳細については、「 <a href="#">AdditionalInputData について (258ページ)</a> 」を参照してください。
ApartmentLabel	アパート指定子 (STE や APT など)。例: 123 E Main St <b>APT 3</b>
ApartmentLabel2	補助的なアパート指定子。例: 123 E Main St Apt 3, 4th <b>Floor</b>  注：このリリースでは、このフィールドは常に空白になります。
ApartmentNumber	アパート番号。例: 123 E Main St <b>APT 3</b>

フィールド名	説明
ApartmentNumber2	補助的なアパート番号。例: 123 E Main St APT 3, 4th Floor 注: このリリースでは、このフィールドは常に空白になります。
CanadianDeliveryInstallationAreaName	配達施設名 (カナダ住所のみ)
CanadianDeliveryInstallationQualifierName	配達施設の修飾子 (カナダ住所のみ)
CanadianDeliveryInstallationType	配達施設の種類 (カナダ住所のみ)
City	妥当性が確認された都市名
Country	国。フォーマットは、【国フォーマット】で選択したものに なります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ISO コード</li> <li>• UPU コード</li> <li>• 英語</li> </ul>
DepartmentName	企業内の下位区分(英国住所においてのみ)。例えば、エンジニアリング部門などです。
FirmName	妥当性が確認された企業名
HouseNumber	家番号 1。例: 123 E Main St Apt 3
LeadingDirectional	接頭方向指示。例: 123 E Main St Apt 3
POBox	私書箱番号。住所が地方配送路住所である場合は、地方配送路の私書箱番号がここに表示されます。

フィールド名	説明
PostalCode	妥当性が検証された郵便番号。米国式の住所の場合に、 <b>ZIP Code</b> と呼びます。
PrivateMailbox	私設私書箱のインジケータ。
PrivateMailbox.Type	私設私書箱の種別。次のような値があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Standard</li> <li>• Non-Standard</li> </ul> <p>注：PrivateMailboxType (フィールド名にピリオドなし) に換わるものです。これに従って API 呼び出しを修正してください。</p>
RRHC	地方配送路/幹線請負契約のインジケータ
StateProvince	妥当性が確認された州または省の名前
StreetName	通り名。例: 123 E <b>Main St</b> Apt 3
StreetSuffix	通り接尾語。例: 123 E Main <b>St</b> Apt 3
TrailingDirectional	接尾方向指示。例: 123 Pennsylvania Ave <b>NW</b>
USUrbanName	USPS® 都市化名。プエルトリコ住所のみ。

### パース済み入力

出力には、パース済み形式で入力住所を含めることができます。このようなタイプの出力は、"パース済み入力" と呼ばれます。パース済み入力フィールドには、**ValidateAddress** が住所の妥当性を検証したかどうかにかかわらず、入力として使用される住所データが含まれます。パース済み入力は、住所の妥当性を検証できた場合にパース済み住所要素に妥当性が検証された住所が含まれ、オプションで、住所の妥当性が検証できなかった場合には入力データが含まれるという点で、"パー



ス済み住所要素"出力と異なります。パース済み入力には、**ValidateAddress** が住所の妥当性を検証したかどうかにかかわらず、常に入力住所が含まれます。

パース済み入力フィールドを出力に含めるには、**[パースした入力データを返す]** チェック ボックスを選択します。

表 67 : パース済み入力

フィールド名	説明
ApartmentLabel.Input	アパート指定子 (STE や APT など)。例: 123 E Main St <b>APT 3</b>
ApartmentNumber.Input	アパート番号。例: 123 E Main St <b>APT 3</b>
CanadianDeliveryInstallationAreaName.Input	配達施設名 (カナダ住所のみ)
CanadianDeliveryInstallationQualifierName.Input	配達施設の修飾子 (カナダ住所のみ)
CanadianDeliveryInstallationType.Input	配達施設の種類 (カナダ住所のみ)
City.Input	妥当性が確認された都市名
Country.Input	国。フォーマットは、[国フォーマット] で選択したものになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ISO コード</li> <li>• UPU コード</li> <li>• 英語</li> <li>• フランス語</li> <li>• ドイツ語</li> <li>• スペイン語</li> </ul>
FirmName.Input	妥当性が確認された企業名

フィールド名	説明
HouseNumber.Input	家番号 1。例: <b>123</b> E Main St Apt 3
LeadingDirectional.Input	接頭方向指示。例: 123 <b>E</b> Main St Apt 3
POBox.Input	私書箱番号。住所が地方配送路住所である場合は、地方配送路の私書箱番号がここに表示されます。
PostalCode.Input	妥当性が検証された郵便番号。米国住所に対しては、ZIP Code と呼びます。
PrivateMailbox.Input	私設私書箱のインジケータ
PrivateMailbox.Type.Input	私設私書箱の種別。次のような値があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>標準</li> <li>非標準</li> </ul>
RRHC.Input	地方配送路/幹線請負契約のインジケータ
StateProvince.Input	妥当性が確認された州または省の名前
StreetName.Input	通り名。例: 123 <b>E Main St</b> Apt 3
StreetSuffix.Input	通り接尾語。例: 123 E Main St Apt 3
TrailingDirectional.Input	接尾方向指示。例: 123 Pennsylvania Ave <b>NW</b>
USUrbanName.Input	USPS® 都市化名

## 郵便データ出力

[郵便情報を含める] を選択した場合、以下のフィールドが出力として返されます。

表 68 : 郵便データ出力

フィールド名	説明
CanadianSERPCode	検証/修正リターン コード (カナダ住所のみ)。詳細については、「 <a href="#">SERP リターンコードの取得</a> (216ページ)」を参照してください。
IntHexaviaCode	通りを表す数値コード (フランスの住所の場合のみ)。Hexavia コードの詳細については、 <a href="http://www.laposte.fr">www.laposte.fr</a> を参照してください。
IntINSEECODE	都市を表す数値コード (フランスの住所の場合のみ)。INSEE コードの一覧については、 <a href="http://www.insee.fr">www.insee.fr</a> を参照してください。
PostalBarCode	配達ポイント バーコードの 2 桁の配達ポイント部分 (米国住所のみ)。詳細については、「 <a href="#">配達ポイント バーコードの作成</a> (189ページ)」を参照してください。
USAIAddr	他の住所マッチング ロジックを使用したかどうか、使用した場合はどのロジックを使用したかを表します (米国住所のみ)。次のいずれかです。 <b>NULL</b> 他の住所スキームを使用していません。 <b>D</b> 別の配達ポイント ロジックを使用しました。 <b>E</b> 別の高層マッチ ロジックを使用しました。 <b>S</b> 小都市デフォルト ロジックを使用しました。 <b>U</b> ユニークな ZIP Code ロジックを使用しました。
USBCCheckDigit	11 桁の配達ポイント バーコードのチェック デジット部分 (米国住所のみ)。詳細については、「 <a href="#">配達ポイントバーコードの作成</a> (189ページ)」を参照してください。
USCarrierRouteCode	配達ルート コード (米国住所のみ)。詳細については、「 <a href="#">配達ルート コードの取得</a> (189ページ)」を参照してください。

フィールド名	説明
USCongressionalDistrict	下院選挙区出力 (米国住所のみ)。詳細については、「 <a href="#">下院選挙区の取得</a> (187ページ)」を参照してください。
USCountyName	郡名出力 (米国住所のみ)。詳細については、「 <a href="#">郡名の取得</a> (188ページ)」を参照してください。
USFinanceNumber	住所の所在地の Finance Number (米国住所のみ)。Finance Number とは、複数の ZIP Code を含む地域に USPS が割り当てた番号です。住所の Finance Number が米国データベースの候補住所の Finance Number に一致した場合のみ、住所の妥当性確認に成功します。
USFIPSCountyNumber	FIPS (連邦情報処理標準) 郡番号 (米国住所のみ)。詳細については、「 <a href="#">FIPS 郡番号の取得</a> (188ページ)」を参照してください。
USLACS	住所が、LACSLink 変換の候補であるかどうかを表します (米国住所のみ)。次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>Y</b> 住所は LACSLink 処理の候補です。LACSLink が有効である場合、LACSLink データベースを使用して住所を変換しようとします。変換に成功した場合、出力住所は LACSLink データベースから取得した新しい住所になります。変換できなかった場合は、住所は変換されません。</li> <li><b>N</b> 住所は LACSLink 処理の候補ではありません。ただし、LACSLink 処理が要求され、LACSLink データベースがインストールされており、かつ、次の条件のいずれかが満たされている場合は、LACSLink 処理が行われる場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 住所が地方配送路住所にマッチし、RecordType.Default フィールドで Y が返された場合。</li> <li>• 入力住所が、米国郵便データベースのいずれの住所にもマッチしなかった場合 (複数にマッチしたことによる失敗は、LACSLink の候補にはなりません)。</li> </ul> </li> </ul>
USLastLineNumber	主要都市が同一である複数の ZIP Code を同一グループにまとめる 6 文字の英数字の値。例えば、最終行が次の 2 つのいずれかである住所は、最終行番号が同一になります。 <p>Chantilly VA 20151</p> <p>Chantilly VA 20152</p>

## 結果インジケータ

結果インジケータは、住所に対して実行した処理の種類に関する情報を提供します。結果インジケータには、次の 2 種類があります。

### レコード レベルの結果インジケータ

レコード レベルの結果インジケータは、各レコードに対する `ValidateAddress` 処理の結果に関するデータを提供します。例えば、マッチングの成功または失敗、住所を処理したコーダーなどの詳細情報を示します。以下の表に、`ValidateAddress` が返すレコード レベルの結果インジケータの一覧を示します。

表 69 : レコード レベル インジケータ

フィールド名	説明
AddressFormat	返された住所データのタイプ。 <b>F</b> フランス語フォーマット (例: 123 Rue Main) <b>E</b> 英語フォーマット (例: 123 Main St)
Confidence	返された住所に割り当てられた確信レベル。範囲は 0 ~ 100 です。0 は失敗を表し、100 はマッチ結果が正しいことに対する確信レベルが非常に高いことを表します。複数のマッチ結果がある場合、確信レベルは 0 です。この数値の計算方法については、 <a href="#">Validate Address 確信アルゴリズムの概要 (324ページ)</a> を参照してください。
CouldNotValidate	マッチしなかった場合の、妥当性が確認できなかった住所コンポーネント。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ApartmentNumber</li> <li>• HouseNumber</li> <li>• StreetName</li> <li>• PostalCode</li> <li>• City</li> <li>• Directional</li> <li>• StreetSuffix</li> <li>• Firm</li> <li>• POBoxNumber</li> <li>• RuralRoute</li> </ul> <p>注：複数のコンポーネントがカンマ区切りリストとして返されることがあります。</p>

フィールド名	説明
CountryLevel	<p>利用可能な住所マッチングのカテゴリ。米国およびカナダの住所に対しては、常に「A」です。次のいずれかです。</p> <p><b>A</b> 住所は非常に詳細な郵便データを利用できる国にあります。このマッチレベルにある住所では、以下の住所要素を検証および修正でき、入力から欠落している場合は追加できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 郵便番号</li> <li>• 都市名</li> <li>• 州/郡名</li> <li>• 通り住所要素</li> <li>• 国名</li> </ul> <p><b>B</b> 住所は中程度の詳細さの郵便データを利用できる国にあります。このマッチレベルにある住所では、以下の住所要素を検証および修正でき、入力から欠落している場合は追加できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 郵便番号</li> <li>• 都市名</li> <li>• 州/郡名</li> <li>• 国名</li> </ul> <p><b>C</b> 住所は郵便データが詳細ではない国にあります。このマッチレベルにある住所に対して、以下のアクションを実行することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 国名の検証および修正 (欠落している国名を補うことはできません)</li> <li>• 郵便番号のフォーマットの検証 (欠落している郵便番号を補ったり、番号を検証することはできません)</li> </ul>

フィールド名

説明

MatchScore

MatchScore は、出力住所がどの程度正しいかを示します。MatchScore は、マッチ結果を得るために入力住所をどれだけ変更したかを表す Confidence とはまったく異なるものです。MatchScore の意味は、米国住所と米国以外の住所で異なります。

米国住所に対しては、MatchScore は 0 ~ 9 の段階に対応する 1 桁のスコアで、(ValidateAddress による変換があればその実行後に) 通り名一致の近接性を反映します。0 は完全一致を意味し、9 は最も可能性の低い一致を意味します。マッチしなかった場合、このフィールドは空白です。

米国とカナダ以外の住所では、MatchScore は 5 桁のスコアで、最大値は 00999 です。数字が大きいほど、より近い一致を意味します。

このフィールドは、カナダの住所には適用されません。

米国住所のマッチ スコアと米国以外の住所のマッチ スコアは、同等と見なすことはできないことに注意してください。例えば、米国住所に対するマッチスコア 4 は、米国以外の住所に対する 00004 と同じマッチ レベルを意味するものではありません。

注：Validate Address および Advanced Matching モジュールのコンポーネントは、どちらも MatchScore フィールドを使用します。データフローの出力の MatchScore フィールドの値は、出力ステージに送られる前に最後に値を変更したステージによって決まります。データフローに Validate Address および Advanced Matching モジュールのコンポーネントが含まれ、各ステージの MatchScore 出力フィールドを確認したい場合は、Transformer ステージを使用して、MatchScore 値を他のフィールドにコピーしてください。例えば、Validate Address によって MatchScore という出力フィールドが作成され、Transformer ステージによって Validate Address の MatchScore フィールドが AddressMatchScore というフィールドにコピーされます。マッチャー ステージを実行すると、マッチャーから得た値が MatchScore フィールドに設定され、Validate Address から得た AddressMatchScore の値が引き渡されます。

MultimatchCount

複数のマッチが検出された場合、一致する可能性のあるレコードの数を示します。

フィールド名	説明
MultipleMatches	<p>複数のマッチが検出された場合に、複数のマッチを持つ次の住所コンポーネントを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Firm</li> <li>• LeadingDirectional</li> <li>• PostalCode</li> <li>• StreetName</li> <li>• StreetSuffix</li> <li>• TrailingDirectional</li> <li>• Urbanization</li> </ul> <p>注：複数のコンポーネントがカンマ区切りリストとして返されることがあります。</p>
ProbableCorrectness	<p>一致の精度を 0 ~ 9 の段階で示します。結果は次のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 空白 - 一致するものが見つかりませんでした</li> <li>• 0 - 正確である可能性が非常に高い (完全一致)</li> <li>• 1-8 - 正確である可能性は中程度</li> <li>• 9 - 正確である可能性が非常に低い一致</li> </ul>
ProcessedBy	<p>住所を処理した住所コーダーです。</p> <p><b>USA</b>                      米国住所コーダー</p> <p><b>CAN</b>                      カナダ住所コーダー</p> <p><b>INT</b>                      国際住所コーダー</p>
RecordType	<p>米国およびカナダの郵政当局が定義した住所レコードのタイプ (米国およびカナダの住所のみサポート):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• FirmRecord</li> <li>• GeneralDelivery</li> <li>• HighRise</li> <li>• PostOfficeBox</li> <li>• RRHighwayContract</li> <li>• Normal</li> </ul>



フィールド名	説明
RecordType.Default	<p>"デフォルト" マッチを示すコード</p> <p><b>Y</b>           住所はデフォルト レコードにマッチしています。</p> <p><b>NULL</b>       住所はデフォルト レコードにマッチしていません。</p>
Status	<p>マッチの成功または失敗。複数のマッチがある場合、一致する可能性のあるすべてのものに対してこのフィールドが "F" になります。</p> <p><b>NULL</b>                           成功</p> <p><b>F</b>                                失敗</p>
Status.Code	<p>失敗の原因 (ある場合)。複数のマッチがある場合、一致する可能性のあるすべてのものが "MultipleMatchesFound" になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DisabledCoder</li> <li>• InsufficientInputData</li> <li>• MultipleMatchesFound</li> <li>• UnableToValidate</li> </ul>
Status.Description	<p>問題の説明 (ある場合)。</p> <p><b>Possible Multiple Addresses Found</b>   Status.Code=MultipleMatchesFound の場合にこの値が表示されます。</p> <p><b>Address Not Found</b>                    Status.Code=UnableToValidate の場合にこの値が表示されます。</p> <p><b>PerformUSProcessing disabled</b>       Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。</p> <p><b>PerformCanadianProcessing disabled</b>   Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。</p> <p><b>PerformInternationalProcessing disabled</b>   Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。</p>

### フィールドレベルの結果インジケータ

フィールドレベルの結果インジケータは、ValidateAddress が各住所要素をどのように処理したかを示します。フィールドレベルの結果インジケータは、修飾子 "Result" で返されます。例えば、

HouseNumber のフィールドレベルの結果インジケータは **HouseNumber.Result** に格納されます。

フィールドレベルの結果インジケータを有効にするには、**[個々のフィールドの結果コードを含める]**チェックボックスをオンにします。詳細については、[出力データオプション](#)（182ページ）を参照してください。

次の表に、フィールドレベルの結果インジケータの一覧を示します。特定のフィールドが住所に適用されない場合、結果インジケータが空白になる場合があります。

**表 70 : フィールドレベルの結果インジケータ**

フィールド名	説明
AddressRecord.Result	<p>これらの結果コードは国際住所のみに適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="816 863 1421 968"><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。</li> <li data-bbox="816 989 1421 1052"><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</li> <li data-bbox="816 1073 1036 1100"><b>U</b> マッチしない。</li> <li data-bbox="816 1121 1421 1192"><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</li> </ul>

フィールド名

説明

ApartmentLabel.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- C** 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- D** ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。詳細については、「[その他の入力データについて](#)」を参照してください。
- F** 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでしたでしたが、出力に保持されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- R** アパートラベルが必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。
- U** マッチしない。カナダの住所には適用されません。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

フィールド名

説明

ApartmentNumber.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- C** 修正済み。カナダの住所のみ。
- D** ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国住所にのみ適用されます。詳細については、「[その他の入力データについて](#)」を参照してください。
- F** 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでしたでしたが、出力に保持されました。EWS にマッチする米国の住所には、P の値が割り当てられます。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- R** アパート番号が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国住所には適用されません。
- U** マッチしない。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

フィールド名

説明

City.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- C** 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- F** ハイフンの欠落または句読文字エラー。カナダの住所のみ。
- M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国またはカナダの住所には適用されません。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでしたが、出力に保持されました。
- R** 都市名が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国住所には適用されません。
- U** マッチしない。カナダの住所には適用されません。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

Country.Result

これらの結果コードは、米国またはカナダの住所には適用されません。

- M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。
- U** マッチしない。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

フィールド名

説明

FirmName.Result

- C** 修正済み。米国住所にのみ適用されます。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- U** マッチしない。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。米国住所にのみ適用されます。

HouseNumber.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。カナダの住所のみ。
- C** 修正済み。カナダの住所のみ。
- D** ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国住所にのみ適用されます。詳細については、「[その他の入力データについて](#)」を参照してください。
- F** 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
- O** 範囲外。米国またはカナダの住所には適用されません。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。カナダの住所のみ。
- R** 家番号が必須ですが、入力住所から欠落しています。カナダの住所のみ。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国またはカナダの住所には適用されません。
- U** マッチしない。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

## フィールド名

## 説明

---

LeadingDirectional.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
  - C** 修正済み。空白のない入力、空白のない値に修正されました。米国住所にのみ適用されます。
  - D** ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国住所にのみ適用されます。詳細については、「[その他の入力データについて](#)」を参照してください。
  - F** 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
  - M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されません。
  - P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。カナダの住所のみ。
  - S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。
  - U** マッチしない。
  - V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。カナダの住所には適用されません。
-

フィールド名	説明
POBox.Result	<p><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。カナダの住所のみ。</p> <p><b>C</b> 修正済み。カナダの住所のみ。</p> <p><b>D</b> ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国住所にのみ適用されます。詳細については、「<a href="#">その他の入力データについて</a>」を参照してください。</p> <p><b>F</b> 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p><b>M</b> 複数マッチ。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されます。</p> <p><b>P</b> パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでしたでしたが、出力に保持されました。カナダの住所のみ。</p> <p><b>R</b> 私書箱番号が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。</p> <p><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</p> <p><b>U</b> マッチしない。</p> <p><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p> <p>空白 不適用。</p>



フィールド名

説明

PostalCode.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- C** 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- F** 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
- M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。カナダの住所には適用されません。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国住所には適用されません。
- R** 郵便番号が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国またはカナダの住所には適用されません。
- U** マッチしない。例えば、通り名と郵便番号が一致しない場合、**StreetName.Result** と **PostalCode.Result** の両方に **U** が割り当てられます。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

フィールド名	説明
PostalCodeCity.Result	<p>これらの結果コードは国際住所のみに適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。</li> <li><b>P</b> パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。</li> <li><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</li> <li><b>U</b> マッチしない。</li> <li><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</li> </ul>
PostalCode.Source	<p>これらの結果コードは米国住所にのみ適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>FinanceNumber</b> 入力の ZIP Code™ は、USPS® Finance Number グループを使って検証されました。</li> <li><b>ZIPMOVE</b> 入力住所の ZIP Code™ は、USPS® が改訂した ZIP Code™ 境界に基づいて修正され、住所に別の ZIP Code™ が設定されました。</li> </ul>
PostalCode.Type	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>P</b> ZIP Code™ には、PO Box 住所のみが含まれます。米国住所にのみ適用されます。</li> <li><b>U</b> ZIP Code™ は、特定の会社または場所に割り当てられたユニークな ZIP Code™ です。米国住所にのみ適用されます。</li> <li><b>M</b> ZIP Code™ は、軍施設の住所です。米国住所にのみ適用されます。</li> <li><b>NULL</b> ZIP Code™ は、標準 ZIP Code™ です。</li> </ul>

フィールド名

説明

RRHC.Result

- C** 修正済み。カナダの住所のみ。
- D** ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国住所にのみ適用されます。詳細については、「[その他の入力データについて](#)」を参照してください。
- M** 複数マッチ。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されます。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでしたでしたが、出力に保持されました。カナダの住所のみ。
- R** 地方配送路/幹線請負契約が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- U** マッチしない。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。米国およびカナダの住所のみをサポートします。

RRHC.Type

これらの結果コードは米国住所にのみ適用されます。

- HC** 住所は、幹線請負契約住所です。
- RR** 住所は、地方配送路住所です。

フィールド名

説明

StateProvince.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- C** 修正済み。米国住所にのみ適用されます。
- M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国またはカナダの住所には適用されません。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでしたでしたが、出力に保持されました。
- R** アパート ラベルが必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国住所には適用されません。
- U** マッチしない。カナダの住所には適用されません。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

Street.Result

これらの結果コードは国際住所のみに適用されます。

- M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでしたでしたが、出力に保持されました。
- R** 通りが修正済みです。家番号が範囲外にあります。フランス、英国、および日本のレコードのみに適用。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。
- U** マッチしない。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

フィールド名	説明
StreetName.AbbreviatedAlias.Result	<p>省略形エイリアス処理の結果を示します。次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li><b>NULL</b> 省略形エイリアス処理が実行されませんでした。</li><li><b>B</b> StreetName フィールドに基本通り名が格納されています。</li><li><b>L</b> 正規化された住所長が 31 文字未満なので、StreetName フィールドに基本名が格納されています。</li><li><b>N</b> 省略形エイリアスが見つかりませんでした。</li><li><b>Y</b> 省略形エイリアスが入力住所に見つかりました。StreetName フィールドに省略形エイリアスが格納されています。</li></ul>

## フィールド名

## 説明

---

StreetName.Alias.Type

この結果コードは米国住所にのみ適用されます。

注：以前のリリースでは、このフィールドは "Alias" と "Type" の間に "." がなく StreetName.AliasType という名前でした。この古い名前は廃止されました。新しい名前 StreetName.Alias.Type を使用するよう、プロセスを更新してください。

- Abbreviated** エイリアスは通り名の省略形です。例えば、HARTS-NM RD は HARTSVILLE NEW MARLBORO RD の省略形エイリアスです。
- Changed** 通り名が正式に変更された場合に、新しい名前を表すエイリアスです。例えば、SHINGLE BROOK RD という通り名が CANNING DR に変更された場合、CANNING DR が変更済みのエイリアス タイプとなります。
- Other** この通り名エイリアスには、通りの他の名前や、通りの一般的な省略形などがあります。
- Preferred** 通り名エイリアスはその地域でよく使用されるエイリアスです。例えば、ある通りが "South Shore Dr." という名前なのは、湖の南岸を通っているためで、地方自治体の境界線の南にあるからではありません。この場合、"South" は前置方位記号ではないので、"S" と短縮してはいけません。したがって、"South Shore Dr." がよく使用されるエイリアスになります。
-

## フィールド名

## 説明

---

**StreetName.PreferredAlias.Result**

よく使用されるエイリアス処理の結果を示します。次のいずれかです。

- NULL** よく使用されるエイリアス処理が実行されませんでした。
  - A** 入力住所がエイリアスにマッチしたため、よく使用されるエイリアス処理が実行されませんでした。よく使用されるエイリアス処理は、基本住所に対してのみ実行されます。
  - N** よく使用されるエイリアスが見つかりませんでした。
  - Y** 入力住所に対してよく使用されるエイリアスが見つかりました。**StreetName** フィールドによく使用されるエイリアスが格納されています。
-

## フィールド名

## 説明

---

**StreetName.Result**

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。カナダの住所のみ。
  - C** 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
  - D** ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国住所にのみ適用されます。詳細については、「[その他の入力データについて](#)」を参照してください。
  - F** 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
  - M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されます。
  - P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国住所には適用されません。
  - S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
  - U** マッチしない。
  - V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。
-



フィールド名	説明
StreetSuffix.Result	<p><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p><b>C</b> 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p><b>D</b> ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。詳細については、「<a href="#">その他の入力データについて</a>」を参照してください。</p> <p><b>F</b> 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されません。</p> <p><b>P</b> パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。カナダの住所のみ。</p> <p><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</p> <p><b>U</b> マッチしない。米国住所には適用されません。</p> <p><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>

フィールド名

説明

TrailingDirectional.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- C** 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- D** ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。詳細については、「[その他の入力データについて](#)」を参照してください。
- F** 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
- M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されません。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。カナダの住所のみ。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。
- U** マッチしない。カナダの住所には適用されません。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

USUrbanName.Result

これらの結果コードは米国住所にのみ適用されます。

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。
- C** 修正済み。
- M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。
- U** マッチしない。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

### オプションによる出力

ValidateAddress は、選択したオプションに応じて、追加のデータを返します。各オプションによって生成される出力については、以下のセクションのオプションの一覧を参照してください。

### Enhanced Line of Travel 出力

Enhanced Line of Travel 処理では、以下の出力を生成します。

フィールド名	説明
USLOTCode	<p>Line of Travel の順序コードと、USPS® LOT 順序を表すインジケータ。このフィールドは、"nnnnY" という形式で、以下の要素で構成されます。</p> <p><b>nnnn</b>      4桁の LOT コード。</p> <p><b>Y</b>            次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>A</b> — 昇順の LOT 順序</li> <li>• <b>D</b> — 降順の LOT 順序</li> </ul>
USLOTHex	<p>昇順でのみファイルのソートが可能な 16 進値です。16 進値の範囲は、昇順で 0 ~ FF に続き、降順で FF ~ 0 です。</p>
USLOTSequence	<p>アドオンの DPC の代わりに最終仕分けに使用される 2 バイトの値。大文字 1 文字の後に 0 ~ 9 の数字が 1 つ続きます。値の範囲は、A0 (99 降順) ~ J9 (00 降順)、および K0 (00 昇順) ~ T9 (99 昇順) です。</p>

## LACS<sup>Link</sup> 出力

フィールド名	説明
USLACS	<p>住所が、LACS<sup>Link</sup> 変換の候補であるかどうかを表します (米国住所のみ)。次のいずれかです。</p> <p><b>Y</b> 住所は LACS<sup>Link</sup> 処理の候補です。LACS<sup>Link</sup> が有効である場合は、ValidateAddress は、LACS<sup>Link</sup> データベースを使用して住所を変換します。変換に成功した場合、出力住所は LACS<sup>Link</sup> データベースから取得した新しい住所になります。変換できなかった場合は、住所は変換されません。</p> <p><b>N</b> 住所は LACS<sup>Link</sup> 処理の候補ではありません。ただし、LACS<sup>Link</sup> 処理が要求され、LACS<sup>Link</sup> データベースがインストールされており、かつ、次の条件のいずれかが満たされている場合は、LACS<sup>Link</sup> 処理が行われる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 住所が地方配送路住所にマッチし、RecordType.Default フィールドで Y が返された場合。</li> <li>• 入力住所が、米国郵便データベースのいずれの住所にもマッチしなかった場合 (複数にマッチしたことによる失敗は、LACS<sup>Link</sup> の候補にはなりません)。</li> </ul>
USLACS.ReturnCode	<p>LACS<sup>Link</sup> 処理の成功または失敗を表します(米国住所のみ)。</p> <p><b>A</b> LACS<sup>Link</sup> 処理は成功しました。LACS<sup>Link</sup> 処理によってレコードがマッチしました。</p> <p><b>00</b> LACS<sup>Link</sup> 処理は失敗しました。LACS<sup>Link</sup> 処理において、マッチするレコードは見つかりませんでした。</p> <p><b>09</b> LACS<sup>Link</sup> 処理において、入力住所は、古い高層のデフォルト住所にマッチしました。住所は変換されています。不明確な住所の提供を避け、LACS<sup>Link</sup> 処理では、新しい住所を提供しません。</p> <p><b>14</b> LACS<sup>Link</sup> 処理は失敗しました。LACS<sup>Link</sup> 処理において、マッチする結果が検出されましたが、他の USPS® の規則に基づき、変換は行われませんでした。</p> <p><b>92</b> LACS<sup>Link</sup> 処理は成功しました。LACS<sup>Link</sup> 処理によってレコードがマッチしました。入力のユニット番号はドロップされました。</p> <p><b>NULL</b> LACS<sup>Link</sup> はレコードを処理しなかったか、または LACS<sup>Link</sup> 処理が実行されませんでした。</p>

## RDI 出力

フィールド名	説明
RDI	住所の種類を表す値を返します。 <b>B</b> 住所は、企業住所です。 <b>R</b> 住所は、個人住所です。 <b>M</b> 住所は、個人住所であるとともに企業住所でもあります。 <b>NULL</b> 住所が ZIP + 4 <sup>®</sup> レベルでコード化されなかったか、または RDI™ が実行されなかったため、確認されていません。

## DPV および CMRA 出力

フィールド名	説明
DPV	<p>Delivery Point Validation (DPV) 処理の結果を表します。</p> <p><b>Y</b> DPV の確認済みです。この住所に郵便物を配達できます。</p> <p><b>N</b> この住所に郵便物を配達できません。</p> <p><b>S</b> 建物番号の妥当性は確認できましたが、ユニット番号は確認できませんでした。建物番号は、建物の主要な住所番号です。ユニット番号は、建物内のアパート、スイート、階など、各ユニットの郵便住所番号です。例えば、以下の住所の場合、<b>424</b> は建物番号、<b>12</b> はユニット番号です。</p> <p>424 Washington Blvd.Apt.12 Oak Park IL 60302 USA</p> <p><b>D</b> 建物番号の妥当性は確認できましたが、ユニット番号は入力から欠落していました。建物番号は、建物の主要な住所番号です。ユニット番号は、建物内のアパート、スイート、階など、各ユニットの郵便住所番号です。例えば、以下の住所の場合、<b>424</b> は建物番号、<b>12</b> はユニット番号です。</p> <p>424 Washington Blvd.Apt.12 Oak Park IL 60302 USA</p> <p><b>M</b> 住所は複数の有効な配達ポイントにマッチします。</p> <p><b>U</b> 住所は、ZIP + 4<sup>®</sup> レベルでコード化されなかったため、確認できませんでした。</p> <p><b>V</b> 住所は、誤検出違反を起こしました。</p>
CMRA	<p>住所が Commercial Mail Receiving Agency (CMRA: 民間私書箱) であることを表します。</p> <p><b>Y</b> 住所は CMRA です。</p> <p><b>N</b> 住所は CMRA ではありません。</p> <p><b>U</b> 確認できません。</p>

## フィールド名

## 説明

## DPVFootnote

DPV 補足コード。

- AA** 入力住所は、ZIP + 4<sup>®</sup> ファイルにマッチしました。
- A1** 入力住所は、ZIP + 4<sup>®</sup> ファイルにマッチしませんでした。
- BB** 入力住所は、DPV にマッチしました (すべてのコンポーネント)。
- CC** 入力住所の主要な番号は DPV にマッチしましたが、補助的な番号はマッチしませんでした (存在しましたが有効ではありませんでした)。
- F1** 入力住所は軍関係の住所。DPV は省かれます。
- G1** 入力住所は一般的な配達住所。DPV は省かれます。
- M1** 入力住所の主要な番号が欠落しています。
- M3** 入力住所の主要な番号が無効です。
- N1** 入力住所の主要な番号は DPV にマッチしましたが、高層住所に補助的な番号が欠落しています。
- P1** 入力住所に、RR または HC Box 番号がありません。
- P3** 入力住所に、PO、RR、または HC Box 番号がありません。
- RR** 入力住所は、CMRA にマッチしました。
- R1** 入力住所は CMRA にマッチしましたが、補助的な番号が存在しません。
- R7** 入力住所は擬似キャリアルート R777 にマッチしました (通り配達の対象になりません)。
- U1** 入力住所はユニーク ZIP。DPV は省かれます。

## DPVvacant

建物が空家 (90 日間使用されていない)かどうかを表します。次のいずれかです。

- Y** 建物は空家です。
- N** 建物は空家ではありません。
- NULL** **[住所が空家であるかを調べる]**オプションが選択されていません。

フィールド名	説明
DPVNoStat	建物が、郵便物を受け取ることのできない "no stat" の建物であるかどうかを表します。次のいずれかです。 <b>Y</b> 建物は、郵便物を受け取ることのできない "no stat" の建物です。 <b>N</b> 建物は、郵便物を受け取ることのできない "no stat" の建物ではありません。 <b>NULL</b> [配達ポイントが郵便物受領可能かどうかを調べる] オプションが選択されていません。

### Suite<sup>Link</sup> 出力

フィールド名	説明
SuiteLinkReturnCode	ValidateAddress が、補助的な住所情報を修正したかどうかを表します (米国住所のみ)。次のいずれかです。 <b>A</b> ValidateAddress は、補助的な住所情報を修正しました。 <b>00</b> ValidateAddress は、補助的な住所情報を修正しませんでした。 <b>NULL</b> Suite <sup>Link</sup> は実行されませんでした。 <b>XX</b> Suite <sup>Link</sup> 処理においてエラーが発生しました。例えば、Suite <sup>Link</sup> データベースの有効期限が切れている場合にエラーが発生します。



フィールド名

説明

SuiteLinkMatchCode

Suite<sup>Link</sup> のマッチング処理に関する追加情報を提供します(米国住所のみ)

- A** ValidateAddress は、補助的な住所情報を修正しました。
- B** ValidateAddress は、補助的な住所情報を修正しませんでした。マッチング処理に関するその他の詳細情報はありません。
- C** FirmName フィールドの語はすべて、「ノイズ」語です。ノイズ語は、USPS<sup>®</sup> によって定義されており、企業名のマッチングの際には無視されます。ノイズ語の例としては、"company" や "corporation" があります。ValidateAddress は、ノイズ語のみで構成される企業名に対し、補助的な住所情報を修正できません。例えば、"Company and Corporation" という表記は、ノイズ語のみで構成されています。
- D** 住所は、高層のデフォルト住所ではありません。Suite<sup>Link</sup> マッチングは、高層のデフォルト住所に対してのみ行われます。高層デフォルトとは、住所に有効な補助的な情報が含まれていない(アパート番号やアパート種別が欠落している)場合に使用されるデフォルトです。
- E** Suite<sup>Link</sup> データベースの有効期限が切れているため、Suite<sup>Link</sup> 処理は失敗しました。
- NULL** Suite<sup>Link</sup> は実行されなかったか、エラーが発生しました。

SuiteLinkFidelity

ValidateAddress における、Suite<sup>Link</sup> データベースの企業名に対するマッチング精度を表します。

- 1** 企業名は、Suite<sup>Link</sup> データベースに完全に一致しました。
- 2** 精度の高いマッチです。企業名に含まれる語が、1 語を除いてすべて Suite<sup>Link</sup> データベースの企業名に一致しました。
- 3** 精度の低いマッチです。企業名の中の複数の語が、Suite<sup>Link</sup> データベースの企業名に一致しませんでした。
- NULL** Suite<sup>Link</sup> が企業名のマッチングに失敗したか、実行されなかったか、またはエラーが発生しました。

## VeriMove 出力

フィールド名	説明
VeriMoveDataBlock	<p>ValidateAddress が、VeriMove Express に渡される入力データを含む 250 バイトのフィールドを返すかどうかを示します。このフィールドには、VeriMove で必要とされる詳細結果インジケータ データが含まれます。このフィールドの内容については、VeriMove のユーザー ガイドを参照してください。次のいずれかです。</p> <p><b>Y</b>          フィールド VeriMoveDataBlock を返します。</p> <p><b>N</b>          フィールド VeriMoveDataBlock を返しません。</p>

## AdditionalInputData について

ValidateAddress は、住所正規化プロセスにおいて、一部の入力データを無視します。この余分なデータ ("ドロップ データ" と呼ばれることもあります) は、AdditionalInputData フィールドに返されます。ドロップ データの例としては、次のものがあります。

- 配達指示 ("勝手口に置いてください" など)
- 電話番号 ("555-135-8792" など)
- 注意書き ("Attn: John Smith" など)

このようなデータは通常、住所に混在していることはありません。混在している場合、ValidateAddress はほとんどの場合にこの余分なデータを認識することができ、AdditionalInputData フィールドに返します。

**注:** ValidateAddress は、split indicia 住所からのドロップ データを返しません。split indicia 住所とは、主要な住所が複数の住所行に分割されている住所のことです。例えば、主要な住所が "1 Green River Valley Rd" である場合、次のようになります。

1 Green River  
Valley Rd  
01230

住所に複数のドロップ データがある場合、各データは、米国住所の場合はセミコロンと空白 ("; ")、米国外の住所の場合は空白で区切られます。AdditionalInputData におけるドロップ データの順序は、次のようになります。

1. care of (気付)、mail stop (郵便物集配所)(米国住所のみ)
2. 住所行に検出されたその他の余分なデータ
3. まったく未使用のデータ行

例えば、入力住所が次のとおりとします。

123 Main St C/O John Smith  
Apt 5 Drop at back dock  
jsmith@example.com  
555-123-4567  
05674

この場合、AdditionalInputData には次のデータが含まれます。

C/O John Smith; Apt 5 Drop At Back Dock; 555-123-4567; Jsmith@g1.Com; 555-123-4567

ValidateAddress では、以下の種類の余分なデータを処理できます。

#### Care Of (気付) データ

米国住所に対しては、"care of" データが AdditionalInputData に返されます。以下の住所には、"care of" データの例が含まれています。

123 Main St C/O John SmithApt 505674

123 Main StApt 5 ATTN John Smith05674

123 Main St Apt 5MailStop 205674

#### 独立した住所行に存在する余分なデータ

ValidateAddress は、米国およびカナダの住所に対し、独立した住所行に余分なデータを返しません。

米国住所に対しては、住所行の空白でない最初の 2 行を使用して、住所の正規化を行います。ただし、企業名抽出または都市化コード抽出のオプションが有効である場合を除きます (詳細については、「[米国住所の住所行処理 \(182ページ\)](#)」を参照してください)。他の住所行に存在するデータは、AdditionalInputData に返されます。以下の住所において、"John Smith" は AdditionalInputData に返されます。"John Smith" は空白でない 3 つめの住所行に存在しており、ValidateAddress は米国住所に対して、空白でない最初の 2 つの住所行のみを使用するためです。

123 Main StApt 5John Smith05674

空白でない最初の 2 つの住所行に余分なデータが含まれる場合、そのデータは AdditionalInputData に返されます。例えば、以下の住所において、"John Smith" は AdditionalAddressData に返されません。

123 Main StJohn Smith05674

John Smith123 Main St05674

以下の住所では、"John Smith" と "Apt 5" の両方が AdditionalAddressData に返されます。"John Smith" が返されるのは、これが、最初の 2 つの住所行の 1 つに存在する余分なデータであるためです。"Apt 5" が返されるのは、米国住所データは、空白でない最初の 2 行に記載しなければならないためです。

John Smith123 Main StApt 505674

住所行に混在する余分なデータ

住所行に混在する余分なデータは、AdditionalInputData に返されます。例えば、以下の住所において、"John Smith" は AdditionalInputData に返されます。

123 Main St John Smith05674

123 Main St Apt 5 John Smith05674

123 Main St John SmithApt 505674

123 Main StApt 5 John Smith05674

米国住所に対しては、住所行の末尾に存在する余分なデータのみが AdditionalInputData に返されます。米国住所において、住所行の末尾以外に存在する余分なデータは返されません。例えば、以下の住所において、"John Smith" は返されません。

John Smith 123 Main St05674

123 Main John Smith St05674

マッチさせるために通り名が変更され、通り名または接尾語が行の末尾にあった場合は、AdditionalInputData フィールドには、元の通り名や接尾語が含まれることがあります。例えば、次の住所があるとします。

Pitney Bowes  
4200 ParliamentLanham MD

ValidateAddress は、ストリート名の綴りを修正し、接尾語を追加して、修正済みのストリートの住所として "4200 Parliament Pl" を返し、"Parliament" を AdditionalInputData に返します。

### 二重住所

二重住所とは、通り情報と、POBox/地方配送路/幹線請負契約情報の両方を含む住所のことです。選択した処理オプションに応じて、住所の正規化に使用されない二重住所の一部が、AdditionalInputData に返される場合があります。詳細については、[二重住所ロジックについて](#) (194ページ) を参照してください。

## レポート

### USPS CASS 3553 レポート

USPS から値引きを受けるには、USPS CASS 3553 レポートを郵便物と一緒に渡す必要があります。レポートには CASS 処理に使用したソフトウェアに関する情報、名前と住所のリストに関する情報、出力ファイルに関する情報、差出人に関する情報、およびその他の郵便物に関する統計が含まれます。USPS Form 3553 の詳細については、[www.usps.com](http://www.usps.com) を参照してください。

CASS 設定の詳細については、**CASS 認定処理** (206ページ) を参照してください。レポートの使用方法については、『*Spectrum™ Technology PlatformDataflow Designer ガイド*』を参照してください。

### USPS CASS 詳細レポート

USPS CASS 詳細レポートは、何かの値引きを受けるための条件として必ずしも USPS に提出する必要はありません。このレポートに含まれる情報の一部は 3553 レポートと同じものですが、DPV、LACS、および SuiteLink に関する大幅に詳しい統計情報が含まれます。

CASS 設定の詳細については、**CASS 認定処理** (206ページ) を参照してください。レポートの使用方法については、『*Spectrum™ Technology PlatformDataflow Designer ガイド*』を参照してください。

### Validate Address サマリ レポート

Validate Address サマリ レポートには、処理されたレコードの合計数や、検証された住所の数など、ジョブに関する統計が一覧表示されます。

レポートの使用方法については、『*Spectrum™ Technology PlatformDataflow Designer ガイド*』を参照してください。

## Validate Address Global

Validate Address Global は、米国およびカナダ以外の住所の標準化と検証のみを制御します。Validate Address Global は、米国およびカナダの住所の妥当性も確認できますが、その他の国の住所の妥当性を確認する能力に優れています。米国およびカナダ以外の住所を大量に処理する場合は、Validate Address Global の使用を検討してください。

Validate Address Global は Universal Addressing モジュールの一部です。

ValidateAddressGlobal は、書き直し、パーシング、バリデーション、書式設定など、いくつかの手順を実行して、住所の品質を高めています。

### 文字セットのマッピングと書き直し

ValidateAddressGlobal は他国の文字列と、それらの複雑な問題を処理します。Unicode に完全対応の文字列処理を使用するため、アルファベット以外の文字をラテン文字セットに書き直したり、異なる文字セット間でマッピングしたりできます。

文字セットのマッピング、および書き直しについて、以下の機能があります。

- UTF-8、ISO 8859-1、GBK、BIG5、JIS、EBCDIC など、30 以上の文字セットをサポート
- 言語のルールに従って、付加記号を正しく "除去"

- さまざまなアルファベットをラテン スクリプトに書き直し
- ギリシャ文字 (BGN/PCGN 1962、ISO 843 - 1997)
- キリル文字 (BGN/PCGN 1947、ISO 9 - 1995)
- ヘブライ語
- 日本語の片仮名、平仮名、漢字
- 中国語のピンイン (標準中国語、 広東語)
- 韓国語のハングル文字

### 住所のパーシング、書式設定、および正規化

住所データのフィールド入力の誤りを再構成することは、特に他国の住所で行う場合、複雑で難しい作業です。住所データをコンピュータのシステムに入力する際、曖昧になってしまう部分が多いからです。特に問題なのが、(企業や個人名を通りの住所フィールドに入力するなど) 要素を誤ったフィールドに入力したり、省略形を使用する場合に、言語固有だけでなく、国固有の省略形に変えてしまうケースです。ValidateAddressGlobal は住所行の住所要素を識別し、正しいフィールドに割り当てます。これは実際の検証前に行う重要な作業です。再構成を行わなければ、"一致が見つからない" という結果になる可能性があります。

住所要素の正しい識別は、特定のフィールド長要件に合わせて住所を切り捨てたり、短縮しなければならない場合にも重要です。正しい情報が正しいフィールドに割り当てられていれば、特定の切り捨てルールを適用することができます。

- 住所行をパースおよび解析し、個々の住所要素を識別
- 30 を越える文字セットを処理
- 宛先国の郵便ルールに従って住所の書式を整える
- 住所要素を正規化 (AVENUE を AVE に変更するなど)

### Global Address 検証

住所の検証は、正しくパースされた住所データを郵便組織または他のデータ プロバイダが提供する参照データベースと比較する訂正処理です。ValidateAddressGlobal は、洗練されたファジー マッチング テクノロジーを使用して個々の住所要素を検証し、正しいことを確認するとともに、郵便規格とユーザの優先設定に基づいて出力を正規化および書式設定します。FastCompletion 検証タイプは、簡易住所入力アプリケーションに使用できます。いくつかの住所フィールドには切り捨てられたデータを入力することができ、この入力に基づいて提案を生成します。

住所を完全に検証できない場合もあります。ValidateAddressGlobal には、配達可能性によって住所を分類する、ユニークな配達可能性評価機能があります。

### 入力

ValidateAddressGlobal は、入力として標準住所を受け取ります。どの国の住所であるかにかかわらず、すべての住所がこのフォーマットを使用します。

表 71 : ValidateAddressGlobal の入力

フィールド名	書式	説明
AddressLine1 から AddressLine6	文字列 [79]	これらのフィールドには住所行データが格納されます。AddressLine1 には最初の住所行、AddressLine2 には 2 行目の住所行が格納されます。以降もこれと同様になります。都市、州/省、および郵便番号情報は、住所行フィールドではなく、それぞれのフィールドに配置する必要があります。例:  <b>AddressLine1:</b> 17413 Blodgett Road <b>AddressLine2:</b> PO Box 123 <b>City:</b> Mount Vernon <b>StateProvince:</b> WA <b>PostalCode:</b> 97273 <b>Country:</b> USA  入力住所が適切な住所行および City、StateProvince、PostalCode フィールドにまだパースされていない場合は、住所行フィールドの代わりに UnformattedLine フィールドを使用してください。
City	文字列 [79]	都市名
StateProvince	文字列 [79]	州または省。
PostalCode	文字列 [79]: 99999 99999-9999 A9A9A9 A9A 9A9 9999 999	住所の郵便番号。米国では、ZIP Code®になります。
Contact	文字列 [79]	受取人の名前。例えば、"Mr.Jones"。
Country	文字列 [79]	国名。[強制国 (ISO3 形式)] または [デフォルト国 (ISO3 形式)] オプションに値が指定されていない場合、国を指定する必要があります。
FirmName	文字列 [79]	会社名または企業名。

フィールド名	書式	説明
Street	文字列 [79]	Street
Number	建物 [79]	番号
Building	文字列 [79]	建物
SubBuilding	文字列 [79]	SubBuilding
DeliveryService	文字列 [79]	配送サービス
UnformattedLine1 から UnformattedLine10	文字列 [79]	<p>入力住所が完全にパースされていない場合、かつ <b>ValidateAddressGlobal</b> によって住所を適切なフィールドにパースしたい場合は、このフィールドを使用してください。例:</p> <p><b>UnformattedLine1:</b> 17413 Blodgett Road<b>UnformattedLine2:</b> PO Box 123<b>UnformattedLine3:</b> Mount Vernon WA 97273<b>UnformattedLine4:</b> USA</p> <p>この住所は、以下の出力フィールドにパーシングされます。</p> <p><b>AddressLine1:</b> 17413 Blodgett Road<b>AddressLine2:</b> PO Box 123<b>City:</b> Mount Vernon<b>StateProvince:</b> WA<b>PostalCode:</b> 97273<b>Country:</b> USA</p> <p>注：フォーマットされていない行フィールドへの入力を指定した場合は、住所全体をフォーマットされていない行フィールドだけを使用して指定する必要があります。<b>City</b> や <b>StateProvince</b> など、その他のフィールドを、フォーマットされていない行フィールドと合わせて使用することはできません。</p>



## オプション

## 入力オプション

表 72 : ValidateAddressGlobal の入力オプション

オプション	説明/有効値
データベース	住所検証で使用する郵便データを含むデータベースリソースを指定します。指定できるのは、Management Console の <b>[グローバル データベース リソース]</b> パネルで定義されたデータベースに限られます。詳細については、『 <i>Spectrum™ Technology Platform 管理ガイド</i> 』を参照してください。
デフォルトの国 (ISO3 フォーマット)	入力レコードに明示的な国情報が含まれない場合に使用するデフォルトの国を指定します。指定する際、ISO3 の国コードを使用してください。デフォルトの国を指定しない場合、各入力レコードの Country 入力フィールドに国を指定する必要があります。ISO コードの一覧は、「 <a href="#">ISO 国コードとモジュール サポート</a> 」を参照してください。
強制国 (ISO3 フォーマット)	住所レコードが、常にここで指定された国から発送されたものとして扱われるようになります。住所レコードの国やデフォルトの国は上書きされます。指定する際、ISO3 の国コードを使用してください。ISO コードの一覧は、 <a href="#">ISO 国コードとモジュール サポート</a> を参照してください。
書式区切り記号	<p>入力ファイルで複数行の住所に標準以外の書式設定を使用できます。このフィールドで指定できる値を次に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CRLF (デフォルト)</li> <li>• LF</li> <li>• CR</li> <li>• SEMICOLON ( 2101 MASSACHUSETTS AVE NW ; WASHINGTON DC 20008 )</li> <li>• COMMA ( 2101 MASSACHUSETTS AVE NW , WASHINGTON DC 20008 )</li> <li>• TAB ( 2101 MASSACHUSETTS AVE NW WASHINGTON DC 20008 )</li> <li>• PIPE ( 2101 MASSACHUSETTS AVE NW   WASHINGTON DC 20008 )</li> <li>• SPACE ( 2101 MASSACHUSETTS AVE NW WASHINGTON DC 20008 )</li> </ul> <p>注：入力オプションと出力オプションの両方に同じ値を選択する必要があります。</p>

## 出力オプション

表 73 : **ValidateAddress Global** の出力オプション

オプション	説明
返される結果の最大数	このオプションには、返される候補住所の最大数を指定します。このフィールドは、バッチ処理には無効です。それ以外の処理モードの場合、デフォルト値は1、最大値は99です。FastCompletionモードを使用している場合は、1よりも大きい数を入力して、フィールド入力のための選択肢が複数返されるようにするとよいでしょう。
入力データを結果とともに返す	出力の中に、入力データを含めるかどうかを指定します。有効にすると、.Inputで終わるフィールド(対応する入力フィールドを含む)が出力に含まれます。例えば、出力フィールドの AddressLine1.Input に、入力フィールドの AddressLine1 に指定したデータが含まれます。
州/省	<p>StateProvince フィールドのフォーマットを指定します。次のいずれかを選択します。</p> <p><b>略語</b> 州または省の省略形を返します。例えば、North Carolina であれば "NC" が返ります。</p> <p><b>国標準</b> その国の郵便当局で使用されるフォーマットに応じて、省略形または完全な名前が返ります（デフォルト）。</p> <p><b>拡張</b> 州または省の(省略形ではなく)完全な名前が返ります(例えば、"North Carolina" など)。</p>

## オプション

## 説明

## 国フォーマット

`ValidateAddressGlobal` から返される国名で使用する言語またはコードを指定します。

- 中国語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語 (デフォルト)
- フィンランド語
- フランス語
- ドイツ語
- ギリシャ文字
- ハンガリー語
- ISO 番号 (国の ISO 番号を返します)
- ISO2 (2 文字の ISO 国コードを返します)
- ISO3 (3 文字の ISO 国コードを返します)
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- ポーランド語
- ポルトガル語
- ロシア語
- サンスクリット語
- スペイン語
- スウェーデン語

オプション

説明

スクリプト/アルファベット

出力がどのアルファベットで返されるかを指定します。データがどのアルファベットで返されるかは、国によって異なります。言語の設定で何を選択したかに関わらず、ほとんどの国で出力は **Latin I** になります。

<b>ASCII 拡張</b>	特殊文字 (Ã = OE など) で拡張された ASCII 文字
<b>ASCII 簡易</b>	ASCII 文字
<b>データベース</b>	(デフォルト) Latin I または ASCII 文字 (参照データベースの標準による)
<b>ラテン文字</b>	Latin I 文字
<b>Latin alternate</b>	Latin I 文字 (代替の書き直し)
<b>Postal admin alternate</b>	Latin I または ASCII 文字 (現地郵便局の代替)
<b>Postal admin preferred</b>	Latin I または ASCII 文字 (現地郵便局の選択による)

Latin I 以外のアルファベットを使用する国の場合、返されるアルファベットは国によって異なります。詳細については、[Latin I 以外のアルファベットを使用する国](#) (269ページ) を参照してください。

言語

出力がどの言語で返されるかを指定します。データがどのアルファベットで返されるかは、国によって異なりますが、ほとんどの国で、言語の設定に何を選択したかに関わらず、出力は **Latin I** になります。

<b>データベース</b>	各住所の参照データから得られた言語で返されます。こちらがデフォルトです。
<b>英語</b>	地方および州/省の名前が (可能であれば) 英語で出力されません。

大文字小文字

出力の大文字と小文字の区別を指定します。

<b>ネイティブ</b>	参照データベースの標準に基づいて出力されます。
<b>大文字</b>	すべての国で、大文字で出力されます。
<b>小文字</b>	すべての国で、小文字で出力されます。
<b>混在</b>	国固有のルールに従って大文字と小文字が判断されます。
<b>変更なし</b>	パース モードの場合、データは入力された方法で返されます。バリデーション モードの場合、大文字と小文字の区別には参照データに見つかったものや、郵便のルールに従ったものを使用します。参照データを使用してチェックできなかった値は、入力時の大文字と小文字の区別を保持します。

オプション 説明

書式区切り記号	<p>出力で複数行の住所に標準以外の書式設定を使用できます。このフィールドで指定できる値を次に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CRLF (デフォルト)</li> <li>• LF</li> <li>• CR</li> <li>• SEMICOLON ( 2101 MASSACHUSETTS AVE NW ; WASHINGTON DC 20008)</li> <li>• COMMA (2101 MASSACHUSETTS AVE NW , WASHINGTON DC 20008 )</li> <li>• TAB (2101 MASSACHUSETTS AVE NW WASHINGTON DC 20008 )</li> <li>• PIPE (2101 MASSACHUSETTS AVE NW   WASHINGTON DC 20008 )</li> <li>• SPACE (2101 MASSACHUSETTS AVE NW WASHINGTON DC 20008)</li> </ul> <p>注：入力オプションと出力オプションの両方に同じ値を選択する必要があります。</p>
---------	--

Latin 1 以外のアルファベットを使用する国

Latin I 以外のアルファベットを使用する国の場合、返されるアルファベットは国によって異なります。それらの国々で、出力がどのように返されるかを以下の表に示します。ここに含まれないすべての国では、**【スクリプト/アルファベット】** フィールド オプションに指定された値が使用されます。

Country	データ ベース	Postal admin preferred	Postal admin alternate	ラテン文字	Latin alternate	ASCII 簡易	ASCII 拡張
RUS	キリル文字	キリル文字	キリル文字	CYRILLIC_ISO	CYRILLIC_BGN	CYRILLIC_ISO + LATIN_SIMPLE	CYRILLIC_ISO + LATIN
JPN	漢字	漢字	かな	JAPANESE	JAPANESE	JAPANESE + LATIN_SIMPLE	JAPANESE + LATIN
CHN	Hanzi	Hanzi	Hanzi	CHINESE_ MANDARIN	CHINESE_ CANTONESE	CHINESE_ MANDARIN + LATIN_SIMPLE	CHINESE_ MANDARIN + LATIN
HKG	Hanzi	Hanzi	Hanzi	CHINESE_ CANTONESE	CHINESE_ MANDARIN	CHINESE_ CANTONESE + LATIN_SIMPLE	CHINESE_ CANTONESE + LATIN

Country	データ ベース	Postal admin preferred	Postal admin alternate	ラテン文字	Latin alternate	ASCII 簡易	ASCII 拡張
TWN	Hanzi	Hanzi	Hanzi	CHINESE_ CANTONESE	CHINESE_ MANDARIN	CHINESE_ CANTONESE + LATIN_SIMPLE	CHINESE_ CANTONESE + LATIN
GRC	ギリシャ文 字	ギリシャ文 字	ギリシャ文 字	GREEK_ISO	GREEK_BGN	GREEK_ISO + LATIN_SIMPLE	GREEK_ISO + LATIN
KOR	ラテン文字	ハングル	Hanja	KOREAN	KOREAN	KOREAN + LATIN_SIMPLE	KOREAN + LATIN
ISR	ラテン文字	ヘブライ語	ヘブライ語	HEBREW	HEBREW	HEBREW + LATIN_SIMPLE	HEBREW + LATIN
ROM	Latin-3	Latin-3	Latin-3	Latin-3	Latin-3	LATIN_SIMPLE	LATIN
POL	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	LATIN_SIMPLE	LATIN
CZE	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	LATIN_SIMPLE	LATIN
CRI	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	LATIN_SIMPLE	LATIN
HUN	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	LATIN_SIMPLE	LATIN
MDA	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	LATIN_SIMPLE	LATIN
SVK	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	LATIN_SIMPLE	LATIN
LAT	Latin-7	Latin-7	Latin-7	Latin-7	Latin-7	LATIN_SIMPLE	LATIN

プロセス オプション

表 74 : ValidateAddressGlobal のプロセス オプション

オプション	説明
最適化レベル	<p data-bbox="487 546 1427 619">このオプションを使用して、処理速度と品質が適切なバランスを保つよう設定します。次のいずれかです。</p> <p data-bbox="487 630 1427 703"><b>狭く</b> パーサーは、House Number を Street の情報から分割することを除き、入力の割り当てに厳密に従います。</p> <p data-bbox="487 714 1427 1039"><b>標準</b> パーサーは、以下に示すように住所要素をよりアクティブに分割します。</p> <ul data-bbox="600 777 1136 1039" style="list-style-type: none"> <li>• Province は Locality の情報から分割される</li> <li>• PostalCode は Locality の情報から分割される</li> <li>• House Number は Street の情報から分割される</li> <li>• SubBuilding は Street の情報から分割される</li> <li>• DeliveryService は Street の情報から分割される</li> <li>• SubBuilding は Building の情報から分割される</li> <li>• Locality は PostalCode の情報から分割される</li> </ul> <p data-bbox="487 1060 1427 1165"><b>広く</b> パーサーによる分割は Standard に似た方法で行われますが、追加で最大 10 のパーシング候補が検証に渡されて処理されます。検証は検索のツリーを広げ、参照データのエントリを対象に追加してマッチングを行います。</p> <p data-bbox="487 1186 1427 1260">最適化レベルを調整しても、ここで説明したような分割が必要とされる郵便参照データ情報が揃っていない国においては、効果が得られない場合があります。</p> <p data-bbox="487 1270 1427 1407">分類の精度を Narrow から Standard に増やしても処理パワーはある程度消費されますが、最適化レベルを Wide に設定し、検索ツリーを大きくして検証を行った場合、指定された入力データから最も精密な結果を得ようとデータのアクセスや比較の件数が増加するため、処理速度が非常に遅くなります。</p>

## オプション

## 説明

## 処理モード

住所に対して実行する処理のタイプを指定します。次のいずれかです。

**バッチ** このモードは手動でのデータの入力または選択が不可能なバッチ処理環境で使用します。処理速度を重視して最適化されているため、自動で修正できないあいまいなデータが見つかった場合は、住所修正の試行が停止します。指定の国がデータベースに見つからない場合、バッチ処理モードはパースモードに変更されます。

注：プロセス ステータスとして I3 の値が返された場合、試行は失敗とみなされ、ステータスとして F の値が返されます。

**認定** このモードはオーストラリア郵便当局のバッチ処理環境で使用します。**Validate Address Global** はオーストラリア郵便公社の **Address Matching Approval System (AMAS)** で認定されています。これは郵便住所ファイルに照らして郵便の正規化と検証を行うことで、郵便料金の割引と不達郵便物の最小化を実現します。

**高速実行** 高速実行モードは、切り捨て処理されたデータを住所フィールドに入力して、**Validate Address Global** による提案の生成を行いたい場合に使用します。例えば、コール センターや店頭などで作業をしている場合に住所要素の一部だけを入力し、高速実行の機能を使用して、完全な住所の候補を正しく入手することができます。

**インタラクティブ** このモードは、インタラクティブな環境で処理を行い、住所入力があいまいな場合に提案を生成する場合に使用します。このタイプの検証は、とりわけ顧客や潜在顧客から入手したデータを入力した環境で使用されます。住所がほぼ完全に入力されている必要があり、その入力データの検証や修正を試行します。あいまいなデータが検出された場合、この検証 タイプでは最大で 20 の提案が生成され、それを選択候補の一覧として使用できます。指定の国がデータベースに見つからない場合、インタラクティブ モードはパースモードに変更されます。

**パース** このモードは住所入力をトークンに分割し、そのあとに他のシステムで行われる処理に送る場合、すなわち検証をバイパスする場合に使用します。例えば、住所データの品質がすでに高く、単に素早くトークンに分割して外部のシステムにエクスポートするか、あるいは下流のステージで使用する場合にこのモードを利用できます。



オプション	説明
マッチング範囲	<p>住所が検証されるために、住所がどの程度参照データと一致する必要があるかを指定します。次のいずれかです。</p> <p>注：以下の設定は、必要とされる詳細情報が郵便参照データに見つからない国に対しては効果がない場合があります。</p> <p>すべてのレベル      すべての住所要素が一致する必要があります。</p> <p>配達ポイント レベル      <b>Validate Global Address</b> で州/省、郵便番号、都市/地方/郊外、通り、家番号、および従属する建物が一致する必要があります。</p> <p>通りレベル      <b>Validate Global Address</b> で州/省、郵便番号、都市/地方/郊外、および通りが一致する必要があります。</p> <p>地方レベル      <b>Validate Global Address</b> で州/省、郵便番号、および都市/地方/郊外が一致する必要があります。</p>

## 出力

### 住所データ

表 75 : パース済み住所要素

フィールド名	説明
AddressBlock1-9	<p>AddressBlock 出力フィールドには、正規化済み、または標準化済みの住所が、実際の郵便物に印刷される形式にフォーマットされて入ります。<b>Validate Address Global</b> は住所を郵便当局の規格に従って住所ブロックにフォーマットします。住所の各行が、別々の住所ブロックフィールドに入れて返されます。<b>AddressBlock1</b> から <b>AddressBlock9</b> まで、最大 9 つの住所ブロック出力フィールドが使用されます。例えば、以下の入力住所の場合、</p> <p>AddressLine1: 4200 Parliament PlaceAddressLine2: Suite 600City: LanhamStateProvince: MDPostalCode: 20706</p> <p>以下の住所ブロックが出力されます。</p> <p>AddressBlock1: 4200 PARLIAMENT PL STE 600AddressBlock2: LANHAM MD 20706-1882</p>

フィールド名	説明
AddressLine1-6	住所が検証された場合、住所行フィールドには検証済みで正規化済みの住所行が入ります。住所が検証できなかった場合、住所行フィールドには入力された住所が変更されずに入ります。ただし、住所の最後の行は <b>LastLine</b> フィールドに入ります。例:  AddressLine1: 4200 PARLIAMENT PL STE 600LastLine: LANHAM MD 20706-1882
AdministrativeDistrict	州/省より小さいが、都市よりも大きいエリア
ApartmentLabel	フラットまたはユニット タイプ (STE や APT など)。例: 123 E Main St <b>Apt 3</b>
ApartmentNumber	フラットまたはユニット番号。例: 123 E Main St <b>Apt 3</b>
BlockName	地所やブロックの名前。
BuildingName	建物の名前。例えば <b>Sears Tower</b> など。
City	都市の名前。例えば <b>Vancouver, BC</b> など。
City.AddInfo	都市の追加情報。
City.SortingCode	例えばプラハやダブリンなど、特定の国の広い地方で、郵便当局が配達時間を短縮するために使用するコード。
Contact	受取人の名前。例えば、 <b>Mr. Jones</b> など。
Country	国が、言語または <b>[国フォーマット]</b> オプションで指定されたコードで入ります。
County	州や省に從属する情報。州や省をさらに細かく分割します。米国の郡はその一例です。
FirmName	会社名。
Floor	部屋番号やアパート番号など、建物をさらに細かく分割する情報。例: 123 E Main St Apt 3, <b>4th Floor</b>

フィールド名	説明
HouseNumber	家番号 1。例: 298A-1B New South Head Rd
LastLine	完成された最終の住所行 (都市、州/省、および郵便番号)。
LeadingDirectional	通り名の前に付けて通りの方向を表します。例えば、138 N Main Street の N がこれに該当します。
Locality	場所の名前に従属し、地方をさらに細かく分割します。例としては、メキシコの Colonia や、スペインの Urbanisaciones などがあります。
POBox	郵便受けの記述子 (POBox、Postfach、Case Postale など) と番号。
PostalCode	住所の郵便番号。郵便番号のフォーマットは国によって異なります。
PostalCode.AddOn	郵便番号の 2 番目の部分。例えば、カナダの住所ではこれは LDU です。米国住所に対しては、これは ZIP +4 アドオンです。ほとんどの国ではこのフィールドを使用しません。
PostalCode.Base	郵便番号の基本部分。
Room	建物の部屋番号。
SecondaryStreet	補助的な通りまたは地方集配路の名前。
StateProvince	州または省の名前。
StreetName	建物が存在する通りの名前。例: 123 E <b>Main</b> St Apt 3
StreetSuffix	通り接尾語。例: 123 E Main <b>St</b> Apt 3
SubBuilding	部屋番号など建物の一部。例えば Suite 102 など。
Suburb	場所の名前に従属し、地方をさらに細かく分割します。例えばトルコの Mahalle など。

フィールド名	説明
Territory	地域の名前。地域は州/省より大きいものです。
TrailingDirectional	接尾方向指示。例: 123 Pennsylvania Ave <b>NW</b>

### 元の入力データ

このオプションは、元の入力データを <フィールド名>.Input フィールドに出力します。

**表 76 : 元の入力データ**

フィールド名	書式	説明
AddressLine1.Input	文字列 [79]	最初の住所行。
AddressLine2.Input	文字列 [79]	2 行目の住所行。
AddressLine3.Input	文字列 [79]	3 行目の住所行。
AddressLine4.Input	文字列 [79]	4 行目の住所行。
AddressLine5.Input	文字列 [79]	5 行目の住所行。
AddressLine6.Input	文字列 [79]	6 行目の住所行。
City.Input	文字列 [79]	都市名

フィールド名	書式	説明
StateProvince.Input	文字列 [79]	州または省
PostalCode.Input	文字列 [79]:	住所の郵便番号。米国では、ZIP Code になります。次のいずれかのフォーマットです。 99999 99999-9999 A9A9A9 A9A 9A9 9999 999
Contact.Input	文字列 [79]	受取人の名前。例えば、"Mr.Jones"。
Country.Input	文字列 [79]	入力の国フォーマットに選択したフォーマットを使用して国を指定します (英語名、ISO コード、または UPU コード)。有効な値の一覧は、 <a href="#">ISO 国コードとモジュール サポート</a> を参照してください。
FirmName.Input	文字列 [79]	会社名または企業名。
Street.Input	文字列 [79]	Street
Number.Input	建物 [79]	番号
Building.Input	文字列 [79]	建物
SubBuilding.Input	文字列 [79]	SubBuilding
DeliveryService.Input	文字列 [79]	配送サービス

## 結果コード

これらの出力フィールドには、検証処理の結果に関する情報が格納されます。

表 77 : 結果コード

フィールド名	結果コード
AddressType	<p>米国とカナダの住所の場合のみ、AddressType フィールドは住所のタイプを示します。次のいずれかです。</p> <p><b>F</b> 住所の妥当性が確認され社名まで修正されました。</p> <p><b>B</b> 住所の妥当性が確認され建物名まで修正されました。</p> <p><b>G</b> 住所は局留めの住所です。</p> <p><b>H</b> 住所の妥当性が確認され高層のデフォルトまで修正されました。</p> <p><b>L</b> 住所は、Large Volume Receiver (LVR) です。</p> <p><b>M</b> 住所は、軍施設の住所です。</p> <p><b>P</b> 住所の妥当性が確認され私書箱まで修正されました。</p> <p><b>R</b> 住所の妥当性が確認され地方配送路まで修正されました。</p> <p><b>S</b> 住所の妥当性が確認され通りの住所まで修正されました。</p> <p><b>U</b> タイプが不明なために住所を検証/修正できませんでした。</p>
Confidence	<p>返された住所に割り当てられた確信レベル。範囲は 0 ~ 100 です。0 は失敗を表し、100 はマッチ結果が正しいことに対する確信レベルが非常に高いことを表します。</p>
CountOverflow	<p>候補住所数が返される数より多いかどうかを示します。次のいずれかです。</p> <p><b>はい</b> 他の候補住所があります。他の候補を取得するには、<b>[返される結果の最大数]</b> の値を増やします。</p> <p><b>いいえ</b> いいえ、これ以外の候補はありません。</p>
ElementInputStatus	<p>ElementInputStatus は、入力要素を参照データに対してマッチングした際の要素ごとの情報を提供します。このフィールドの値は、バッチとパースのどちらのモードを使用するかによって変わります。このフィールドの値については、<b>ElementInputStatus</b>、<b>ElementResultStatus</b>、および <b>ElementRelevance</b> の解釈 (283ページ) を参照してください。</p>

フィールド名	結果コード
ElementRelevance	その土地の郵便当局の基準から基準から判断して、実際にどの住所要素が関連しているかを示します。このフィールドの値については、 <a href="#">ElementInputStatus</a> 、 <a href="#">ElementResultStatus</a> 、および <a href="#">ElementRelevance の解釈</a> (283ページ) を参照してください。
ElementResultStatus	<a href="#">ElementResultStatus</a> は、出力フィールドが入力フィールドから変更されているか、またどのように変わっているかを示すことによって、結果を <a href="#">ProcessStatus</a> フィールドよりも詳細に分類します。このフィールドの値については、 <a href="#">ElementInputStatus</a> 、 <a href="#">ElementResultStatus</a> 、および <a href="#">ElementRelevance の解釈</a> (283ページ) を参照してください。
MailabilityScore	郵便が住所にどの程度確実に配達されるかの予測を示します。次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>5 確実に配達される</li> <li>4 ほぼ確実に配達される</li> <li>3 おそらく配達される</li> <li>2 五分五分</li> <li>1 配達されない可能性が高い</li> <li>0 配達されない</li> </ul>
ModeUsed	使用された処理モードを示します。処理モードは、 <a href="#">[処理モード]</a> オプションで指定します。モードの説明については、 <a href="#">プロセスオプション</a> (271ページ) を参照してください。
MultimatchCount	住所が参照データ内の複数の候補住所と一致した場合、このフィールドには一致した候補の数が含まれます。

フィールド名	結果コード
--------	-------

---

ProcessStatus	
---------------	--



フィールド名

結果コード

出力の品質に関する一般的な記述が含まれます。出力の品質について、詳しくは **ElementResultStatus** フィールドを参照してください。

次のいずれかです。

- V4** 検証済み。正しい入力データです。すべての要素がチェックされ、入力データが完全に一致しました。
- V3** 検証済み。入力されたデータは正しいものですが、一部またはすべての要素が正規化されたか、あるいは入力データに旧式の名前または外名 (エクソニム) が含まれます。
- V2** 検証済み。正しい入力データですが、一部の要素について、参照データが完全でないために検証できていません。
- V1** 検証済み。正しい入力データですが、ユーザによる正規化によって、正しく配達される可能性が損なわれています (たとえば選択された郵便番号の長さが短すぎるなど、ユーザによって要素の正規化が正しく行われていない)。検証によってセットされません。
- C4** 修正済み。すべての要素がチェック済みです。
- C3** 修正済みですが、一部の要素をチェックできませんでした。
- C2** 修正済みですが、配達のステータスがわかりません (参照データがありません)。
- C1** 修正済みですが、ユーザによる正規化が正しくなかったため、配達のステータスがわかりません。検証によってセットされません。
- I4** データを完全には修正できませんでした。かなりの確率で正しく配達されます。単一の一致が見つかりました (例えば HNO は誤りだが、参照データに HNO が 1 件だけ見つかるような場合)。
- I3** データを完全には修正できませんでした。かなりの確率で正しく配達されます。複数の一致が見つかりました (例えば HNO は誤りだが、参照データに複数の HNO が見つかるような場合)。
- I2** データを修正できませんでした。この住所で正しく配達される可能性がわずかにあります。
- I1** データを修正することができず、正しく配達される可能性もほとんどありません。
- RA** 国が強制国の設定から認識されました。
- R9** 国が DefaultCountryISO3 の設定から認識されました。
- R8** 国が名前からエラーなしで認識されました。
- R7** 国が名前からエラー付きで認識されました。
- R6**

## フィールド名

## 結果コード

---

	国が地域から認識されました。
<b>R5</b>	国が省から認識されました。
<b>R4</b>	国が主要な都市から認識されました。
<b>R3</b>	国がフォーマットから認識されました。
<b>R2</b>	国がスクリプトから認識されました。
<b>R1</b>	国が認識されませんでした。複数の一致が見つかりました。
<b>R0</b>	国が認識されませんでした。
<b>S4</b>	完全にパースされました。
<b>S3</b>	パースされ、複数の結果が得られました。
<b>S2</b>	パースされ、エラーが発生しました。要素の位置が変わっています。
<b>S1</b>	パース エラー。入力フォーマットが一致しません。
<b>N1</b>	バリデーションエラー: 国が認識されなかったため、検証が実行されませんでした。
<b>N2</b>	バリデーションエラー: 必要な参照データベースを使用できないため、検証が実行されませんでした。
<b>N3</b>	バリデーションエラー: 国をロック解除できなかったため、検証が実行されませんでした。
<b>N4</b>	バリデーションエラー: 参照データベースが破損しているか、フォーマットが正しくないため、検証が実行されませんでした。
<b>N5</b>	バリデーションエラー: 参照データベースが古すぎるため、検証が実行されませんでした。
<b>N6</b>	バリデーションエラー: 入力データが十分でないため、検証が実行されませんでした。
<b>Q3</b>	高速実行ステータス: 提案 (完全な住所) を利用可能です。
<b>Q2</b>	高速実行ステータス: 完全な住所が提案されましたが、入力データの要素と組み合わせられています (追加または削除)。
<b>Q1</b>	高速実行ステータス: 提案された住所は完全ではありません (情報を追加してください)。
<b>Q0</b>	高速実行ステータス: 十分でない情報から提案が生成されました。

---

フィールド名                      結果コード

Status

処理試行が成功したか失敗したかをレポートします。

<b>NULL</b>	成功
<b>F</b>	失敗

Status.Code

失敗したものがあれば、その理由を示します。

Status.Description

失敗したものがあれば、その理由を説明する記述が入ります。

### *ElementInputStatus*、*ElementResultStatus*、および *ElementRelevance* の解釈

*ElementInputStatus*、*ElementResultStatus*、および *ElementRelevance* の出力フィールドには、検証操作の結果を詳細に示す一連の数字が含まれます。*ElementInputStatus* にはパーシング操作に関するいくつかの情報が含まれます。

*ElementInputStatus* の値は以下のようになります。

44606040600000000060

*ElementResultStatus* の値は以下のようになります。

88F0F870F00000000040

*ElementRelevance* の値は以下のようになります。

11101010100000000000

これらのフィールドの値について理解するためには、各ポジションの数字がどの要素を表すか、および各ポジションの値の意味を知る必要があります。たとえば、先頭の数字は *PostalCode.Base* 出力フィールドの結果を示します。以下に各ポジションの意味を一覧で示します。

- ポジション 1—*PostalCode.Base*
- ポジション 2—*PostalCode.AddOn*
- ポジション 3—*City*
- ポジション 4—*Locality* および *Suburb*
- ポジション 5—*StateProvince*
- ポジション 6—*County*
- ポジション 7—*StreetName*
- ポジション 8—*SecondaryStreet*
- ポジション 9—*HouseNumber*
- ポジション 10—*Number* レベル 1

- ポジション 11—POBox
- ポジション 12—Delivery サービス レベル 1
- ポジション 13—Building レベル 0
- ポジション 14—BuildingName
- ポジション 15—Sub building レベル 0
- ポジション 16—Floor and Room
- ポジション 17—FirmName
- ポジション 18—Organization レベル 1
- ポジション 19—Country
- ポジション 20—Territory

ElementInputStatus の場合、検証の値として以下のいずれかが入ります。

- 0—空
- 1—見つからない
- 2—チェックなし (参照データなし)
- 3—誤り - 検証によってのみセット。参照データベースによれば、Number または DeliveryService のいずれかの数が正しい範囲内でない。入力はコピーされ、バッチモードでは修正されていない。インタラクティブ モードと FastCompletion では、提案が提供されている
- 4—この要素内でエラーありで一致
- 5—変更ありで一致 (挿入または削除)。例:
  - パーシング: "MainSt 1" の家番号を分割するなど
  - バリデーション: 外名 (エクソニム) が入力された場合に置換したり、フィールドのサイズを超えて入力され、国の参照データベースによって無効とされたデータを短くしたなど
- 6—エラーなしで一致

ElementInputStatus の場合、パーシングの値には以下のいずれかが入ります。

- 0—空
- 1—要素の位置を変更する必要があった
- 2—一致したが、正規化する必要があった
- 3—一致した

ElementRelevance の場合、パーシングの値には以下のいずれかが入ります。

- 0—空
- 1—要素の位置を変更する必要があった
- 2—一致したが、正規化する必要があった
- 3—一致した

ElementResultStatus の場合、(国を除くすべての住所要素に対して)以下のいずれかの値が入りません。

- 0—空
- 1—検証されず、変更されていない。元のデータがコピーされている
- 2—検証されなかったが正規化された
- 3—検証されたが、入力が無効(データベースによれば、数値が正しい範囲内でない)であるため変更されなかった入力がコピーされ、修正されていない(このステータス値はバッチモードでのみセットされる)
- 4—検証されたが、参照データが見つからないため変更されていない
- 5—検証されたが、複数の一致が見つかったため変更されていない。バッチモードでのみセットされる。そうでない場合、入力を置換する複数の提案が修正済みとしてマークされる(ステータス値 7)
- 6—検証され、入力値の除外という変更が行われている
- 7—検証され、参照データに基づく修正という変更が行われている
- 8—検証され、参照データに基づく値の追加という変更が行われている
- 9—検証され、変更はされていないが、配達ステータスがわからない(例えば、DPV の値で、指定の数値範囲が参照データと部分的にしか一致せず正しくないなど)
- C—検証され、妥当性確認済みだが名前が旧式であるため変更されている
- D—検証され、妥当性確認済みだが外名から公式の名前に変更されている
- E—検証され、妥当性確認済みだが大文字と小文字の区別、または言語に基づく正規化のため変更されている。入力が別の言語と完全に一致する場合に、検証でのみこのステータスがセットされる
- F—検証され、妥当性確認済みで、完全に一致したため変更されなかった

国(ポジション 19 と 20)に関しては、以下のいずれかの値が入ります。

- 0—空
- 1—国が認識されない
- 4—国が DefaultCountryISO3 の設定から認識された
- 5—国が認識されない。複数の一致が見つかった
- 6—国がスクリプトから認識された
- 7—国がフォーマットから認識された
- 8—国が主要な都市から認識された
- 9—国が省から認識された
- C—国が地域から認識された
- D—国がエラーありで名前から認識された
- E—国が名前からエラーなしで認識された
- F—国が ForceCountryISO3 の設定から認識された

## レポート

### Validate Address Global サマリ レポート

Validate Address Global サマリ レポートには、処理されたレコードの合計数や、検証された住所の数など、ジョブに関するサマリ統計が一覧表示されます。レポートの使用方法については、『*Spectrum™ Technology Platform データフロー デザイナー ガイド*』を参照してください。

### ジョブ サマリ

このセクションには、ジョブに関するサマリ情報が含まれます。

- **Started**—ジョブが開始された日付と時刻。
- **Finished**—ジョブが終了した日付と時刻。
- **Processing time**—ジョブの継続時間。
- **Total Records**—Validate Address Global で処理するために渡されたレコードの合計数。これはジョブがどのように設計されているかによって、ジョブの入力レコードの数と異なる場合があります。
- **Processed Records**—Validate Address Global で正しく処理された住所の数。これはレコードの合計数から処理されなかったレコードを引いた数です。
- **Default country**—[デフォルトの国 (ISO3 形式)] オプションで指定されたデフォルトの国。
- **Casing**—[大文字と小文字の区別] オプションで選択した大文字と小文字の区別。
- **Script/Alphabet**—[スクリプト/アルファベット] オプションで指定されたスクリプト。
- **Countries**—入力住所に含まれる国の数。

### ステータス サマリ

このセクションには検証と修正の結果が表示されます。

- **Validated**—入力時に正しかった住所。
- **Corrected**—Validate Address Global によって修正された住所。
- **Good deliverability**—修正できなかったが、かなりの確率で正しく配達される住所。
- **Fair deliverability**—修正できなかったが、正しく配達される可能性が十分にある住所。
- **Poor deliverability**—修正できず、おそらく配達されない住所。
- **Parsed**—正しくパーシングされた住所。
- **Failed**—検証も、修正も、パーシングもできなかった住所。

### Validate Address Global 詳細レポート

Validate Address 詳細レポートには、それぞれの国の検証、修正、パーシングの結果が表示されます。レポートの使用方法については、『*Spectrum™ Technology Platform データフロー デザイナー ガイド*』を参照してください。

### ステータスの詳細

このセクションには、各国の検証と修正の結果が表示されます。

- **V (検証済み)**—入力時に正しかった住所。
- **C (修正済み)**—Validate Address Global によって修正された住所。
- **I4 (配達可能性高)**—修正できなかったが、かなりの確率で正しく配達される住所。
- **I3 (配達可能性中)**—修正できなかったが、配達される可能性が十分にある住所。
- **I2 (配達可能性低)**—修正できず、正しく配達される可能性が低い住所。
- **S (パーシング済み)**—正しくパーシングされた住所。
- **F (失敗)**—検証も、修正も、パーシングもできなかった住所。

## Validate Address Loqate

Validate Address Loqate は、郵便当局の住所データを使用して、住所を正規化し、妥当性を確認します。Validate Address Loqate は、情報を修正し、管轄の郵便当局が推奨する書式で住所の書式を整えることができます。また、郵便番号、都市名、州/省名など、欠落している郵便情報を追加します。

Validate Address Loqate は、Validate Address Loqate が住所の妥当性を確認したかどうか、返された住所の確信レベル、住所の妥当性が確認できなかった場合はその理由など、検証処理に関する結果インジケータも返します。

Validate Address Loqate は、住所のマッチングと正規化において、住所行をコンポーネントに分割し、それらを Universal Addressing モジュールの各種データベースの内容と比較します。マッチを検出した場合、入力住所をデータベース情報に合わせて正規化します。データベースにマッチしなかった場合、Validate Address Loqate は、オプションで入力住所の書式を整えます。書式設定プロセスでは、該当する郵便当局の規則に従って住所行の構成を試みます。

Validate Address Loqate は、Universal Addressing モジュールに含まれています。

### 入力

ValidateAddressLoqate は、入力として住所を受け取ります。すべての住所は、その住所の国に関係無くこのフォーマットを使用します。

表 78 : 入力フォーマット

フィールド名	書式	説明
AddressLine1	文字列	最初の住所行。
AddressLine2	文字列	2 行目の住所行。
AddressLine3	文字列	3 行目の住所行。
AddressLine4	文字列	4 行目の住所行。
City	文字列	都市名。
Country	文字列	<p>国コードまたは名前を、以下のいずれかのフォーマットで入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 文字の ISO 3166-1 Alpha 2 国コード</li> <li>• 3 文字の ISO 3166-1 Alpha 3 国コード</li> <li>• 英語の国名</li> </ul> <p>ISO コードの一覧については、<a href="#">ISO 国コードとモジュールサポート</a>を参照してください。</p>
FirmName	文字列	会社名または企業名。
PostalCode	文字列	<p>住所の郵便番号は、次のフォーマットのいずれかで表されます。</p> <p>99999 99999-9999 A9A9A9 A9A 9A9 9999 999</p>
StateProvince	文字列	州または省。



## オプション

以下の表に、Validate Address Loqate が返す情報の種類を制御するオプションの一覧を示します。

表 79 : 出力データ オプション

オプション	説明
データベース	<p>国際住所の妥当性の確認に使用するデータベースを指定します。国際住所検証用のデータベースを指定するには、<b>[データベース]</b> ドロップダウン リストからデータベースを選択します。</p>
標準住所を含める	<p>住所データの 1 ~ 4 行に加えて、都市、州、郵便番号、企業名を返します。各住所行は、封筒に記載される住所の実際の行に対応しています。詳細については、<b>出力 (298 ページ)</b> を参照してください。</p> <p>Validate Address Loqate が住所の妥当性を確認できた場合は、住所行には正規化済み住所が含まれます。正規化済み住所では、句読文字が取り除かれ、方向指示と通り接尾語には省略形が使用され、住所要素が修正されています。</p> <p>Validate Address Loqate が住所の妥当性を確認できなかった場合は、住所行には入力住所がそのまま含まれます ("パス スルー" データ)。このオプションを指定しなかった場合でも、妥当性が確認されなかった住所は必ず、パス スルー データとして住所行フィールドに含まれます。</p>
一致した住所要素を含める	<p>家番号、通り名、通り接尾語、方向指示などの住所の各要素が、個別のフィールドに返されます。詳細については、<b>パス済み住所要素出力 (299 ページ)</b> を参照してください。このオプションとともに、<b>[マッチしなかった場合に正規化データを返す]</b> を選択した場合は、住所要素に、妥当性が確認できなかった住所の入力住所が含まれることになります。</p>

オプション

説明

正規化された入力住所要素を含める

このオプションでは、**Validate Address Loqate** が住所の妥当性を確認できたかどうかにかかわらず、入力住所をパース済み形式で返します。家番号、通り名、通り接尾語、方向指示などの入力住所の各要素が、個別のフィールドに返されます。

**[正規化された入力住所要素を含める]** オプションは、検証できなかった入力だけでなく、すべての入力住所をパース済み形式で返す点で、**[一致した住所要素を含める]** と **[マッチしなかった場合に正規化データを返す]** の組み合わせと異なります。詳細については、[パース済み入力](#) (302ページ) を参照してください。

ジオコード アドレス フィールドを返す

処理中にジオコーディングを実行するかどうかを指定します。出力に対してジオコーディングを実行すると、各入力住所の緯度と経度、一致の精度レベル、ジオコードと住所の実際の物理的な位置との間の推測最大距離が得られます。

個々のフィールドの結果コードを含める

フィールドレベルの結果インジケータを含めるかどうかを指定します。フィールドレベルの結果インジケータは、**Validate Address Loqate** が各住所要素をどのように処理したかを示します。フィールドレベルの結果インジケータは、修飾子 **"Result"** で返されます。例えば、**HouseNumber** のフィールドレベルの結果インジケータは **HouseNumber.Result** に格納されます。結果インジケータの出力フィールドの完全な一覧は、[結果インジケータ](#) (306ページ) を参照してください。

## オプション

## 説明

マッチしなかった場合に正規化データを返す

住所の妥当性を確認できない場合に書式を整えた住所を返すかどうかを指定します。住所には、その国の標準住所書式が設定されます。このオプションを選択しない場合、**ValidateAddress Loqate** が住所の妥当性を確認できないと、出力住所フィールドは空白になります。

**[標準住所を含める]**、**[住所行の要素を含める]**、および**[郵便情報を含める]**の各チェックボックスで指定されたフォーマットを使用して、書式を整えた住所が返されます。**[住所行の要素を含める]**を選択した場合は、妥当性が確認できた住所に対しては、パース済みで妥当性を確認済みの住所が、パース済み住所要素に含まれることに注意してください。住所の妥当性が確認できなかった場合には、パース済み住所要素には、入力住所がパース済み形式で含まれることになります。

**Validate Address Loqate** が住所の妥当性を確認できたかどうかにかかわらず、必ず入力住所をパース済み形式で出力したい場合は、**[正規化された入力住所要素を含める]**を選択します。

このオプションをオンにする場合は、**[標準住所を含める]**と**[住所行の要素を含める]**またはそのいずれかを選択する必要があります。

住所データ ブロックを返す

実際の郵便物に印字される、書式を整えた住所を返すかどうかを指定します。住所の各行が、別々の住所ブロックフィールドに入れて返されます。**AddressBlock1** から **AddressBlock9** まで、最大 9 つの住所ブロック出力フィールドが使用されます。

例えば、以下の住所入力の場合、

AddressLine1: 4200 Parliament Place  
AddressLine2: Suite 600  
City: Lanham  
StateProvince: MD  
PostalCode: 20706

以下の住所ブロックが出力されます。

AddressBlock1: 4200 PARLIAMENT PL STE 600  
AddressBlock2: LANHAM MD 20706-1882  
AddressBlock3: UNITED STATES OF AMERICA

**Validate Address Loqate** は、郵便当局の規格に従って住所の書式を整え、住所ブロックの形式にします。国名は、万国郵便連合 (UPU) の国名で返されます。**[国フォーマット]** オプションは、住所ブロックの国名には影響を与えないことに注意してください。**[国フォーマット]** オプションは、**Country** 出力フィールドに返される名前のみに影響を与えます。

オプション

説明

AMAS 表記を使用してデータをフォーマット

Address Matching Approval System (AMAS) 表記を使用して出力住所データをフォーマットすることを指定します。

このオプションを使用すると、Validate Address Loqate は、住所を正規化するとき AMAS ルールを使用するようになります。AMAS は、オーストラリア郵政公社が定める、住所規格を徹底するためのプログラムです。AMAS 書式設定表記の詳細については、『Address Matching Approval System (AMAS) Handbook』を参照してください。

このオプションを使用すると、出力データは次のように変更されません。

- 数値フィールドにはゼロが付加されます。この影響を受けるのは、HouseNumber、HouseNumber2、PostalDeliveryNumber、および DPID の各出力フィールドです。例えば、入力フィールドが 298 New South Head Rd Double Bay NSW 2028 の場合、HouseNumber フィールドの形式は 298 から 00298 に変更されます。
- 一致しない場合、DPID フィールドの桁はすべてゼロになります。例えば、00000000 などです。
- 一致しない場合、すべてゼロを含む数値フィールドを除き、すべてのリターン フィールド (パース済み住所要素) が空白になります。
- CCD フィールドは出力されません。

注：このオプションを選択すると、[許容レベル] フィールドと [最小マッチスコア] フィールドの選択に関わらず、AMAS フォーマットで結果が返されます。

大文字小文字

出力データの大文字と小文字の区別を指定します。次のいずれかです。

**混在** 出力には、大文字と小文字が混在させます(デフォルト)。例:

123 Main St  
Mytown FL 12345

**大文字** 出力に大文字を使用します。例:

123 MAIN ST  
MYTOWN FL 12345

## オプション

## 説明

デフォルト国	デフォルト国を指定します。大部分の住所が存在する国を指定してください。例えば、処理する住所の大部分がドイツにある場合は、ドイツを指定します。Validate Address Loqate は、[StateProvince]、[PostalCode]、および [Country] の各住所フィールドから国を特定できなかった場合、指定された国を使用して、住所の検証を試みます。
国フォーマット	<p><b>Country</b> 出力フィールドに返される国名に使用するフォーマットを指定します。例えば、英語を選択した場合、"Deutschland" という国名は "Germany" として返されます。</p> <p><b>英語名</b> 英語の国名を使用します (デフォルト)。</p> <p><b>ISO コード</b> 国名の代わりにその国の2文字のISOの略語を使用します。</p> <p><b>UPU コード</b> 国名の代わりにその国の万国郵便連合 (Universal Postal Union: UPU) の略語を使用します。</p>
スクリプト/アルファベット	<p>出力がどのアルファベットまたはスクリプトで返されるかを指定します。このオプションは双方向で、通常はネイティブからラテン文字へ、およびラテン文字からネイティブへ実行されます。</p> <p><b>入力文字</b> 書き直しを実行せず、入力と同じスクリプトで出力します (デフォルト)。</p> <p><b>ネイティブ</b> 使用可能な場合は、選択した国のネイティブスクリプトで出力します。</p> <p><b>ラテン文字 (英語)</b> 英語の値を使用します。</p>

オプション

説明

---

許容レベル

## オプション

## 説明

レコードが正常に処理されたとみなされるために達成する必要のある、最小検証レベルを指定します。このフィールドの値は、“処理後検証マッチ レベル” と呼ばれる、Address Verification Code の 2 つめの文字に対応します。

- **5** — 配達ポイント (建物または郵便受け)。入力レコードの ApartmentNumber、HouseNumber、Street、City、StateProvince が、Loqate のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。ApartmentNumber は正しいがその他のフィールドが正しくない場合、確信レベルは中程度になりますが、ApartmentNumber は他のフィールドよりも細かいレベルであるため、Loqate エンジンはこの場合に、ApartmentNumber を特定できるはずでず。Loqate エンジンが ApartmentNumber とその他のフィールドをパーシングできない場合は、確信レベルは 0 となります。
- **4** — 敷地または建物。入力レコードの HouseNumber、Street、City、StateProvince が、Loqate のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。HouseNumber は正しいがその他のフィールドが正しくない場合、確信レベルは中程度になりますが、HouseNumber は他のフィールドよりも細かいレベルであるため、Loqate エンジンはこの場合に、HouseNumber を特定できるはずでず。Loqate エンジンが HouseNumber とその他のフィールドをパーシングできない場合は、確信レベルは 0 となります。
- **3** — 大通り、道路、または通り。入力レコードの Street、City、StateProvince が、Loqate のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。City は正しいが StateProvince が正しくない場合、確信レベルは中程度になりますが、City は StateProvince に含まれるため、Loqate エンジンはこの場合に、StateProvince を特定できるはずでず。Loqate エンジンが City または両方のフィールド (City と StateProvince) をパーシングできない場合は、確信レベルは 0 となります。
- **2** — 地方 (都市または町)。入力レコードの City と StateProvince の両方が、Loqate のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。City は正しいが StateProvince が正しくない場合、確信レベルは中程度になりますが、City は StateProvince に含まれるため、Loqate エンジンはこの場合に、StateProvince を特定できるはずでず。Loqate エンジンが City または両方のフィールド (City と StateProvince) をパーシングできない場合は、確信レベルは 0 となります。
- **1** — 行政区域 (州または地域)。入力レコードの StateProvince が、Loqate のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。
- **0** — なし。これは、最も制限の緩いマッチオプションと同じです。

## オプション

## 説明

### 重複処理

重複処理マスクを有効にし、重複レコードの処理および削除の方法を指定します。次のオプションから 1 つ以上を選択します。

- 単一**      デフォルトで選択されています。入力の前処理により、単一フィールドで発生している重複を削除します。
- 複数**      デフォルトで選択されています。入力の前処理により、すべてのフィールドわたって重複を削除します。
- 非標準**    入力の前処理により、標準住所フィールドでないフィールド内の重複を削除します。
- 出力**      デフォルトで選択されています。検証の出力の後処理により、検証されていないフィールドから重複を削除します。

### 最小マッチ スコア

Validate Address Loqate において、Loqate 参照データベースでマッチ結果を得るために、住所に加える変更の度合いを、0 ~ 100 の間の数値で指定します。数値が小さいほど、大きな変更が許容されます。100 の値は、パーシング後に入力住所と検証済み住所がほぼ同一であることを意味します。0 の値は、検証済み住所を得るためにパーシング後の入力住所を大きく変更してしまってもよいことを意味します。

### 複数の住所を返す

一致する可能性のある住所を複数持つ入力住所に対して複数の住所を返すかどうかを指定します。

詳細については、[複数マッチを返す](#) (296ページ) を参照してください。

### Fail Multiple Matches

一致する可能性のある住所が複数存在する入力住所に対して、複数の住所を許可しません。

### 複数マッチを返す

ValidateAddressLoqate が、入力住所に一致する可能性のある複数の住所を郵便データベース内で検出した場合に、ValidateAddressLoqate がそれらの複数の住所を返すように設定できます。例えば、次の住所は米国郵便データベース内の複数の住所にマッチします。

PO BOX 1 New York, NY



## オプション

複数マッチを返すには、次の表に示すオプションを使用します。

表 80 : 複数マッチのオプション

オプション名	説明/有効値
複数の住所を返す	一致する可能性のある住所を複数持つ入力住所に対して複数の住所を返すかどうかを示します。
結果の最大数	<p><b>【複数の住所を返す】</b> チェック ボックスの横に、返す住所の最大数を示す 1 ~ 10 の数字を入力します。デフォルト値は 1 です。</p> <p>注: <b>【複数の住所を返す】</b> のチェックをはずした場合と <b>【複数の住所を返す】</b> にチェックを入れ、結果の最大数として 1 を指定した場合の違いは、<b>【複数の住所を返す】</b> のチェックをはずした場合は複数マッチによって失敗が返され、<b>【複数の住所を返す】</b> にチェックを入れ、結果の最大数として 1 を指定した場合は複数マッチによって1つのレコードが返される点です。</p>
個々のフィールドの結果コードを含める	どの出力住所が候補住所かを特定するには、 <b>【出力データ】</b> タブの <b>【個々のフィールドの結果コードを含める】</b> にチェックを入れる必要があります。このように設定すると、候補住所のレコードのフィールドレベルの結果インジケータに 1 つ以上の値 "M" が格納されます。

## 出力

複数マッチを返すよう選択した場合、住所は指定した住所フォーマットで返されます。住所フォーマットの指定については、[オプション](#) (289ページ) を参照してください。どのレコードが候補住所であるかを特定するには、フィールドレベルの結果インジケータに複数の値 "M" があるかどうかを調べます。詳細については、[結果インジケータ](#) (306ページ) を参照してください。

### マッチ スコアのしきい値オプション

マッチ スコアのしきい値を設定するための 2 つのオプションがあります。

注: これらのオプションは **Validate Address Loqate** のユーザ インターフェイスにはなく、以下のファイルの中にあります。

```
SpectrumDirectory/server/modules/loqate/env.properties
```

**[MatchScoreAbsoluteThreshold]** オプションは、レコードがマッチングの候補とみなされるために達しなければならない最小マッチ スコアを指定するために使用されます。デフォルト値は 60 で、最大値は 100 です。

**[MatchScoreThresholdFactor]** は、最も高いマッチング結果を 100 とした場合の係数を表す値です。この値は、結果候補を検討する際のボーダーラインとして使用されます。係数の値が高いほど、良い検証結果が得られる確率が高くなります。デフォルト値は 95 で、最大値は 100 です。

## 出力

ValidateAddressLoqate からの出力には、選択した出力カテゴリに応じてさまざまな情報が含まれます。

### 標準住所出力

標準住所出力は、宛名ラベルに表記される住所に対応する 4 行の住所で構成されます。都市、州/省、郵便番号などのデータも、標準住所出力に含まれます。**[標準住所を含める]** チェック ボックスを選択 **OutputRecordType = A** と設定した場合、ValidateAddressLoqate は、妥当性を確認した住所に対し、標準住所出力を返します。**[標準住所を含める]** チェック ボックスを選択したかどうかにかかわらず、妥当性が確認できなかった住所に対しては、標準住所フィールドが必ず返されます。妥当性が確認されなかった住所に対しては、標準住所出力フィールドには、入力住所がそのまま含まれます ("パス スルー" データ)。ValidateAddressLoqate において、妥当性が確認できなかった場合に、郵便当局の規格に従って住所を正規化するには、**[マッチしなかった場合に正規化データを含める]** チェック ボックスを選択します。

表 81 : 標準住所出力

フィールド名	説明
AdditionalInputData	特定の住所コンポーネントに一致しなかった入力データ。詳細については、 <a href="#">その他の入力データについて</a> を参照してください。
AddressLine1-4	住所の妥当性が確認された場合は、妥当性が確認され、正規化された住所の 1 行目です。住所の妥当性が確認できなかった場合は、入力住所の 1 行目がそのまま出力されます。住所ブロック出力フィールドは最大で、AddressLine1 から AddressLine4 の 4 つになります。
City	妥当性が確認された都市名。

フィールド名	説明
Country	[国フォーマット] で選択した、以下のいずれかのフォーマットで示された国。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ISO コード</li> <li>• UPU コード</li> <li>• 英語</li> </ul>
FirmName	妥当性が確認された企業名。
PostalCode	妥当性が確認された ZIP Code™ または郵便番号。
PostalCode.AddOn	ZIP Code™ の 4 桁のアドオン部分。例えば、60655-1844 という ZIP Code™ において、4 桁のアドオン部分は 1844 になります
PostalCode.Base	5 桁の ZIP Code™。例: 20706。
StateProvince	妥当性が確認された州または省の略称。

### パース済み住所要素出力

**[一致した住所要素を含める]** チェック ボックスを選択した場合、出力住所は、パース済み住所の形式で書式設定されます。ValidateAddressLoqate で、妥当性が確認できなかった場合に、パース済み住所形式で書式設定されたデータ (正規化済み住所) を返すには、**[マッチしなかった場合に正規化データを返す]** チェック ボックスを選択します。

注: ValidateAddressLoqate で、妥当性が確認できたかどうかにかかわらず、常にパースした入力データを返すには、**[正規化された入力住所要素を含める]** を選択します。詳細については、[パース済み入力 \(302ページ\)](#) を参照してください。

表 82 : パース済み住所出力

フィールド名	説明
AddressBlock1-9	<p>AddressBlock 出力フィールドには、正規化済み、または標準化済みの住所が、実際の郵便物に印刷される形式にフォーマットされて入ります。Validate Address Global は住所を郵便当局の規格に従って住所ブロックにフォーマットします。住所の各行が、別々の住所ブロックフィールドに入れて返されます。AddressBlock1 から AddressBlock9 まで、最大 9 つの住所ブロック出力フィールドが使用されます。例えば、以下の入力住所の場合、</p> <p>AddressLine1: 4200 Parliament Place AddressLine2: Suite 600 City: Lanham StateProvince: MD PostalCode: 20706</p> <p>以下の住所ブロックが出力されます。</p> <p>AddressBlock1: 4200 PARLIAMENT PL STE 600 AddressBlock2: LANHAM MD 20706-1882</p>
ApartmentLabel	<p>アパート指定子 (STE や APT など)。例: 123 E Main St <b>APT 3</b></p>
ApartmentNumber	<p>アパート番号。例: 123 E Main St <b>APT 3</b></p>
ApartmentNumber2	<p>補助的なアパート番号。例: 123 E Main St <b>APT 3, 4th Floor</b></p> <p>注: このリリースでは、このフィールドは常に空白になります。</p>
Building	<p>個々の場所を識別するためのわかりやすい名前。</p>
City	<p>妥当性が確認された都市名</p>
Country	<p>国。フォーマットは、<b>[国フォーマット]</b> で選択したのになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ISO コード</li> <li>• UPU コード</li> <li>• 英語</li> </ul>

フィールド名	説明
County*	国における最小の地理的データ要素。例: 米国の郡
FirmName	妥当性が確認された企業名
HouseNumber	家番号 1。例: <b>123</b> E Main St Apt 3
LeadingDirectional	接頭方向指示。例: 123 <b>E</b> Main St Apt 3
POBox	私書箱番号。住所が地方配送路住所である場合は、地方配送路の私書箱番号がここに表示されます。
PostalCode	妥当性が検証された郵便番号。米国住所に対しては、ZIP Code と呼びます。
Principality *	国における最大の地理的データ要素
StateProvince	妥当性が確認された州または省の名前
StreetAlias	通り名のエイリアス。通常は、通り上の特定の範囲の住所のみに対して使用されます。通り名のエイリアスを出力に使用しないと指定した場合は、通りにエイリアス名があるかどうかにかかわらず、出力では通りの "基本" 名が使用されます。例: 123 <b>E Main</b> St Apt 3
StreetName	通り名。例: 123 <b>E Main St</b> Apt 3
StreetSuffix	通り接尾語。例: 123 E Main <b>St</b> Apt 3
Subcity*	[Locality] フィールドの内容に依存する、より小さな居留区データ要素。例: トルコ人居留区。

フィールド名	説明
Substreet*	国における従属通りまたはブロック データ要素。例: 英国の従属通り。
TrailingDirectional	接尾方向指示。例: 123 Pennsylvania Ave <b>NW</b>

\*これはサブフィールドであり、データを含まない場合があります。

### パース済み入力

出力には、パース済み形式で入力住所を含めることができます。このようなタイプの出力は、"パース済み入力" と呼ばれます。パース済み入力フィールドには、**ValidateAddress** が住所の妥当性を検証したかどうかにかかわらず、入力として使用される住所データが含まれます。パース済み入力は、住所の妥当性を検証できた場合にパース済み住所要素に妥当性が検証された住所が含まれ、オプションで、住所の妥当性が検証できなかった場合には入力データが含まれるという点で、"パース済み住所要素" 出力と異なります。パース済み入力には、**ValidateAddress** が住所の妥当性を検証したかどうかにかかわらず、常に入力住所が含まれます。

パース済み入力フィールドを出力に含めるには、**[パースした入力データを返す]** チェック ボックスをオンにします。

表 83 : パース済み入力

フィールド名	説明
ApartmentLabel.Input	アパート指定子 (STE や APT など)。例: 123 E Main St <b>APT 3</b>
ApartmentNumber.Input	アパート番号。例: 123 E Main St <b>APT 3</b>
City.Input	妥当性が確認された都市名

フィールド名	説明
Country.Input	<p>国。フォーマットは、[国フォーマット]で選択したのになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ISO コード</li> <li>• UPU コード</li> <li>• 英語</li> </ul>
County.Input*	国における最小の地理的データ要素。例: 米国の郡
FirmName.Input	妥当性が確認された企業名
HouseNumber.Input	家番号 1。例: <b>123</b> E Main St Apt 3
LeadingDirectional.Input	接頭方向指示。例: <b>123 E</b> Main St Apt 3
POBox.Input	私書箱番号。住所が地方配送路住所である場合は、地方配送路の私書箱番号がここに表示されます。
PostalCode.Input	妥当性が検証された郵便番号。米国住所に対しては、ZIP Code と呼びます。
Principality.Input *	国における最大の地理的データ要素
StateProvince.Input	妥当性が確認された州または省の名前
StreetAlias.Input	<p>通り名のエイリアス。通常は、通り上の特定の範囲の住所のみに対して使用されます。通り名のエイリアスを出力に使用しないと指定した場合は、通りにエイリアス名があるかどうかにかかわらず、出力では通りの "基本" 名が使用されます。基本名とは、通り全体に適用される名称です。例えば、StreetName が "N MAIN ST" の場合、StreetAlias フィールドには "MAIN" が含まれ、StreetSuffix フィールドには大通りタイプである "ST" が返されます。</p>

フィールド名	説明
StreetName.Input	通り名。例: 123 E <b>Main St</b> Apt 3
StreetSuffix.Input	通り接尾語。例: 123 E Main St Apt 3
Subcity.Input*	[Locality] フィールドの内容に依存する、より小さな居留区データ要素。例: トルコ人居留区。
Substreet.Input*	国における従属通りまたはブロック データ要素。例: 英国の従属通り。
TrailingDirectional.Input	接尾方向指示。例: 123 Pennsylvania Ave <b>NW</b>

\*これはサブフィールドであり、データを含まない場合があります。

### ジオコード出力

ValidateAddressLoqate は、緯度/経度、ジオコーディング マッチ コード、従属する地方、従属地方に含まれる地方、従属する大ストリート、下位行政区画と上位行政区画、検索距離を出力として返します。マッチ コードは、入力住所がどの程度まで既知の住所に一致したかを表すとともに、マッチングの全体的なステータスを示します。検索距離コードは、ジオコードが住所の実際の物理的な位置にどの程度近いかを表します。



表 84 : ジオコード住所出力

フィールド名	説明
Geocode.MatchCode	<p>住所に対するジオコード マッチングのステータスとレベルを表す 2 バイト コード。</p> <p>最初のバイトはジオコーディング ステータスを表し、次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>A</b> 入力住所に一致する複数のジオコード候補が検出され、それらの平均が返されました。</li> <li><b>I</b> ある範囲の入力住所のロケーションからジオコードを補間することができました。</li> <li><b>P</b> 入力住所に一致する単一のジオコードが検出されました。</li> <li><b>U</b> 入力住所に対するジオコードを生成できませんでした。</li> </ul> <p>2 つめのバイトはジオコード マッチングのレベルを表し、次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>5</b> 配達ポイント (郵便受けまたは従属する建物)</li> <li><b>4</b> 敷地または建物</li> <li><b>3</b> Thoroughfare</li> <li><b>2</b> Locality</li> <li><b>1</b> 行政区画</li> <li><b>0</b> なし</li> </ul>
Latitude	<p>小数第 5 位まで計算される 8 桁の度数 (指定したフォーマットで表記されます)。</p>
Longitude	<p>小数第 5 位まで計算される 8 桁の度数 (指定したフォーマットで表記されます)。</p>
SearchDistance	<p>メートル単位で表した精度の半径。与えられたジオコードと実際の物理的位置との間の推測最大距離を表します。このフィールドは、基盤の参照データから導き出され、その精度と対象範囲に依存します。</p>

表 85 : 都市/通り/郵便番号セントロイド マッチ コード

要素	マッチ コード
住所ポイント	P4
住所ポイント補間済み	I4
通りセントロイド	A4/P3
郵便番号/都市セントロイド	A3/P2/A2

注 : `Geocode.Match.Code` は、通り セグメントに対して 2 つの座標を返すことはしません (通りの一部の開始と終了など)。代わりに、入力に対するリターンコードが I3 になった (大通りまたは通り レベルに補間され、敷地番号は入力されていない) 場合は、通り全体が計算に使用されます。

### 結果インジケータ

結果インジケータは、住所に対して実行した処理の種類に関する情報を提供します。結果インジケータには、次の 2 種類があります。

#### レコード レベルの結果インジケータ

レコード レベルの結果インジケータは、各レコードに対する `ValidateAddressLoqate` 処理の結果に関するデータを提供します。例えば、マッチングの成功または失敗、住所を処理したコーダーなどの詳細情報を示します。以下の表に、`ValidateAddressLoqate` が返すレコード レベルの結果インジケータの一覧を示します。

表 86 : レコード レベル インジケータ

フィールド名	説明
Confidence	返された住所に割り当てられた確信レベル。範囲は 0 ~ 100 です。0 は失敗を表し、100 はマッチ結果が正しいことに対する確信レベルが非常に高いことを表します。複数のマッチ結果がある場合、確信レベルは 0 です。この数値の計算方法については、 <a href="#">Validate Address Loqate 確信アルゴリズムの概要</a> を参照してください。

フィールド名	説明
CouldNotValidate	<p>マッチしなかった場合の、妥当性が確認できなかった住所コンポーネント。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ApartmentNumber</li> <li>• HouseNumber</li> <li>• StreetName</li> <li>• PostalCode</li> <li>• City</li> <li>• Directional</li> <li>• StreetSuffix</li> <li>• Firm</li> <li>• POBoxNumber</li> </ul> <p>注：複数のコンポーネントがカンマ区切りリストとして返されることがあります。</p>
MatchScore	<p>MatchScore は、入力データと、最も近い一致として検出された参照データとの間の類似性を表します。MatchScore は、一致を得るために入力住所をどれだけ変更したかを表す Confidence とはまったく異なるものです。MatchScore の意味は、米国住所と米国以外の住所で異なります。</p> <p>int getFieldMatchscore (unit record, const char*) 関数は、入力データと、最も近い一致として検出された参照データとの間の類似性を表す 0 ~ 100 の整数値です。100 は、入力データに、エイリアス、大文字小文字、付加記号以外の変更を加えなかったことを表します。0 は、入力データと、最も近い一致として検出された参照データとの間にまったく類似性がないことを表します。</p> <p>注：Validate Address Loqate および Advanced Matching モジュールのコンポーネントは、どちらも MatchScore フィールドを使用します。データフローの出力の MatchScore フィールドの値は、出力ステージに送られる前に最後に値を変更したステージによって決まります。データフローに Validate Address Loqate および Advanced Matching モジュールのコンポーネントが含まれ、各ステージの MatchScore 出力フィールドを確認したい場合は、Transformer ステージを使用して、MatchScore 値を他のフィールドにコピーしてください。例えば、Validate Address Loqate によって MatchScore という出力フィールドが作成され、Transformer ステージによって Validate Address Loqate の MatchScore フィールドが AddressMatchScore というフィールドにコピーされます。マッチャー ステージを実行すると、マッチャーから得た値が MatchScore フィールドに設定され、Validate Address Loqate から得た AddressMatchScore の値が引き渡されます。</p>
ProcessedBy	<p>住所を処理した住所コーダーです。</p> <p><b>LOQATE</b>                      Loqate コーダーが住所を処理しました。</p>

フィールド名	説明				
Status	<p>マッチの成功または失敗。複数のマッチがある場合、一致する可能性のあるすべてのものに対してこのフィールドが "F" になります。</p> <table border="0"> <tr> <td><b>NULL</b></td> <td>成功</td> </tr> <tr> <td><b>F</b></td> <td>失敗</td> </tr> </table>	<b>NULL</b>	成功	<b>F</b>	失敗
<b>NULL</b>	成功				
<b>F</b>	失敗				
Status.Code	<p>失敗の原因 (ある場合)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• UnableToValidate</li> </ul>				
Status.Description	<p>問題の説明 (ある場合)。</p> <p><b>Address Not Found</b> Status.Code=UnableToValidate の場合にこの値が表示されます。</p>				

#### フィールドレベルの結果インジケータ

フィールドレベルの結果インジケータは、ValidateAddressLoqate が各住所要素をどのように処理したかを示します。フィールドレベルの結果インジケータは、修飾子 "Result" で返されます。例えば、HouseNumber のフィールドレベルの結果インジケータは **HouseNumber.Result** に格納されます。

フィールドレベルの結果インジケータを有効にするには、**[個々のフィールドの結果コードを含める]** チェック ボックスをオンにします。

次の表に、フィールドレベルの結果インジケータの一覧を示します。特定のフィールドが住所に適用されない場合、結果インジケータが空白になる場合があります。

表 87 : フィールドレベルの結果インジケータ

フィールド名	説明
ApartmentLabel.Result	<b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
	<b>C</b> 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
	<b>F</b> 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。
	<b>P</b> パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
	<b>R</b> アパート ラベルが必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
	<b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。
	<b>U</b> マッチしない。カナダの住所には適用されません。
<b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。	
ApartmentNumber.Result	<b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
	<b>C</b> 修正済み。カナダの住所のみ。
	<b>F</b> 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
	<b>P</b> パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国EWSにマッチする米国の住所には、Pの値が割り当てられます。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
	<b>R</b> アパート番号が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
	<b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国住所には適用されません。
	<b>U</b> マッチしない。
<b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。	

フィールド名	説明
City.Result	<p><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p><b>C</b> 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p><b>F</b> ハイフンの欠落または句読文字エラー。カナダの住所のみ。</p> <p><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p><b>P</b> パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。</p> <p><b>R</b> 都市名が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。</p> <p><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国住所には適用されません。</p> <p><b>U</b> マッチしない。カナダの住所には適用されません。</p> <p><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>
Country.Result	<p>これらの結果コードは、米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。</p> <p><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</p> <p><b>U</b> マッチしない。</p> <p><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>
County.Result*	<p>国における最小の地理的データ要素。例: 米国の郡</p>

フィールド名	説明
FirmName.Result	<b>C</b> 修正済み。米国住所にのみ適用されます。
	<b>P</b> パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
	<b>U</b> マッチしない。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
	<b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。米国住所にのみ適用されます。
HouseNumber.Result	<b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。カナダの住所のみ。
	<b>C</b> 修正済み。カナダの住所のみ。
	<b>F</b> 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
	<b>O</b> 範囲外。米国またはカナダの住所には適用されません。
	<b>P</b> パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。カナダの住所のみ。
	<b>R</b> 家番号が必須ですが、入力住所から欠落しています。カナダの住所のみ。
	<b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国またはカナダの住所には適用されません。
	<b>U</b> マッチしない。
	<b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

フィールド名	説明
LeadingDirectional.Result	<b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
	<b>C</b> 修正済み。空白のない入力、空白のない値に修正されました。米国住所にのみ適用されます。
	<b>F</b> 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
	<b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されます。
	<b>P</b> パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした、出力に保持されました。カナダの住所のみ。
	<b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。
	<b>U</b> マッチしない。
	<b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。カナダの住所には適用されません。
POBox.Result	<b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。カナダの住所のみ。
	<b>C</b> 修正済み。カナダの住所のみ。
	<b>F</b> 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
	<b>M</b> 複数マッチ。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されます。
	<b>P</b> パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした、出力に保持されました。カナダの住所のみ。
	<b>R</b> 私書箱番号が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
	<b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。
	<b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。



フィールド名	説明
PostalCode.Result	<p><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p><b>C</b> 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p><b>F</b> 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。カナダの住所には適用されません。</p> <p><b>P</b> パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国住所には適用されません。</p> <p><b>R</b> 郵便番号が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。</p> <p><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p><b>U</b> マッチしない。例えば、通り名と郵便番号が一致しない場合、StreetName.Result と PostalCode.Result の両方に U が割り当てられます。</p> <p><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>
PostalCode.Type	<p><b>P</b> ZIP Code™ には、PO Box 住所のみが含まれます。米国住所にのみ適用されます。</p> <p><b>U</b> ZIP Code™ は、特定の会社または場所に割り当てられたユニークな ZIP Code™ です。米国住所にのみ適用されます。</p> <p><b>M</b> ZIP Code™ は、軍施設の住所です。米国住所にのみ適用されます。</p> <p><b>NULL</b> ZIP Code™ は、標準 ZIP Code™ です。</p>
Principality.Result *	<p>国における最大の地理的データ要素</p>

フィールド名	説明
StateProvince.Result	<p><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p><b>C</b> 修正済み。米国住所にのみ適用されます。</p> <p><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p><b>P</b> パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p><b>R</b> アパート ラベルが必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。</p> <p><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国住所には適用されません。</p> <p><b>U</b> マッチしない。カナダの住所には適用されません。</p> <p><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>
StreetAlias.Result	<p>通り名のエイリアス。通常は、通り上の特定の範囲の住所のみに対して使用されます。通り名のエイリアスを出力に使用しないと指定した場合は、通りにエイリアス名があるかどうかにかかわらず、出力では通りの "基本" 名が使用されます。基本名とは、通り全体に適用される名称です。例えば、<b>StreetName</b> が "N MAIN ST" の場合、<b>StreetAlias</b> フィールドには "MAIN" が含まれ、<b>StreetSuffix</b> フィールドには大通りタイプである "ST" が返されます。</p>

フィールド名	説明
StreetName.Result	<p><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。カナダの住所のみ。</p> <p><b>C</b> 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p><b>F</b> 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されます。</p> <p><b>P</b> パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国住所には適用されません。</p> <p><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p><b>U</b> マッチしない。</p> <p><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>
StreetSuffix.Result	<p><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p><b>C</b> 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p><b>F</b> 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されます。</p> <p><b>P</b> パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。カナダの住所のみ。</p> <p><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</p> <p><b>U</b> マッチしない。米国住所には適用されません。</p> <p><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>
Subcity.Result*	<p>[Locality] フィールドの内容に依存する、より小さな居留区データ要素。例: トルコ 人居留区。</p>

フィールド名	説明
Substreet.Result*	国における従属通りまたはブロック データ要素。例: 英国の従属通り。
TrailingDirectional.Result	<p><b>A</b> 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p><b>C</b> 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p><b>F</b> 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p><b>M</b> 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されます。</p> <p><b>P</b> パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。カナダの住所のみ。</p> <p><b>S</b> 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</p> <p><b>U</b> マッチしない。カナダの住所には適用されません。</p> <p><b>V</b> 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>

\*これはサブフィールドであり、データを含まない場合があります。

### AVC コード

Address Verification Code (AVC) は、住所に対する精度インジケータで構成される 11 バイトのコードです。これらのコードは、処理結果の品質を表し、必要に応じて入力データを修正する方法に関するガイドラインを示します。個別住所のそれぞれに、独自のコードが付与されます。このコードは、データフローの出力内で自動的に返されます。AVC は、以下のような形式です。

V44-I44-P6-100

AVC は、8 つの部分で構成されます。

- 検証ステータス
- 処理後検証マッチ レベル
- 処理前検証マッチ レベル
- パーシング ステータス
- 辞書識別マッチ レベル
- コンテキスト識別マッチ レベル

- 郵便番号ステータス
- マッチスコア

### 検証ステータス

住所の検証レベル。

- **V** — 検証済み。入力データは、使用可能な参照データからの単一のレコードと完全に一致しています。シンプルな住所検証では、このコードが返されることが最良の結果とみなされます。
- **P** — 部分的に検証済み。入力データは、使用可能な参照データからの単一のレコードと部分的に一致しています。住所情報の詳細なデータが提供されているが、完全な検証を行うためには追加情報が必要であることを意味する可能性があります。
- **A** — 曖昧。入力に一致する可能性のある複数の住所があります。
- **U** — 検証不可。住所を検証するための十分な情報がない場合や、入力クエリが読み取れない場合に、これが返されます。出力フィールドには入力データが含まれます。
- **R** — 元に戻されました。レコードを、指定された最小許容レベルで検証できませんでした。元に戻すための最小レベルなどの詳細設定オプションが、処理において設定されている場合に生じます。出力フィールドには入力データが含まれます。
- **C** — 矛盾。相反する値を持つ複数の参照データと近似一致します。

### 処理後検証マッチ レベル

使用可能な参照データに対する、入力データの処理後のマッチ レベル。

- **5** — 配達ポイント (建物または郵便受け)。入力レコードの `ApartmentNumber`、`HouseNumber`、`Street`、`City`、`StateProvince` が、`Loqate` のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。`ApartmentNumber` は正しいがその他のフィールドが正しくない場合、確信レベルは中程度になりますが、`ApartmentNumber` は他のフィールドよりも細かいレベルであるため、`Loqate` エンジンはこの場合に、`ApartmentNumber` を特定できるはずですが、`Loqate` エンジンが `ApartmentNumber` とその他のフィールドをパーシングできない場合は、確信レベルは 0 となります。
- **4** — 敷地または建物。入力レコードの `HouseNumber`、`Street`、`City`、`StateProvince` が、`Loqate` のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。`HouseNumber` は正しいがその他のフィールドが正しくない場合、確信レベルは中程度になりますが、`HouseNumber` は他のフィールドよりも細かいレベルであるため、`Loqate` エンジンはこの場合に、`HouseNumber` を特定できるはずですが、`Loqate` エンジンが `HouseNumber` とその他のフィールドをパーシングできない場合は、確信レベルは 0 となります。
- **3** — 大通り、道路、または通り。入力レコードの `Street`、`City`、`StateProvince` が、`Loqate` のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。`City` は正しいが `StateProvince` が正しくない場合、確信レベルは中程度になりますが、`City` は `StateProvince` に含まれるため、`Loqate` エンジンはこの場合に、`StateProvince` を特

定できるはずです。Loqate エンジンが City または両方のフィールド (City と StateProvince) をパーシングできない場合は、確信レベルは 0 となります。

- **2** — 地方 (都市または町)。入力レコードの City と StateProvince の両方が、Loqate のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されま  
す。City は正しいが StateProvince が正しくない場合、確信レベルは中程度になりますが、City  
は StateProvince に含まれるため、Loqate エンジンはこの場合に、StateProvince を特定できる  
はずです。Loqate エンジンが City または両方のフィールド (City と StateProvince) をパーシ  
ングできない場合は、確信レベルは 0 となります。
- **1** — 行政区域 (州または地域)。入力レコードの StateProvince が、Loqate のリファレンス デー  
タセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。
- **0** — なし。これは、最も制限の緩いマッチ オプションと同じです。

### 処理前検証マッチ レベル

使用可能な参照データに対する、入力データの処理前のマッチ レベル。

- **5** — 配達ポイント (建物または郵便受け)
- **4** — 敷地または建物。
- **3** — 大通り、道路、または通り。
- **2** — 地方 (都市または町)。
- **1** — 行政区域 (州または地域)。
- **0** — なし。

### パーシング ステータス

住所のパーシング レベル。

- **I** — 識別およびパーシング済み。入力データは識別され、各コンポーネントに配置されました。  
例えば、"123 Kingston Av" に対して Validate Address Loqate は、"123" が敷地番号で、"Kingston"  
が大通り名で、"Av" または "Avenue" が大通りのタイプであると判断できます。
- **U** — パーシング不可。Validate Address Loqate は、入力データを識別およびパーシングできま  
せんでした。"未検証"の検証ステータスと同様に、入力データは不完全またはあいまいでした。

### 辞書識別マッチ レベル

パターン マッチング (例えば、数値は敷地番号である可能性があります) や辞書マッチング (例え  
ば、"rd" は大通りのタイプ "road" であったり、"London" は地方であったりする可能性があります)  
の適用による、入力データの認識済み形式のレベル。

- **5** — 配達ポイント (建物または郵便受け)
- **4** — 敷地または建物。
- **3** — 大通り、道路、または通り。
- **2** — 地方 (都市または町)。

- **1** — 行政区域 (州または地域)。
- **0** — なし。

#### コンテキスト識別マッチ レベル

出現のコンテキストに基づいて認識可能な、入力データのレベル。最も精度の低い形式のマッチングで、単語を特定の住所要素として識別することに基づいて行われます。例えば、前に敷地らしい要素があり、後に地方らしい要素が続き、後の項目は参照データまたは辞書とのマッチングによって識別されている場合、入力は大通りであると判断できる可能性があります。

- **5** — 配達ポイント (建物または郵便受け)
- **4** — 敷地または建物。
- **3** — 大通り、道路、または通り。
- **2** — 地方 (都市または町)。
- **1** — 行政区域 (州または地域)。
- **0** — なし。

#### 郵便番号ステータス

郵便番号の検証レベル。

- **P8** — PostalCodePrimary と PostalCodeSecondary が検証済みです。
- **P7** — PostalCodePrimary は検証済みで、PostalCodeSecondary は追加または変更されています。
- **P6** — PostalCodePrimary が検証済みです。
- **P5** — PostalCodePrimary が、小さな変更を加えることによって検証済みです。
- **P4** — PostalCodePrimary が、大きな変更を加えることによって検証済みです。
- **P3** — PostalCodePrimary が追加されています。
- **P2** — PostalCodePrimary が辞書によって識別されています。
- **P1** — PostalCodePrimary がコンテキストによって識別されています。
- **P0** — PostalCodePrimary が空です。

#### マッチ スコア

識別済みの入力データと、レコードの出力データ間の類似性を表す 0 ~ 100 の間の数値。100 は、入力データに追加、エイリアス、大文字小文字、付加記号以外の変更を加えなかったことを表します。0 は、入力データと出力データの間まったく類似性がないことを表します。

#### AMAS 出力

次の表に、ValidateAddressAUS が出力する標準フィールドを示します。

表 88 : 出力フィールド

フィールド名	説明
Barcode	<p>DPID に基づく標準バーコード。</p> <p><b>F</b> 失敗 (バーコード不検出)</p> <p><b>20 桁の数字</b> 成功</p>
DPID	<p>配達ポイント識別子。通り住所などの郵便物配達ポイントを一意に識別する 8 桁の数字。オーストラリア郵政公社郵便住所ファイルに規定されています。</p> <p>注：このフィールドは、AMAS で検証されていないオーストラリアの住所の場合は "00000000" となり、オーストラリア以外の住所の場合は空になります。</p>
FloorNumber	フロアルベル番号。例: 123 E Main St Apt 3, <b>4th Floor</b>
FloorType	フロアルベル タイプ。例: 123 E Main St Apt 3, <b>4th Floor</b>
PostalBoxNum	郵便配達番号。例: PO Box 42

## 誤検出

### 誤検出とは

住所リストが生成されるのを防ぐため、DPV と LACS<sup>Link</sup> のデータベースに誤検出レコードが含まれています。誤検出レコードは人為的に作成され、誤検出テーブルに格納された住所です。DPV や LACS<sup>Link</sup> のクエリで望ましくない応答が発生すると、誤検出テーブルに対してクエリが行われます。このテーブルにマッチすると (誤検出マッチと呼ばれます)、ユーザの DPV または LACS<sup>Link</sup> キーが無効になります。バッチ処理の場合、この違反を含むジョブでも正しく完了しますが、違反をレポートして DPV や LACS<sup>Link</sup> を再びアクティベートするためのキーを取得するまでは、DPV や LACS<sup>Link</sup> を使用する後続のジョブを実行できません。

注：誤検出レコードにマッチすることを、"シード レコード違反" という言葉を使って表現する場合があります。この 2 つは同じ意味です。



## DPV 誤検出違反の報告

Spectrum™ Technology Platform は、サーバー ログの中のメッセージによって、誤検出マッチを通知します。

バッチ処理中は、誤検出レコードが検出されてもジョブは続行します。そのジョブが完了した後は、DPV キーが無効になっているため、DPV を使用する他のジョブを実行することはできません。DPV 誤検出レコード違反が生じると、[実行履歴] に次のテキストが表示されます。

```
DPV Seed Record Violation. Seed Code S<ZIP, ZIP+4, Address, Unit>
```

次の手順に従って、違反を報告し、再起動キーを取得することができます。

1. ブラウザで、<http://<サーバー>:<ポート>/<製品コード>/dpv.jsp> に移動します。例えば、Universal Addressing モジュールの場合は <http://localhost:8080/unc/dpv.jsp>、Enterprise Geocoding モジュールの場合は <http://localhost:8080/geostan/dpv.jsp> というアドレスになります。
2. 差出人の情報を各フィールドに入力します。各フィールド名に続く括弧内の数字は、フィールドの最大長を示します。
3. 終了したら [送信] をクリックします。[ファイルのダウンロード] ダイアログが表示されます。
4. [保存] をクリックして、ファイルをコンピュータに保存します。[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。
5. ローカルにあるハードドライブの場所とファイル名 (c:\DPVSeedFile.txt など) を指定して、[保存] をクリックします。
6. [www.g1.com/support](http://www.g1.com/support) に移動してログインします。
7. [DPV & LACS<sup>Link</sup> 誤検出] をクリックします。
8. 画面上の指示に従って、シード ファイルを添付し、再起動キーを取得します。

## DPV 誤検出ヘッダ ファイル レイアウト

USPS® は、DPV 誤検出ヘッダ ファイルで必須となるレイアウトを定義しています。これは現在、180 バイトのレコードを 2 つ以上含む固定長のファイルと決められています。最初のレコードは常にヘッダ レコードとする必要があります。ヘッダ レコードのレイアウトを以下に示します。

表 89 : DPV 誤検出ヘッダ レコードのレイアウト

位置	長さ	説明	書式
1-40	40	差出人の会社名	英数字

位置	長さ	説明	書式
41-98	58	差出人の住所行	英数字
99-126	28	差出人の都市名	英数字
127-128	2	差出人の州の略語	英数字
129-137	9	差出人の 9 桁の ZIP Code	Numeric
138-146	9	処理されたレコードの合計数	Numeric
147-155	9	DPV マッチとなったレコードの合計数	Numeric
156-164	9	DSF に対するマッチ率 (%)	Numeric
165-173	9	ZIP +4 <sup>®</sup> に対するマッチ率 (%)	Numeric
174-178	5	ファイル上の ZIP Code の数	Numeric
179-180	2	誤検出の数	Numeric

トレーラレコードには DPV 誤検出マッチに関する情報が含まれます。誤検出ファイルには、DPV 誤検出マッチ 1 件につき 1 つのトレーラレコードを追加する必要があります。トレーラレコードのレイアウトを以下に示します。

表 90 : DPV 誤検出トレーラ レコードのレイアウト

位置	長さ	説明	書式
1-2	2	通り名の直前で方向を示す文字列	英数字
3-30	28	通り名	英数字
31-34	4	通りの種類の省略形	英数字
35-36	2	通り名の直後で方向を示す文字列	英数字
37-46	10	住所のプライマリの番号	英数字
47-50	4	住所のセカンダリの省略形	英数字
51-58	8	住所のセカンダリの番号	Numeric
59-63	5	マッチした ZIP Code	Numeric
64-67	4	マッチした ZIP + 4 <sup>®</sup>	Numeric
68-180	113	空白埋め	スペース

### LACS/Link 誤検出違反のレポート

Spectrum™ Technology Platform は、サーバー ログの中のメッセージによって、誤検出マッチを通知します。誤検出マッチが発生し、クライアント/サーバーの呼び出しが例外をスローすると、バッチ ジョブはエラーになります。

注：誤検出レコードにマッチすることを、"シード レコード違反" という言葉を使って表現する場合があります。この 2 つは同じ意味です。

誤検出レコードが見つかった場合、サーバ ログに以下が記録されます。

```
2005-05-19 09:40:10,758 WARN [com.g1.dcg.component.Log] Seed record
violation for RR 1 R74039 2924
2005-05-19 09:40:10,774 ERROR [com.g1.dcg.component.Log] Feature
Disabled: LLB: LACS Seed Record Violation. Seed Code: R74039 2924
2005-05-19 09:40:10,867 ERROR
[com.g1.dcg.job.server.stages.JobRunnerStages] Error executing job
com.g1.dcg.stage.StageException: com.g1.dcg.component.ComponentException:
Feature Disabled: LLB
```

1. ブラウザで、<http://<サーバ名>:<ポート>/<製品コード>/lacslink.jsp> に移動します。例えば、Universal Addressing モジュールの場合は <http://localhost:8080/unc/lacslink.jsp>、Enterprise Geocoding モジュールの場合は <http://localhost:8080/geostan/lacslink.jsp> というアドレスになります。
2. 差出人の情報を各フィールドに入力します。フィールド名に続く括弧内の数字は、フィールドの最大長を示します。終了したら **[送信]** をクリックします。**[ファイルのダウンロード]** ダイアログが表示されます。
3. **[保存]** をクリックして、ファイルをコンピュータに保存します。**[名前を付けて保存]** ダイアログが表示されます。
4. ローカルにあるハードドライブの場所とファイル名 (c:\lacslink.txt など) を指定して、**[保存]** をクリックします。
5. [www.g1.com/support](http://www.g1.com/support) に移動してログインします。
6. **[DPV & LACS<sup>Link</sup> 誤検出]** をクリックします。
7. 画面上の指示に従って、シード ファイルを添付し、再起動キーを取得します。

## ValidateAddress 確信アルゴリズム

### Validate Address 確信アルゴリズムの概要

ValidateAddress は、妥当性を確認した各住所に対し、確信スコアを計算します。このスコアは、妥当性を確認した住所がどの程度正しいかを表します。確信コードの値は 0 ~ 100 で、0 はまったく確信がなく、100 はマッチ結果が正しいことに対する確信レベルが非常に高いことを表します。確信コードは、個々の出力フィールドに対するマッチ結果を考慮に入れたアルゴリズムに基づいて計算されます。この計算に関連する出力フィールドは、以下のとおりです。

- Country
- City
- State
- PostalCode

- StreetName
- HouseNumber
- LeadingDirectional
- TrailingDirectional
- StreetSuffix
- ApartmentNumber

アルゴリズムにおいて、各フィールドにはそれぞれ独自の重みがあります。また、各フィールドに対し、"Success"、"Failure"、または "Changed" というマッチ結果が存在します("Changed" は、マッチさせるためにフィールドの内容を修正した場合に該当します)。マッチ結果 ("Success"、"Failure"、または "Changed") によって、そのフィールドの係数が決まります。以上より、確信コードは、重みと係数の積を用いて、次のように算出します。

```
Confidence = (Weight * Factor) for City
+ (Weight * Factor) for Country
+ (Weight * Factor) for State
+ (Weight * Factor) for PostalCode
+ (Weight * Factor) for StreetName
+ (Weight * Factor) for HouseNumber
+ (Weight * Factor) for Directionals
+ (Weight * Factor) for Street Suffix
+ (Weight * Factor) for ApartmentNumber
```

### 米国とカナダの住所に対する確信アルゴリズム住所の検証

以下の表で、米国およびカナダの住所に対する ValidateAddress の確信アルゴリズムのスコアリングとロジックについて説明します。

表 91 : 米国とカナダの住所に対する確信アルゴリズム

フィールド	重み付け/マッチ スコア	変更の場合の係数 <sup>1</sup>	埋めた場合の係数 <sup>2</sup>
Country	10	100%	0%
City	10	50%	75%

<sup>2</sup> このフィールドに入力データが存在しないが、マッチを得るためにデータが埋められた場合のこと。

<sup>1</sup> このフィールドの入力データが、マッチを得るために変更された場合のこと。

フィールド 重み付け/マッチ スコア 変更の場合の係数<sup>1</sup> 埋めた場合の係数<sup>2</sup>

フィールド	重み付け/マッチ スコア	変更の場合の係数 <sup>1</sup>	埋めた場合の係数 <sup>2</sup>
州	15	50%	75%
PostalCode	15	25%	25%
StreetName	15	50%	75%
HouseNumber	15	50%	75%
Directionals	10	50%	75%
StreetSuffix	5	50%	75%
ApartmentNumber	5	50%	75%

### 国際住所用の確信アルゴリズム

米国およびカナダ以外の住所用に 2 つの確信アルゴリズムがあります。1 つは郵便番号を使用する国の住所用で、もう 1 つは郵便番号を使用しない国の住所用です。

以下の表に、郵便番号を使用している国の米国およびカナダ以外の住所用の確信アルゴリズムの詳細を示します。

<sup>2</sup> このフィールドに入力データが存在しないが、マッチを得るためにデータが埋められた場合のこと。

<sup>1</sup> このフィールドの入力データが、マッチを得るために変更された場合のこと。

表 92 : 郵便番号がある国用の確信アルゴリズム

フィールド	重み付け/マッチ スコア	変更の場合の係数 <sup>3</sup>	埋めた場合の係数 <sup>4</sup>	郵便データが使用できない場合の係数
Country	11.111111111111111	100%	0%	0%
City	11.111111111111111	50%	75% <sup>5</sup>	0%
州	16.666666666666667	100%	100	80%
PostalCode	16.666666666666667	100%	100%	80%
StreetName	16.666666666666667	50%	75%	50%
HouseNumber	16.666666666666667	50%	75%	50%
Directionals	0	50%	75%	0%
StreetSuffix	5.555555555555556	50%	75%	50%
ApartmentNumber	5.555555555555556	50%	75%	50%

<sup>4</sup> このフィールドに入力データが存在しないが、マッチを得るためにデータが埋められた場合のこと。

<sup>3</sup> このフィールドの入力データが、マッチを得るために変更された場合のこと。

<sup>5</sup> カテゴリ C の国の場合、この値は 50% です。各国は、次のいずれかのカテゴリに分類されます。

- **カテゴリ A** — 住所の郵便番号、都市名、州/郡名、通りの住所要素、および国名の検証と修正が可能です。
- **カテゴリ B** — 住所の郵便番号、都市名、州/郡名、および国名の検証と修正が可能です。通りの住所要素の検証または修正はサポートしません。
- **カテゴリ C** — 国名の検証および修正と、郵便番号の書式の検証が可能です。

郵便番号を使用しない国用の確信アルゴリズムの詳細を次の表に示します。

表 93 : 郵便番号がない国用の確信アルゴリズム

フィールド	重み付け/マッチ スコア	変更の場合の係数 <sup>6</sup>	埋めた場合の係数 <sup>7</sup>	郵便データが使用できない場合の係数
Country	13.33333333333333	100%	0%	0%
City	13.33333333333333	50%	75% <sup>8</sup>	0%
州	20	100%	100	80%
StreetName	20	50%	75%	50%
HouseNumber	20	50%	75%	50%
Directionals	0	50%	75%	0%
StreetSuffix	6.66666666666667	50%	75%	50%
ApartmentNumber	6.66666666666667	50%	75%	50%

<sup>7</sup> このフィールドに入力データが存在しないが、マッチを得るためにデータが埋められた場合のこと。

<sup>6</sup> このフィールドの入力データが、マッチを得るために変更された場合のこと。

<sup>8</sup> カテゴリ C の国の場合、この値は 50% です。各国は、次のいずれかのカテゴリに分類されます。

- **カテゴリ A** — 住所の郵便番号、都市名、州/郡名、通りの住所要素、および国名の検証と修正が可能です。
- **カテゴリ B** — 住所の郵便番号、都市名、州/郡名、および国名の検証と修正が可能です。通りの住所要素の検証または修正はサポートしません。
- **カテゴリ C** — 国名の検証および修正と、郵便番号の書式の検証が可能です。



郵便番号がない国の一覧を以下の表に示します。

表 94 : 郵便番号がない国

Afghanistan	アルバニア	Angola
Anguilla	バハマ	Barbados
Belize	Benin	Bhutan
Botswana	Burkina Faso	Burundi
Cameroon	Cayman Islands	Central African Rep.
Chad	Cocos Islands	コロンビア
Comoros	Congo (Dem.Rep.)	Congo (Rep.)
Cote d'Ivoire	Korea (North)	Djibouti
Dominica	Equatorial Guinea	Eritrea
Fiji	Gabon	Gambia
Ghana	Grenada	Guyana
アイルランド	Jamaica	Kiribati
リビア	Malawi	Mali
Mauritania	Namibia	Nauru

Palau

Panama

Peru

Qatar

Rwanda

Saint Lucia

Saint Vincent and the Grenadines

Samoa

Sao Tome and Principe

Seychelles

Sierra Leone

Suriname

Tanzania

Timor

Togo

Tonga

Trinidad & Tobago

Tuvalu

Uganda

United Arab Emirates

Vanuatu

イエメン

Zimbabwe

# 付録

## このセクションの構成

---

ISO 国コードとモジュール サポート

332

# A - ISO 国コードとモジュール サポート

## このセクションの構成

ISO 国コードとコーダー サポート

333

## ISO 国コードとコーダー サポート

次の表に、各国の 2 桁と 3 桁の ISO コードと、Validate Address International (VAI)、Validate Address Global (VAG)、Validate Address Loqate (VAL) の各コーダーに対するサポートのレベルを示します。レベルは次のように定義されています。

- レベル A — 通りレベルのデータが提供されています。
- レベル B — 都市、郵便番号、またはその両方のデータが提供されています。
- レベル C — 国データが提供されています。
- - — サポートされていない国

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
Afghanistan	AF	AFG	B	B	A
Aland Islands	AX	ALA	B	-	A
アルバニア	AL	ALB	B	B	A
アルジェリア	DZ	DZA	B	B	A
American Samoa	AS	ASM	B	-	A
Andorra	AD	AND	A	A	A
Angola	AO	AGO	B	B	A
Anguilla	AI	AIA	B	B	B
Antarctica	AQ	ATA	C	B	B

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
Antigua And Barbuda	AG	ATG	A	B	B
アルゼンチン	AR	ARG	A	A	A
Armenia	AM	ARM	B	A	A
Aruba	AW	ABW	A	B	A
オーストラリア	AU	AUS	A	A	A
オーストリア	AT	AUT	A	A	A
Azerbaijan	AZ	AZE	B	B	A
バハマ	BS	BHS	A	B	A
Bahrain	BH	BHR	A	A	A
Bangladesh	BD	BGD	B	B	A
Barbados	BB	BRB	A	B	A
Belarus	BY	BLR	A	A	A
Belgium	BE	BEL	A	A	A
Belize	BZ	BLZ	A	B	A

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
Benin	BJ	BEN	B	B	A
Bermuda	BM	BMU	A	A	A
Bhutan	BT	BTN	B	B	B
Bolivia, Plurinational State Of	BO	BOL	B	B	A
Bonaire, Saint Eustatius And Saba	BQ	BES	B	-	B
Bosnia And Herzegovina	BA	BIH	B	B	A
Botswana	BW	BWA	B	B	A
Bouvet Island	BV	BVT	C	-	-
ブラジル	BR	BRA	A	A	A
British Indian Ocean Territory	IO	IOT	B	B	B
Brunei Darussalam	BN	BRN	A	A	A
Bulgaria	BG	BGR	A	A	A
Burkina Faso	BF	BFA	A	B	A
Burundi	BI	BDI	B	B	A

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
Cambodia	KH	KHM	B	B	A
Cameroon	CM	CMR	B	B	A
カナダ	CA	CAN	C	A	A
Cape Verde	CV	CPV	B	B	A
Cayman Islands	KY	CYM	A	B	A
Central African Republic	CF	CAF	B	B	A
Chad	TD	TCD	B	B	A
チリ	CL	CHL	A	A	A
中国	CN	CHN	B	A	A
Christmas Island	CX	CXR	B	-	B
Cocos (Keeling) Islands	CC	CCK	B	-	B
コロンビア	CO	COL	B	A	A
Comoros	KM	COM	B	B	B
Congo	CG	COG	B	B	A



ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
Congo, The Democratic Republic Of The	CD	COD	B	B	A
Cook Islands	CK	COK	A	B	B
Costa Rica	CR	CRI	B	B	A
Côte d'Ivoire	CI	CIV	B	B	A
Croatia	HR	HRV	A	A	A
Cuba	CU	CUB	A	B	A
Curacao	CW	CUW	B	B	B
キプロス	CY	CYP	A	A	A
チェコ共和国	CZ	CZE	A	A	A
デンマーク	DK	DNK	A	A	A
Djibouti	DJ	DJI	B	B	B
Dominica	DM	DMA	B	B	B
Dominican Republic	DO	DOM	B	A	A
Ecuador	EC	ECU	A	B	A

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
Egypt	EG	EGY	B	B	A
El Salvador	SV	SLV	A	B	A
Equatorial Guinea	GQ	GNQ	B	B	A
Eritrea	ER	ERI	B	B	A
Estonia	EE	EST	A	A	A
Ethiopia	ET	ETH	B	B	A
Falkland Islands (Malvinas)	FK	FLK	A	B	A
Faroe Islands	FO	FRO	A	B	B
Fiji	FJ	FJI	A	B	B
フィンランド	FI	FIN	A	A	A
フランス	FR	FRA	A	A	A
French Guiana	GF	GUF	A	-	A
French Polynesia	PF	PYF	B	-	B
French Southern Territories	TF	ATF	C	-	B

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
Gabon	GA	GAB	B	B	A
Gambia	GM	GMB	B	B	A
Georgia	GE	GEO	B	A	A
ドイツ	DE	DEU	A	A	A
Ghana	GH	GHA	B	B	A
Gibraltar	GI	GIB	A	A	A
Greece	GR	GRC	B	A	A
Greenland	GL	GRL	B	A	B
Grenada	GD	GRD	B	B	B
Guadeloupe	GP	GLP	A	-	A
Guam	GU	GUM	C	-	A
Guatemala	GT	GTM	B	B	A
Guernsey	GG	GGY	C	-	A
Guinea	GN	GIN	B	B	A

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
Guinea-Bissau	GW	GNB	B	B	A
Guyana	GY	GUY	B	B	A
Haiti	HT	HTI	A	A	A
Heard Island and McDonald Islands	HM	HMD	C	-	-
Holy See (Vatican City State)	VA	付加価値税	A	A	A
Honduras	HN	HND	B	B	A
Hong Kong	HK	HKG	A	A	A
ハンガリー	HU	HUN	A	A	A
アイスランド	IS	ISL	A	A	A
インド	IN	IND	A	A	A
Indonesia	ID	IDN	A	A	A
Iran, Islamic Republic Of	IR	IRN	B	B	A
イラク	IQ	IRQ	B	B	A
アイルランド	IE	IRL	A	A	A

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
Isle Of Man	IM	IMN	C	-	A
Israel	IL	ISR	B	A	A
Italy	IT	ITA	A	A	A
Jamaica	JM	JAM	B	B	A
日本	JP	JPN	A	A	A
Jersey	JE	JEY	C	-	A
ヨルダン	JO	JOR	B	B	A
Kazakhstan	KZ	KAZ	B	A	A
Kenya	KE	KEN	B	B	A
Kiribati	KI	KIR	B	B	B
Korea, Democratic People's Republic Of	KP	PRK	B	B	A
Korea, Republic Of	KR	KOR	B	A	A
Kuwait	KW	KWT	A	A	A
Kyrgyzstan	KG	KGZ	A	B	A

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
Lao People's Democratic Republic	LA	LAO	B	B	A
Latvia	LV	LVA	A	A	A
Lebanon	LB	LBN	A	B	A
Lesotho	LS	LSO	B	B	A
Liberia	LR	LBR	A	B	B
Libyan Arab Jamahiriya	LY	LBY	B	B	B
Liechtenstein	LI	LIE	B	A	A
Lithuania	LT	LTU	A	A	A
Luxembourg	LU	LUX	A	A	A
Macao	MO	MAC	A	A	A
Macedonia, Former Yugoslav Republic Of	MK	MKD	A	B	A
Madagascar	MG	MDG	A	B	A
Malawi	MW	MWI	B	B	A

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
マレーシア	MY	MYS	A	A	A
Maldives	MV	MDV	A	A	A
Mali	ML	MLI	B	B	A
マルタ	MT	MLT	A	A	A
Marshall Islands	MH	MHL	C	-	A
Martinique	MQ	MTQ	A	-	A
Mauritania	MR	MRT	B	B	A
Mauritius	MU	MUS	A	B	A
Mayotte	YT	MYT	A	-	B
メキシコ	MX	MEX	B	A	A
Micronesia, Federated States Of	FM	FSM	C	-	A
Moldova, Republic Of	MD	MDA	A	A	A
Monaco	MC	MCO	A	A	A
Mongolia	MN	MNG	B	B	A

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
モンテネグロ	ME	MNE	B	B	A
Montserrat	MS	MSR	A	B	B
Morocco	MA	MAR	A	A	A
Mozambique	MZ	MOZ	B	B	A
Myanmar	MM	MMR	B	B	A
Namibia	NA	NAM	A	B	A
Nauru	NR	NRU	B	B	A
Nepal	NP	NPL	B	B	A
Netherlands	NL	NLD	A	A	A
New Caledonia	NC	NCL	B	-	B
ニュージーランド	NZ	NZL	A	A	A
Nicaragua	NI	NIC	B	B	B
Niger	NE	NER	A	B	A
Nigeria	NG	NGA	A	A	A



ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
Niue	NU	NIU	C	B	B
Norfolk Island	NF	NFK	B	B	B
Northern Mariana Islands	MP	MNP	C	-	A
ノルウェー	NO	NOR	A	A	A
Oman	OM	OMN	B	B	A
Pakistan	PK	PAK	A	B	A
Palau	PW	PLW	C	-	A
Palestinian Territory, Occupied	PS	PSE	C	-	B
Panama	PA	PAN	B	A	A
Papua New Guinea	PG	PNG	B	B	B
Paraguay	PY	PRY	A	A	A
Peru	PE	PER	B	B	A
Philippines	PH	PHL	A	A	A
Pitcairn	PN	PCN	B	B	B

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
ポーランド	PL	POL	A	A	A
ポルトガル	PT	PRT	A	A	A
Puerto Rico	PR	PRI	C	-	A
Qatar	QA	QAT	A	A	A
Reunion	RE	REU	A	-	A
ルーマニア	RO	ROU	A	A	A
Russian Federation	RU	RUS	B	A	A
Rwanda	RW	RWA	A	B	A
Saint Barthelemy	BL	BLM	A	-	A
Saint Helena, Ascension & Tristan Da Cunha	SH	SHE	B	B	A
Saint Kitts and Nevis	KN	KNA	B	A	A
Saint Lucia	LC	LCA	B	B	A
Saint Martin (French Part)	MF	MAF	A	-	B
Saint Pierre and Miquelon	PM	SPM	B	-	B

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
Saint Vincent and the Grenadines	VC	VCT	A	B	A
Samoa	WS	WSM	B	B	A
San Marino	SM	SMR	B	A	A
Sao Tome and Principe	ST	STP	B	B	A
Saudi Arabia	SA	SAU	A	A	A
Senegal	SN	SEN	A	B	A
セルビア	RS	SRB	A	A	A
Seychelles	SC	SYC	B	B	B
Sierra Leone	SL	SLE	A	B	A
シンガポール	SG	SGP	A	A	A
Sint Maarten (Dutch Part)	SX	SXM	B	B	B
Slovakia	SK	SVK	A	A	A
Slovenia	SI	SVN	A	A	A
Solomon Islands	SB	SLB	A	B	B

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
Somalia	SO	SOM	B	B	A
South Africa	ZA	ZAF	A	A	A
South Georgia And The South Sandwich Islands	GS	SGS	B	B	B
South Sudan	SS	SSD	B	B	A
Spain	ES	ESP	A	A	A
Sri Lanka	LK	LKA	B	B	A
Sudan	SD	SDN	B	B	A
Suriname	SR	SUR	B	B	A
Svalbard And Jan Mayen	SJ	SJM	A	-	B
Swaziland	SZ	SWZ	B	B	A
スウェーデン	SE	SWE	A	A	A
Switzerland	CH	CHE	A	A	A
Syrian Arab Republic	SY	SYR	B	B	A
Taiwan, Province of China	TW	TWN	A	A	A

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
Tajikistan	TJ	TJK	B	B	B
Tanzania, United Republic Of	TZ	TZA	B	B	A
Thailand	TH	THA	B	A	A
Timor-Leste	TL	TLS	B	A	B
Togo	TG	TGO	B	B	A
Tokelau	TK	TKL	C	B	B
Tonga	TO	TON	B	B	A
Trinidad and Tobago	TT	TTO	B	B	A
Tunisia	TN	TUN	B	B	A
Turkey	TR	TUR	A	A	A
Turkmenistan	TM	TKM	B	B	B
Turks And Caicos Islands	TC	TCA	A	B	B
Tuvalu	TV	TUV	B	B	B
Uganda	UG	UGA	B	B	A

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
Ukraine	UA	UKR	B	A	A
United Arab Emirates	AE	ARE	A	A	A
英国	GB	GBR	A	A	A
米国	US	USA	C	A	A
United States Minor Outlying Islands	UM	UMI	C	-	B
ウルグアイ	UY	URY	A	A	A
Uzbekistan	UZ	UZB	B	B	A
Vanuatu	VU	VUT	B	B	B
Venezuela, Bolivarian Republic Of	VE	VEN	B	A	A
Viet Nam	VN	VNM	B	A	A
Virgin Islands, British	VG	VGB	B	B	B
Virgin Islands, U.S.	VI	VIR	C	-	A
Wallis and Futuna	WF	WLF	A	-	B

ISO 国名	ISO 3166-1 Alpha 2	ISO 3166-1 Alpha 3	VAI	VAG	VAL
Western Sahara	EH	ESH	C	B	B
イエメン	YE	YEM	B	B	B
Zambia	ZM	ZMB	A	A	A
Zimbabwe	ZW	ZWE	B	B	A

# 著作権に関する通知



© 2019 Pitney Bowes. All rights reserved. MapInfo および Group 1 Software は Pitney Bowes Software Inc. の商標です。その他のマークおよび商標はすべて、それぞれの所有者の資産です。

### USPS® 情報

Pitney Bowes Inc. は、ZIP + 4® データベースを光学および磁気媒体に発行および販売する非独占的ライセンスを所有しています。CASS、CASS 認定、DPV、eLOT、FASTforward、First-Class Mail、Intelligent Mail、LACS<sup>Link</sup>、NCOA<sup>Link</sup>、PAVE、PLANET Code、Postal Service、POSTNET、Post Office、RDI、Suite<sup>Link</sup>、United States Postal Service、Standard Mail、United States Post Office、USPS、ZIP Code、および ZIP + 4 の各商標は United States Postal Service が所有します。United States Postal Service に帰属する商標はこれに限りません。

Pitney Bowes Inc. は、NCOA<sup>Link</sup>® 処理に対する USPS® の非独占的ライセンスを所有しています。

Pitney Bowes Software の製品、オプション、およびサービスの価格は、USPS® または米国政府によって規定、制御、または承認されるものではありません。RDI™ データを利用して郵便送料を判定する場合に、使用する郵便配送業者の選定に関するビジネス上の意思決定が USPS® または米国政府によって行われることはありません。

### データ プロバイダおよび関連情報

このメディアに含まれて、Pitney Bowes Software アプリケーション内で使用されるデータ製品は、各種商標によって、および次の 1 つ以上の著作権によって保護されています。

© Copyright United States Postal Service. All rights reserved.

© 2014 TomTom. All rights reserved. TomTom および TomTom ロゴは TomTom N.V の登録商標です。

© 2016 HERE

Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía)

電子データに基づいています。© National Land Survey Sweden.

© Copyright United States Census Bureau

© Copyright Nova Marketing Group, Inc.

このプログラムの一部は著作権で保護されています。© Copyright 1993-2007 by Nova Marketing Group Inc. All Rights Reserved

© Copyright Second Decimal, LLC

© Copyright Canada Post Corporation

この CD-ROM には、Canada Post Corporation が著作権を所有している編集物からのデータが収録されています。

© 2007 Claritas, Inc.

Geocode Address World データ セットには、  
<http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode> に存在するクリエイティブ コモンズ アトリビューション ライセンス (「アトリビューション ライセンス」) の下に提供されている GeoNames Project ([www.geonames.org](http://www.geonames.org)) からライセンス供与されたデータが含まれています。お客様による GeoNames データ (Spectrum™ Technology Platform ユーザ マニュアルに記載) の使用は、アトリビューションライセンスの条件に従う必要があります。お客様と Pitney Bowes Software, Inc. との契約と、アトリビューション ライセンスの間に矛盾が生じる場合は、アトリビューションライセンスのみに基づいてそれを解決する必要があります。お客様による GeoNames データの使用に関しては、アトリビューション ライセンスが適用されるためです。



3001 Summer Street  
Stamford CT 06926-0700  
USA

[www.pitneybowes.com](http://www.pitneybowes.com)